「人と人との豊かなつながり」を育む「ふれあい・いきいきサロン」

～「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する検討委員会 報告書～

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

はじめに

身近な地域の中に「楽しく」「気軽に」「無理なく」過ごせる場をつくり、「ふれあいの」「仲間づくり」を図る活動として「ふれあい・いきいきサロン」の取り組みが多様な広がりを見せています。

この活動は、主として高齢者の孤立予防、孤独感の軽減等を目的として、地域住民による自発的な活動として展開されてきました。現在では、高齢者にとどまらず、障がい者、乳幼児を持つ家庭の親子（子育てサロン）などへと対象が広がり、県内各地1,200か所余りで活発に取り組まれています。

このように、「ふれあい・いきいきサロン」が拡大しているのは、高齢者をはじめとする参加者、担い手、さらには地域社会のニーズに、この活動が十分に応えており、効果がもたらされていると経験的に考えられていました。

しかしながら、こうした参加者、担い手、地域社会にもたらされている具体的な効果については、県内の活動実態をふまえた検証は不十分でした。

そこで、本会では、「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する検討委員会を設置し、高齢者サロンに対して、担い手（代表者と担い手）と参加者の双方に対して調査票による調査を実施し、県内で展開されている「ふれあい・いきいきサロン」活動の現状を確認するとともに、その効果について研究協議を実施いたしました。

本報告書は、これまで2年間の研究協議により分析したサロンの取り組みが参加者、地域社会にもたらす効果、及び、担い手の実態を明らかにするとともに、今後の設置推進、継続的な実施に向けた運営支援方策についてまとめたものです。

最後に、大変御多忙の中、本委員会の委員長をお引き受けいただきました山口県立大学社会福祉学部の高野和良先生をはじめとした各委員の皆様、そして、本調査研究の要でありますアンケート調査を実施させていただきました下関市社協豊田支所、周南市社協、周防大島町社協、平生町社協の各社協及びサロンの皆様の御協力に対しまして、心より厚くお礼申し上げます。

社会福祉法人　山口県社会福祉協議会

目　次

第１部　「ふれあい・いきいきサロン」の効果と今後の支援方策・展望

第１章　参加者にとっての「ふれあい・いきいきサロン」の効果 …… 1
1．身体的な効果 …… 3
2．精神的な効果 …… 8
3．社会的な効果 …… 11
4．参加期間による効果の変化 …… 16

第２章　地域にとっての「ふれあい・いきいきサロン」の効果 …… 17

第３章　担い手にとっての「ふれあい・いきいきサロン」 …… 21
1．アンケート結果から見える担い手の姿 …… 21
2．担い手の抱える義務感、負担感 …… 22
3．開催（継続）期間別の担い手の悩み・困りごとの傾向 …… 29

第４章　今後の支援方策・展望 …… 31
1．活動期間別による担い手支援方策 …… 31
2．市町社協に期待される支援方策と今後の展開 …… 32
3．山口県社協による支援方策と今後の展開 …… 38

第５章　「ふれあい・いきいきサロン」の効果分析から見えた今後の展望 … 40

第２部　山口県内の概況、「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート調査の実施及び結果について

第１章　山口県の概況と「ふれあい・いきいきサロン」の取り組み …… 45
1．高齢社会の到来と高齢者の状況 …… 45
2．「ふれあい・いきいきサロン」の取り組み …… 52
3．「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート調査実施地区の概況 55

第２章　「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する調査研究事業の概要 … 58
1．調査研究事業の目的 …… 58
2．調査の設計及び実施 …… 59
3．単純集計結果 …… 62
4．自由回答結果 …… 93

資料編
＊「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート 調査票 …… 147
＊ 平成１７年度「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査結果 …… 169

第 1 部

「ふれあい・いきいきサロン」の効果と今後の支援方策・展望

第１章　参加者にとっての
「ふれあい・いきいきサロン」の効果

第２章　地域にとっての
「ふれあい・いきいきサロン」の効果

第３章　担い手にとっての「ふれあい・いきいきサロン」

第４章　今後支援方策・展望

第５章　「ふれあい・いきいきサロン」
の効果分析から見えた今後の展望

第１部「ふれあい・いきいきサロン」の効果と今後の支援方策・展望

第１章　参加者にとっての「ふれあい・いきいきサロン」の効果

参加者にとっての「ふれあい・いきいきサロン」の効果としては、次の効果が参加者に対して行ったアンケート結果により改めて確認された。

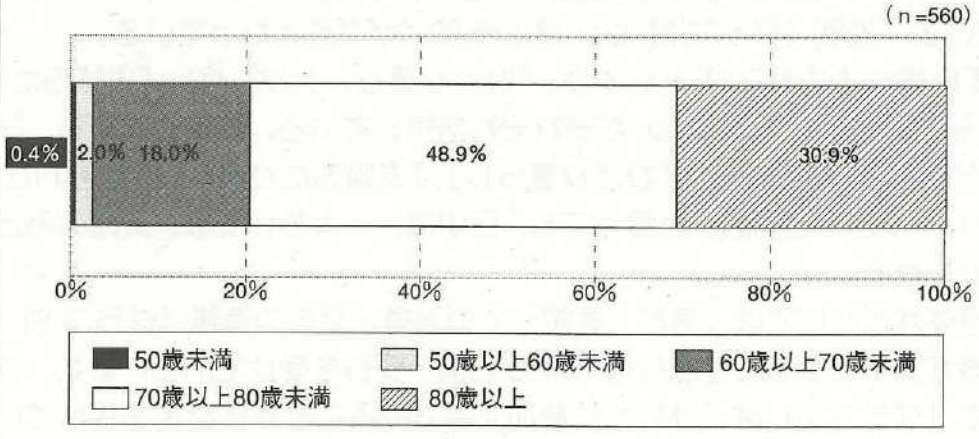
【身体的な効果】
- ＊ 無理なく身体を動かせる。
- ＊ 健康や栄養について意識する習慣がつく。
- ＊ 介護予防につながる。

【精神的な効果】
- ＊ 適度な精神的刺激となる。
- ＊ 生活にメリハリがつく。
- ＊ 生きがいになる。

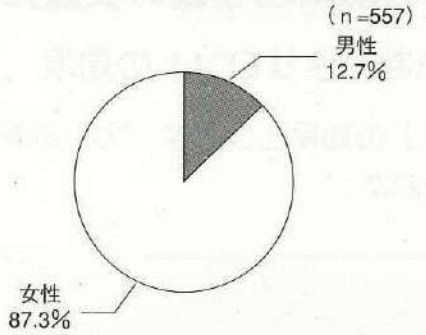
【社会的な効果】
- ＊ 孤立・閉じこもりの防止となる。
- ＊ 仲間づくりの場となる。
- ＊ 情報交換・情報提供の場となり生活に役立つ

これらの効果について、まず、サロン参加者の様子を確認した上で、アンケート結果及び分析をもとに記述していく。

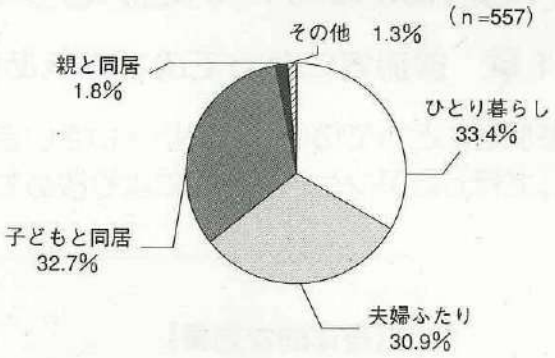
【グラフ１】　サロン参加者の年齢区分



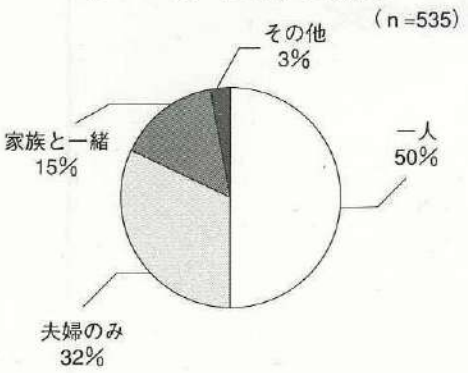
【グラフ2】 サロン参加者の性別



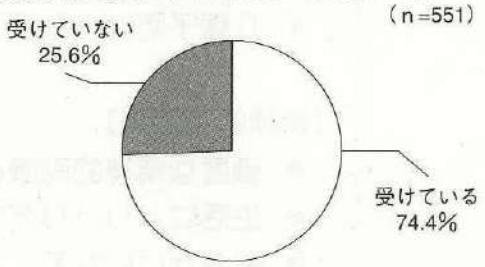
【グラフ3】 サロン参加者の家族構成



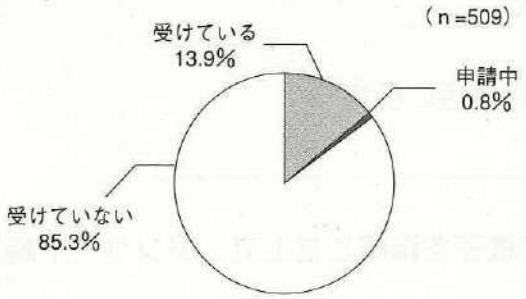
【グラフ4】 昼間の状況



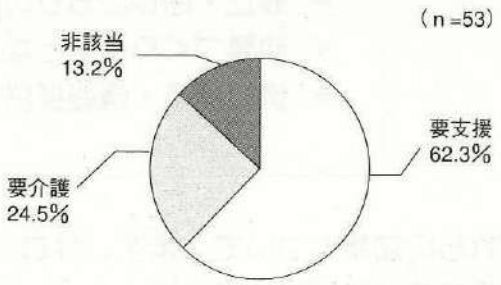
【グラフ5】 サロン参加者の病院（医院）での治療・受診の有無



【グラフ6】 介護保健認定の状況



【グラフ7】 要介護度の状況



サロンの参加者の様子は、次のとおりである。

まず、年齢層は 70 歳以上の参加者が全体の約 80%となっており【グラフ 1】、平均年齢は 75.6 歳である。性別【グラフ 2】は、およそ 90%が女性となっている。

つぎに、家族構成【グラフ 3】としては、「ひとり暮らし」(33.4%)、「夫婦ふたり暮らし」(30.9%)、「子どもと同居」(32.7%) がそれぞれ拮抗している。しかしながら、日中の家族交流の状況【グラフ 4】を見ると、「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり暮らし」を合わせると 80%を超えており、「子どもと同居」と言っても、日中は、一人もしくは、夫婦のみという状況であることがわかる。

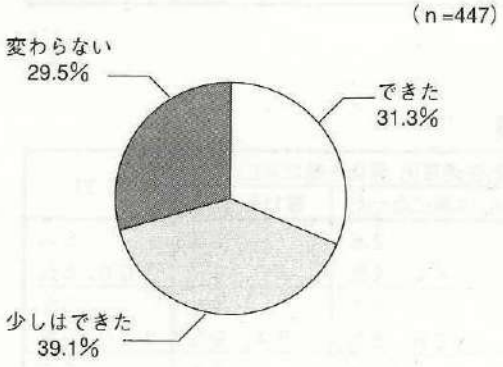
最後に、身体状況としては、病院（医院）での治療・受診の有無【グラフ 5】は、70 歳以上の参加者が大半であることから約 75%が治療・受診を受けている。また、介護認定の状況について【グラフ 6】は、サロンに参加できていることから認定を受けている参加者は 15%程度にとどまり、認定を受けていても【グラフ 7】のとおり要支援が大半であり、最も高くても要介護 2 であった。

1．身体的な効果

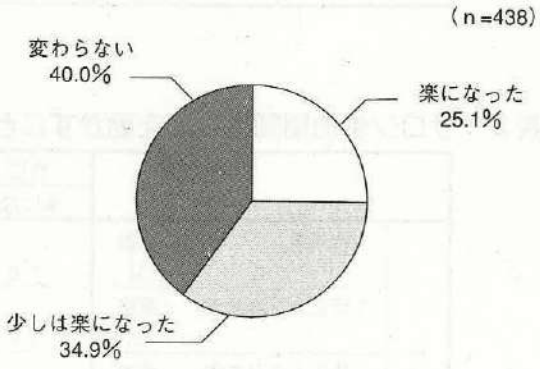
（1）無理なく身体を動かせる

《効 果》
近所にあって歩いていけるサロンに出かけるだけでも家の中でじっとしているのとはずいぶん違います。サロンの中で、高齢者でも安全に楽しく無理なく体を動かせるプログラムを取り入れると一層、効果が期待されます。

【グラフ8】
サロン参加による生活変化　身体を動かす習慣



【グラフ9】
サロン参加による生活変化　身体を動かすこと



まず、サロン参加による身体を動かす習慣の変化【グラフ８】については、「できた」（31.3%）、「少しはできた」（39.1%）と約 70%がサロン参加により身体を動かす習慣や意識づけができたと回答している。

また、サロン参加による身体を動かすことの変化【グラフ９】については、「楽になった」（25.1%）、「少しは楽になった」（34.9%）と 60%がサロンの参加により身体を動かすことが楽になったと回答している。

これらの結果から、サロンの参加が無理なく身体を動かせるきっかけ及び身体を動かす習慣につながっていることが言える。

さらに、身体を動かす習慣、身体を動かすことの変化については、ともに参加期間との関連性が見られ《表１》《表２》、参加期間が２年以上から効果（身体を動かす習慣については「できた」と「少しはできた」、身体を動かすことの変化については「楽になった」と「少しは楽になった」との割合の合計）が上昇し、サロン参加期間が４年以上～５年未満の参加者に最も効果があることがわかった。

以上の結果から、冒頭で示したサロンの「効果」にもあげているとおり、サロンの中で、高齢者でも安全に楽しく無理なく身体を動かせるプログラムを取り入れると、介護予防に一層の効果が期待される。

《表１：サロン参加期間と身体を動かす習慣の関連》

			サロン参加による生活変化 身体を動かす習慣			合 計
			できた	少しはできた	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	１６	２８	１９	６３
		%	２５．４%	４４．４%	３０．２%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	２３	２６	３４	８３
		%	２７．７%	３１．３%	４１．０%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	２３	２５	１８	６６
		%	３４．８%	３７．９%	２７．３%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	２１	１９	１５	５５
		%	３８．２%	３４．５%	２７．３%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	７	３２	７	４６
		%	１５．２%	６９．６%	１５．２%	１００．０%
	５年以上	度数	４３	３９	３８	１２０
		%	３５．８%	３２．５%	３１．７%	１００．０%
合 計		度数	１３３	１６９	１３１	４３３
		%	３０．７%	３９．０%	３０．３%	１００．０%

《表２：サロン参加期間と身体を動かすことの関連》

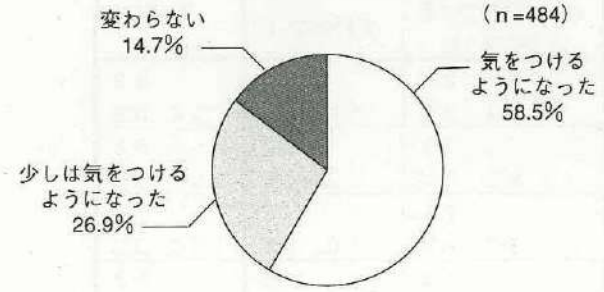
			サロン参加による生活変化 身体を動かすこと			合 計
			楽になった	少しは楽になった	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	１２	２６	２６	６４
		%	１８．８%	４０．６%	４０．６%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	１６	２１	４５	８２
		%	１９．５%	２５．６%	５４．９%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	２０	２３	２４	６７
		%	２９．９%	３４．３%	３５．８%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	１６	１２	２０	４８
		%	３３．３%	２５．０%	４１．７%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	７	２５	１４	４６
		%	１５．２%	５４．３%	３０．４%	１００．０%
	５年以上	度数	３２	４０	４５	１１７
		%	２７．４%	３４．２%	３８．５%	１００．０%
合 計		度数	１０３	１４７	１７４	４２４
		%	２４．３%	３４．７%	４１．０%	１００．０%

（２）健康や栄養について意識する習慣がつく

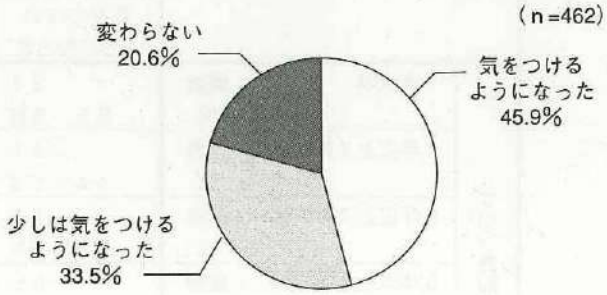
《効 果》

サロンでの参加者間の会話をはじめ、会食、血圧測定や健康チェック、保健指導などのプログラムがきっかけとなって、高齢者自身が健康管理や栄養について意識する習慣がつくことで、元気を保つことにつながります。

【グラフ10】
サロン参加による生活変化　健康への気配り



【グラフ11】
サロン参加による生活変化　食事・栄養への気配り



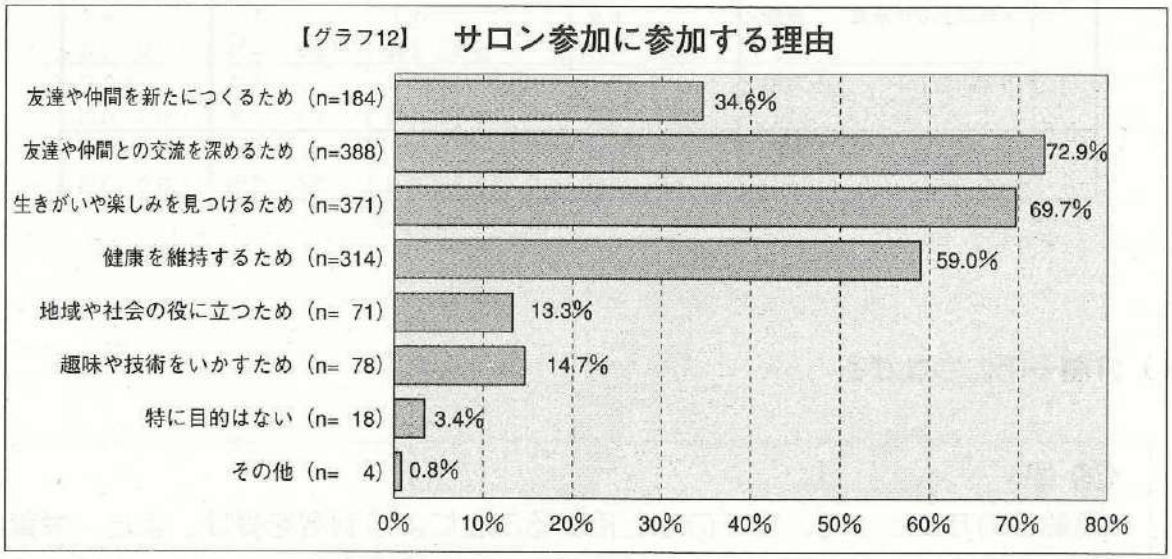
まず、サロン参加による健康についての意識【グラフ 10】については、「気をつけるようになった」(58.5%)、「少しは気をつけるようになった」(26.9%) と、約 85%がサロンへの参加が健康についての意識づけになっていると回答している。

また、サロン参加による食事・栄養についての意識【グラフ 11】も、「気をつけるようになった」(45.9%)、「少しは気をつけるようになった」(33.5%) と、約 80%が意識づけになっていると回答している。なお、59.0%の参加者がサロンに参加する理由【グラフ 12】を「健康を維持するため」と回答しており、参加の目的が具体的な効果につながっている。

これらの結果から、サロンの参加により健康や栄養について意識する習慣がついていることがわかる。

さらに、この２つの項目についても、参加期間と効果の関連性が見受けられ《表３》《表４》、２年未満と２年以上で効果（「気をつけるようになった」と「少しは気をつけるようになった」との割合の合計）に差が生じており、２年以上３年未満が最も効果が高くなっている。

【グラフ12】　サロン参加に参加する理由



《表３：サロン参加期間と健康への気配りの関連》

			サロン参加による生活変化 健康への気配り			合 計
			気をつける ようになった	少しは気をつける ようになった	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	３７	２４	８	６９
		%	５３．６%	３４．８%	１１．６%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	４１	３０	２２	９３
		%	４４．１%	３２．３%	２３．７%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	４２	２４	８	７４
		%	５６．８%	３２．４%	１０．８%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	３５	１４	８	５７
		%	６１．４%	２４．６%	１４．０%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	２９	１４	８	５１
		%	５６．９%	２７．５%	１５．７%	１００．０%
	５年以上	度数	８６	２４	１６	１２６
		%	６８．３%	１９．０%	１２．７%	１００．０%
合 計		度数	２７０	１３０	７０	４７０
		%	５７．４%	２７．７%	１４．９%	１００．０%

《表４：サロン参加期間と食事・栄養への気配りの関連》

			サロン参加による生活変化 食事・栄養への気配り			合 計
			気をつける ようになった	少しは気をつける ようになった	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	２４	２４	１９	６７
		%	３５．８%	３５．８%	２８．４%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	２９	３０	２６	８５
		%	３４．１%	３５．３%	３０．６%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	３７	２６	９	７２
		%	５１．４%	３６．１%	１２．５%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	２９	１７	１２	５８
		%	５０．０%	２９．３%	２０．７%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	１９	１７	１１	４７
		%	４０．４%	３６．２%	２３．４%	１００．０%
	５年以上	度数	６５	３８	１７	１２０
		%	５４．２%	３１．７%	１４．２%	１００．０%
合 計		度数	２０３	１５２	９４	４４９
		%	４５．２%	３３．９%	２０．９%	１００．０%

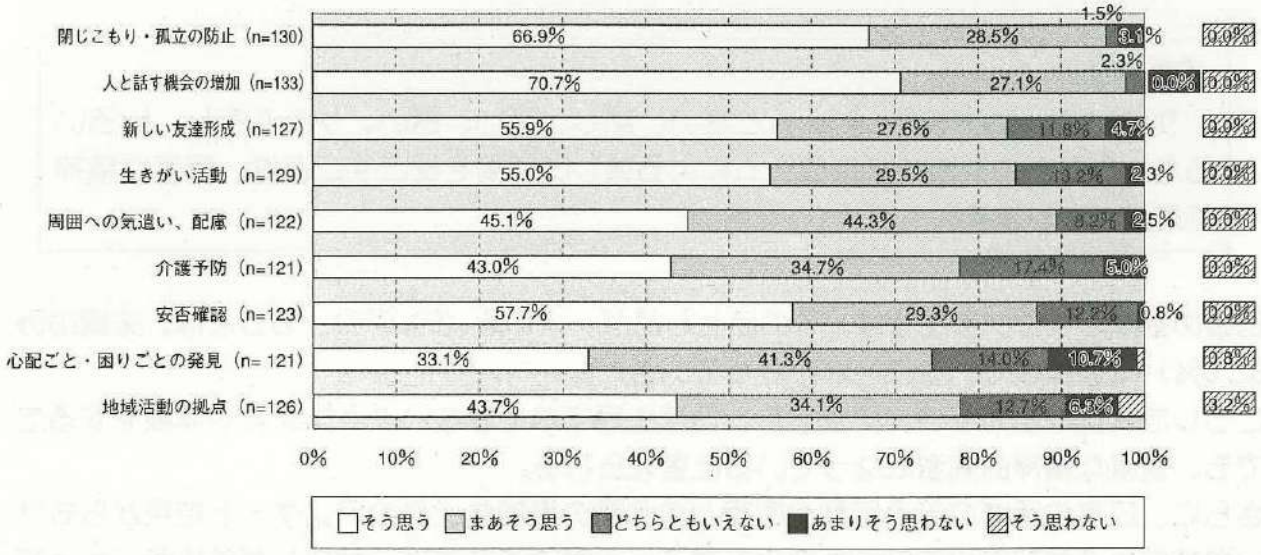
（３）介護予防につながる

《効 果》

高齢者の方にとって、多くの方と接することにより刺激を受け、また、栄養のバランスの良い食事を取ったり、軽い運動をしたりすることにより、生活に張りができ、要介護状態になることを予防します。

【グラフ13】

担い手から見たサロン参加による参加者にとっての効果



アンケート結果からは、サロン参加者の約 85%が要介護認定を受けておらず、認定を受けていても低い段階（最も高くて要支援２）であること、また、約 90%の参加者が地域活動への参加やテレビ・新聞を読むことにより日頃から介護予防に取り組んでいることがわかっている。

こうした状況において、参加者の約 90%がサロン参加による福祉サービスの利用回数に変化がないと回答しており、福祉サービス利用の減少や介護状態の改善については、目に見える十分な効果は見られなかった。

同様に、参加者の約 73%がサロン参加による病院に行く回数の改善についても変化がないと回答している。

しかしながら、福祉サービスの利用回数や病院に行く回数に変化がないということは、サロン参加期間中に参加者の要介護認定や受診の状況が維持されている（悪化していない）ことを示している。

さらに、担い手から見たサロン参加による参加者の効果について、参加者の介護予防につながるか質問したアンケート結果【グラフ 13】では、「そう思う」（43. 0%）、「まあそう思う」（34. 7%）と約 78%の担い手が、サロンが参加者の介護予防につながる活動として認識している。

こうしたアンケート結果と、これまでに挙げたサロンの身体的な効果（身体を動かすことや習慣、健康・栄養について意識する習慣）や生活のリズムで効果が見られていることから、介護予防や身体状況の維持につながっていると考えられる。

2．精神的な効果

（1）適度な精神的刺激となる

《効 果》
サロンに出かけて行って、人と会い、話し、笑い、歌い、ゲームをし、いろいろな人たちとの交流やプログラムによる楽しい時間を過ごすことは、適度な精神的刺激となります。

日頃の昼間、サロン参加者は、そのほとんどが一人のみ（50.0%）、もしくは、夫婦のみ（32.0%）で過ごしていることがわかっている。

こうした状況からもサロンに参加し、日常生活ではできないような交流や体験をするだけでも、適度な精神的刺激になっていると考えられる。

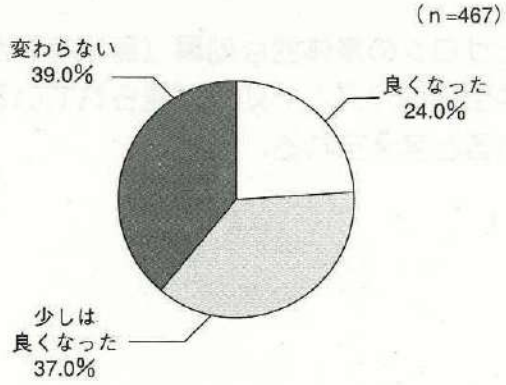
さらに、日常生活での笑う回数や家族との会話の増加など他のアンケート結果からもサロン参加による参加者の前向きな変化を得ることができており、サロンが参加者にとって日常生活とは違った体験や交流の場となり、適度な精神的な刺激となっていることがわかる。

（2）生活にメリハリがつく

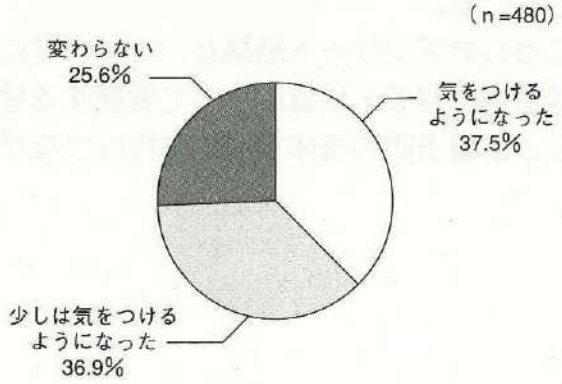
《効 果》
「毎月第○曜日、毎月○日はふれあい・いきいきサロンの日」と意識したり、楽しみにしたりすることや、サロンに参加し、人に会うために身だしなみにも気を配ることで日常生活に変化が生まれ、生活のメリハリにつながります。

また、サロンでの会話やプログラムを通し、健康や生活について意識することが規則正しい生活習慣につながります。

【グラフ14】
サロン参加による生活変化　生活のリズム（規則正しい生活）



【グラフ15】
サロン参加による生活変化　身だしなみ



まず、サロン参加による生活のリズム（規則正しい生活）【グラフ 14】については、「良くなった」（24.0%）、「少しは良くなった」（37.0%）と、約 60%のサロン参加者が規則正しい生活につながったと回答している。

また、サロン参加による身だしなみ【グラフ 15】については、「気をつけるようになった」（37.5%）、「少しは気をつけるようになった」（36.9%）と、約 75%の参加者が身だしなみに気をつけるようになったと回答している。

このような効果をはじめ、サロン参加による意識、行動の変化や交流の増加を通して、生活のメリハリや規則正しい生活につながっている。

とくに、生活のリズム（規則正しい生活）については、参加期間と効果（「良くなった」と「少しは良くなった」との割合の合計）の関連が見受けられ《表５》、２年以上の参加者から効果が上昇し、４年以上５年未満の参加者に最も高い効果が上がっている。

《表５：サロン参加期間と生活のリズム（規則正しい生活）の関連》

			サロン参加による生活変化 生活のリズム			合 計
			良くなった	少しは良くなった	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	１５	２３	３１	６９
		%	２１．７%	３３．３%	４４．９%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	１５	２５	４８	８８
		%	１７．０%	２８．４%	５４．５%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	１８	３１	２５	７４
		%	２４．３%	４１．９%	３３．８%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	１８	１６	１８	５２
		%	３４．６%	３０．８%	３４．６%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	９	２７	１４	５０
		%	１８．０%	５４．０%	２８．０%	１００．０%
	５年以上	度数	３３	４５	４２	１２０
		%	２７．５%	３７．５%	３５．０%	１００．０%
合 計		度数	１０８	１６７	１７８	４５３
		%	２３．８%	３６．９%	３９．３%	１００．０%

（３）生きがいになる

《効 果》

サロンでの楽しい交流によって友人を増やし、連帯感を深めることで、サロンはもちろん、地域への参加意欲も高まります。

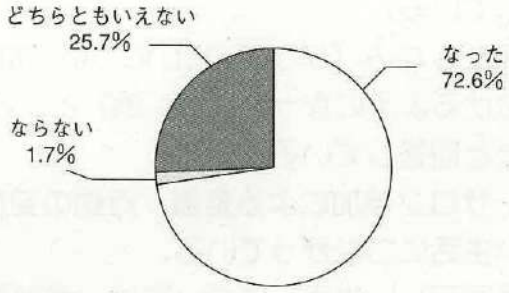
また、サロンのプログラムの中で、参加者の特技や趣味を活かすことで「必要とされる喜び」「役に立つ喜び」が自己実現につながります。

こうした参加意欲の高揚や自己実現によりサロンが生きがいになります。

【グラフ16】

サロン参加による生活変化　サロンが生きがい

（n=478）



サロンが生きがいとなっている参加者【グラフ16】は、全体で72.6%となっている。

この生きがいについても、サロン参加期間との関連を見ると《表６》、これまでの傾向と同様に、参加期間２年以上の参加者から効果が上昇しており、３年以上４年未満の91.1%が最も高い割合（「なった」と「少しはなった」との割合の合計）となっている。

また、担い手から見た参加者の効果としても、サロンが参加者にとっての生きがいにつながっているか質問したアンケート結果【グラフ13】では、「そう思う」(55.0%)、「まあそう思う」(29.5%) と、約85%の担い手が生きがいとなっていると認識している。

《表６：サロン参加期間とサロンが生きがいの関連》

			サロン参加による生活変化 生きがい			合 計
			なった	少しはなった	どちらとも言えない	
サロン参加期間	１年未満	度数	36	2	31	69
		%	52.2%	2.9%	44.9%	100.0%
	１年以上２年未満	度数	50	2	39	91
		%	54.9%	2.2%	42.9%	100.0%
	２年以上３年未満	度数	58	1	17	76
		%	76.3%	1.3%	22.4%	100.0%
	３年以上４年未満	度数	51	0	5	56
		%	91.1%	0.0%	8.9%	100.0%
	４年以上５年未満	度数	44	0	7	51
		%	86.3%	0.0%	13.7%	100.0%
	５年以上	度数	96	2	24	122
		%	78.7%	1.6%	19.7%	100.0%
合 計		度数	335	7	123	465
		%	72.0%	1.5%	26.5%	100.0%

3．社会的な効果

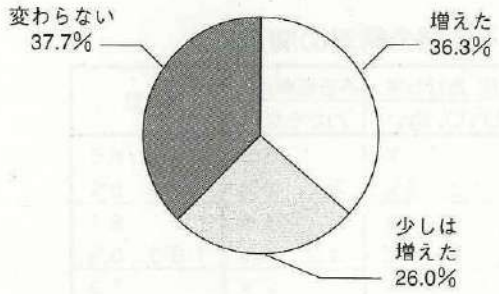
（1）孤立・閉じこもりの防止となる

《効 果》

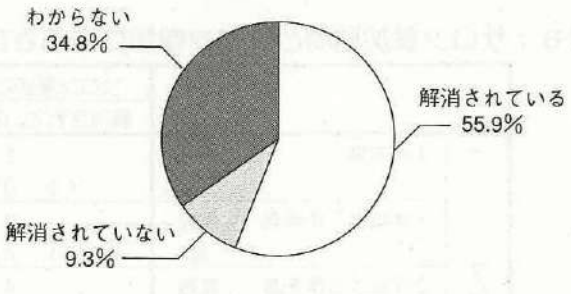
サロンに出かけて、いろいろな人と楽しく交流することによって、孤独感や不安感が軽減されます。また、サロンで友人を増やし、連帯感を深めることで、サロンへの参加意欲はもちろん、参加者同士の日頃の行き来や地域活動への参加意欲も高まります。

このように、サロンは孤立・閉じこもりの防止となります。

【グラフ17】
サロン参加による生活変化　外出
（n=485）



【グラフ18】
サロン参加による生活変化　さびしさ・不安感の解消
（n=451）



サロン参加者の多く（81.0%）は、他の社会活動に参加していることが分かっているが、サロン参加による外出の増加について【グラフ17】、「増えた」（36.3%）、「少しは増えた」（26.0%）と約62%の参加者が増加したと回答している。

また、さびしさ・不安感の解消についても【グラフ 18】、55.9%の参加者が「解消されている」と回答しており、外出と同程度の効果が上がっている。

さらに、担い手から見た参加者の効果としてもサロン参加が閉じこもり・孤立の防止となっているかについて質問したアンケート結果でも【グラフ 13】、「そう思う」（66.9%）、「まあそう思う」（28.5%）と、約95%という高い割合で効果を実感している。

外出の増加、さびしさ・不安感の解消についても参加期間と関連が見られ、これまでと同様に参加期間2年以上から効果が高まっている。

《表７：サロン参加期間とサロン参加による外出の増加の関連》

			サロン参加による生活変化 外出			合 計
			増えた	少しは増えた	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	１１	２２	３４	６７
		%	１６．４%	３２．８%	５０．７%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	２２	２２	４６	９０
		%	２４．４%	２４．４%	５１．１%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	３２	２５	２０	７７
		%	４１．６%	３２．５%	２６．０%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	２２	１２	２２	５６
		%	３９．３%	２１．４%	３９．３%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	２６	１４	１１	５１
		%	５１．０%	２７．５%	２１．６%	１００．０%
	５年以上	度数	５８	２８	４２	１２８
		%	４５．３%	２１．９%	３２．８%	１００．０%
合 計		度数	１７１	１２３	１７５	４６９
		%	３６．５%	２６．２%	３７．３%	１００．０%

《表８：サロン参加期間とサロン参加によるさびしさ・不安感の解消の関連》

			サロン参加による生活変化 さびしさ・不安感解消			合 計
			解消されている	解消されていない	わからない	
サロン参加期間	１年未満	度数	２６	８	３１	６５
		%	４０．０%	１２．３%	４７．３%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	３６	８	４３	８７
		%	４１．４%	９．２%	４９．４%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	４６	４	２３	７３
		%	６３．０%	５．５%	３１．５%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	３５	５	１０	５０
		%	７０．０%	１０．０%	２０．０%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	３０	７	１２	４９
		%	６１．２%	１４．３%	２４．５%	１００．０%
	５年以上	度数	７３	５	３７	１１５
		%	６３．５%	４．３%	３２．２%	１００．０%
合 計		度数	２４６	３７	１５６	４３９
		%	５６．０%	８．４%	３５．５%	１００．０%

（２）仲間づくりの場となる

《効 果》

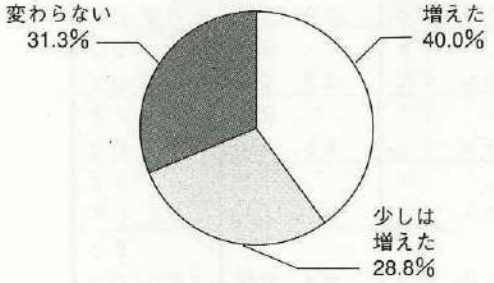
サロンに出かけて、たくさんの仲間たちと出会い、楽しく交流を深めることによって友人関係が広がります。さらに、参加者間での連帯感を深めることや外出の増加により、日常の参加者間での交流や近所づきあいの増加につながります。

このようにサロンの参加が仲間づくりの場となり、交流が広がります。

【グラフ19】

サロン参加による生活変化　友人

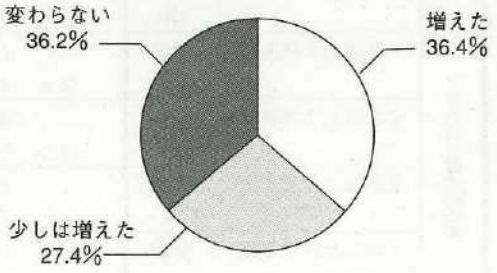
（n=480）



【グラフ20】

サロン参加による生活変化　近所との交流（あいさつや行き来）

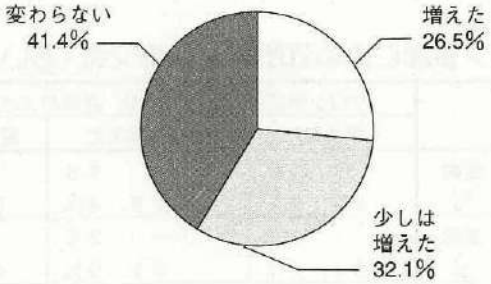
（n=486）



【グラフ21】

サロン参加とのサロン以外の日常の交流

（n=471）



サロン参加による友人の増加【グラフ 19】については、「増えた」（40.0%）、「少しは増えた」（28.8%）と約 70%が増えたと回答しており、サロン参加による仲間づくりが進んでいる。

担い手から見た参加者の効果【グラフ 13】としても、サロンが新しい友達（仲間）づくりにつながっているかについて「そう思う」（55.9%）、「まあそう思う」（27.6%）と、約 83%という高い割合でサロンが仲間づくりの場となっていることを実感している。

サロン参加による近所の人との交流（あいさつや行き来）【グラフ 20】、サロン参加者とのサロン以外の日常交流の増加【グラフ 21】についても、「増えた」（36.4%、26.5%）、「少しは増えた」（27.4%、32.1%）と、それぞれ約 60%前後となっており、サロン参加によって仲間づくりが進み、人間関係や交流が広がっている。

友人の増加《表 9》、近所の人との交流の増加《表 10》、サロン参加者とのサロン以外の日常交流の増加《表 11》についても参加期間と関連性があり、傾向どおり 2 年以上の参加から効果（「増えた」と「少しは増えた」との割合の合計）の割合が高くなっている。

《表９：サロン参加期間とサロン参加による友人の増加の関連》

			サロン参加による生活変化 友人			合 計
			増えた	少しは増えた	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	１４	１３	３９	６６
		%	２１．２%	１９．７%	５９．１%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	２２	３３	３５	９０
		%	２４．４%	３６．７%	３８．９%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	３２	２７	２０	７９
		%	４０．５%	３４．２%	２５．３%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	２７	１７	１２	５６
		%	４８．２%	３０．４%	２１．４%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	２８	１０	１２	５０
		%	５６．０%	２０．０%	２４．０%	１００．０%
	５年以上	度数	６４	３４	２８	１２６
		%	５０．８%	２７．０%	２２．２%	１００．０%
合 計		度数	１８７	１３４	１４６	４６７
		%	４０．０%	２８．７%	３１．３%	１００．０%

《表 10：サロン参加期間とサロン参加による近所の人との交流（あいさつや行き来）の増加の関連》

			サロン参加による生活変化 近所の人との交流			合 計
			増えた	少しは増えた	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	１６	１８	３７	７１
		%	２２．５%	２５．４%	５２．１%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	２２	２９	４０	９１
		%	２４．２%	３１．９%	４４．０%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	２９	２５	２５	７９
		%	３６．７%	３１．６%	３１．６%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	３１	１５	９	５５
		%	５６．４%	２７．３%	１６．４%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	２２	１０	１７	４９
		%	４４．９%	２０．４%	３４．７%	１００．０%
	５年以上	度数	５１	３４	４０	１２５
		%	４０．８%	２７．２%	３２．０%	１００．０%
合 計		度数	１７１	１３１	１６８	４７０
		%	３６．４%	２７．９%	３５．７%	１００．０%

《表 11：サロン参加期間とサロン参加によるサロン参加者とのサロン以外での交流の増加の関連》

			サロン参加による生活変化 サロン参加者日常交流			合 計
			増えた	少しは増えた	変わらない	
サロン参加期間	１年未満	度数	１３	１４	３９	６６
		%	１９．７%	２１．２%	５９．１%	１００．０%
	１年以上２年未満	度数	１３	２９	４９	９１
		%	１４．３%	３１．９%	５３．８%	１００．０%
	２年以上３年未満	度数	２２	３１	１９	７２
		%	３０．６%	４３．１%	２６．４%	１００．０%
	３年以上４年未満	度数	１３	２１	１７	５１
		%	２５．５%	４１．２%	３３．３%	１００．０%
	４年以上５年未満	度数	１７	１７	１８	５２
		%	３２．７%	３２．７%	３４．６%	１００．０%
	５年以上	度数	４１	３７	４７	１２５
		%	３２．８%	２９．６%	３７．６%	１００．０%
合 計		度数	１１９	１４９	１８９	４５７
		%	２６．０%	３２．６%	４１．４%	１００．０%

（3）情報交換・情報提供の場となり生活に役立つ

《効 果》

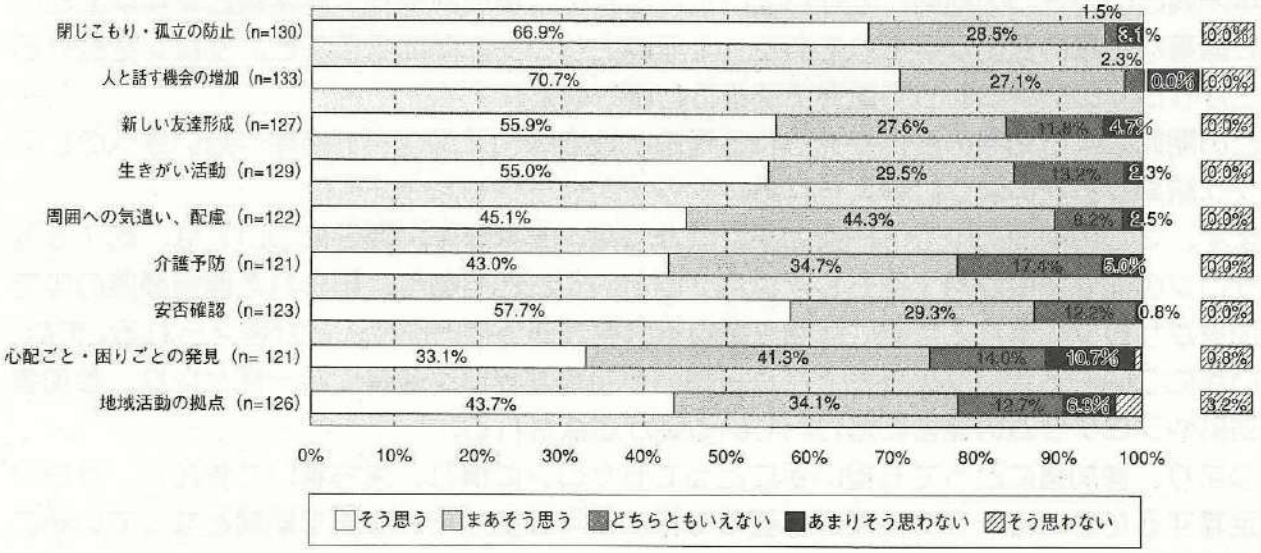
サロンでは、楽しく和やかな雰囲気の中で会話がはずんでいます。食事のこと、体調や通院のこと、地域での出来事…など、そんな何気ない会話も参加者にとって、貴重な情報となっています。

また、サロンで提供されたさまざまな情報は、参加者の人間関係の広がりとともに、口コミによる広がりが期待できます。

このようにサロンは、情報交換・情報提供の場となり、その情報は日常生活にも活かされています。

【グラフ13（再掲）】

担い手から見たサロン参加による参加者にとっての効果



担い手から見た参加者の効果について、人と話す機会の増加につながっているかについて質問したアンケート結果【グラフ13】では、「そう思う」(70.7%)、「まあそう思う」(27.1%)と、ほとんどの担い手がサロン参加による参加者の話す機会の増加を普段のサロンの様子から実感している。

日頃の昼間、サロン参加者のほとんどが一人のみ(50.0%)、もしくは、夫婦のみ(32.0%)で過ごしていることを考えると、サロンへの参加が参加者にとって多くの人と交流し、情報交換する機会であり、また、参加者同士や地域の様子について知る機会となっている。

さらに、サロンは仲間づくりの場、外出の機会となっていることから参加者への情報提供が口コミによって、身近な地域へ広がることが期待できる。

こうしたことから、サロンが、参加者にとっては身近な生活について情報交換する場であり、担い手やサロンにかかわる福祉関係者にとっては、貴重な情報提供の場となっていることがわかる。

4．参加期間による効果の変化

《効 果》

参加者にとってのサロンの効果は、サロン参加期間により効果の高さに変化が見られ、参加期間２年以上で効果がさらに上昇しています。

参加者にとっては２年以上サロンに参加すること、担い手にとってはまず２年間を目標にサロンを続けること、市町社協・地区社協にとっては２年未満のサロンをとくに注意深く支援を行うことが必要です。

参加者にとっての効果では、ほとんどの効果において参加者のサロン参加期間との関連性が見られ、参加期間により効果の高さに変化が見られた。

効果の高さに変化が見られた期間は、効果の高い順に、２年以上５年未満、５年以上、２年未満という３つの期間に分かれていた。とくに、参加期間が２年未満と２年以上との間に顕著な効果の変化が見られており、２年以上サロンに参加すること、サロンを続けることがサロンの効果にとって重要であることがわかる。

この期間による効果の変化が見られる理由としては、アンケート結果や担い手へのヒアリング結果から次のように考えられる。

まず、３つの期間の中では一番効果が低かった、２年未満の期間については、約７５％のサロンの開催頻度が月１回もしくは月２回ということもあり、限られた開催頻度の中で参加者がサロンに慣れるまでに回数を重ねる必要があったということが考えられる。また、担い手についてもサロンの立ち上げから担い手自身がサロン運営に精一杯となり、参加者の対応やプログラムの運営に追われている姿が想像される。

つまり、参加者にとっても担い手にとってもサロンに慣れ、落ち着いて参加し、サロンが定着するためには一定の期間が必要であり、２年程度がその必要な期間となっていることが考えられる。

つぎに、５年以上の期間が２番目となっているのは、サロン参加者の８０％以上が７０歳以上であり、平均年齢が７５．６歳であることから考えると、加齢による体力や身体能力の衰え等が効果に影響していることが考えられる。

しかしながら、参加者が５年以上継続的にサロンに参加できていること、そして、７０％以上の参加者がサロンの効果を実感していることは見逃せない。

こうしたことから、２年以上５年未満の期間がもっとも高い効果をあげているという結果は、サロンが定着し、参加者も担い手も自分たちのペースで落ち着いてサロンに参加できている時期にあたっていることが考えられる。

第２章　地域にとっての「ふれあい・いきいきサロン」の効果

「ふれあい・いきいきサロン」が実施されている地域にとっての「ふれあい・いきいきサロン」実施による効果としては、次のものがあげられる。

＊ 多世代交流・地域交流の拠点となる。
＊ 生活上の心配ごと・困りごとの発見・把握の場となる。
＊ 地域の福祉力を高める。

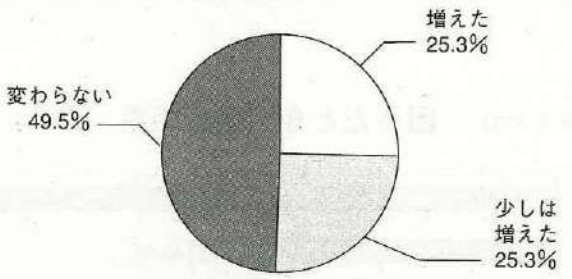
次にそれぞれの効果について記述していく。

（１）多世代交流・地域交流の拠点となる

《効 果》
普段から、または、プログラムを通じてサロンに子どもから高齢者の方まで幅広い年齢層の住民が参加することによって、多世代でふれあい、学び合う場となり、地域での交流が広がります。

【グラフ22】
サロン参加による生活変化　幅広い年齢層との交流

（n=455）



幅広い年代との交流【グラフ 22】については、「増えた」、「少しは増えた」ともに 25.3%となっており、約半数のサロンにおいて幅広い世代での交流が増加している。

担い手対象のアンケートにおいてもサロンが地域活動の拠点になっていることについて質問したアンケート結果【グラフ 13】では、「そう思う」(43.7%)、「まあそう思う」(34.1%)と約 80%がサロンの展開により地域活動が活発になった認識を持っている。

このことは、サロンが住民に様子が見えやすく、わかりやすい活動であり、また、気軽に、無理なく、楽しく参加できる活動であることによって、幅広い世代や地域での交流につながっていることが考えられる。

この項目においても、効果と参加期間の関連があり《表 12》、わずかではあるが、これまでの傾向どおり、参加期間２年以上から効果が上昇している。

《表 12：サロン参加期間とサロン参加による幅広い年齢層との交流の増加の関連》

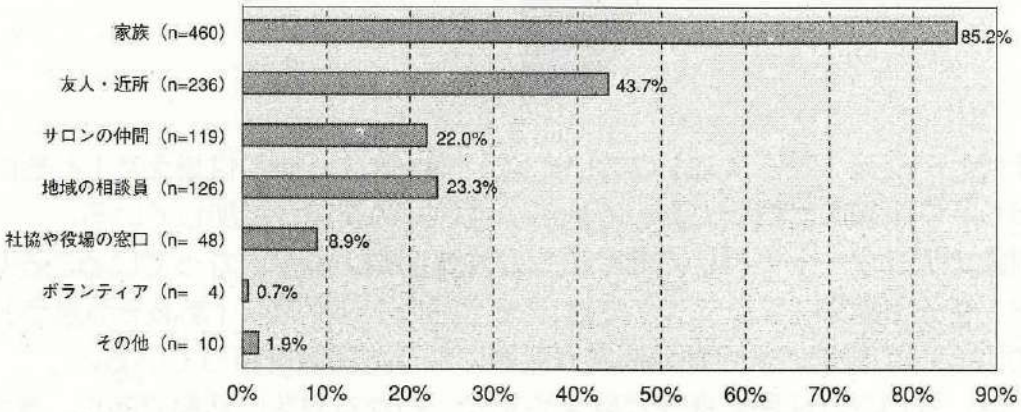
			サロン参加による生活変化 幅広い年齢層との交流			合 計
			増えた	少しは増えた	変わらない	
サロン参加期間	1年未満	度数	12	16	36	64
		%	18.8%	25.0%	56.3%	100.0%
	1年以上2年未満	度数	11	25	51	87
		%	12.6%	28.7%	58.6%	100.0%
	2年以上3年未満	度数	20	20	30	70
		%	28.6%	28.6%	42.9%	100.0%
	3年以上4年未満	度数	18	19	17	54
		%	33.3%	35.2%	31.5%	100.0%
	4年以上5年未満	度数	13	11	24	48
		%	27.1%	22.9%	50.0%	100.0%
	5年以上	度数	38	23	58	119
		%	31.9%	19.3%	48.7%	100.0%
合 計		度数	112	114	216	442
		%	25.3%	25.8%	48.9%	100.0%

（2）生活上の心配ごと・困りごとの発見・把握の場となる

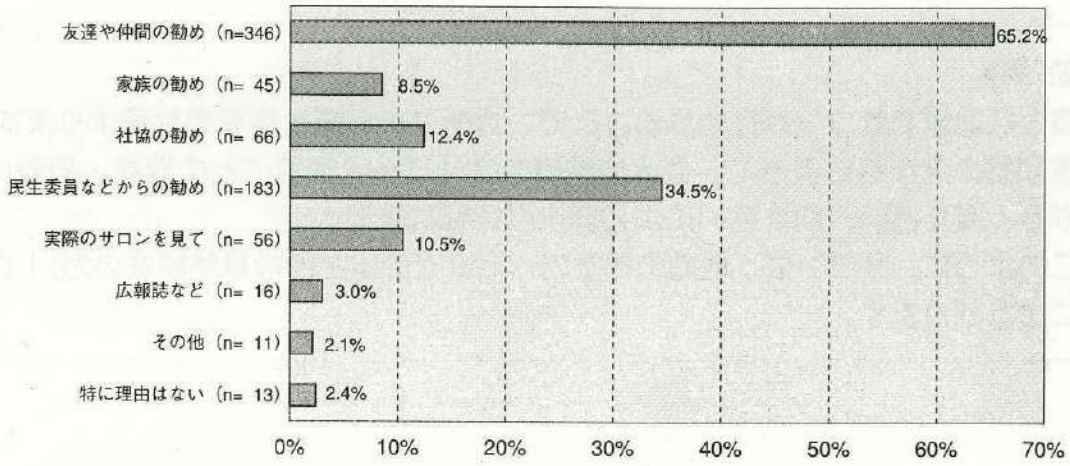
《効 果》

サロン参加の呼びかけやサロンでの交流を通して、心配ごとや困りごとを発見・把握することができます。さらに、困りごとを話し合ったり、悩みを相談しあったりすることにより、参加者間や担い手との支え合いにつながります。

【グラフ23】 困ったときの相談相手



【グラフ24】　サロンへの参加のきっかけ



まず、担い手を対象にしたアンケート結果では、サロンが参加者の心配ごと・困りごとの発見につながっているかについて【グラフ 13】、「そう思う」（33.1%）、「まあそう思う」（41.3%）と、約 75%の担い手が参加者の心配ごと・困りごとの把握にサロンが役立っていると回答している。

つぎに、参加者に困った時の相談相手についてたずねたアンケート結果【グラフ 23】は、家族（85.2%）、友人・近所の人（43.7%）に続き、民生委員・児童委員、福祉員、自治会長などの地域の相談員（23.3%）、サロンの仲間（22.0%）となっている。

また、参加者のサロン参加のきっかけ【グラフ 24】は、サロンのある近所の友達や仲間のすすめ（65.2%）、民生委員などからの勧め（34.5%）が高い割合の順となっている。

なお、民生委員などの地域の相談員については、アンケート結果からその多くがサロンの担い手や関係者となっていることがわかっている。

これらの結果から分かるサロン参加者の様子としては、サロンの参加者でもある近所の友達・仲間や、サロンの担い手（関係者）となっている民生委員などの地域の相談員から誘われてサロンに参加し、交流、関係を深めている。

その結果、困ったときの相談相手としても、標準的な結果である家族に続いて、友人・近所の人、地域の相談員、サロンの仲間となっており、サロン参加者同士、担い手が相談相手、支え合いの相手となっていることがわかる。

（3）地域の福祉力を高める

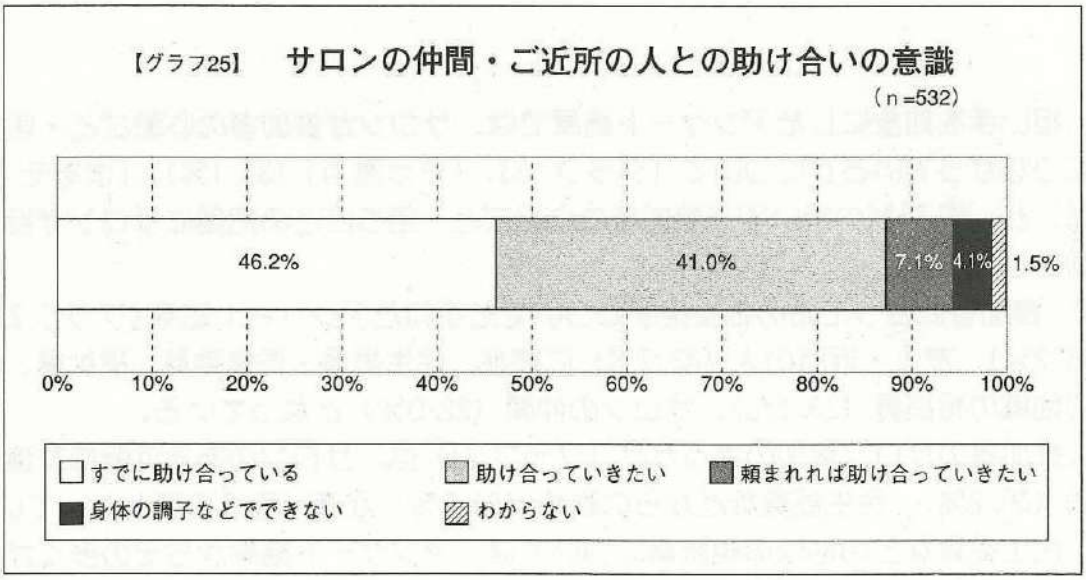
《効 果》

身近な地域でサロンが行われることで、近所での交流と信頼感が深まります。

信頼感の深まりによって、個人や地域の心配ごと・困りごとの発見・把握につながり、支え合い、助け合いによる解決が行われます。

このように、サロンは「地域の福祉力（地域での自主的な課題解決の力）」の向上につながります。

【グラフ25】　サロンの仲間・ご近所の人との助け合いの意識



これまでの効果から分かるとおり、身近な地域でサロンが行われることで、交流の広がり、心配ごと・困りごとの発見・把握につながっている。

さらに、こうした信頼感の深まりをベースとして、心配ごと・困りごとの解決が支え合い、助け合いによって行われている。

まず、参加者対象アンケートにおいて、サロンの仲間・近所の人との助け合いの意識について質問した結果【グラフ 25】は、すでに助け合っている（46.2%）、助け合っていきたい（41.0%）と約 87%が助け合いについて、すでに実践、あるいは理解を示しており、助け合いの意識醸成につながっている。

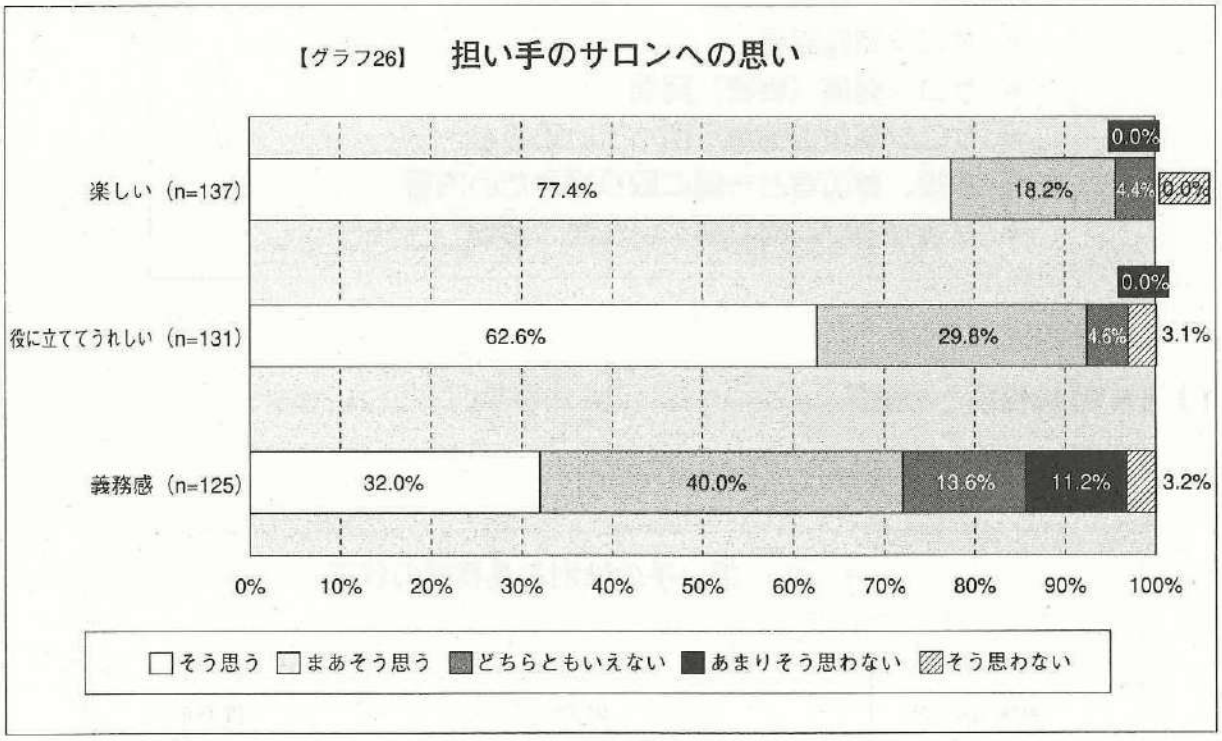
また、担い手対象のアンケートにおいても、サロン参加や参加を促す声かけなどの活動が安否確認につながっていると約 88%（「そう思う」57.7%、「まあそう思う」29.3%）が回答している【グラフ 13】。

さらに、サロンの実践事例では、台風襲来時のサロン参加者間による安全確認の連絡が行われており、サロンが具体的、日常的な支え合い活動につながっている。

第３章　担い手にとっての「ふれあい・いきいきサロン」
～ 担い手支援の必要性 ～

１．アンケート結果から見える担い手の姿

担い手のサロンに対しての思いについて質問した回答結果は、次の【グラフ 26】のとおりとなっている。



まず、「サロンにかかわれて楽しいか」については、「そう思う」（77.4%）、「まあそう思う」（18.2%）となっている。

次の「サロンに参加して地域や社会の役に立ててうれしいか」については、「そう思う」（62.6%）、「まあそう思う」（29.8%）となっており、90%を超える担い手がサロンにかかわって楽しい、地域や社会の役に立ててうれしいと回答している。

その一方で、「サロンをやらなければいけないという義務感」については、「そう思う」（32.0%）、「まあそう思う」（40.0%）となっており、サロンの運営について何らかの義務感を感じている担い手が 70%を超えている。

この結果からは、サロンの企画・運営や参加者の確保に悩みを感じ、悩みを重ねるごとに義務感を感じるものの、いざサロンを開催して参加者が楽しまれている姿を見ると、自分自身も楽しいし、役に立ててうれしいという、悩ましいけれど、楽しさも達成感もあるといった担い手の複雑な状況が浮かび上がってくる。

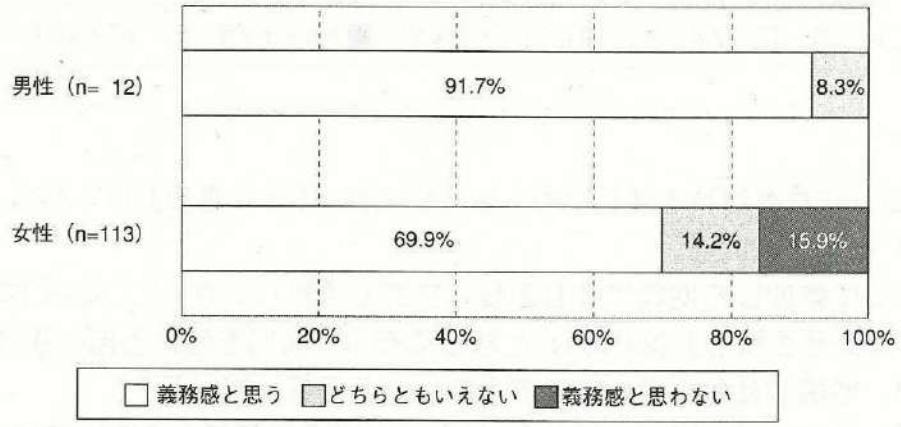
2．担い手の抱える義務感、負担感

今後の担い手支援について検討するため、担い手の抱える義務感、負担感と次の項目との関係について分析を行った。なお、本分析は、米澤美保子氏（山口県立大学大学院健康福祉学研究科）によってまとめられたものを再編集したものである。

【分析項目】
* 担い手の性別
* 担い手の年齢
* サロン開催頻度
* サロン開催（継続）期間
* サロン運営の悩み・困っていること
* 今後、参加者と一緒に取り組みたい内容
* 今後サロンにあればよいと思う活動

（1）担い手の性別との関係

【グラフ27】　担い手の性別と義務感の状況

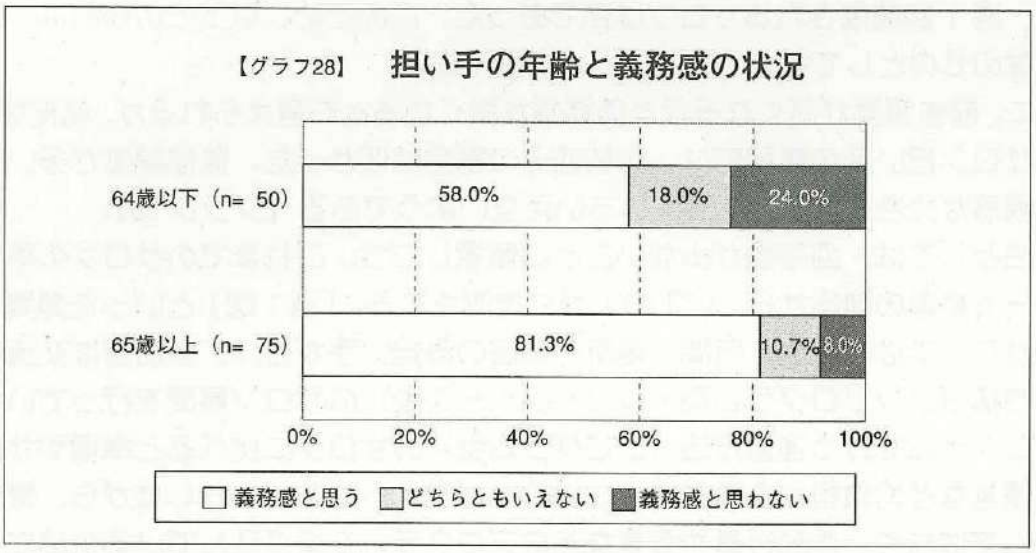


以下では、担い手の感じている義務感の程度を、「義務感と思う」（「そう思う」と「まあそう思う」との割合の合計）、「どちらでもない」、「義務感と思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」との割合の合計）といった3区分に整理して検討する。

まず、性別についてみると、サロン担い手の約90%が女性であり男性の人数が少ないことを考慮する必要があるが、【グラフ27】のとおり男性では90%を超える方が義務感を感じている。

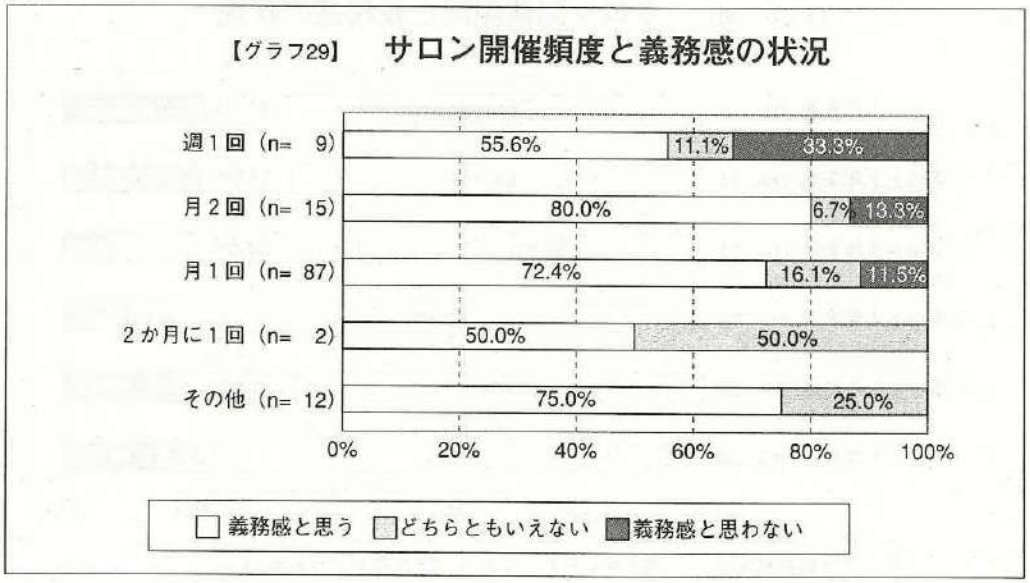
女性は【グラフ26】、全体の傾向と同様に約70%が義務感を感じている。

（2）担い手の年齢との関係



担い手の平均年齢は、66.5 歳であるが、65 歳以上の担い手では、義務感が 80%を超えている。加齢による体力の衰え、担い手をする期間が長くなるにつれて感じがちなマンネリ感などによって義務感が高まっていることがうかがえる。

（3）サロン開催頻度との関係



サロン開催頻度については、本アンケートでは 87%、県内全体でも約 74%のサロンが月1回以上の開催頻度となっており、これまでにあげた顔見知りになり日常の交流につながる、日常生活の中での意識変化につながるなどのサロンの効果をよりよく実現していくた

めには、やはり月１回以上の開催頻度の確保が必要であると考えられる。

もちろん、高頻度でサロンが開催されれば、こうした効果はある程度高まることは予想されるが、週１回開催されるサロンは希であった。このため、以下での検討は、あくまでも参考程度のものとして考えておくことが必要である。

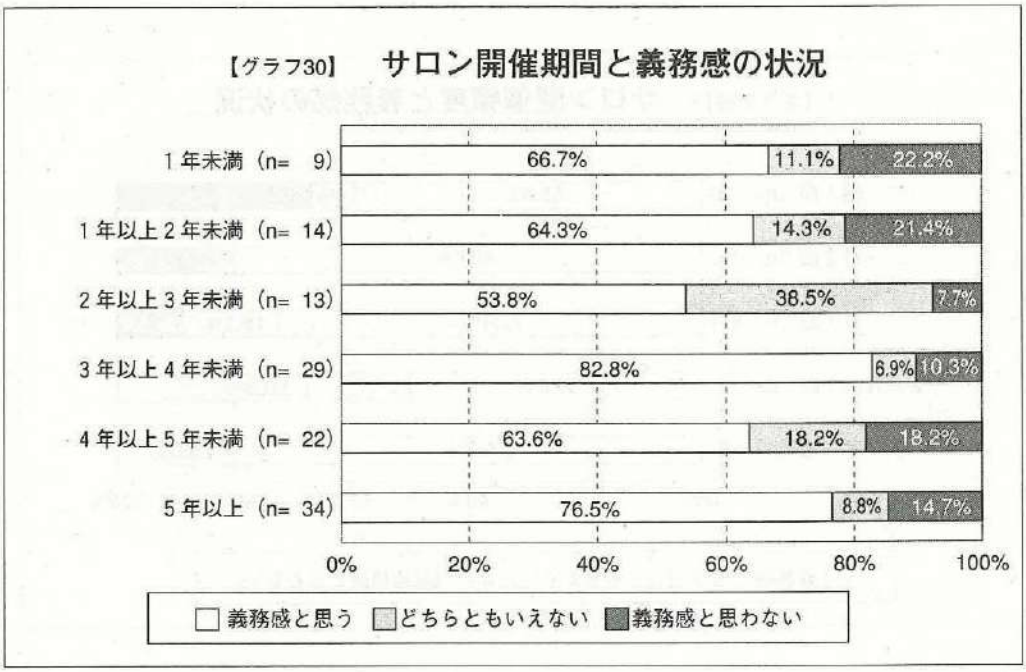
一般的に、開催頻度が高くなるほど義務感が強くなるとも考えられるが、開催頻度が「週１回」のサロン担い手の義務感は、比較的その割合は低かった。開催頻度が多いほど、担い手の義務感が大きくなるとは必ずしもいえないようである【グラフ29】。

この理由としては、回答数が少ないことに留意しつつ、これまでのサロンの事例収集や本アンケート結果の傾向から、以下のように推測される。「週１回」といった頻繁に開催されているサロンでは、会場、時間、場所の設定のみ担い手が行い、参加者は交流を自由に行う運営方法（ノンプログラム型・フリースペース型）のサロン展開を行っている傾向があり、プログラムを行う運営方法（プログラム型）のサロンに比べると準備やサロン当日の進行・運営などの負担が全般的に少ないことが考えられる。しかしながら、常時、ノンプログラムではなく、季節行事や会食などのプログラムを盛り込んでいるために、一定程度の義務感が感じられているのではなかろうか。

こうした傾向や結果からは、担い手の負担軽減と効果促進に留意すべき条件として、月１回以上の開催頻度を確保できるような運営方法（ノンプログラムによるサロン運営）の検討及びプログラム等の支援体制の整備を図ることが必要であると考えられる。

（４）サロン開催（継続）期間との関係

【グラフ30】　サロン開催期間と義務感の状況



サロンの開催（継続）期間と担い手の義務感との間において、開催（継続）期間が短いほど（立ち上げ間もない１年未満が最も）義務感が高くなるといった傾向は見られなかったが、アンケート結果とこれまでのサロンの事例から考えられる傾向は、次のように推測

される。なお、ここでいう開催（継続）期間は、あるサロンの立ち上げから現在にいたる活動年数であり、本アンケートに回答した担い手が、活動に参加している期間を意味しているわけではない。つまり、仮に開催（継続）期間が５年以上であったとしても、回答した担い手が、５年以上参加しているとは限らないということである。

まず、義務感が最も低い割合となっているのは、「２年以上３年未満」の期間であるが、この期間は参加者の効果が上昇する期間と重なり、参加者、担い手ともに自分たちのペースでサロン運営ができるようになった時期であることが考えられる。

また、この期間では「どちらでもない」の割合が 38.5%とすべての期間の中でもっとも高くなっていると同時に、「義務感と思わない」は約 8%であり、すべての期間の中で回答した割合が低くなっている。このことからは、自分たちのペースでサロンが運営できてきて落ち着いてきた（義務感は少し軽減された）けれども、もう少しスムーズに運営したい、もっとサロンの内容を深めていきたい（義務感まではいかないけれどもよりよいサロンにしていきたいという使命感）といった担い手の意識をうかがうことができる。

こうした意識が強くなった（使命感が義務感となった）のか、「３年以上４年未満」の期間となると、「２年以上３年未満」と比べ、約 30%近く「義務感と思う」の割合が上昇し、82.8%に上っている。このことは、サロンは自分たちのペースで運営できるようになったものの、同時に、参加者をはじめとしたサロン全体のこと、そして地域のことが見えるようになってきて、サロンの悩み・困りごとにもあがっている「活動内容（プログラム）の充実」、「新しい参加者の確保（地域の中で誘っても出席されない方がいる）」、「活動資金の確保」など、様々な課題を担い手として感じるようになり、あれもしなければならない、これもしなければならないという様子がうかがえる。

このような課題に、１つひとつ対応していくことによるものか、「４年以上５年未満」では、約 20%義務感が低くなっている。しかし、「５年以上」では、年齢による義務感の上昇とも関連し義務感が上昇しており、継続的なサロン運営に向けて次の中心的な担い手養成や確保が大きな課題として浮かび上がっているようである。

最後に、「義務感とは思わない」という回答はすべての期間において割合としてはわずかなものの、「１年未満」、「１年以上２年未満」の期間は、約 20%前後となっている。サロン発足の経緯にもあるように「交流の場」、「閉じこもり・孤立を防止する機会」、「生きがい活動の場」となるように目的を持ってサロンを立ち上げ、負担を感じつつも前向きにサロンの定着に邁進する担い手の様子をうかがうことができる。

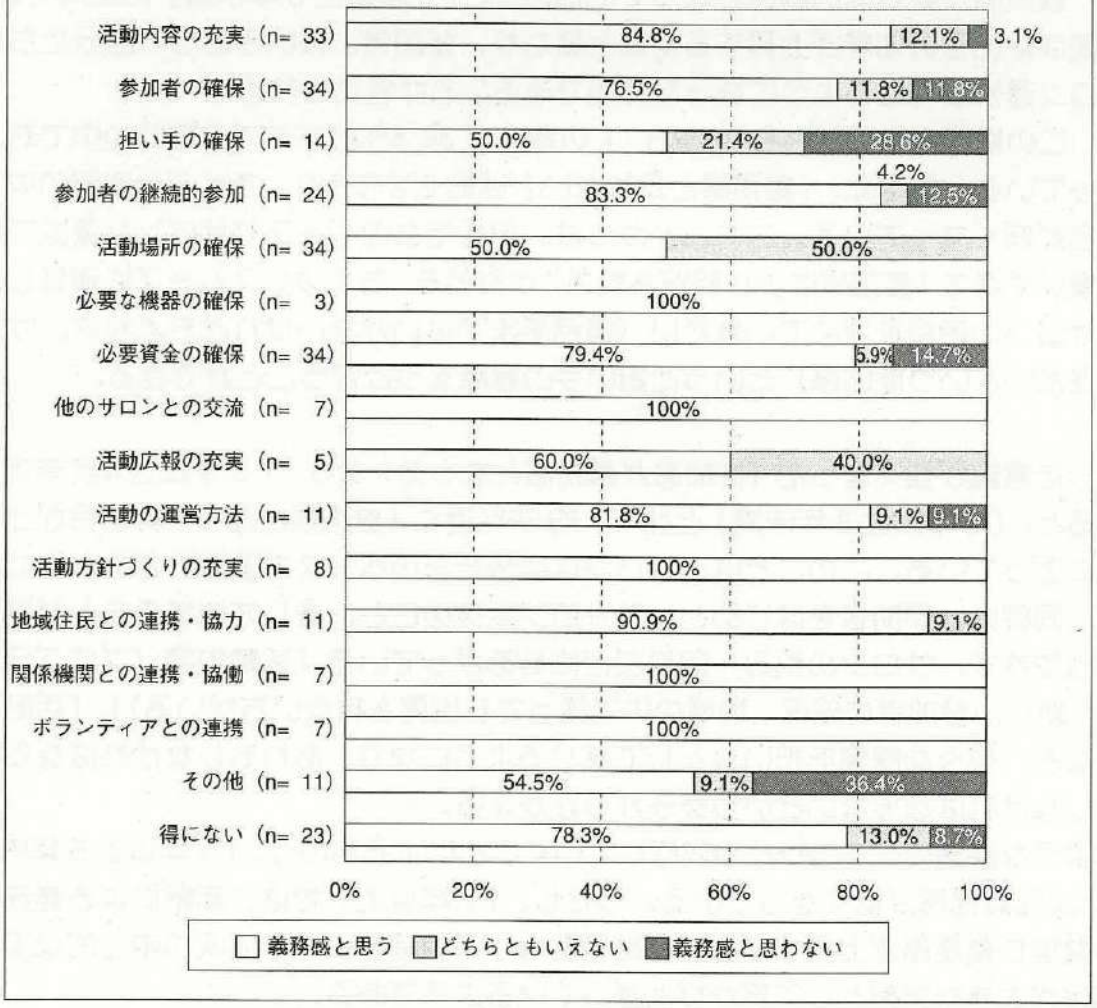
このような担い手の義務感についての背景分析及びこれまでのサロンの効果分析から、開催（継続）期間により担い手支援に留意すべき条件としては、担い手の義務感がとくに高くなっている立ち上げから３年以上の期間での担い手支援を検討することが必要である。

また、開催（継続）期間別の悩み・困りごと及び期間に関係がないと考えられる悩み・困りごとを明らかにし、これらを考慮した支援策を検討することが必要である。

なお、開催（継続）期間別の課題については、第４章で分析を行う。

（5）サロン運営の悩み・困っていることとの関係

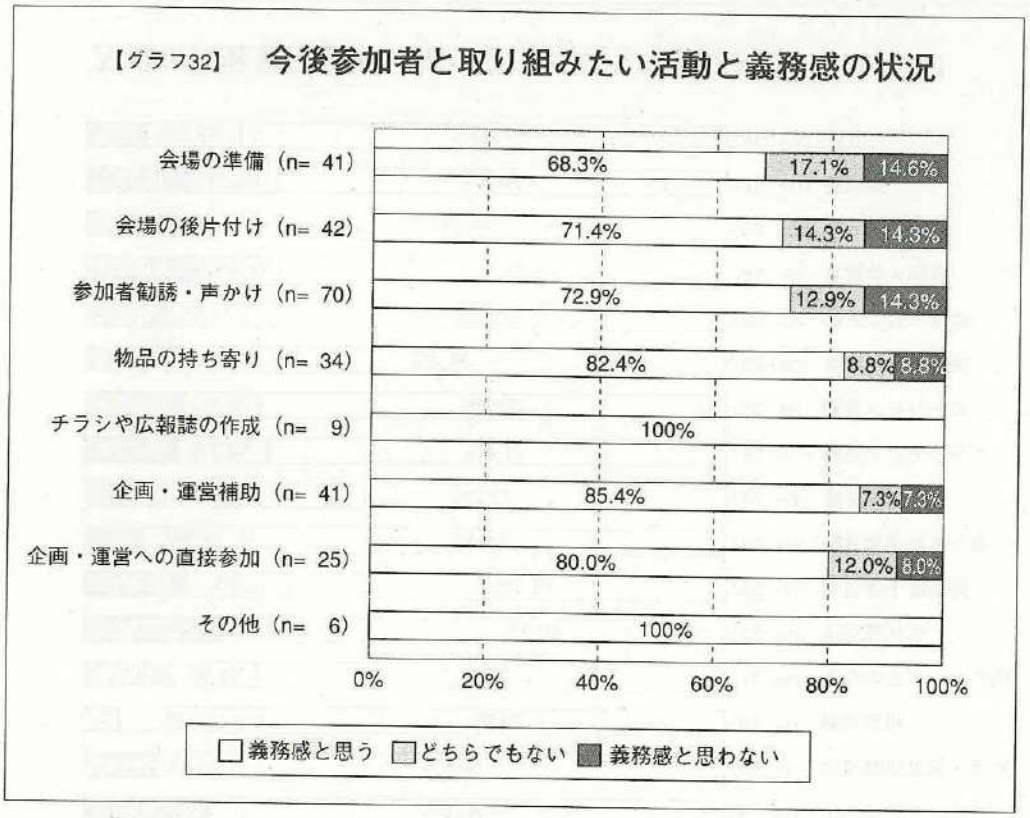
【グラフ31】　担い手の悩み・困りごとと義務感の状況



「活動場所の確保」について困っているとした者のなかで、義務感と思うと回答した者は認められなかった。このことは、季節行事を除いていつも同じ場所でサロンが開催されていることから担い手にとって、義務感を感じられていないことを推測させる。

（6）今後、参加者と一緒に取り組みたい内容との関係

【グラフ32】　今後参加者と取り組みたい活動と義務感の状況

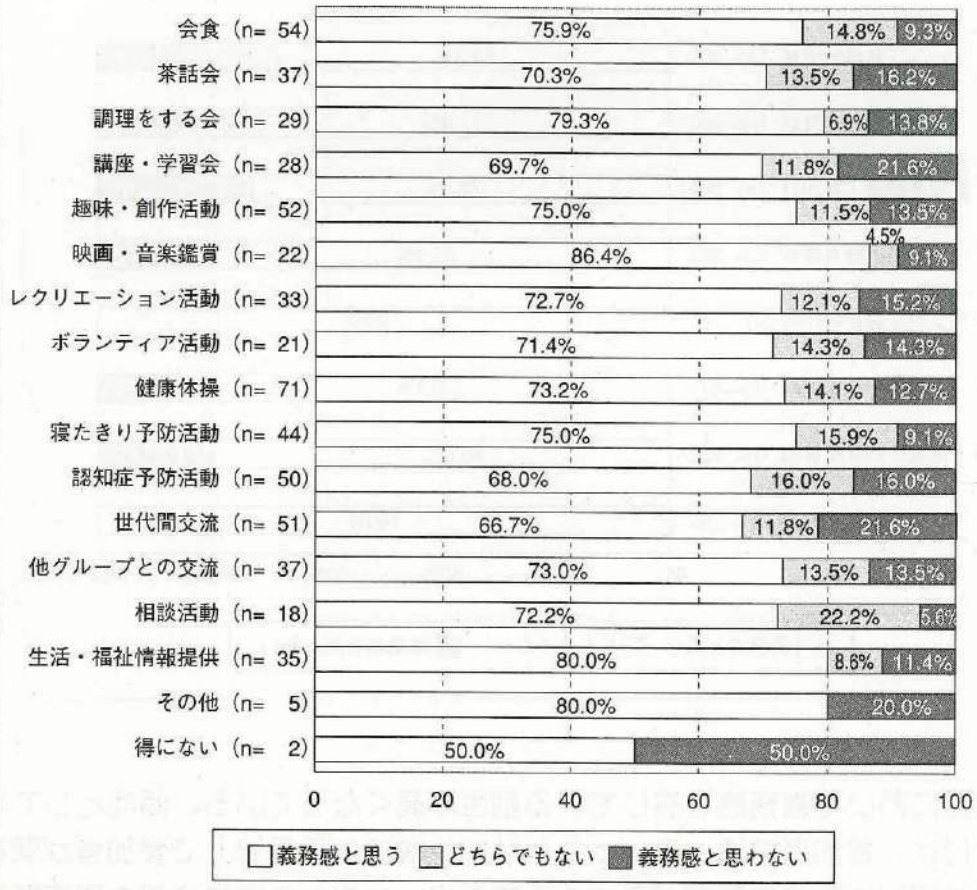


すべての項目において義務感を感じている割合が高くなっている。傾向としては、会場の準備、後片付け、参加者勧誘・声かけなどサロン参加の延長線上で参加者が関わりやすい内容は、他の項目に比べ義務感が低くなっており、サロンの運営全般に直接関与していく項目ほど高い割合となっている。

しかしながら、先にあげた参加者のサロンの仲間・近所の人との助け合いの意識について質問した結果では、すでに助け合っている（46.2%）、助け合っていきたい（41.0%）と約87%が助け合いについて、すでに実践、あるいは理解を示していることから、会場の準備、後片付け、参加者勧誘・声かけなど参加者同士で関わりやすい内容については、参加者と担い手とが協力して運営できるものと考えられる。

（7）今後サロンにあればよいと思う活動との関係

【グラフ33】　今後の望ましいプログラム・内容と義務感の状況



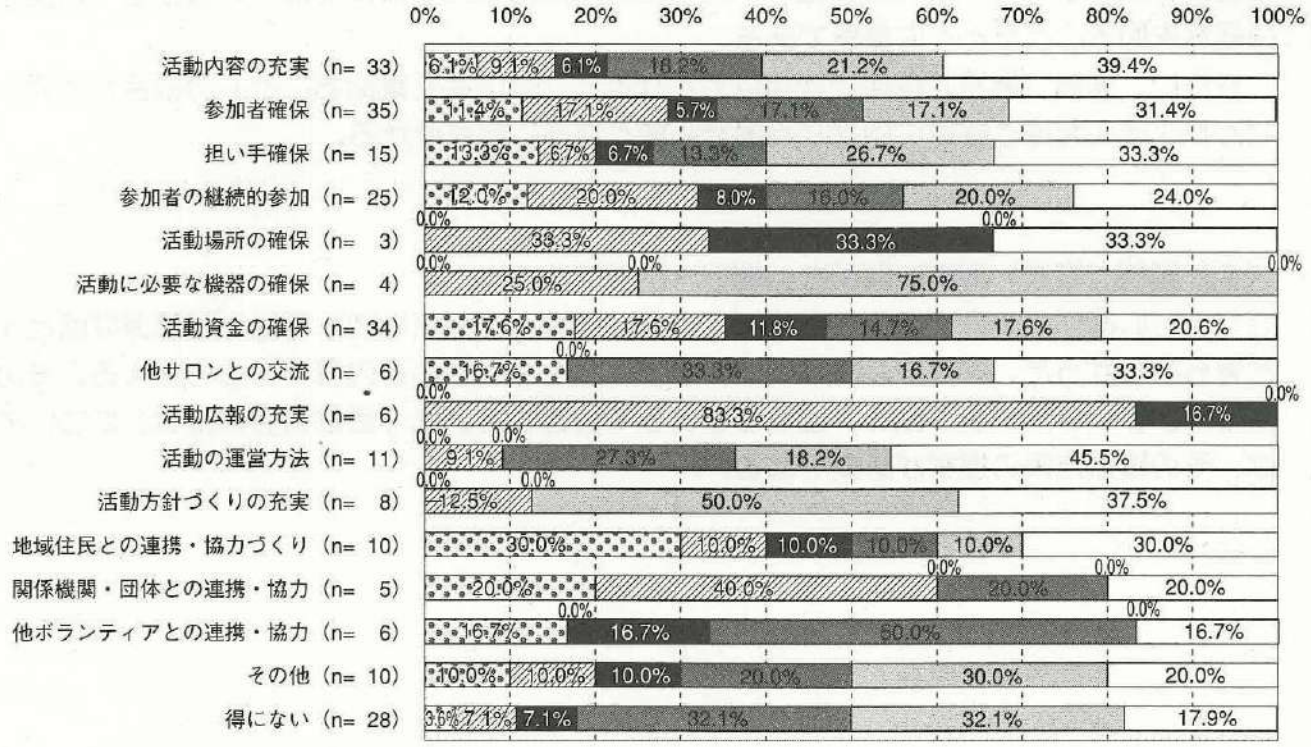
【グラフ33】は、担い手の考える今後の望ましいプログラム・内容と義務感の関連であるが、「特にない」を除いた項目で義務感が 66%～86%と高い割合となっている。なかでも「映画・音楽鑑賞」、「生活・福祉に関する情報提供」の割合が高くなっている。傾向としては、参加者の嗜好を判断すること、準備が必要なもの、専門的な経験・知識が必要なものについては義務感が高くなっており、すでにある制度・事業、行事を活用するもの、専門家・社協職員にお願いできるものは、わずかではあるが義務感の感じ方に差が出ている。

こうした義務感につながる課題に対応した担い手支援としては、「情報提供」、「情報交換・交流の場づくり」、「専門家や他の団体との連携・協働のコーディネート」、「担い手のスキルアップの場づくり」が必要である。

3．開催（継続）期間別の担い手の悩み・困りごとの傾向

担い手への支援策を検討するにあたり、サロンの開催（継続）期間別の担い手の抱える悩み・困りごととの関係について分析を行った。

【グラフ34】　担い手の悩み・困りごとサロン開催（継続）期間の状況



【グラフ34】は、サロン代表者（中心的な担い手１名）が回答したサロン開催（継続）期間と担い手（サロンの運営・企画にかかわる方全般）が回答したサロンでの悩み・困りごととの関連を示したものである。

ここでいう開催（継続）期間とは、回答した担い手がサロンに関わっている期間ではなく、サロンが立ち上がってからの期間であることに注意が必要ではあるが、継続的なサロン開催には一定の担い手の継続的な関わりが必要であること、また、これまでの事例からも担い手は継続的にサロン運営に関わっていることが多いことを考慮しつつ、開催（継続）期間を担い手の関わっている期間と見なし、サロンの悩み・困りごととの関連を確認することとした。

（1）開催（継続）期間に関係する悩み・困りごと

開催（継続）期間に関係する担い手の悩み・困りごととしては、「活動内容・プログラムの充実」、「活動の運営方法」、「参加者の確保」、「参加者の継続的な参加」であった。これらの項目は、活動期間が３年以上のサロンにおいて悩み・困りごととなっている割合が高いことがわかる。

この３年以上という活動期間は、前章で確認した担い手の義務感、負担感がとくに高くになっている期間とも重なっていることから、活動期間が３年を迎える、あるいは、迎えた担い手に対しては、これらの悩み・困りごとに対応した支援策を取り、義務感・負担感の軽減を図ることがとくに重要である。

さらに、開催（継続）期間が４年以上となると「担い手を集めること」の割合が上昇しており、その発掘と確保に向けた支援が必要となることが分かる。

（2）開催（継続）期間に関係ない悩み・困りごと

（1）にあげた以外の悩み・困りごとについては、開催（継続）期間との関係はほとんど見られなかった。つまり、いつも担い手が悩み、困っている内容であると言える。その中でも、多くの担い手が悩み・困りごととして回答していた「活動資金の確保」については、その確保方策の提案が必要である。

第４章　今後の支援方策・展望

１．開催（継続）期間別による担い手支援方策

（１）開催（継続）期間２年未満のサロン担い手にとくに必要な支援

すでに、第１章において示しているが、参加者にとってのサロンの効果は参加期間により変化が見られ、２年未満の参加では効果が低く、２年以上参加している参加者から効果の上昇が見られている。

この背景としては、約75%のサロンの開催頻度が月１回もしくは月２回ということもあり、限られた開催頻度の中で参加者がサロンに慣れるまでに回数を重ねる必要があり、また、担い手についてもサロンの立ち上げから担い手自身がサロン運営に精一杯となり、参加者の対応やプログラムの運営に追われている姿が想像される。

つまり、サロン運営が定着、安定していくためには、２年間という期間が必要と考えられる。さらに、この立ち上げ後２年間は、担い手は運営全般について「どうしたらいいのか？」、「これでいいのか？」という不安や悩みを抱えている傾向が強いので、これまでの実践事例や担い手同士の交流の場づくりによる情報提供による支援や職員のサロンへの参加や派遣による担い手の思いを受け止める機会をつくることがとくに必要である。

（２）開催（継続）期間２年以上のサロン担い手にとくに必要な支援

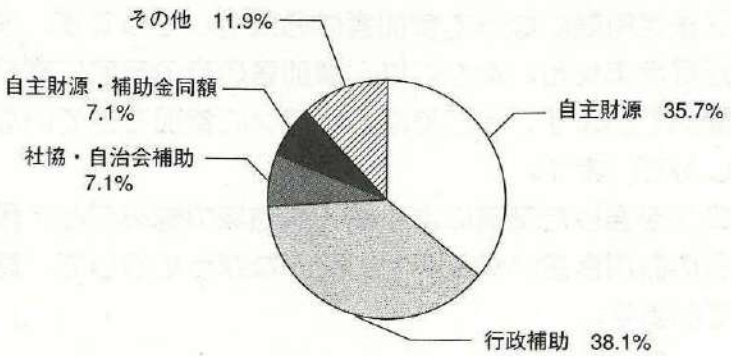
担い手の義務感・負担感がとくに高くなるのは、活動期間３年以上のサロンに関わる担い手であったが、その負担を少しでも軽減するために、サロン運営が定着、安定してきている活動期間２年以上のサロンに関わる担い手から支援を進めることが重要である。

支援の内容としては、第３章にあげている活動期間と関連があり、活動期間３年以上のサロンに関わる担い手がとくに悩み、困っている内容である「活動内容・プログラムの充実」及び「活動の運営方法」といった活動運営に関すること、「参加者の確保」及び「参加者の継続的な参加」といった参加者確保に関することについて支援が必要である。

（３）開催（継続）期間に関わりなく必要な担い手への支援

【グラフ35】　主な活動資金（平成15年度）

（n＝ 42）



活動資金の確保については、活動期間に関係なく担い手の悩みとなっている。代表者用のアンケート結果【グラフ35】を見ると、主な活動資金としては、参加費などによる「自主財源」(35.7%)、「行政補助」(38.1%) が主なものとなっており、「市町社協・地区社協、自治会からの補助金や助成金」は、7.1%となっている。

ふれあい・いきいきサロンは、単位自治会や町内会、班など身近な地域で交流を楽しむ自主的な活動であることから、物の持ち寄りや自主財源による運営を進めるとともに、サロンへの寄付や備品の貸し出しなどの仕組みづくり、助成金などの活用、バザーでの収益金の活用など、提案できる方策を備え、支援を図ることが必要である。

2．市町社協に期待される今後の展開と支援方策

（1）設置推進を図るための地域の将来像の明確化とサロンの必要性の再認識

地域の現状や検証したサロンの効果をもとに、これからめざしていく身近な地域での住民が主役の福祉活動として、次のような姿をイメージした。

地域では、ひとり暮らしのお年寄りを訪ねて井戸端会議に花を咲かせたり、小さい子どもを持つ両親に自分の子育て経験を話してアドバイスしたり、ごみの分別収集がよくわからずうまくできない方を手伝ったりするなど、様々な活動が行われています。

このように、身近な地域で生活する住民同士で、大人も子どももお年寄りも日頃から声を掛け合ったり、訪問し合ったりしながら、日常生活の様々な場面で、隣近所同士でお互いに見守ったり、気を配ったりしながら、日々の生活が営まれています。

また、単位自治会や町内会の集会所では、複数の「ふれあい・いきいきサロン」が開催されています。サロンでは、集まった方々で準備や運営を協力し合いながらおしゃべりをしたり、お茶を飲んだり、ご飯を食べたり、軽く身体を動かしたり、工作をしたりしてみんなで楽しい時間を過ごしています。ときには、保健師さんの健康チェックや施設職員さんのレクリエーション指導、世代間の交流などが行われ、参加者もとても楽しみにしています。

サロンの終了予定時間になって参加者は名残惜しそうです。家路につきながらもおしゃべりが尽きません。なかには、参加者の方のお宅に寄り道をして、サロンの2次会を開いています。そこでは、サロンに参加できていなかった方も参加して交流を楽しんでいます。

こうしたサロンを通じた交流により個人や地域の悩みごと・困りごとを相談したり、日頃からのお付き合いや支え合いにつながったりして、身近な地域の福祉活動が広がっています。

これまでの効果やイメージにもあげているとおり、身近な地域にサロンがあることで、ふれあい、つながり、支え合いが広がり、地域の福祉力の向上が期待される。とくに、現在のサロン参加者は、昼間一人暮らし、もしくは、夫婦二人暮らしが約70%を占め、平均年齢は、75.6歳となっている。さらに今後の将来推計では、高齢化及び世帯の小規模化がより一層強まることが予測されている。

このような状況の中では、サロンという地域の中で集う場をつくり、その参加により個人や世帯の抱える課題の共有と地域の状況や課題について確認し、お互いに生活を支え合うつながりづくり、地域づくりといったサロンの効果の発揮が今以上に必要となることが予測される。

このように、サロンは、高齢者あるいはこれから高齢者に向かっていく世代の地域生活のために必要な取り組みであるので、設置、未設置にかかわらず、さらなる設置推進を図っていくことが重要である。

とくに、設置地区においてさらに設置推進が進み、同地区内に複数箇所のサロンが取り組まれることにより、住民（参加者）にとって選択肢の増加や参加機会が拡大され、サロン効果拡大やサロン同士によるノウハウや情報の共有による支え合いといった相乗効果が期待される。

これまでの山口県内や全国での幅広く急速な取り組みの広がりからもわかるように、サロンは住民にとって、わかりやすく、参加しやすく、取り組みやすい活動であることが言える。そうした住民に親しみやすい活動でありつつ、その活動が地域に定着し、さらに続けられることによって、社協が推進している小地域見守りネットワーク活動や日常生活支援への波及・展開が見られ、地域の福祉力の向上につながっている。

また、サロンの担い手は民生委員・児童委員や福祉員と同様に、サロンの開催・運営を通じて、小地域福祉活動の重要な推進者となっている。

つまり、サロンの設置及び推進には、これまでに示してきたサロンによる人間関係、メンバーシップの深まりによる小地域福祉活動を推進する効果に加え、サロンの担い手自らがその運営により小地域福祉活動の推進者となっており、社協が小地域福祉活動を展開していく上での推進者の発掘、育成やニーズの発掘、把握につながっていることがわかる。

こうしたことから、住民、福祉関係者、社協がそれぞれの立場からサロンの必要性を改めて認識、共有し、設置推進を図ることが大変重要である。

（2）担い手支援の連続的なメニューの企画・実施

様々な効果を後押ししている担い手であるが、第3章でも述べたとおり、担い手の多くは、運営の不安や悩みが負担感や義務感につながっており、活動（継続）期間によっても担い手の悩み・困りごとの傾向が異なっている。また現在、多くのサロンは同じ地区内に1か所であるとともに、アンケート結果からは他グループ・団体との連携が少ないことがわかっている。このように、担い手が他のサロンや他グループ・団体との情報交換が行いにくい状況に常に置かれている。

さらに、新たなサロンの設置推進、サロンの継続的な運営には、新たな担い手の発掘、育成が必要であり、そうした人財の確保は、小地域福祉活動を推進する担い手の確保にもつながることは、すでに示したとおりである。

こうしたことを考慮し、担い手の発掘⇒育成⇒支援といった一連の支援において、市町社協に期待される方策は、すでに実施されている項目も多いが、改めてまとめると次のとおりである。

《参加者確保、担い手の発掘・育成のための方策》

＊ サロン普及啓発資材の作成、広報誌での活動紹介
＊ 住民座談会・懇談会での活動紹介
＊ 「住民福祉講座」や「ボランティア養成講座」受講者の活用

① サロン普及啓発資材の作成、広報誌での活動紹介

これまでもチラシやパンフレットなど多くの普及啓発資料が作成されているが、一番のポイントは、その資料を見た人にサロンの様子が目に見えて具体的にイメージできることである。よく用いられている方法は、サロンの地域にとっての必要性や効果、紹介文とともに活動風景の写真を掲載する方法である。

とくに、最近はパソコンやデジタルカメラが普及し、気軽にチラシが作成できるようになったことにより、パソコンが得意な方、チラシの作成が好きな方をサロンの担い手とまではいかないにしても、趣味や得意分野を活かした運営支援者として手伝っていただくことが可能である。とくに、参加者や担い手に「男性が少ない」という声が多く聞かれるが、こうした運営支援者としてかかわっていただくことで、常時の参加には至らないまでも、サロンにかかわるきっかけやつながりをつくったり、保ったりすることができる。

サロンの中には、こうした担い手の趣味や得意分野を活かしてサロン独自でホームページを立ち上げているサロン（周南市）や、サロン開催時に「サロンのぼり旗」を会場入り口に掲出し、対象者がいつでも気軽に参加できるよう支援するとともに、地域住民へサロンの周知を図る取り組み（防府市）が進められている。

② 住民座談会・懇談会での活動紹介

住民座談会・懇談会での活動紹介においても①と同じく、視覚的なプレゼンテーションが効果的である。活動写真の映写や活動の様子を撮影したビデオ・ＤＶＤの映写によるプレゼンテーションが行われている。こうしたプレゼンテーション資料は、社協職員により作成されることが多いようであるが、サロンの担い手がＤＶＤを編集・作成された例（周防大島町）やケーブルテレビ局がサロンを取材し、放送されたビデオを活用している例（萩市）もある。

とくに、①であげた啓発資材をはじめ、ここであげたケーブルテレビや有線放送などの地域密着型メディアの活用は参加者や担い手の発掘のための重要な広報の手段と言える。担い手の悩み・困りごとでは、「参加者の確保」や「参加者の継続的な参加」について活動（継続）期間が３年以上のサロンにおいて、その割合が高くなっていることから、この期間はもちろん定期的な広報啓発活動の支援が必要である。

さらに、こうした機会を通して日常の活動にスポットが当たることで、担い手の地道な積み重ねが報われるといった効果も期待できる。

③ 「住民福祉講座」や「ボランティア養成講座」受講者の活用

多くの市町社協では、住民福祉講座やボランティア養成講座が実施されている。内容としては、地域福祉の課題や展望、手話や点字について学ぶものなど幅広く展開されている。

こうした講座のプログラムの中にサロンの紹介や実際のサロンへの参加体験といったプログラムを加え、講座で学んだことが実際の地域での活動につながるきっかけにすることが考えられる。

また、サロンの担い手となることや新規サロンの立ち上げを目的とした講座を開催することも考えられる。例えば、子育てサロンの担い手であれば「子育てサポーター養成講座」、サロンの担い手であれば、シニア世代を対象としたボランティア養成として「シニア世代地域貢献ボランティア養成講座」など、対象や目的を明確にして実施することが重要となる。担い手の確保については、活動（継続）期間が４年以上のサロンの担い手が悩み・困りごとと思っている割合が高くなっているので、こうしたサロンに意図的に講座のプログラムとしてかかわっていただき、今後のつながりづくりを進めるといった働きかけも考えられる。

とくに、団塊の世代の人財活用、地域での活躍の場づくりは、これからの小地域福祉活動を推進していく上での極めて重要な取り組みテーマであり、住民にわかりやすく、関わりやすいサロンについて、プログラムに盛り込むことは、担い手や小地域福祉活動の裾野が広がることが期待できる。

《担い手の支援のための方策》

＊ 活動事例・運営ノウハウの蓄積及び提供
＊ 職員のサロンへの参加、派遣
＊ 担い手情報交換会、交流会などの開催
＊ サロンと他の専門職、組織・団体とのコーディネートの実施
＊ 担い手支援講座の開催
＊ サロンへの寄付や備品の貸し出しなどの仕組みづくり、助成金などの活用、バザーでの収益金の活用など、提案できる方策の整備

① 活動事例・運営ノウハウの蓄積及び提供

サロンへの情報提供や支援、設置促進を図っていくためには、まず、市町社協、地区社協での活動事例・運営ノウハウの継続的な蓄積が必要である。

とくに、まだ管内でサロンが開催されていないところでは、他市町（支部（所）、地区）のサロンへの見学やモデル事業の実施などによる立ち上げ支援・推進策が必要であり、最初のサロンが立ち上げられて２年程度の地区や新しく担当になった職員は、社協（職員）としての活動事例・運営ノウハウの蓄積のためにも、また、担い手との信頼関係を構築し、担い手の思いを受け止める機会としても、次の②に示している「職員のサロンへの参加・派遣」が必要である。

その他、活動事例・運営ノウハウの蓄積及び提供の手段としては、次に示す「③ 担い手情報交換会、交流会などの開催」や「⑤ 担い手支援講座の開催」などがあげられる。

② 職員のサロンへの参加・派遣

すでに示しているようにアンケート結果からは、サロンの運営が定着、安定していくためには、概ね２年間程度の期間が必要であることがわかっている。そして、この立ち上げ後の２年間という期間は、担い手にとっては、サロン運営全般について「どうしたらいいのか？」「これでいいのか？」という不安や悩みを抱えている傾向が強いので、市町社協職員や地区社協役職員が出向いて話を聞くことだけでも支援となる。さらに、担い手との直接的な関わりの中で、できることから支援することにより担い手の負担感は軽減される。支援については、あくまでも担い手の自主性を促し、意見を尊重しながら運営支援を行うことが重要となる。

さらに、サロンにおける支援に向けたニーズ把握のポイントとしては、住民座談会やその他会議でも時折見られるように、会議中よりも会議終了後のざっくばらんな雰囲気の方が率直な会話が弾むことが多いことから、参加者とのプログラムを通じた関わりやサロンが終わった後の担い手の振り返りの場などざっくばらんな雰囲気の中から思いを受け止めることが重要である。

③ 担い手情報交換会、交流会などの開催

市町（支部（所）、地区）社協の管内で、５箇所程度のサロンが運営されはじめたら、担い手情報交換会や交流会などの開催による支援が市町（支部（所）、地区）社協単独で実施可能となる。

この担い手情報交換会や交流会を実施することにより、担い手の思い、工夫やノウハウが共有されるとともに、担い手間のネットワークができることにより、義務感や負担感の軽減につながる。

先に示したように、活動（継続）期間により担い手の抱える悩み、困りごとの内容にも変化が見られるので、活動（継続）期間別、運営上の課題別、おすすめプログラムや財源確保の工夫といったテーマ別など協議の設定については目的と配慮が必要である。

とくに、活動（継続）期間２年未満のサロンの担い手は、運営ノウハウの共有が必要かつ有効な支援と考えられるので、情報交換や交流の場を、経験豊かな担い手の話を聞く機会や他のサロン見学につなげるといった協議設定にすることによる支援も可能である。

④ サロンと他の専門職、組織・団体、趣味・特技のセミプロとのコーディネートの実施

健康チェック、レクリエーション、創作活動、調理などのプログラム運営においては、保健師や施設職員などの専門職（元専門職）、レクリエーションコーディネーターといった有資格者、食生活改善推進員や保健推進員といった役職の方々、プロ級の腕前の趣味や特技の持ち主に協力を得ながら実施され、活動に厚みがもたらされている。

社会福祉施設の地域貢献、地域保健医療の実践など関係機関においても「地域」がキーワードになっていることや、食生活改善推進員の復伝活動、地域での健康教室の開催、介護予防事業の実施など、サロンと協働できる取り組みが地域の中では進められているので、こうした活動や事業、専門職、組織・団体とのコーディネートも社協の重要な支援の１つである。

⑤ 担い手支援講座の開催

高齢者を対象としたサロンでは、プログラム開催型のサロンが多くなっていることから、プログラムの運営が回数を重ねていくうちに「同じ内容はできない」といった意識からプログラムのネタ探しに苦労し、担い手の負担感、義務感につながっているようである。

また、当初の「みんなで楽しむサロン」からプログラムを充実して盛り上げていこうという深い思いによって「担い手が参加者を楽しませなければならないサロン」と思い込みがちとなっていることも負担感、義務感に少なからず影響しているようである。

こうした「活動内容・プログラムの充実」については、多くの担い手の悩み・困りごととなっており、プログラム運営をテーマとした講座の開催による支援が望まれる。

とくに、活動（継続）期間３年を迎えたサロンの担い手は、「活動内容・プログラムの充実」が悩み・困りごととなっている割合が他の期間に比べ高くなっていた。この３年という活動（継続）期間のサロンは、担い手の負担感、義務感の割合が最も高い時期であることから、担い手が安心してサロンが継続できるようにするためにも、活動（継続）期間が２年を超える担い手から講座による支援を進めることが必要である。

講座の内容としては、これまでの取り組みの中で多く開催されているものを列挙すると、レクリエーション講座、体操講座、ペーパークラフトや押し花、ちぎり絵といった創作活動講座などの内容になっており、職員のサロンへの参加・派遣や担い手情報交換会、交流会を通じて把握した担い手の思いやサロン運営上の課題に対応したテーマが開催されている。

⑥ サロンへの寄付や備品の貸し出しなどの仕組みづくり、助成金などの活用、バザーでの収益金の活用など、提案できる方策の整備

本アンケート結果では、参加費無料のサロンが全体の 33.3%となっており、それ以外の参加費を徴収しているサロンについては、参加費 500 円以下のサロンが約 88%を占め、平均額は 454 円となっている。この金額は、プログラムにかかる費用や食事代の実費と考えることができる。

主な活動資金については、こうした参加費などによる「自主財源」による運営が 35.7%、「行政補助」が 38.1%、「市町社協・地区社協、自治会からの補助金や助成金」は、7.1%という状況であり、自主財源による運営が進んでいる。

しかし、担い手にとって「活動資金の確保」は、活動（継続）期間にかかわりなく悩み・困りごとになっている。その一方で、市町社協にとってサロン運営費補助は、サロン数が増加すればするほど財源不足となり、負担となっている。

サロンは、身近な地域で交流を楽しむ自主的な活動であることからも、物の持ち寄りや自主財源による運営が原則であるが、担い手の負担を軽減するためにも、運営費補助以外の支援方策を整備、提案することが必要である。

例をあげると、担い手のバザーやフリーマーケットの参加、サロンで必要な物品提供のお願いを社協だよりに掲載、社協車両の貸し出し、民間助成や共同募金配分金の活用によるゲーム・道具の整備と貸し出し、サロンへの賛助金や指定寄付の募集、行政の介護予防事業・生きがい支援事業などとのタイアップや事業提案など、提案できる方策や仕組みを備え、支援することが重要である。

3．山口県社協による支援方策と今後の展開

山口県社会福祉協議会では、今後の県内におけるサロンの設置推進を図るため、次の５つの役割を担い、展開する。

＊ 人財養成（担い手を応援するための講座の実施）
＊ 関係機関・団体との連携・協働の強化
＊ サロンに関する情報収集・発信
＊ 調査研究分析の実施による事業・活動の開発
＊ サロンの設置、運営についての助言、指導

（1）人財養成（担い手を応援するための講座の実施）

サロンの要であり、小地域福祉活動の推進者でもある担い手（人財）の発掘、養成をテーマに定めて実施していく。

平成１８年度は、本調査研究より明らかになった担い手支援方策をもとに、担い手を孤立させずに、義務感・負担感を軽減することを目的とした「担い手応援講座（仮称）」を県内５か所程度で開催し、今後の活動展開方策の検討材料とする。

内容としては、担い手の多くが課題として活動内容の充実に向けたレクリエーション講座及び担い手同士、担い手とレクリエーションコーディネーターとのネットワークづくりを実施する。

（2）関係機関・団体との連携・協働の強化

サロンは、民生委員・児童委員、福祉員、老人クラブ会員、ボランティアなどを中心とした担い手が保健師や施設職員などの専門職（元専門職）、レクリエーションコーディネーターといった有資格者、食生活改善推進委員や保健推進員といった地域の役職の方々の協力を得ながら展開されている。

活動が活発になるにつれ、様々な役職、組織・団体との連携・協働に広がりが出てきている。

このような連携・協働が県内各地のサロンにさらに広がるよう市町行政（保健福祉部門）をはじめ、山口県在宅保健師会、山口県食生活改善推進協議会、レクリエーション協会などへサロン理解促進のための取り組みを展開する。

（3）サロンに関する情報収集・発信

プログラムの内容や活動事例などサロンに関わる情報を収集し、整理・管理の上、必要な情報を幅広く発信する。

情報発信にあたっては、事例集、パンフレットなどの普及啓発資材の作成などによりわかりやすく、必要な情報を提供していく。

（4）調査研究分析の実施による事業・活動の開発

「ふれあい・いきいきサロン活動実態調査」や聞き取り調査の実施などにより、実態把握に努めるとともに、現状、課題、今後の展望について研究・分析を行い、市町社協支援、担い手支援のための事業・活動の開発を進める。

（5）サロンの設置、運営、支援活動についての助言、指導

これまでの活動事例や情報収集の蓄積、調査研究分析をもとに、市町（地区）社協が行うサロンの設置、運営手法、支援活動について助言、指導を実施する。

第５章　「ふれあい・いきいきサロン」の効果分析から見えた今後の展望

山口県内で、ふれあい・いきいきサロン活動が拡大している。この活動は、主として高齢者の孤立予防、孤独感の軽減等を目的として、小地域における高齢者の交流の場を設けることによって営まれている活動である。地域住民による自発的な活動として展開されており、福祉員、民生委員、児童委員の活動の一環として行われている場合も少なくない。市町社協によって、立ち上げ時、運営維持に際しての支援が行われている場合もあり、現在では、高齢者にとどまらず、心身障がい者、乳幼児を持つ母親（子育てサロン）などへと対象が広がりつつある。

ふれあい・いきいきサロン活動が拡大しつつあるのは、高齢者をはじめとする対象者、担い手、さらには地域社会のニーズに、活動が十分に応え、何らかの効果があるからと思われる。しかし、活動が対象者、担い手、地域社会にもたらしている具体的な効果については、経験的に指摘されてはいるものの、県内の活動の実態をふまえた検証は不十分であった。

そこで、担い手（代表者と担い手）と対象者の双方に対して調査票による調査を実施し、県内で展開されているふれあい・いきいきサロン活動の現状を確認し、効果について若干の検証を試みた。本報告書では、これらの結果をもとに、第１章において対象者にとって「身体的・精神的・社会的」な効果が認められることを確認し、第２章で地域社会にとって「多世代交流・地域交流の拠点」「生活ニーズの発見・把握の場」「福祉力の向上」といった効果があることを確認した。その上で、担い手が抱える負担感を軽減し、活動の継続を実現するために必要な具体的な支援方法のあり方について検討を行った。

なお本報告書では、参加継続期間との関係に注目して効果の検討を行ってきた。ふれあい・いきいきサロン活動は、高齢者の孤立解消、孤独感の軽減を目的として展開されているのであるから、その目的を達成し、さらに持続させるためには、高齢者等の対象者が短期間で活動から離脱することなく、可能な限り継続的に参加できることが望ましい。そこで、対象者の参加継続期間と、経験的に知られていた活動の様々な効果との関係を確認することとしたものである。

結果として、すでに指摘したように、活動継続期間が２年以上のふれあい・いきいきサロン活動では、種々の効果への参加者の自己認識が高いことが明らかとなった。こうした傾向の原因については様々な説明が可能であろうが、いずれにせよ、一定期間（2年程度）の活動継続が、ふれあい・いきいきサロン活動の多様な効果を高める可能性を示唆している。したがって、活動の継続支援のための具体的な取り組みが、活動を支援する社協をはじめ地域社会等に求められていることを強調した。

さらに、対象者の参加継続の実現にあたって、担い手の果たす役割はきわめて大きいため、担い手の活動に対する意識（活動に対する義務感）について検討した。「サロンをやらなければいけないという義務感」を、担い手の約７割が多少なりとも感じているという実態をふまえ、支援のあり方を検討する必要がある。

本報告書では、ふれあい・いきいきサロン自体の開催（継続）期間を、担い手の活動期間と便宜的に読み替えているが、その結果、活動（継続）期間が２年程度経過したと思われる担い手で義務感を感じる者の割合がやや高くなっていることをうかがうことができた。そこで、こうした担い手に「活動内容・プログラムの充実」「活動の運営方法」といった活動の運営面、「参加者の確保」「参加者の継続的な参加」といった参加者との接点に関する面での支援の必要性を指摘した。

これらをふまえて、以下では、活動の効果分析に基づいて、今後の活動の課題等について若干の指摘を行うこととしたい。

１．「ふれあい・いきいきサロン」の設置促進

サロン活動に認められる効果を維持するためには、２年程度の継続期間と、少なくとも月に１回以上程度の開催頻度が必要である。しかし、活動の長期継続と開催頻度の増加との両立は、担い手の立場からみれば、必ずしも容易ではない。担い手の多くは、活動内容・プログラムの充実、活動の運営方法、参加者の確保、参加者の継続的な参加などに注意を払って、活動を行っており、開催頻度を高めることは担い手にかなりの負担を求めることになりかねない。

長期継続・高頻度の両立が効果を高めるとしても、担い手の負担に配慮を欠いた展開は好ましくない。開催頻度の実態として、月１回程度の開催が６割程度、月２回程度が２割程度を占めていること（代表者調査：問1）、また、担い手の「活動回数」自己評価として７割弱が満足していること（担い手調査：問６）などを考慮すれば、開催頻度については、現状程度を維持したうえで、長期継続を実現することが現実的である。

しかし、参加者側からすれば、効果があればあるほど、サロン活動への頻回の参加が希望される可能性がある。楽しく効果がある集まりであれば、できる限り多く参加したいと考えるのはごく自然な流れであろう。しかしながら、先に述べたように、担い手側からすれば、現状よりも頻度を高めることには困難が予想される。

この場合の一つの対応策としては、第４章で指摘した「関係機関・団体との連携・協働の強化」による担い手の負担軽減の実現と、これに伴う高頻度化である。地域社会の様々な組織や集団、さらには専門職、専門機関、行政などとの連携、協働の強化を通じて、それぞれの組織や集団が持っている特長を生かした「活動内容・プログラムの充実」が図られることによって、担い手の負担が軽減され、ひいては活動の高頻度化が促される可能性がある。

加えて、ある地域におけるサロン活動の設置数そのものを増やすことによって、参加者の選択肢を増大させることも考えられる。もちろん、選択肢の増大の前提としては、小地域単位にサロン活動が遍く設置され、いかなる地域であっても身近な場所でサロン活動に参加できる環境を整えることが必要である。そのために、まずは市町社協によるサロン活動の設置推進が、さらに促進されることが求められる。

これらがある程度実現された時点で、参加者の選択肢の増大としての、サロン活動の複数設置が検討課題となる。確かに現状では、都市部等で複数のサロン活動に参加可能な状況にある場合であっても、複数のサロンをいわば「掛け持ち」している参加者は希である。これは、サロン活動が自治会や町内会をはじめとして、福祉員や民生委員・児童委員といった伝統的な地域組織を背景として運営されている例が一般的であることから、参加者が担い手との関係に配慮して掛け持ちを遠慮している場合も考えられる。また、担い手にとっても、すでに地域でサロン活動が行われているのであれば、新たに活動をはじめることには、ある程度の抑制が働くことが予想される。

このような地域社会で住み暮らす人々の関係性、意識等に十分配慮したうえで、サロン活動の設置促進を実現し得るのは、やはり、地域の実態を十分に把握している市町社協であろう。あらためて、市町社協によるサロン活動設置支援の必要性を指摘しておきたい。

2．多様な地域集団との連携・協働の強化

また、サロン活動の複数設置を検討する際に、次のような点も考慮されて良いのではないかと思われる。それは、伝統的な地域集団と、新しいボランティア活動やＮＰＯ等との連携による取り組みの可能性である。

すなわち、従来、たとえば高齢者の生活支援という共通の目的を有していながら、自治会や町内会等の伝統的な地域組織による相互扶助活動と、近年登場してきた福祉ＮＰＯなどの組織とが相互に連携して活動するまでには至らない場合が多かった。これは、両者の活動に接点がなく、両者の関係形成が図られていなかったことにその原因がある。

しかし、「地域福祉活動計画」や行政による「地域福祉計画」の策定過程で採用された住民座談会などを通じて、両者の相互理解が図られ、依然限定的ではあるが、新たな取り組みに向けて動き始めている例が認められる。

この場合、伝統的な地域集団による活動が、どちらかといえば参加者のニーズに包括的に対応する傾向にあるのに対して、ＮＰＯ等による活動は参加者の特定のニーズに特化した活動（健康管理や習い事など）が展開されている場合がある。こうした両者の活動の性格の違いを適切にふまえ、ある程度の調整が実施されることによって、サロン活動とＮＰＯ等とが連携し、活動内容・プログラムの充実が図られ、結果的に活動頻度を高める方向に作用する可能性も想定される。また、ＮＰＯ等によるサロン活動が立ち上がれば、先に述べたような遠慮や抑制の状況は、かなり変化する可能性もある。こうした点は、あくまでも推測に過ぎないが、いずれにせよ、参加者の選択肢の増大が検討されるべきであり、ここでも、市町社協の調整機能等に期待が寄せられるところである。

3．「住み慣れた地域で、誰もが、安心して、豊かに暮らし続けることができるまちづくり」のために

地域で生活する人々の生活圏は広域化し、また転出入の増加に伴う流動化が進み、新旧住民がひとつの地域で共に生活する混住化が拡大しつつある。こうした過程で、地域住民の関係性のあり方が変化することにともなって、地域社会に期待されてきた相互扶助的な機能は弱体化しつつある。かつて、地域社会に存在した様々な集団や組織、例えば婦人会や青年団、さらには講や冠婚葬祭の際の組などは、その役割を果たすことが困難になりつつあるのである。同時に、一人暮らしや夫婦のみで生活する世帯の増加、すなわち家族の小規模化も進行し、地域社会の弱体化ともあいまって、地域社会での生活が不安定になりつつある。

こうしたなかで、第３次ネットワークプランやまぐち（第３次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画）に掲げられた「住み慣れた地域で、誰もが、安心して、豊かに暮らし続けることができるまちづくり」という目的の実現は、極めて緊急度の高い課題である。

そのための具体的な方法として、一つには、地域住民の生活に密着した組織や集団を維持し得ている地域社会の安定度が高いことから、こうした組織や集団の地域社会における再編、再生である。ふれあい・いきいきサロン活動は、このような組織や集団としての機能を果たしているからこそ、急速に拡大し、高齢者を中心とする参加者と担い手に広く受容されていると思われる。参加者と担い手が、これまでの地域生活の中で接点を持ってきた様々な地域集団や組織の活動と、ふれあい・いきいきサロン活動とは、基本的に共通の原則、すなわち、ごく狭い範域での共同体的な相互扶助の精神に強く裏打ちされて展開されているとも考えられる。

こうした、ふれあい・いきいきサロン活動が有している伝統的な側面に留意しつつ、社会福祉協議会をはじめ、専門職、専門機関、行政、さらには地域社会に登場しつつある新たな組織や集団との連携、協働を図りながら、参加者と担い手の双方から必要とされる具体的な支援のあり方について、今後さらに検討を深める必要があると思われる。

第 2 部

山口県内の概況、「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート調査の実施及び結果について

第１章　山口県の概況と
「ふれあい・いきいきサロン」の取り組み

第２章　「ふれあい・いきいきサロン」活動の
効果に関する調査研究事業の概要

第２部 山口県内の概況、「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート調査の実施及び結果について

第１章　山口県の概況と「ふれあい・いきいきサロン」の取り組み

１．高齢社会の到来と高齢者の状況

（１）高齢者人口の増加と高齢化の進行

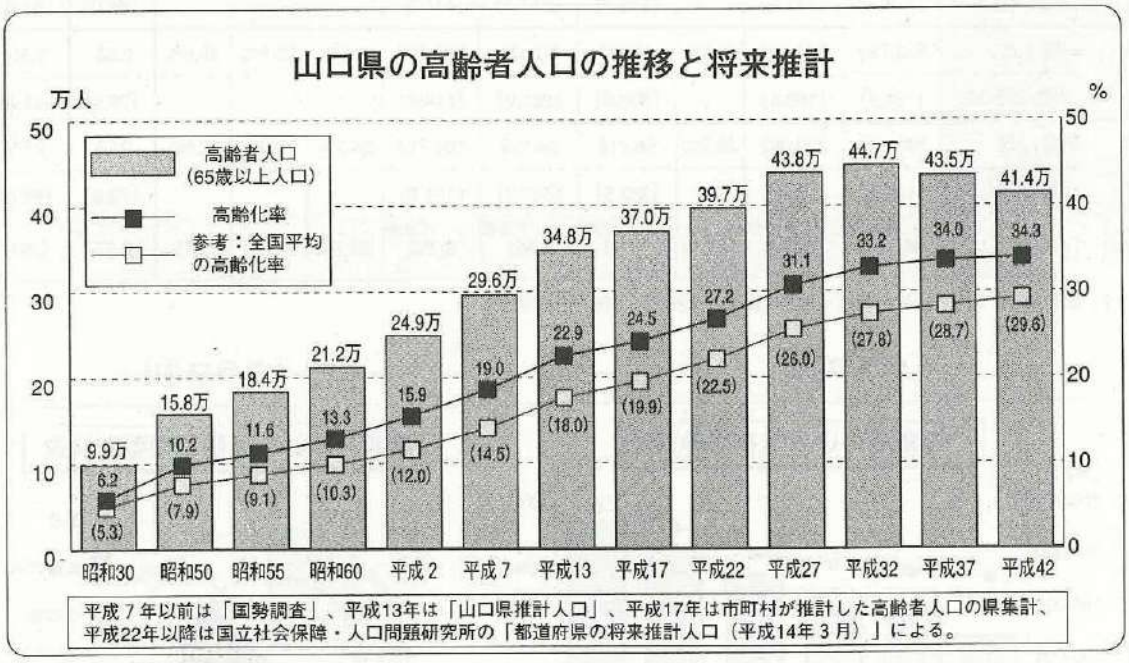
山口県の高齢者人口（65 歳以上人口）は、【グラフ①】のとおり平成 2 年には 24 万 9 千人であったが、平成 16 年には 36 万 3 千人と約 1.5 倍になっている。

山口県の高齢化率（総人口に占める 65 歳以上人口の割合）は、【グラフ①】のとおり平成 16 年には 24.1%（全国 19.5%）となっており、全国平均に比べ約 10 年早いスピードで高齢化が進んでいる。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、山口県の高齢者人口は第一次ベビーブーム世代が高齢期を迎える平成 27 年に 43 万 8 千人となり、平成 32 年にピーク（44 万 7 千人）を迎え、3 人に 1 人が高齢者という全国でもトップクラスの超高齢社会の到来が予測されている。

また、高齢者人口が増加する中、とくに、75 歳以上の後期高齢者人口の増加が著しく、昭和 2 年には 10 万 3 千人（総人口に占める割合：6.6%）であったが、平成 16 年には 17 万 3 千人（11.5%）と約 1.7 倍となり、65 歳以上に占める割合も平成 16 年には 47.8%と半数近くを占めるようになっている。

【グラフ①】



（２）高齢者世帯の状況

山口県の 65 歳以上の親族のいる一般世帯は、【グラフ②】のとおり昭和 50 年は約 12 万 3 千世帯であったが、平成 12 年には約 22 万 9 千世帯と約 1.9 倍に伸びており、一般世帯全体の伸び（約 1.3 倍）を大幅に上回っている。

65歳以上親族のいる一般世帯について世帯類型別の構成割合を年次別にみると、【表①】のとおり単身（ひとり暮らし）世帯は、昭和50年の11.9%から平成12年には24.5%へ約2倍、夫婦のみの世帯は昭和50年の17.1%から平成12年には28.9%へと1.7倍に増えており、平成12年で、単身世帯と夫婦のみ世帯の合計は65歳以上親族のいる世帯の53.4%を占め、全国平均（44.5%）より約9ポイントも高くなっている。

また、65歳以上親族のいる一般世帯における1世帯当たり平均世帯人員も、【表①】のとおり昭和50年は3.73人であったが、平成12年には2.55人へ減少しており、全国平均（2.91人）に比べても少ない状況となっている。

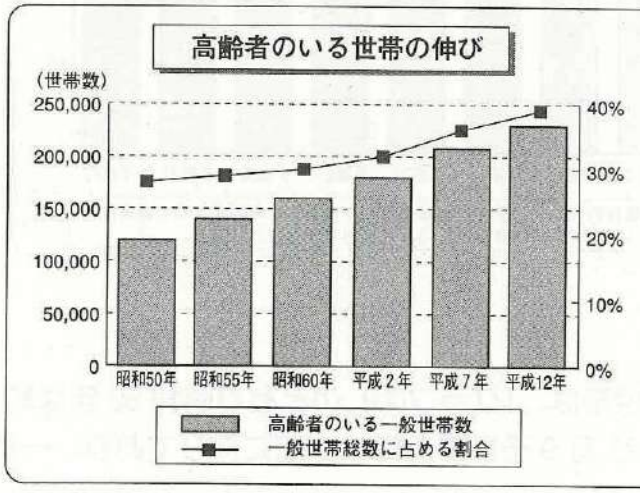
[表①]

[65歳以上親族のいる世帯の状況]

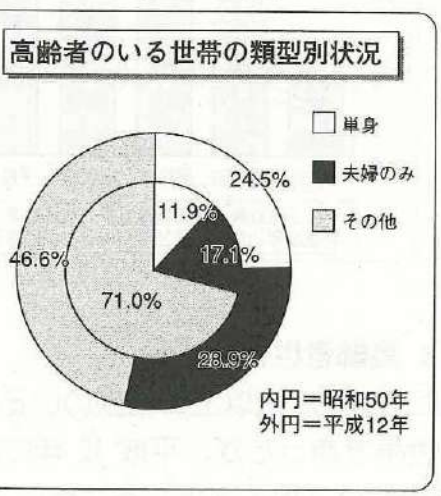
年次	一般世帯総数	65歳以上親族のいる一般世帯		左の世帯類型別内訳						平均世帯人員	
				単身世帯	夫婦のみ世帯	その他の世帯	構成割合			一般世帯全体	高齢者のいる世帯
	a	b	b／a	c	d	e	単身 c／b	夫婦 d／b	その他 e／b		
	世帯	世帯		世帯	世帯	世帯				人	人
昭和50年	450,504	123,269	27.4%	14,658	21,064	87,547	11.9%	17.1%	71.0%	3.34	3.73
昭和55年	496,753	140,990	28.4%	19,824	27,984	98,182	14.1%	19.8%	66.1%	3.14	3.50
指数(S50=100)	[110.3]	[114.4]		[135.2]	[132.9]	[106.4]				[93.9]	[93.9]
昭和60年	517,745	156,978	30.3%	25,650	35,194	96,134	16.3%	22.4%	61.2%	3.03	3.30
指数(S50=100)	[114.9]	[127.3]		[175.0]	[167.1]	[109.8]				[90.7]	[88.5]
平成2年	534,584	177,456	33.2%	34,058	45,734	97,664	19.2%	25.8%	55.0%	2.88	3.04
指数(S50=100)	[118.7]	[144.0]		[232.4]	[217.1]	[111.6]				[86.0]	[81.5]
平成7年	562,792	204,135	36.3%	44,087	59,646	100,402	21.6%	28.9%	46.6%	2.56	2.55
指数(S50=100)	[124.9]	[165.6]		[300.8]	[283.2]	[114.7]				[76.6]	[68.4]
平成12年	582,437	229,062	39.3%	56,216	66,129	106,717	24.5%	28.9%	46.6%	2.56	2.55
指数(S50=100)	[129.3]	[185.8]		[383.5]	[313.9]	[121.9]				[76.6]	[68.4]
[参考] 全国	千世帯 46,782	千世帯 15,045	32.2%	千世帯 3,032	千世帯 3,661	千世帯 8,352	20.2%	24.3%	55.5%	人 2.67	人 2.91

（注）国勢調査による。（昭和50年＝普通世帯数、昭和55年以降＝一般世帯数）

[グラフ②]



[グラフ③]



山口県の持ち家率は、【表②】のとおり全国に比べ高く、一般世帯総数で 65%（全国 59.6%）、65 歳以上親族のいる一般世帯では 87.4%（全国 83.9%）となっている。

持ち家率について、65 歳以上親族のいる一般世帯の内訳別にみると、単身世帯が 74.9%（全国 63.4%）と他の世帯に比べ著しく低くなっている。

[表②]

[高齢者の世帯の住居の状況（平成12年国勢調査）]　（単位：世帯数）

区分			一般世帯総数	65歳以上親族のいる一般世帯	左の内訳		
					単身世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯
総数			582,437 (100%)	229,062 (100%)	56,216 (100%)	66,129 (100%)	106,717 (100%)
		全国	46,782千 (100%)	15,045千 (100%)	3,032千 (100%)	3,661千 (100%)	8,352千 (100%)
持ち家			378,752 (65.0%)	200,120 (87.4%)	42,109 (74.9%)	60,063 (90.8%)	97,948 (91.8%)
		全国	27,905千 (59.6%)	12,619千 (83.9%)	1,922千 (63.4%)	3,139千 (85.7%)	7,558千 (90.5%)
借家			187,717 (32.2%)	27,282 (11.9%)	13,136 (23.4%)	5,642 (8.5%)	8,504 (8.0%)
		全国	17,239千 (36.8%)	2,295千 (15.3%)	1,035千 (34.1%)	490千 (13.4%)	770千 (9.2%)
再掲	公営・公団		42,841 (7.4%)	10,425 (4.6%)	4,991 (8.9%)	2,338 (3.5%)	3,096 (2.9%)
再掲	公社	全国	3,142千 (6.7%)	865千 (5.7%)	341千 (11.2%)	231千 (6.3%)	293千 (3.5%)
再掲	民営		121,883 (20.9%)	16,045 (7.0%)	7,962 (14.2%)	3,105 (4.7%)	4,978 (4.7%)
再掲		全国	12,298千 (26.3%)	1,368千 (9.1%)	680千 (22.4%)	245千 (6.7%)	443千 (5.3%)
再掲	給与住宅		22,993 (3.9%)	812 (0.4%)	183 (0.3%)	199 (0.3%)	430 (0.4%)
再掲		全国	1,799千 (3.8%)	62千 (0.4%)	14千 (0.5%)	14千 (0.4%)	34千 (0.4%)
間借り			6,162 (1.1%)	1,197 (0.5%)	770 (1.4%)	262 (0.4%)	165 (0.2%)
		全国	549千 (1.2%)	91千 (0.6%)	54千 (1.8%)	21千 (0.6%)	16千 (0.2%)
住宅以外			9,806 (1.7%)	463 (0.2%)	201 (0.4%)	162 (0.2%)	100 (0.1%)
		全国	1,089千 (2.3%)	40千 (0.3%)	21千 (0.7%)	11千 (0.3%)	8千 (0.1%)

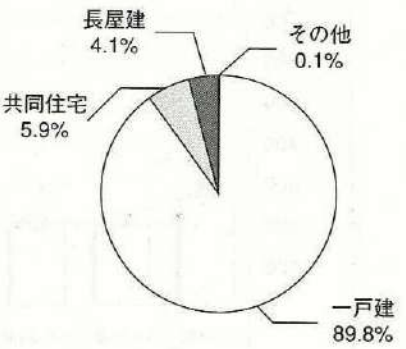
（注）（　）内の数値は構成比を表す。

また、住宅の建て方別に 65 歳以上親族のいる世帯の状況をみると、【表２、グラフ４】のとおり、一戸建に住む世帯の割合が 89.8%と全国平均(82.5%)に比べて高くなっている。

[表３、グラフ④]

[住宅の建て方別住宅に住む65歳以上親族のいる主世帯の住居の状況]

区分		主世帯数	1世帯当たり延面積	1人当たり延面積
総数		227,402世帯 (100%)	122.4m²	47.9m²
	全国	14,914千世帯 (100%)	119.6m²	40.9m²
一戸建		204,298世帯 (89.8%)	130.3m²	49.1m²
	全国	12,304千世帯 (82.5%)	133.5m²	42.6m²
共同住宅		13,499世帯 (5.9%)	52.3m²	30.3m²
	全国	2,020千世帯 (13.5%)	53.8m²	28.2m²
長屋建		9,289世帯 (4.1%)	51.4m²	30.0m²
	全国	560千世帯 (3.8%)	52.7m²	27.8m²
その他		316世帯 (0.1%)	102.2m²	40.2m²
	全国	29千世帯 (0.2%)	97.6m²	36.3m²



（注）1　平成12年国勢調査による。
2　「主世帯」とは、住宅に居住する一般世帯のうち、「間借り」以外に居住する世帯をいう。

（3）高齢者の健康・疾病の状況

① 健康寿命

厚生労働省の試算（平成11年1月公表）によると、山口県の高齢者が寝たきりや認知症とならない状態で介護を必要とせず生きられる期間である健康寿命（平均自立期間）は、【表④】のとおり男性が15.12年（全国14.93年）、女性が18.77年（全国18.29年）となっており、この平均自立期間が平均余命に占める割合は、男性が90.7%（全国90.6%）、女性が85.6%（全国87.3%）となっている。

一方、介護を必要とする期間（平均余命から平均自立期間を引いた期間）は、男性が1.55年（全国1.55年）、女性が3.15年（全国2.65年）となっており、女性が男性に比べ介護を必要とする期間が約2倍と長く、また、全国平均に比べて、山口県の女性は、介護を必要とする期間は約半年長いという結果となっている。

［表④］ 65歳平均余命と健康寿命（平均自立期間）

区　分	男　性			女　性		
	平均余命	自立期間	割　合	平均余命	自立期間	割　合
山口県	16.67年	15.12年	91%	21.92年	18.77年	86%
全国平均	16.48年	14.93年	91%	20.94年	18.29年	87%

（注）厚生労働省試算（平成11年1月試算）による。

② 有訴率

平成13年の国民生活基礎調査【グラフ⑤】によると、病気やけがなどで体の具合の悪いと回答した有訴者の割合（人口千人当たり）は、5～14歳を底辺として年齢が高くなるにつれて上昇し、65歳以上では2人に1人以上が有訴者となっている。

［グラフ⑤］



	0～4歳	5～14歳	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳～	（再掲）65歳～	（再掲）70歳～
山口県	262.0	196.7	205.3	249.1	277.9	300.9	395.2	492.0	576.7	600.8	530.4	555.2
全国	283.9	211.3	206.4	252.1	288.1	321.2	383.6	475.1	544.8	546.9	502.7	525.9

（注）平成13年「国民生活基礎調査」による

（4）受診状況

山口県国民健康保険団体連合会の「疾病分類別統計」（平成17年5月診療分）【表④】によると、山口県の65歳以上の高齢者100人当たりの受診件数は、入院では5.3件、入院外では114.9件と、65歳未満（入院2.9件、入院外86.2件）と比較して、入院では約1.8倍、入院外では約1.3倍となっている。

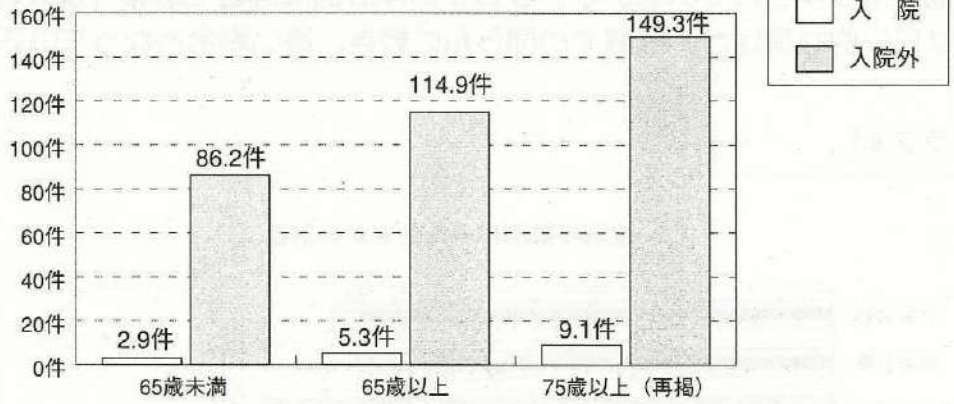
とくに、75歳以上の高齢者は、入院外の件数を1人当たりに換算すると1.49件となり、いくつかの病気を併せ持っている高齢者が多いことが推察される。

［表④］ 年齢階層別受診状況

区　分		被保険者数	入院		入院外	
			受診件数	100人当たり受診件数	受診件数	100人当たり受診件数
合　計		576,932人	25,837件	4.5件	603,849件	104.7件
	65歳未満	205,590人	6,045件	2.9件	177,321件	86.2件
	65歳以上	371,342人	19,792件	5.3件	426,528件	114.9件
	うち75歳以上	148,748人	13,533件	9.1件	222,155件	149.3件

（注）山口県国民健康保険団体連合会「疾病分類別統計表」（平成17年5月分）による。

［グラフ⑤］ 100人当たり受診件数



（5）高齢者の就業の状況

高齢者の就業者数は、国勢調査によると昭和50年当時は5万8千人でしたが、平成12年は8万1千人と約1.4倍となっており、15歳以上就業者に占める割合も、昭和50年当時の7.6%から平成12年には10.9%に増えている。

ただし、最近では、第1次産業の就業者数が減少してきており、全体としての高齢者の就業者数も減少傾向にある。

［表⑤］

［高齢者の産業分類別就業状況］

（単位：人）

区　分		就業者総数	第１次産業	第２次産業	第３次産業	産業分類別構成割合		
						１次	２次	３次
昭和50年	15歳以上	762,617 (100%)	133,011 (100%)	239,063 (100%)	390,543 (100%)	17.4%	31.3%	51.2%
	65歳以上	58,086 (7.6%)	29,989 (22.5%)	7,496 (3.1%)	20,601 (5.3%)	51.6%	12.9%	35.5%
昭和55年	15歳以上	767,930 (100%)	105,894 (100%)	238,327 (100%)	423,709 (100%)	13.8%	31.0%	55.2%
	65歳以上	59,854 (7.8%)	28,987 (27.4%)	7,696 (3.2%)	23,171 (5.5%)	48.4%	12.9%	38.7%
昭和60年	15歳以上	767,544 (100%)	98,937 (100%)	231,075 (100%)	437,532 (100%)	12.9%	30.1%	57.0%
	65歳以上	62,735 (8.2%)	32,084 (32.4%)	6,293 (2.7%)	24,358 (5.6%)	51.1%	10.0%	38.8%
平成2年	15歳以上	766,513 (100%)	78,401 (100%)	238,611 (100%)	449,501 (100%)	10.2%	31.1%	58.6%
	65歳以上	66,190 (8.6%)	31,330 (40.0%)	7,725 (3.2%)	27,135 (6.0%)	47.3%	11.7%	41.0%
平成7年	15歳以上	784,540 (100%)	68,960 (100%)	243,675 (100%)	471,905 (100%)	8.8%	31.1%	60.2%
	65歳以上	83,537 (10.6%)	37,432 (54.3%)	11,180 (4.6%)	34,925 (7.4%)	44.8%	13.4%	41.8%
平成12年	15歳以上	746,704 (100%)	53,894 (100%)	222,034 (100%)	470,776 (100%)	7.2%	29.7%	63.0%
	65歳以上	81,160 (10.9%)	32,671 (60.6%)	11,835 (5.3%)	36,654 (7.8%)	40.3%	14.6%	45.2%

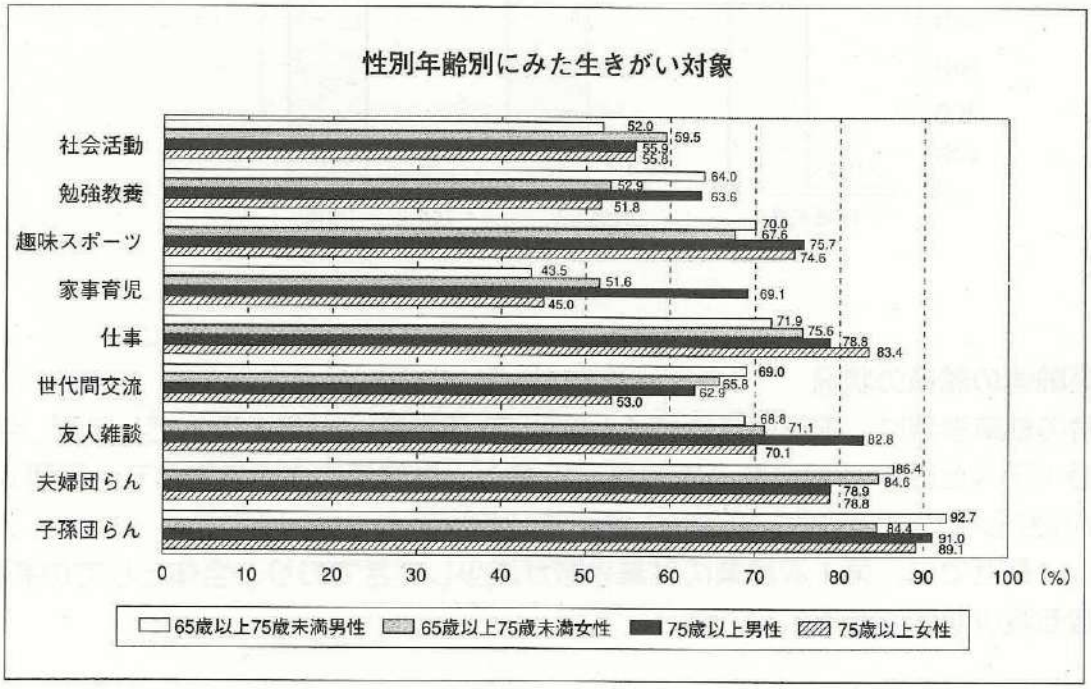
（注）国勢調査による。（　）は15歳以上就業者総数に対する割合を表す。

（６）高齢者の社会活動等の状況

山口県社会福祉協議会が平成15年度に実施した「生涯現役社会づくり県民意識調査」によれば、高齢者が生きがいや張り合いを感じているものは、【グラフ⑥】のとおり「子孫団らん」、「夫婦団らん」、「仕事」、「友人雑談」、「趣味スポーツ」などとなっている。

調査設問には設けられていないが、サロンの中心的な内容である「友人雑談」、「趣味」といったサロン的な項目が、家庭での団らんに続き、高い割合となっている。

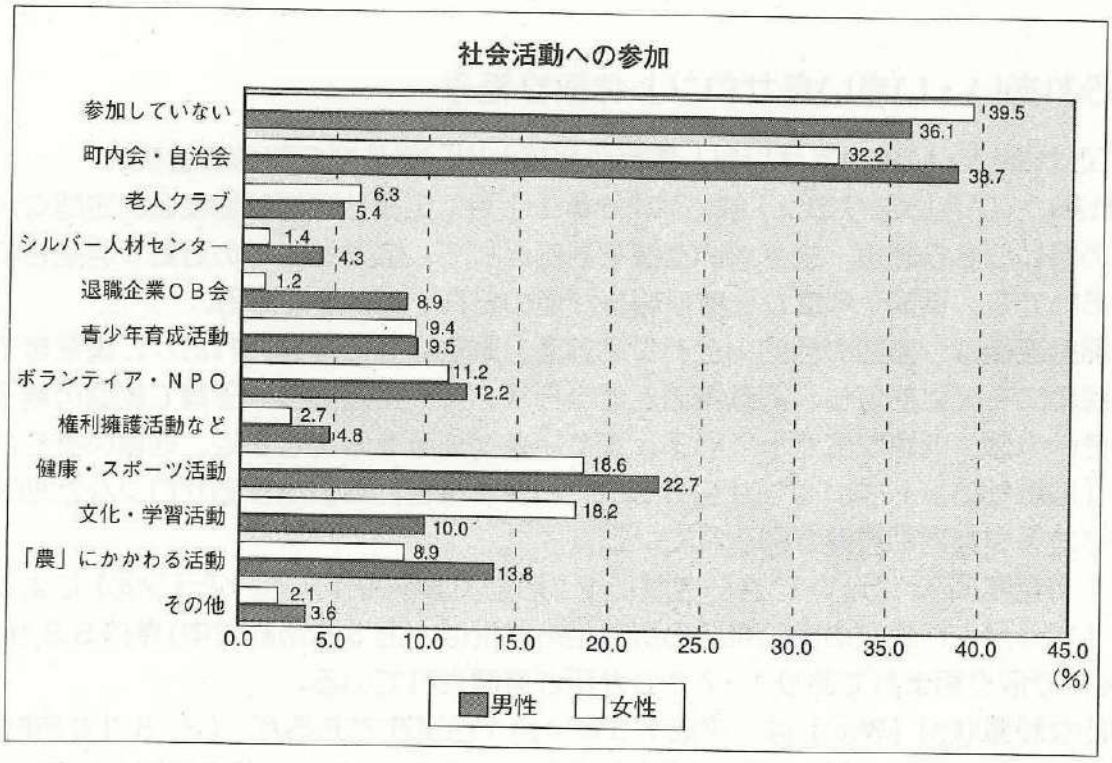
［グラフ⑥］



現在、参加している社会活動については、【グラフ⑦】のとおり最も参加している割合の高い活動は、「町内会・自治会」という身近な地域での活動であり、次いで「健康・スポーツ活動」、「文化・歴史・学習・教養などの活動」、「福祉・環境・まちづくりなどのボランティア、ＮＰＯの活動」などが続いている。

一方、現在社会活動に「参加していない」とする高齢者も全体の４割近くを占めていることから、サロンの設置推進を進めることにより、参加機会を確保、拡大を図るとともに、生きがいを高め、充実した老後の生活が送れるよう、高齢者がこれまで蓄積してきた経験や能力を発揮できる機会や場の確保を図ることが求められる。

[グラフ⑦]



（５）高齢者を取り巻く現状・将来推計と「ふれあい・いきいきサロン」の推進

このように、山口県においては、今後、ますます高齢化、及び、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯に見られる世帯の小規模化が進むことが推計されている。そのような状況の中では、「ふれあい・いきいきサロン」のように地域の中で集う場をつくることにより、その中で個人や世帯が抱える様々な課題の共有と地域の課題や状況について確認し、お互いに生活を支え合うつながりづくり、地域づくりが今以上に必要となる。

つまり、「ふれあい・いきいきサロン」は、高齢者、あるいは、これから高齢者に向かっていく世代の地域生活を支える取り組みとして重要なものであるといえる。

また、これから取り組みを一層、推進するにあたり、持ち家率が高いという現状と今後の高齢化の進展に着目し、これらを併せて考えると、現在、サロンは、集会所や公会堂、公民館が主な会場となっているが、それに加える形で、今後、サロンで形成された参加者同士のメンバーシップを活用するなどし、サロン活動を発展させ、より地域に根付いた形としてサロン参加者の自宅開放したサロンの積極的な展開が考えられる。

自宅開放のサロンの設置を推進することで、公会堂・集会所などで開催されているサロンに、身体上の理由で参加できない（参加者によっては会場が遠くて参加できない）、人間関係上で参加できないなどの理由で参加していない参加者も参加しやすくなることが期待される。

さらに、自宅開放のサロンの設置推進と理解が深まれば、例えば、閉じこもりがちな方でサロンに参加することが億劫な方の自宅にお邪魔して小規模なサロン（４～５人でお茶を飲みながら会話を楽しむサロン）を開催することで、閉じこもりや孤立の予防が自然と行えることが期待される。

２．「ふれあい・いきいきサロン」の取り組み

（１）「ふれあい・いきいきサロン」実施の経緯と山口県及び全国の設置状況

「ふれあい・いきいきサロン」は、平成６年１１月に全国社会福祉協議会の主唱により、高齢者の閉じこもり防止、生きがい支援を目的として、全国的にその活動が開始され、山口県においても、平成７年度から取り組みが進められたところである。

活動開始直後は、当初の目的のとおり高齢者分野を中心に推進されたが、現在までに、地域住民のニーズに対応し、高齢者にとどまらず、認知症高齢者や子育て家庭の親子、障害者とその分野、対象が広がっている。また、参加対象を限定せずに、地域の誰もが参加できる「地域サロン」やいくつかの分野のサロンが複合的に参加するサロンなど地域の実情に応じた多様な活動展開が図られている。

平成１７年度「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査【表⑥、グラフ⑧】によると、平成１７年４月１日現在の山口県内の取り組み状況は、(旧５６市町村中)県内５３か所(９４．６％）で取り組まれており１，２３８か所が展開されている。

全国的な設置状況【表⑥】は、平成１５年４月１日現在であるが、(３，３３０市町村中)１，５４４か所（４６．４％）で取り組まれており、２２，１５５か所で展開されている。

山口県、全国の対象者別の設置数は、以下の表のとおりである。

【表⑥：「ふれあい・いきいきサロン」対象別設置数】

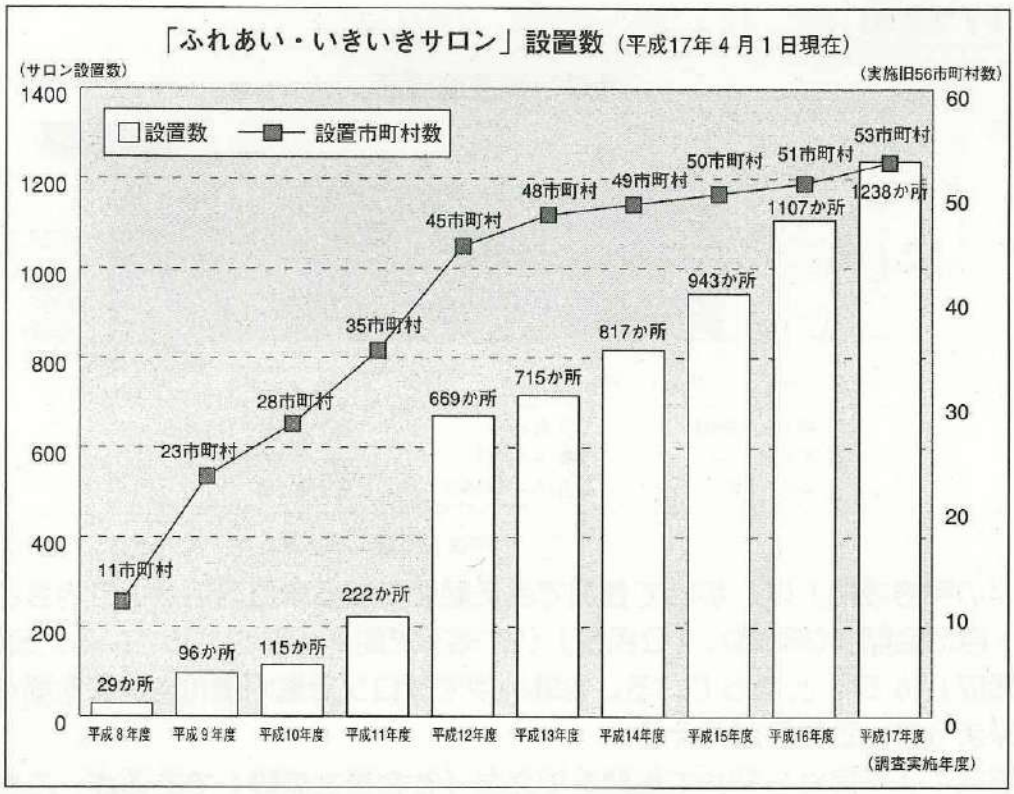
《山口県》

① 高齢者	1,043か所	(84.2%)
①のうち認知症	75か所	(6.1%)
② 子育て	53か所	(4.3%)
③ 障害者	16か所	(1.3%)
③のうち精神障害者	3か所	(0.2%)
④ 様々な人たち	126か所	(10.2%)
合　計	1,238か所	(100.0%)

《全国》

① 高齢者	18,979か所	(85.7%)
② 子育て	1,601か所	(7.2%)
③ 精神障害者	72か所	(0.3%)
④ 知的障害者	47か所	(0.2%)
⑤ 身体障害者	87か所	(0.4%)
⑥ 複合型	1,165か所	(5.3%)
⑦ その他	186か所	(0.8%)
合　計	22,155か所	(100.0%)

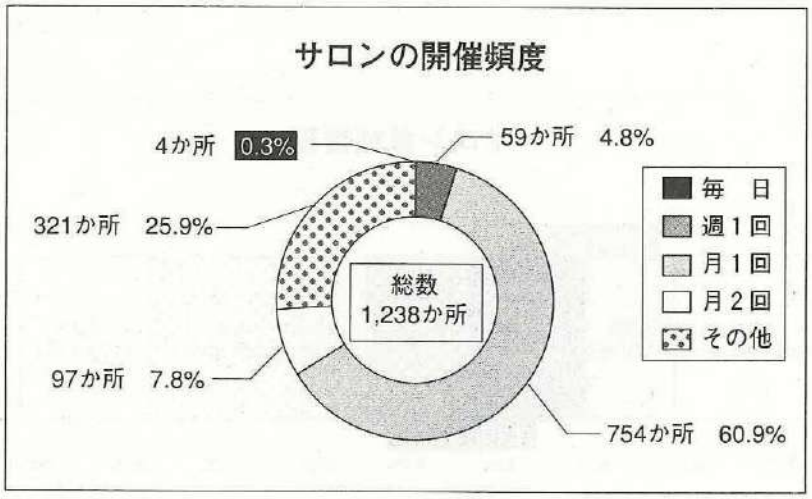
[グラフ⑧]



（２）山口県内の「ふれあい・いきいきサロン」の現状

① 開催頻度

[グラフ⑨]

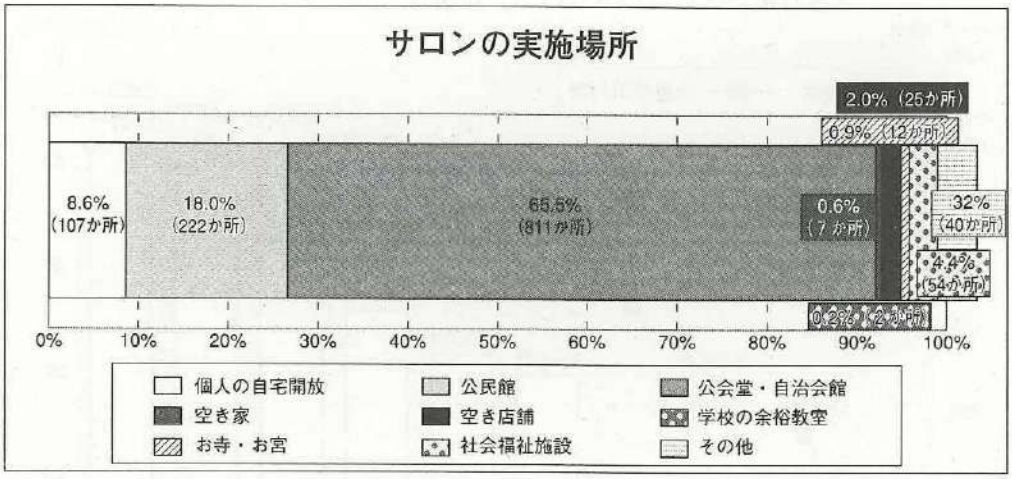


【平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 集計】

「サロンの開催頻度」は、月１回以上の開催頻度があわせて約７４％となっており、その他の回答としては、年１０回、２か月に１回（年６回）、３ヶ月に１回（年４回）といった回答であった。

② 実施場所（会場）

［グラフ⑩］



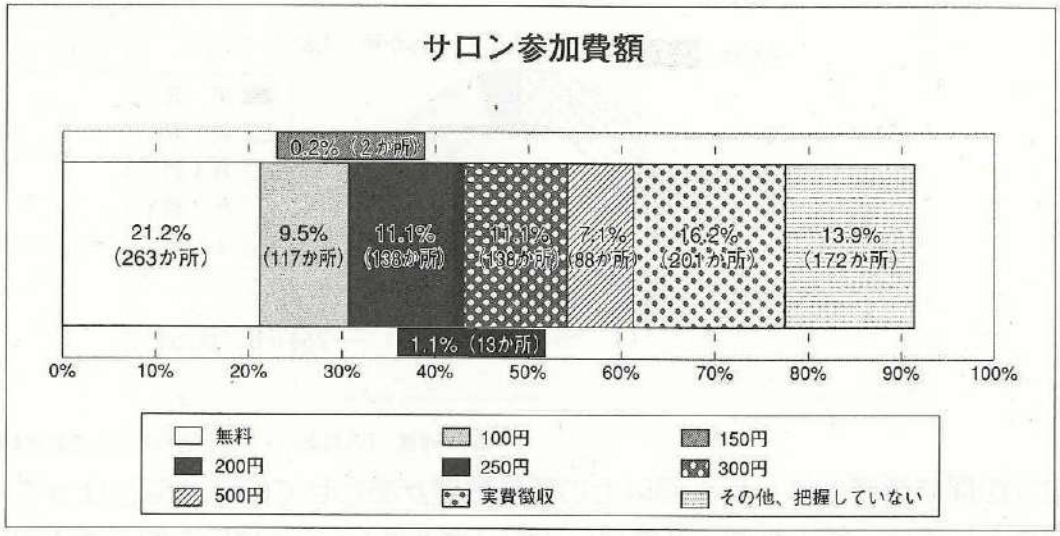
【平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 集計】

「サロンの実施場所」は、歩いて参加できる範囲である単位自治会・町内会ごとにある「公会堂・自治会館」（65.5%）、「公民館」（18.0%）で約８４％を占めている。続いて、「個人の自宅開放」（8.5%）となっている。地域の中でサロン活動が根付き、家を開くほどの人間関係が深まっている様子が伺える。

また、平成１７年度から初めて設問を加えた「社会福祉施設」であるが、こちらは４０か所であり、昨年度では「その他」の設問となっていたが、その際の（施設や公園などその他すべての合計）４１か所と比べても、その数が増加している。施設の地域開放、従来の施設を訪問、見学するから、施設から地域にその機能、設備、専門性などを活用したアプローチが伺うことができる。

③ 参加費額

［グラフ⑪］



【平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 集計】

「参加費額」は、無料（21.2%）がもっとも多いものの、次に続く実費徴収（16.2%）及び実費徴収に準じた金額と考えることのできる100円から500円を合計すると約56%となっており、補助金などもあるものの受益者負担による運営が進んでいることが考えられる。

3．「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート調査実施地区の概況

（1）下関市豊田町

下関市豊田町は、周囲を市内最高峰の華山（713メートル）や霊峰狗留孫山（616メートル）などの山々に囲まれた盆地となっている。

主要産業は、恵まれた自然条件を活かし、水稲や梨を中心とした農業、町の面積の約80%にもおよぶ森林面積を活かした林業、一ノ又・荒木・豊田といった温泉資源や梨狩り、天然記念物ゲンジホタルによる観光業などがあげられる。

平成１７年２月１３日に下関市と豊浦郡４町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）が合併し、新「下関市」となり、平成１７年１０月１日からは、県内初の中核市に移行された。

【基本データ ※（ ）は、下関市全体】

面　積	163.47平方キロメートル（715.89平方キロメートル）
人　口	6,435人（290,693人）
世帯数	2,373世帯（117,360世帯）
高齢化率	32.5%（25.3%）

※ 面積、人口、世帯数は、平成１７年国勢調査（速報）を掲載。高齢化率は、下関市役所ホームページより平成１８年２月１日現在の統計を掲載。

「ふれあい・いきいきサロン」は、平成１７年４月１日現在で、豊田町内５７か所で設置されており、県内の旧町村部では最も多くのサロンが実施されている。

また、設置数だけではなく、県内でも早くから「ふれあい・子育てサロン」が実施されているほか、多世代交流のサロン、空き家を活用したサロンなど、多様な形態のサロンが開催されている。

下関市全体でのサロン設置数は、１７３か所であり、市内の中においてサロンが大変活発に実施されていることがわかる。

（2）周南市

平成１５年４月２１日に、徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町の２市２町が合併し、誕生した周南市は、山口県の東南部に位置し、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を望み、その海岸線に沿って大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が連たんしている。北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後の広大な山稜には農山村地帯が散在している。また、島嶼部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有している。

【基本データ】

面　積	656.09 平方キロメートル
人　口	152,372 人
世帯数	60,661 世帯
高齢化率	21.8%

※ 面積、人口、世帯数は、平成１７年国勢調査（速報）を掲載。高齢化率は、山口県推計人口（平成１６年１０月１日現在の統計）を掲載。

「ふれあい・いきいきサロン」は、平成１７年４月１日現在、１５６か所のサロンが実施されている。

とくに、旧徳山市域では、市社協でのパンフレット、活動事例集の作成、担い手交流会の開催による普及啓発や運営支援をはじめ、市内２２か所の地区社協による設置推進により１１７か所のサロンが実施されており、旧徳山市から現在の周南市に至るまで県内の市部で最も多くのサロンが設置されている。

（３）周防大島町

平成１６年１０月１日に大島郡の久賀町、大島町、東和町、橘町の４町が合併し、誕生した周防大島町は、山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ島では３番目の面積を有し、島と本土とは大畠瀬戸を渡る大島大橋によって連結している。

地勢は全般的に山岳起伏の斜地で６００ｍ級の山々が連なり、海岸部に狭隘な丘陵地が広がる程度で、大半を山地が占めており、年間平均気温１５．５℃と比較的温暖な、青く澄みわたる瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然を有する町である。

高齢化率は、43.9%であり、山口県全体の 24.1%と比較しても非常に高い割合の超高齢社会となっている。

【基本データ】

面　積	138.11 平方キロメートル
人　口	21,389 人
世帯数	9,576 世帯
高齢化率	43.9%

※ 面積、人口、世帯数は、平成１７年国勢調査（速報）を掲載。高齢化率は、山口県推計人口（平成１６年１０月１日現在の統計）を掲載。

「ふれあい・いきいきサロン」は、平成１７年４月１日現在、周防大島全体で７７か所が設置されている。この内、今回、調査を実施した旧東和町域は、３８か所が設置されており、全体の約半数を占めている。サロンの中には、認知症を支える家族の会が担い手となり、認知症高齢者も参加できるサロンや、介護予防を目的として「ゆる体操」（運動科学総合研究所所長 高岡英夫 氏によって考案された体操）を取り入れたサロンなどがあり、高齢化が進む町のニーズに即したサロン展開が図られている。

（4）平生町

平生町は、本州最西端山口県の東南部、瀬戸内海に面した室津半島の西側に位置し、南北に約 11ｋｍ、東西に９ｋｍにわたり、箕山（標高 400m）、大星山（標高 438m）を中心とした丘陵地帯と、平生平野を中心とした平野部からなっている。

西に田布施川を挟んで田布施町、北と東は田布路木の鞍部、室津半島の山陵づたいに柳井市と接し、南は半島なかばで上関町と境を分けている。

前面の佐合島が本町に属し、18.2ｋｍにおよぶ波静かで陽光やわらかな平生湾とともに瀬戸内海国立公園の一端を形成、恵まれた自然環境を物語っている。

【基本データ】

面　積	34.40 平方キロメートル
人　口	14,203 人
世帯数	5,164 世帯
高齢化率	25.7%

※ 面積、人口、世帯数は、平成１７年国勢調査（速報）を掲載。高齢化率は、山口県推計人口（平成１６年１０月１日現在の統計）を掲載。

「ふれあい・いきいきサロン」活動は、平成１７年４月１日現在、３０か所で活動が展開されている。

とくに、平生町は、山口県内で最初に取り組みを進め、開始当初から住民の自主的な活動として根付いており、「いきいきサロン代表者・世話人連絡会議」も組織化され、活発な活動展開がされている。

第２章　「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する調査研究事業の概要

１．調査研究事業の目的

「ふれあい・いきいきサロン」は、山口県内では、1,000 か所を超えるサロンが活発に展開されており、これまでの取り組みから高齢者の生活不安の解消、地域の連帯、地域の福祉力の醸成をはじめとした様々な効果がみられている。

本事業は、これまでの取り組みから得られた効果の検証、及び、介護予防や医学的な効果などの効果の可能性の研究により、今後の取り組み方策の開発を目的として、「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する検討委員会を設置し、次のとおり調査（「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート調査、ヒアリング調査）及び研究協議を実施した。

（１）「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する検討委員会の設置及び実施

① 委員名簿

	氏　名	所　　属	役職名
委員長	高野　和良	山口県立大学　社会福祉学部	教　授
副委員長	田中 マキ子	山口県立大学　看護学部	教　授
委 員	岩男　多壽	山口県在宅保健師会	会　長
委 員	瀧野　睦子	宇部あかり園在宅介護支援センター	主任ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ
委 員	中本　好則	社会福祉法人 周防大島町社会福祉協議会	地域福祉課長
委 員	林　亜由美	社会福祉法人 下関市社会福祉協議会 豊田支所	地域福祉活動ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
委 員	大多和 尚子	周南市岐南ふれあい	代　表
委 員	福井　将夫	平生町いきいきサロン世話人・代表者連絡会議	代　表

② 協議経過・内容

【第１回】　平成１６年８月３１日（火）

＊「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する調査研究事業の概要と検討委員会の運営について

＊「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果（仮説）について

【第２回】　平成１６年１０月８日（金）

＊「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果（仮説）について

＊「ふれあい・いきいきサロン」の効果に関する実態調査について

【第３回】　平成１７年３月１７日（木）
＊「ふれあい・いきいきサロン」ヒアリング調査内容の報告について
＊「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計の報告について
＊ 平成１７年度の委員会運営について

【第４回】　平成１７年５月２４日（火）
＊「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート結果の概要について
＊「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果分析の方針整理について

【第５回】　平成１７年７月２８日（木）
＊「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果分析について
＊ 報告書の作成について

【第６回】　平成１７年１０月２０日（木）
＊「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果分析のまとめについて

２．調査の設計及び実施

（１）「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート調査の設計及び実施

本アンケート調査の概要は、次のとおりである。

	① 代表者		② 担い手		③ 参加者	
調査対象者	サロン担い手の代表者		サロンの企画・運営に携わる担い手・スタッフ		代表者、担い手を除く、サロンの参加者	
回収数	周南市	１８	周南市	７３	周南市	２５９
	平生町	１０	平生町	１１	平生町	９４
	豊田町	８	豊田町	１９	豊田町	７９
	周防大島町	１０	周防大島町	３７	周防大島町	１３０
	計	４６	計	１４０	計	５６１
調査実施サロン	市部：周南市２０サロン 町村部：平生町、豊田町（現在、下関市豊田町）、周防大島町の各１０サロン 以上の５０サロンを調査対象とした。 ※調査協力サロンについては、別表１～４のとおり。					
調査方法	自記式（参加者用については、一部担い手、社協職員による記入）、 留め置き法による回収					
調査期間	平成１７年１月６日～平成１７年２月２８日					

※ 回収率については、調査実施サロンの平均参加者数、担い手数に基づき調査票を配布しているため、「参加者用」、「担い手用」については、配票数が把握できていない。（ただし、調査実施日に参加されていた参加者、担い手のほとんどに記入いただけている。）
「代表者用」については、５０か所（５０人）を対象とし、４６か所（４６人）の回収を得ているので、９２％の回収率となっている。

《別表１：調査協力サロン 周南市》

No.	サロン名
1	ひまわりの会〈熊毛〉
2	地方いきいきサロン〈熊毛〉
3	ミニサロン「ひまわり」〈熊毛〉
4	かがやきサロン〈鹿野〉
5	菅蔵ガンバッチョル会〈鹿野〉
6	プチサロン〈鹿野〉
7	夢クラブ〈新南陽〉
8	千代田サロン〈新南陽〉
9	米光サロン〈新南陽〉
10	水曜サロン〈新南陽〉

No.	サロン名
11	南羽間サロン〈新南陽〉
12	さわやかサロン〈徳山〉
13	岐南ふれあい〈徳山〉
14	どうかい・元気会〈徳山〉
15	さなぐち会〈徳山〉
16	いきいきサロンなかよし山手〈徳山〉
17	ひだまりの会〈徳山〉
18	みんな元気かい〈徳山〉
19	湯野あおぞらサロン〈徳山〉
20	よりみち〈徳山〉

《別表２：調査協力サロン 平生町》

No.	サロン名
1	いきいきニコニコ会
2	沼わかば会
3	なでしこ会
4	むつみ会
5	詩おり会

No.	サロン名
6	明生カラオケグループ
7	ひるがお会
8	なのはな会
9	ひまわりグループ
10	あけぼの会

《別表３：調査協力サロン 豊田町（現在、下関市豊田町）》

No.	サロン名
1	荒木夢創の里いきいきサロン
2	野谷くるそんグループ
3	いきいきサロン宮の下
4	長寿会
5	下八道ふれあいサロン

No.	サロン名
6	下浮石さわやかサロン
7	百合野いきいき会
8	西市二区サロン
9	ひまわり会
10	福寿草の会

《別表４：調査協力サロン 周防大島町》

No.	サロン名
1	和田サロン
2	ひまわりサロン
3	いきいきシップサロン
4	三味線サロン
5	すこやかクラブ

No.	サロン名
6	元気のでる会
7	宮下サロン
8	仲良しサロン
9	沖家室サロン
10	妙見サロン

（2）ヒアリング調査の実施

次の日程によりヒアリング調査を実施した。

① 豊田町（※調査時点。現在、下関市豊田町）

日　　時：平成１７年１月１９日（水）　１１時から１４時３０分まで
調査対象サロン：荒木夢創の里活き活きクラブ
参　加　者：サロン担い手２名、豊田町社協２名、県社協事務局２名

② 平生町

日　　時：平成１７年１月３１日（月）　１５時から１６時３０分まで
調査対象サロン：いきいきニコニコ会
参　加　者：担い手３名、平生町社協１名、委員２名、県立大学２名、
県社協事務局１名

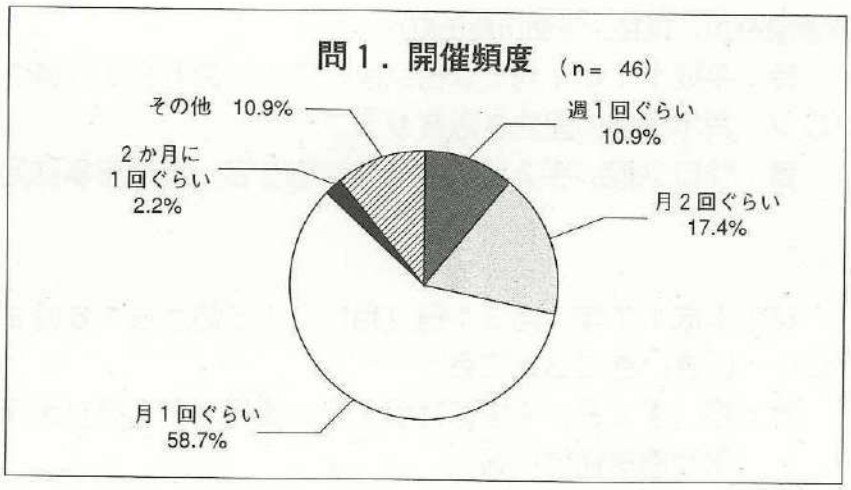
③ 周防大島町

日　　時：平成１７年２月１５日（火）　１４時から１６時まで
調査対象サロン：ふれあい和田サロン
参　加　者：担い手１名、周防大島町社協１名、委員１名、県社協事務局１名

④ 周南市

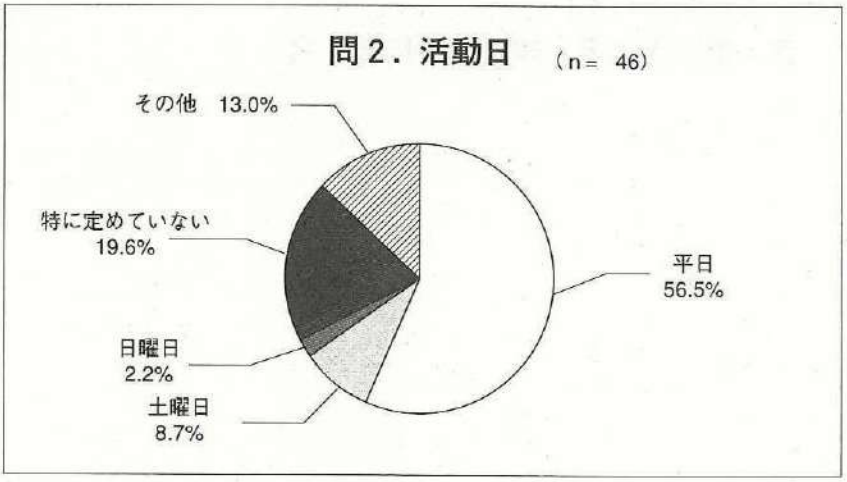
日　　時：平成１７年２月１６日（水）　１０時３０分から１４時まで
調査対象サロン：岐南ふれあい
参　加　者：担い手４名、県社協事務局２名

3．単純集計結果



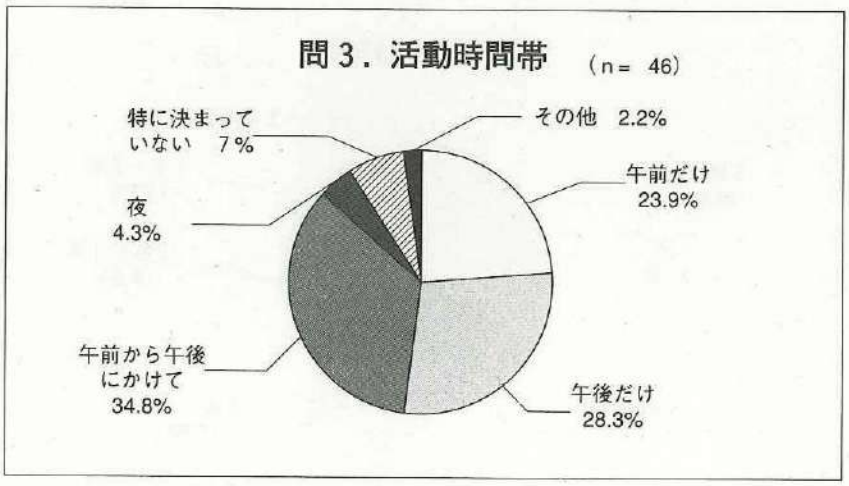
「月１回ぐらい」が５８．７％と最も多くなっている。参加者用アンケートの問１６．希望する開催頻度においても、「月１回くらい」が５７．１％と最も多くなっており、実際の開催頻度と参加者のニーズが一致していることが言える。

また、担い手用アンケート問６のサロンにおける満足・評価できる点（複数回答）で開催頻度を上げた担い手が６５．２％おり、担い手にとっても負担にならない程度の好ましい頻度と言えるのだろう。

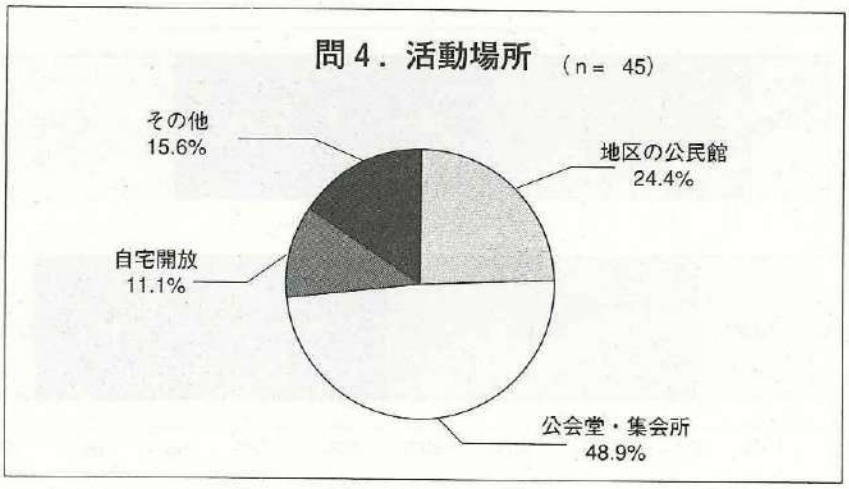


「平日」（５６.5%）が一番多くなっている。「特に定めていない」（１９．６％）理由としては、参加者が一番都合のいい日にサロンを行っている様子がうかがえる。

「その他」（１３．０％）の中には、「毎月２０日」というように、参加者が覚えやすいように、定例日を決めている工夫も見られた。



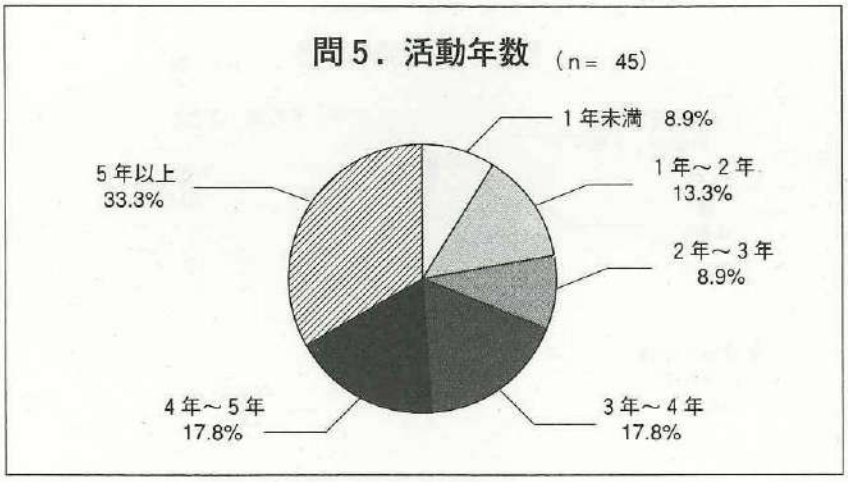
参加者・担い手の都合、会場の都合、プログラムの内容などに開催時間帯が設定されている。

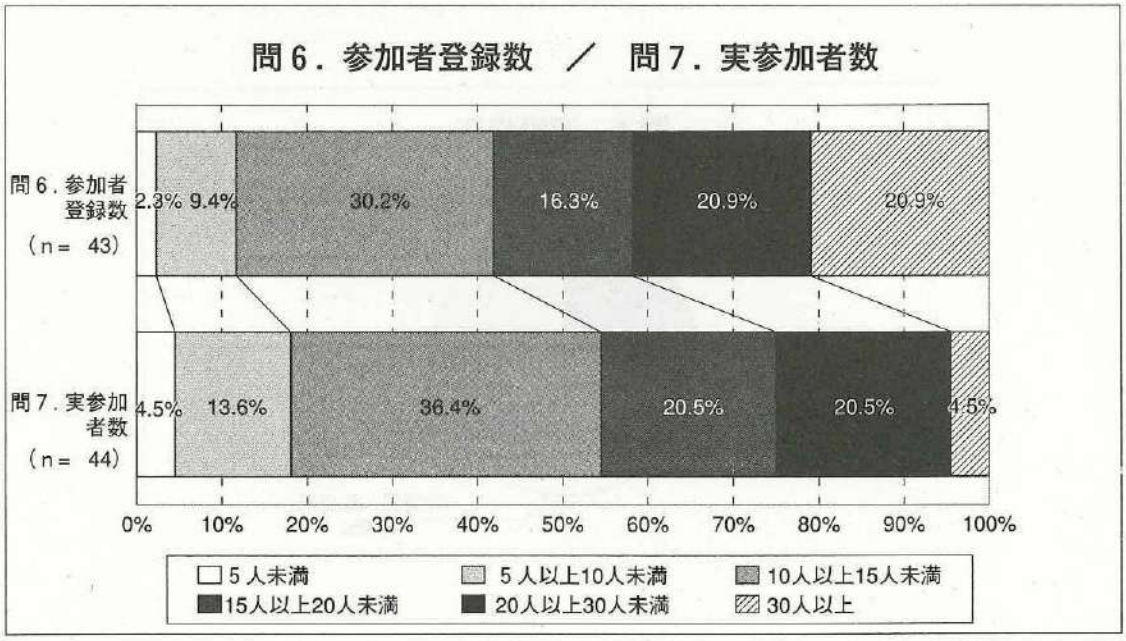


「地区の公民館」（２４．４％）、「公会堂・集会所」（４８．９％）の２つが中心となっている。

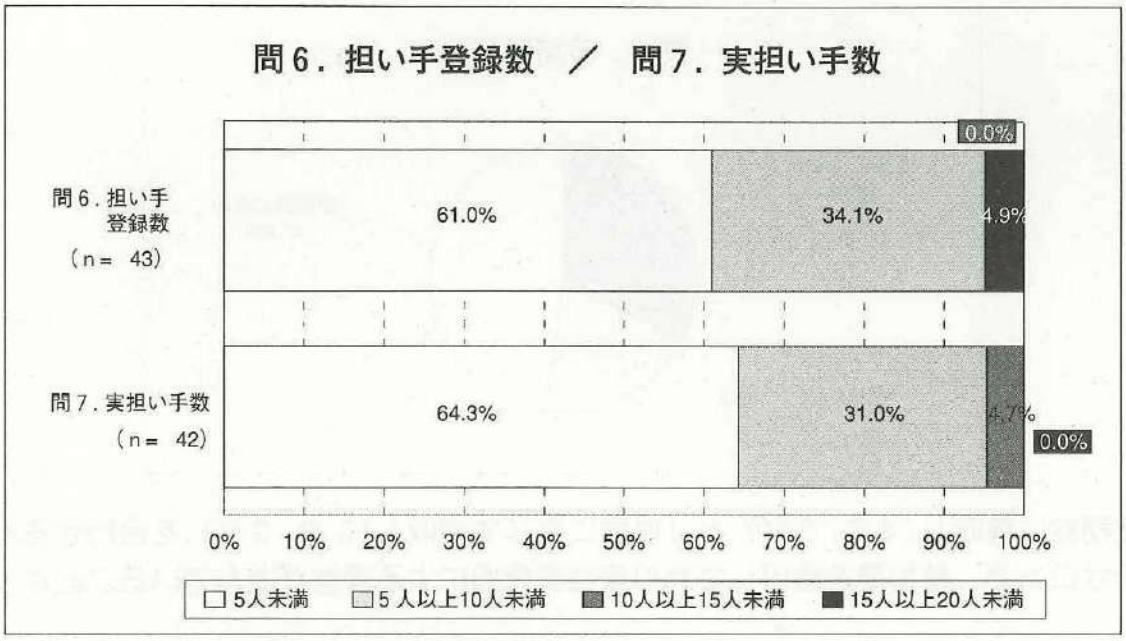
「自宅開放」は、１１．１％にとどまっているが、平成１７年度「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査による県内全体の「自宅開放」の割合である８.５％に比べ、わずかではあるが、高い割合となっている。

「その他」（１５．６％）には、空き家を改造して活用、社会福祉施設のスペースなどがあげられている。

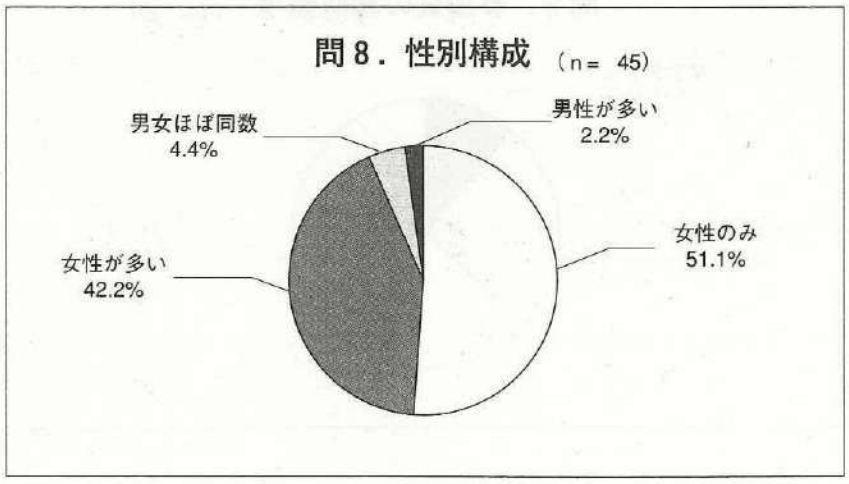




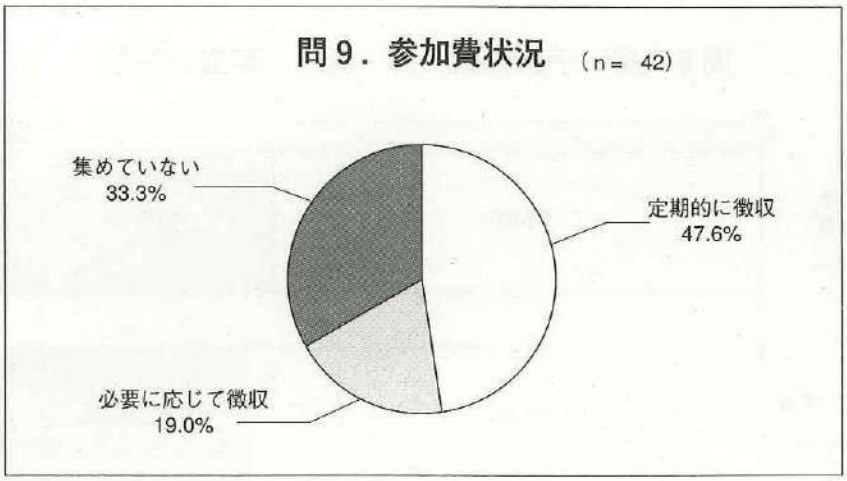
「参加者登録数」の平均は１９．３人、「実参加者数」の平均は１４．５人となっている。



「担い手登録数」の平均は４．９人、「実担い手数」の平均は３．９人となっている。

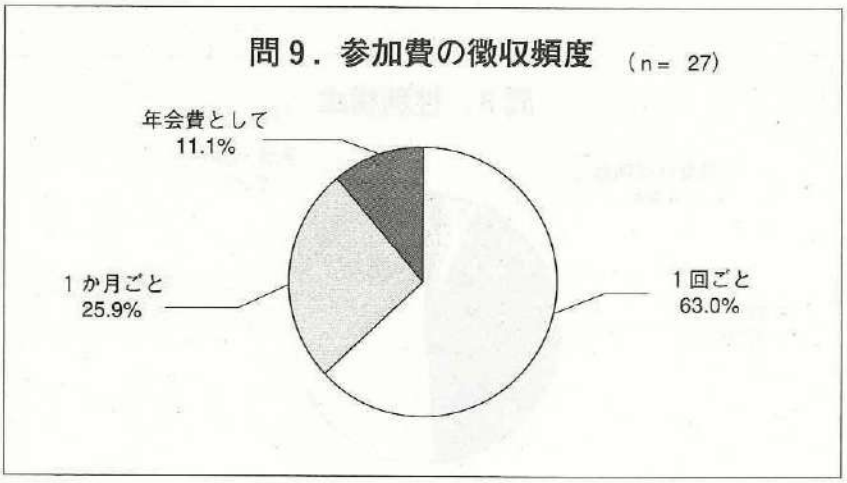


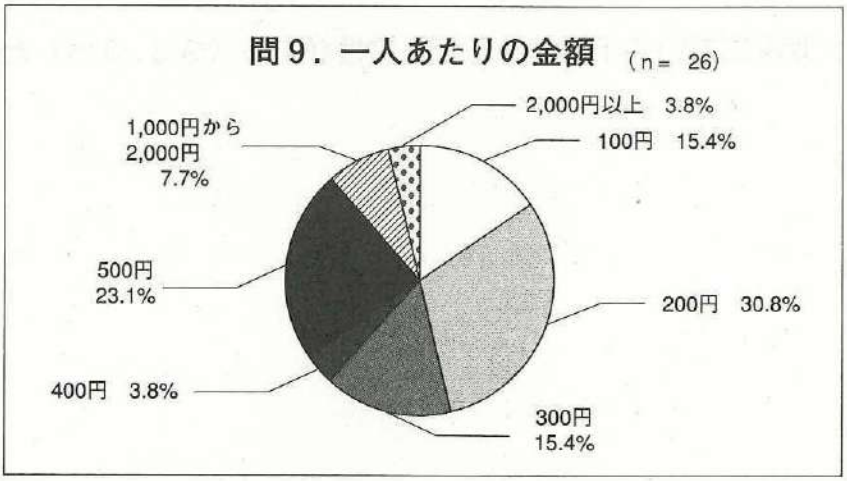
性別構成は、状況において示しているが、女性が中心（９３．３％）となっている。



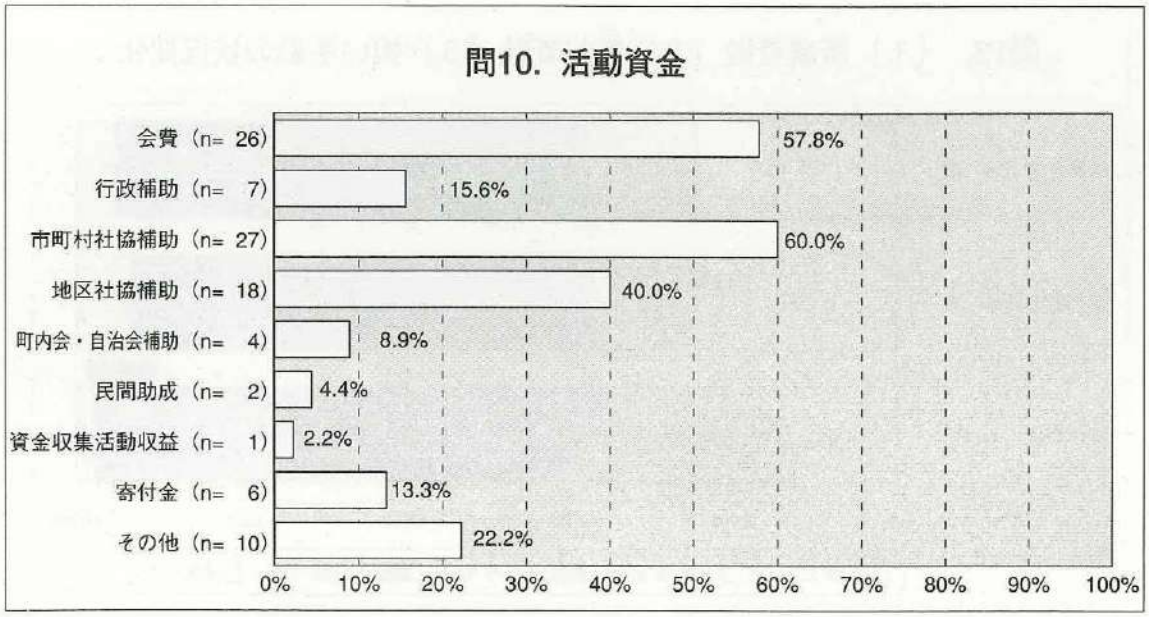
「定期的に徴収」（４７．６％）と「必要に応じて徴収」（１９．０％）を合わせると約６７％のサロンで、参加費を徴収しており受益者負担による運営が進んでいることがうかがえる。

「集めていないサロン」（３３．３％）は、社協などからの補助金による運営であるところが多いようである。

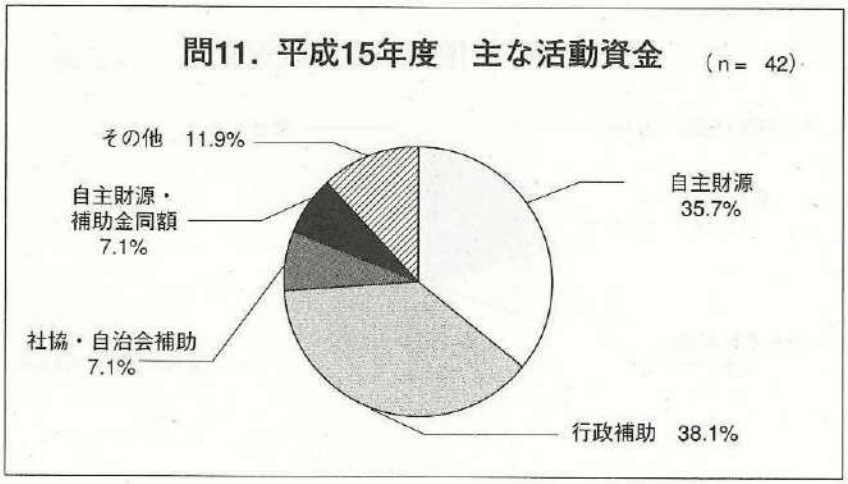




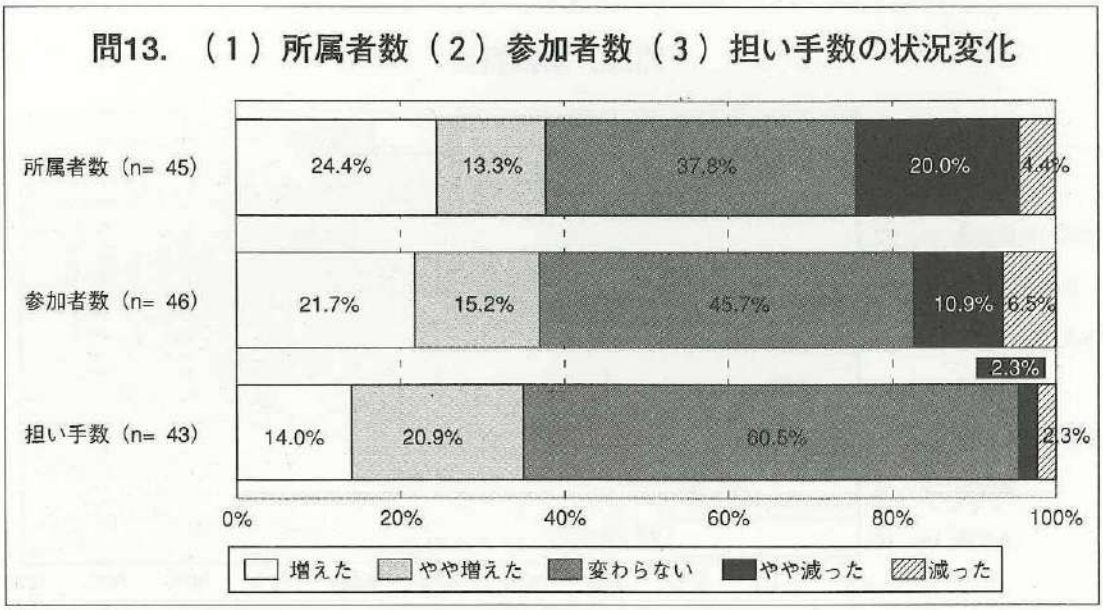
参加費額は、５００円以下で約８８％を占めており、平均額は、４５４円となった。



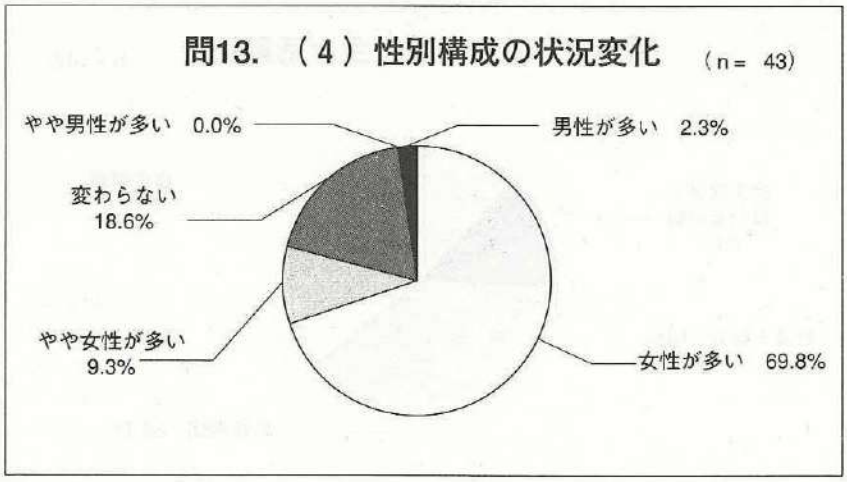
「その他」（２２％）では、物の持ち寄り、老人クラブからの助成などがあげられていた。



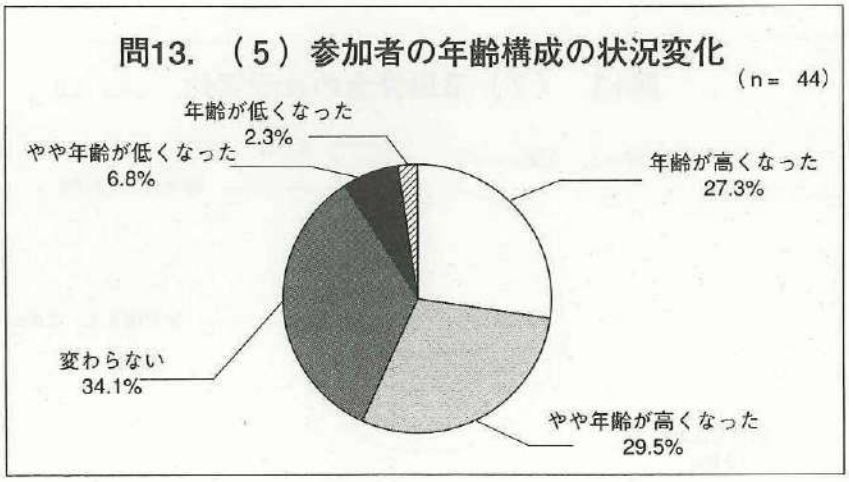
問１０の活動資金では、「行政補助」は、１５．６％で５番目の割合にとどまっているが、主な活動資金では、３８．１％と最も割合が高くなっている。



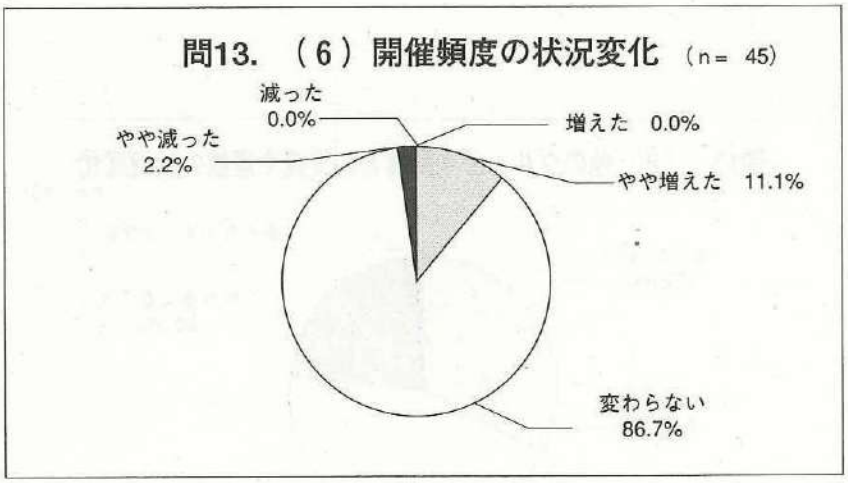
担い手数が発足時と現在とで「変わらない」（６０.5%）と回答された割合が高くなっていることから、立ち上げから担い手が固定されている、あるいは、民生委員・児童委員、福祉員がサロンを担う役割として固定されている様子がうかがえる。



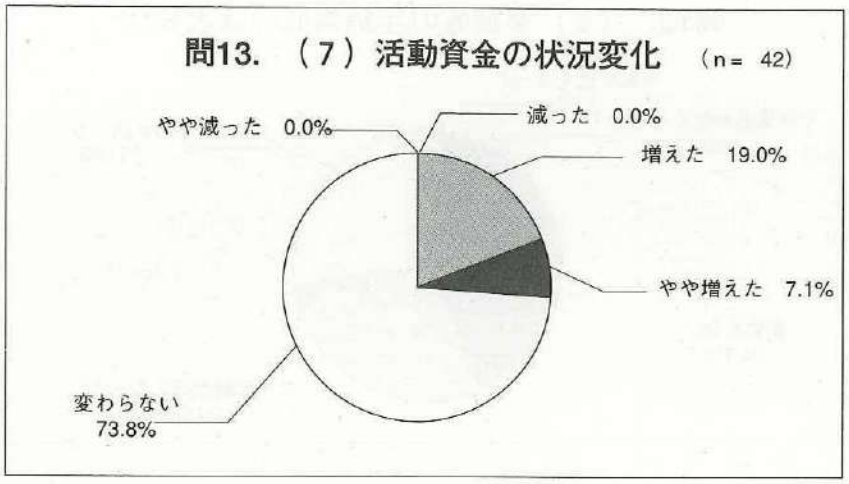
この問１３の結果からもサロンが女性中心の活動である様子がうかがえる。



年齢構成の変化も「変わらない」（３４.1%）が約３分の１あり、参加者の入れ替わりが行われているものの、「年齢が高くなった」（２７.3%）と「やや年齢が高くなった」（２９.５%）を合わせた約５７%のサロンでは、高齢化が進んでいる。

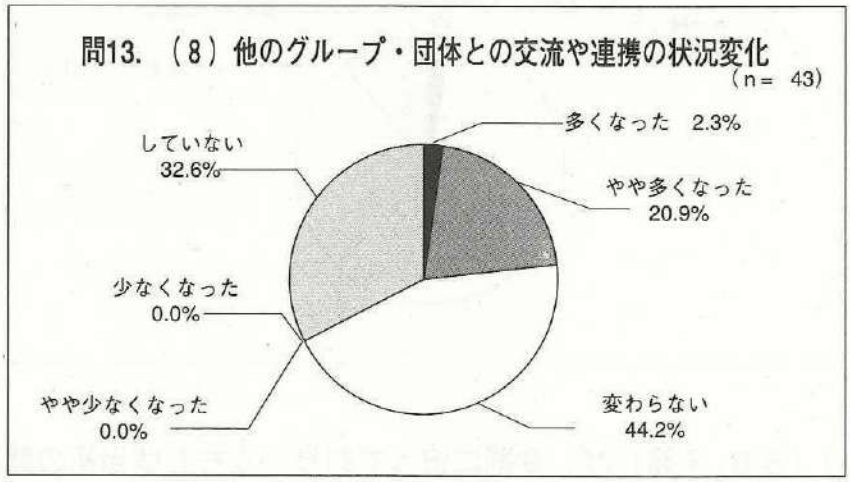


「変わらない」（８６.７%）が、９割に迫っており、立ち上げ当初の頻度が定着し、変更されていない状況がうかがえた。



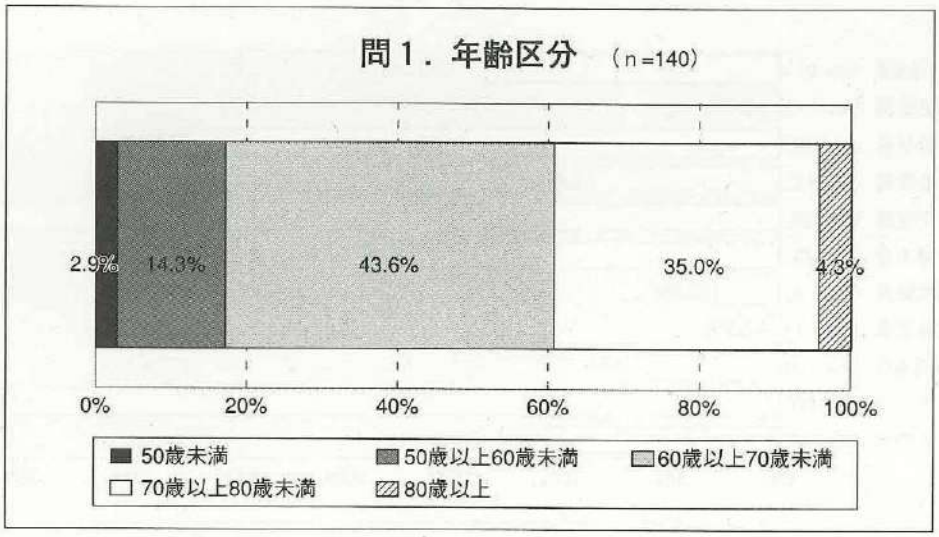
「変わらない」（７３．８％）が、約４分の３であるが、結果からは、活動資金は、増えることがあっても減ることがない様子を示している。

これは、参加者が増えて参加費額が単純に増えていること、参加費徴収、資金収集活動により活動資金を確保していることなど、担い手による工夫と努力がうかがえる。

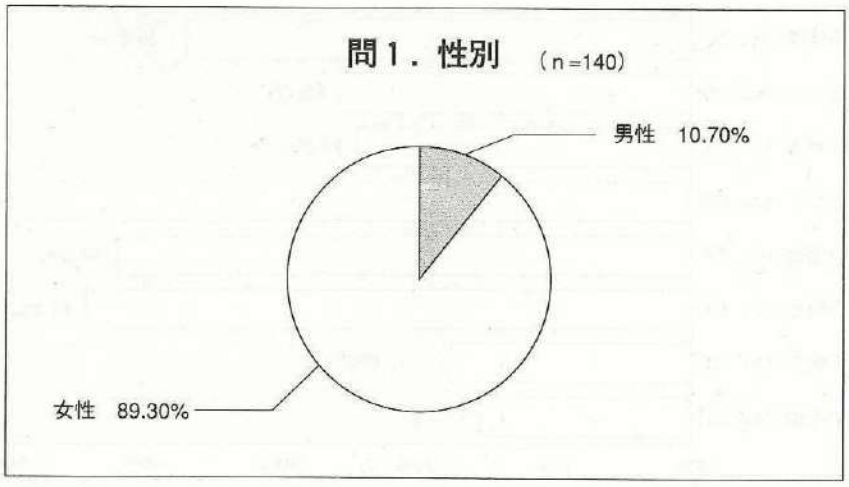


「変わらない」（４４．２％）、「していない」（３２．６％）で約７７％を占めており、立ち上げ時にかかわっていた団体とのつながりを維持している様子、あるいは、自らのサロン運営で手一杯で交流・連携まで至っていない様子がうかがえる。

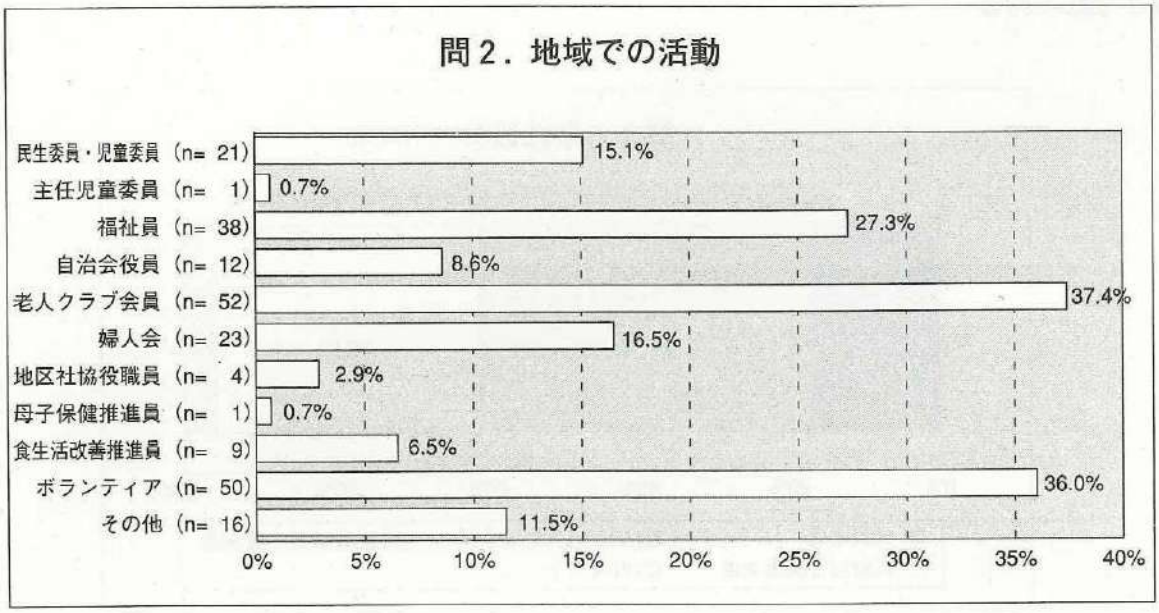
（2）担い手用



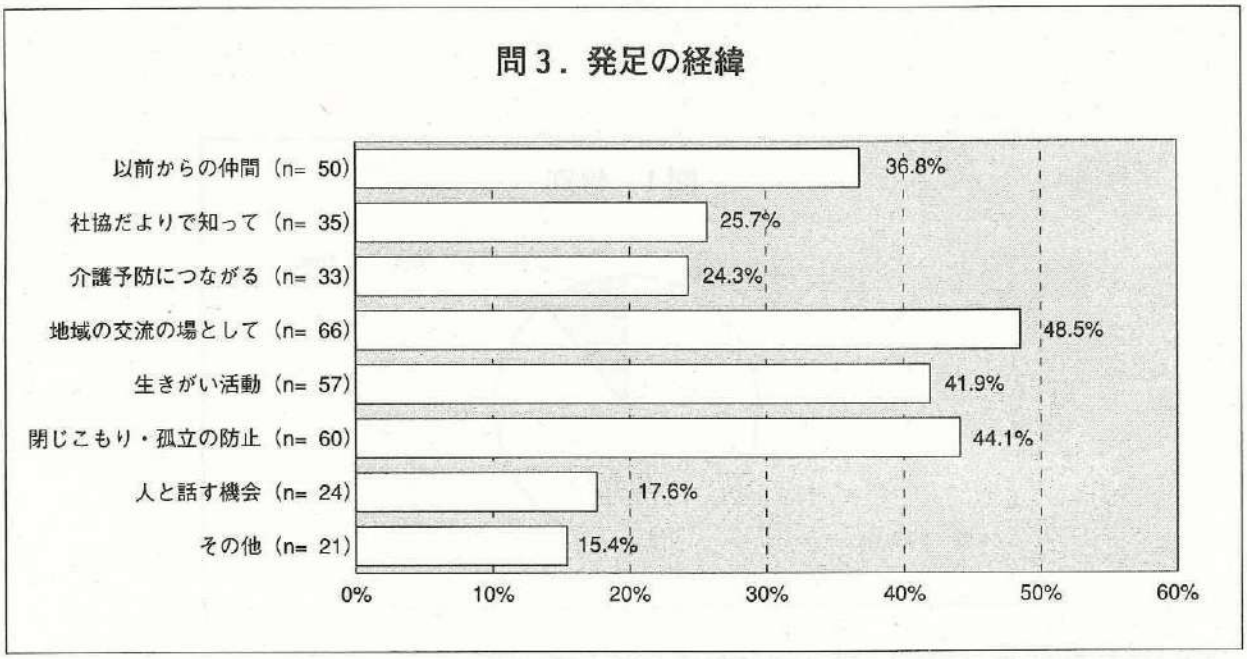
「担い手の年齢区分」についてお示ししているが、平均年齢は、６６．５歳となっている。



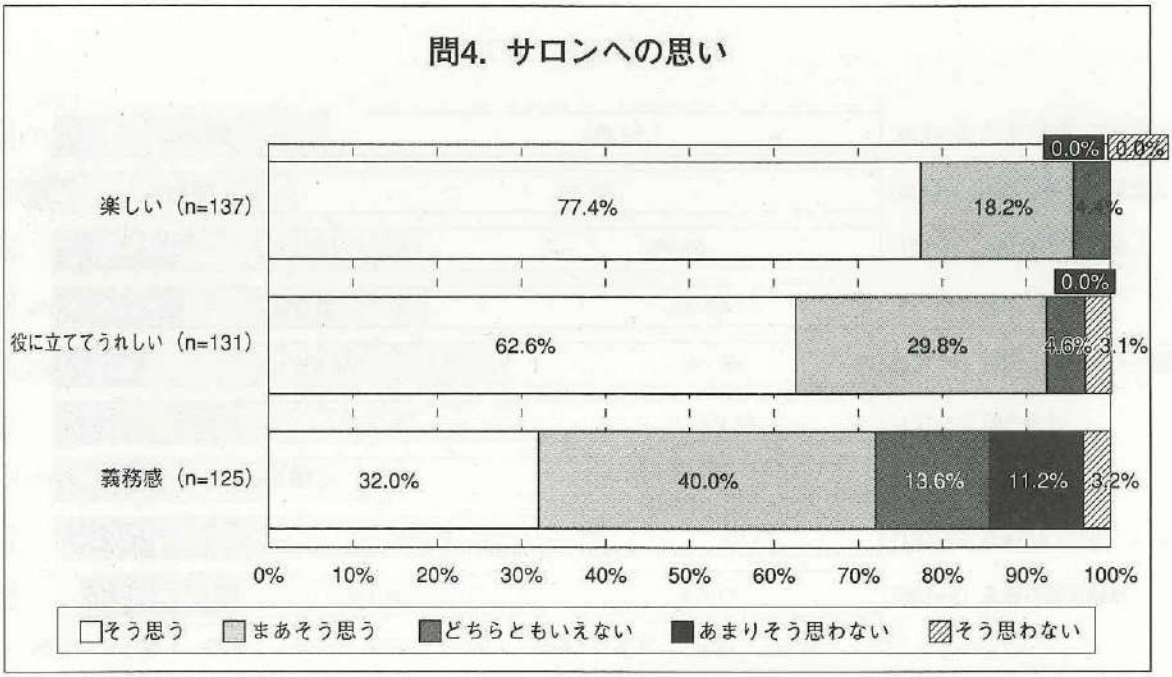
担い手も参加者と同様に約９割が女性となっている。



「老人クラブ」（３７．４％）、「ボランティア」（３６．０％）が多くなっている。



「地域の交流の場として」（４８．５％）、「閉じこもり・孤立の防止」（４４．１％）、「生きがい活動」（４１．９％）の順に高くなっている。



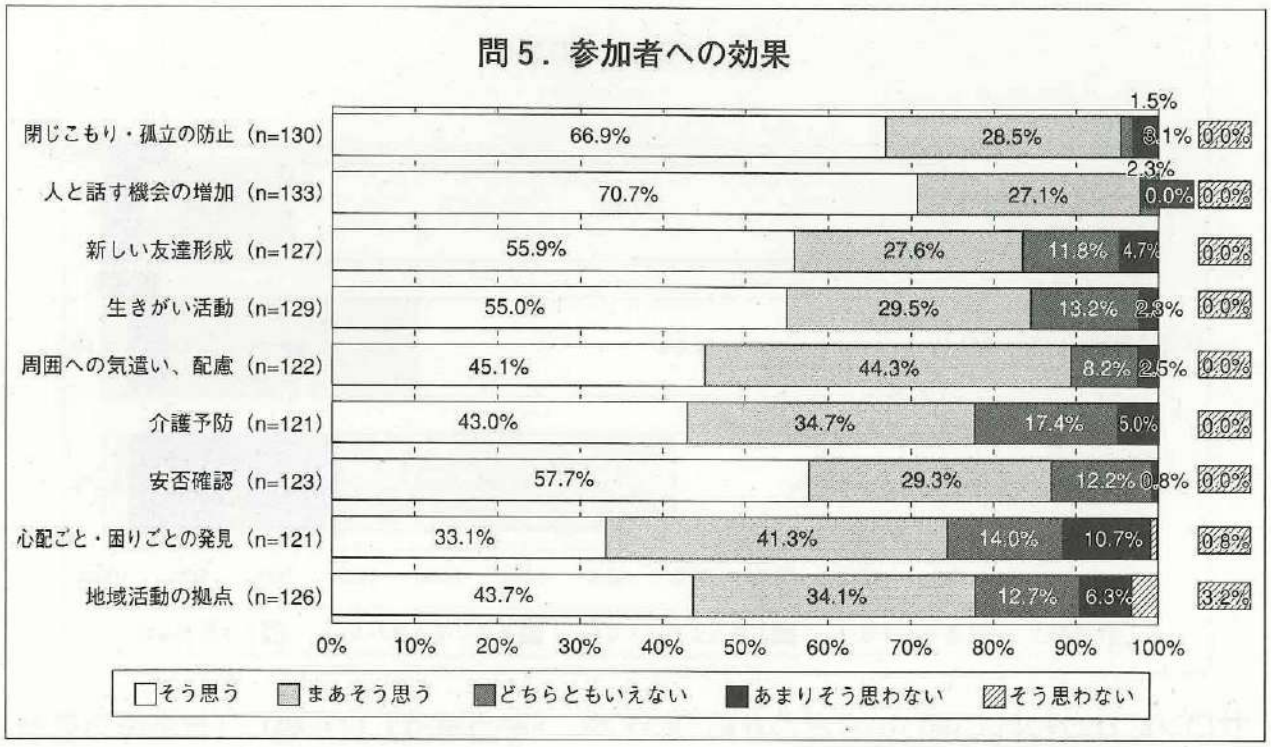
サロンにかかわれて楽しいかどうかについては、「そう思う」（77.4%）、「まあそう思う」（18.2%）となっている。

また、サロンに参加して地域や社会の役に立ててうれしいかどうかについても、「そう思う」（62.6%）、「まあそう思う」（29.8%）と、好意的な回答が９割を超えている。

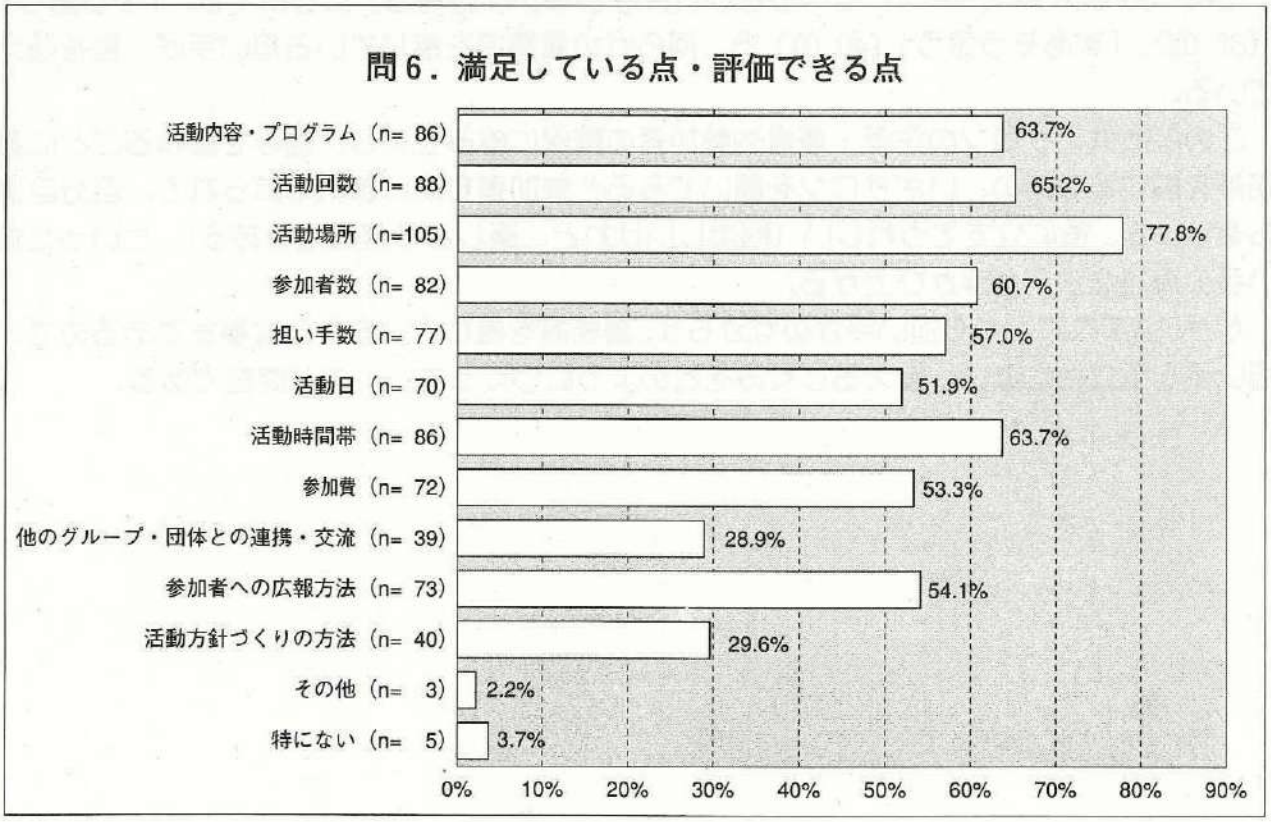
その一方で、サロンに対してやらなければならない「義務感」については、「そう思う」（32.0%）、「まあそう思う」（40.0%）と、何らかの義務感を感じている担い手が７割を超えている。

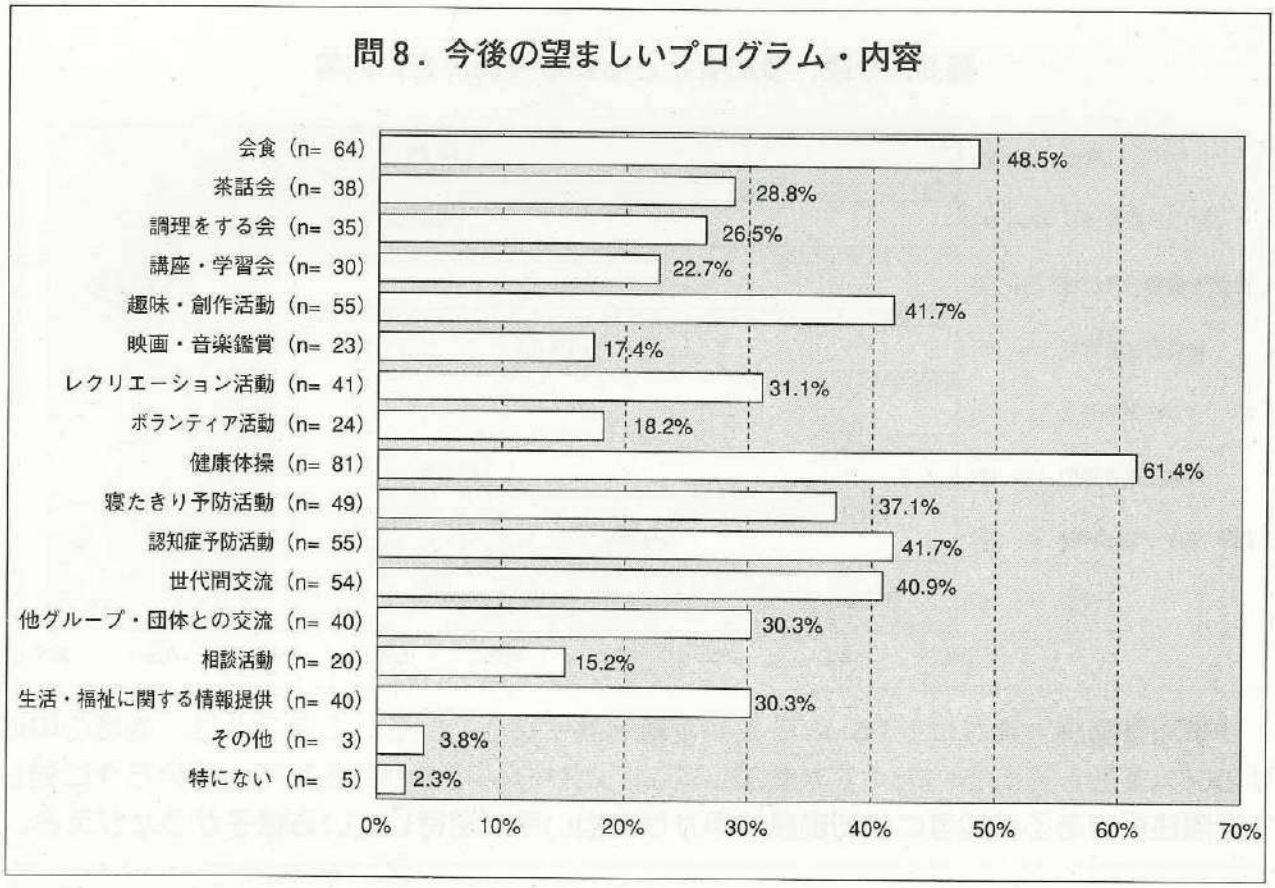
このことは、サロンの企画・運営や参加者の確保に悩みを感じ、悩みを重ねるごとに義務感を感じるものの、いざサロンを開いてみると参加者も楽しまれておられて、自分自身も楽しいし、役に立ててうれしい（悩ましいけれど、楽しさも達成感もある）、といった担い手の複雑な状況が浮かび上がる。

だが、いずれにしても担い手が少なからず、義務感を感じていることは事実であるので、担い手を孤立させない、支えるしくみをどのようにつくっていくのが課題である。



どの項目も、「そう思う」「まあそう思う」を合わせる約７５％～８５％であり、担い手から参加者の様子を見て、サロンの効果を感じて（認めて）いる。

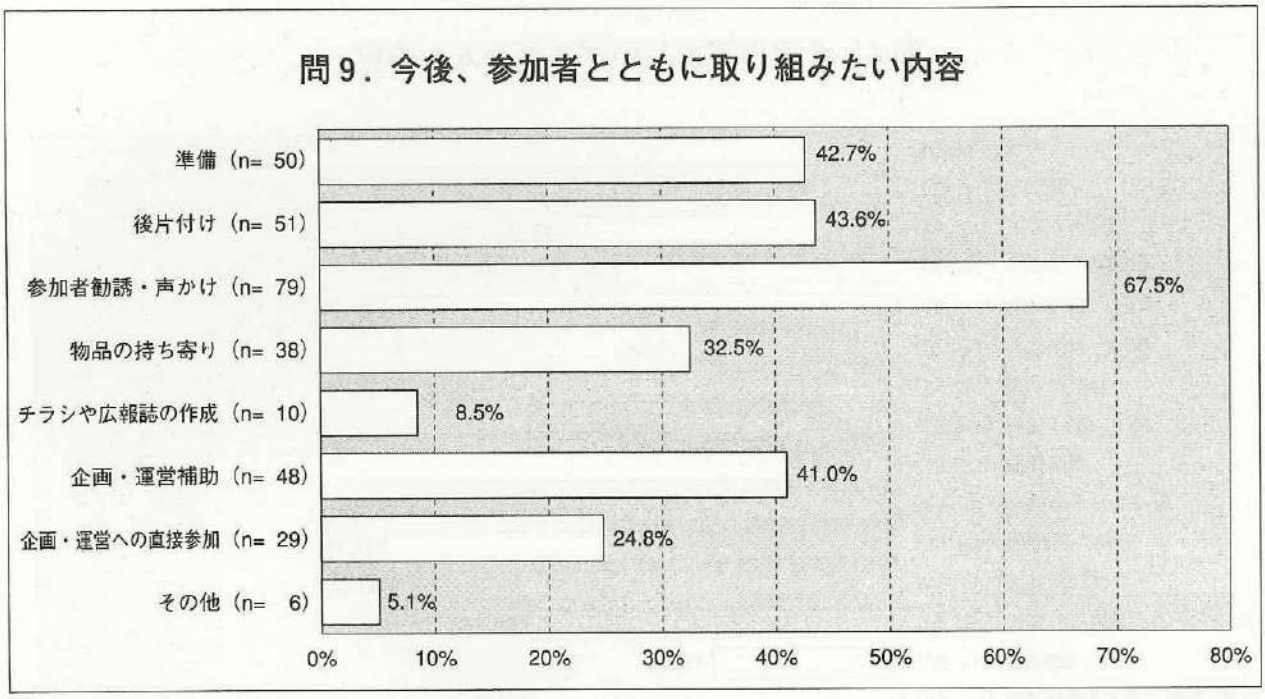




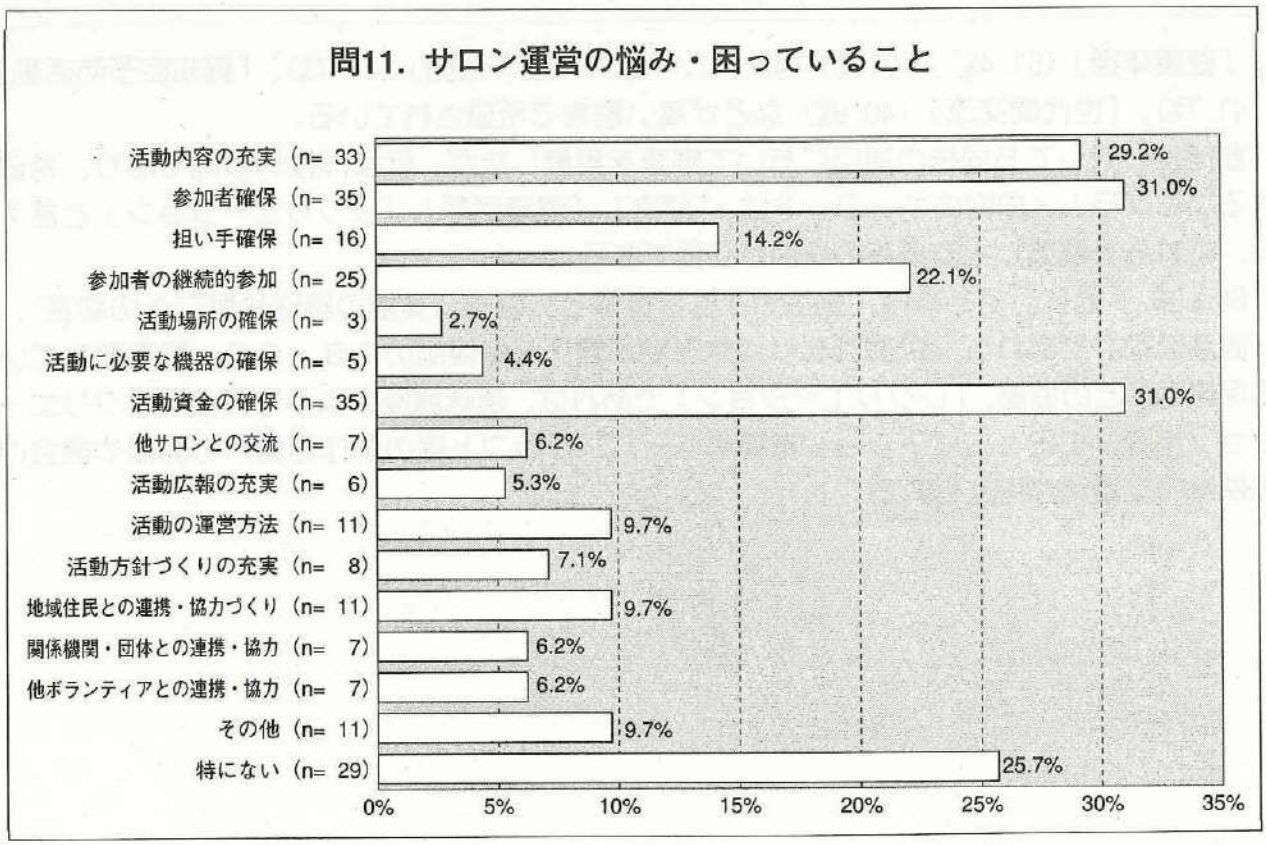
「健康体操」（61.4%）、「会食」（48.5%）、「趣味・創作活動」（41.7%）、「認知症予防活動」（41.7%）、「世代間交流」（40.9%）などが高い割合で希望されている。

参加者に対しても同様の項目において調査を実施したが、ほぼ同様の傾向であり、希望するプログラム・内容のキーワードは、「飲食」、「健康活動」、「レクリエーション」と言える。これらを意識した支援策の検討が必要である。

例えば、「飲食」であれば、食生活改善推進員との協働（実際の調理や献立への助言）、「健康活動」であれば、保健師もしくは在宅保健師（保健師のＯＢ・ＯＧ、職を離れている保健師）との協働、「レクリエーション」であれば、趣味講座のような講座（レクリエーション指導、コミュニケーション指導やペーパークラフト等の創作活動）の開催や機会の提供等の支援策が考えられる。



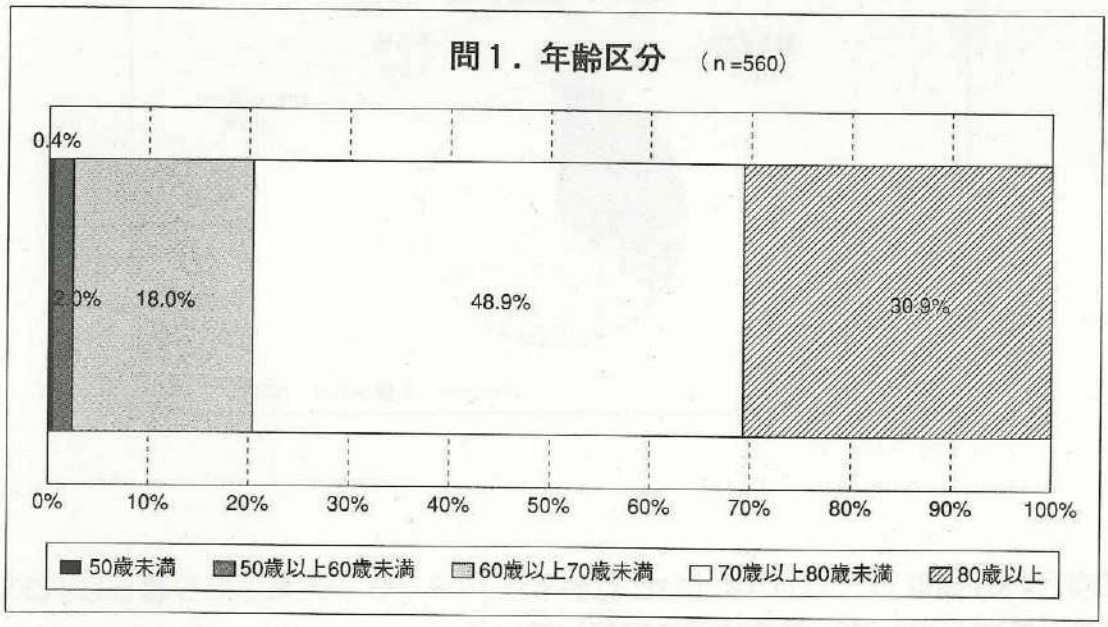
「参加者勧誘・声かけ」（６７．５％）が最も高くなっている。このことは、地域の中にサロンへ参加してもらいたくても参加していただけない方々がおられて、その方々に対して近隣住民である参加者に参加勧誘や声かけを担い手が期待している様子がうかがえる。



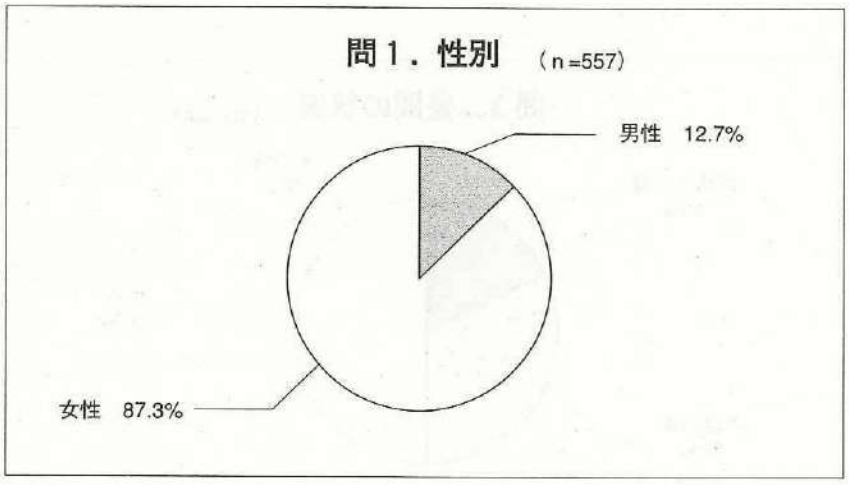
「担い手の抱えるサロン運営での悩み・困っていること」としては、「参加者の確保」（31.0%）、「活動資金の確保」（31.0%）、「活動内容の充実」（29.2%）、「参加者の継続的な参加」（22.1%）が特に高い割合となっている。

（3）参加者用

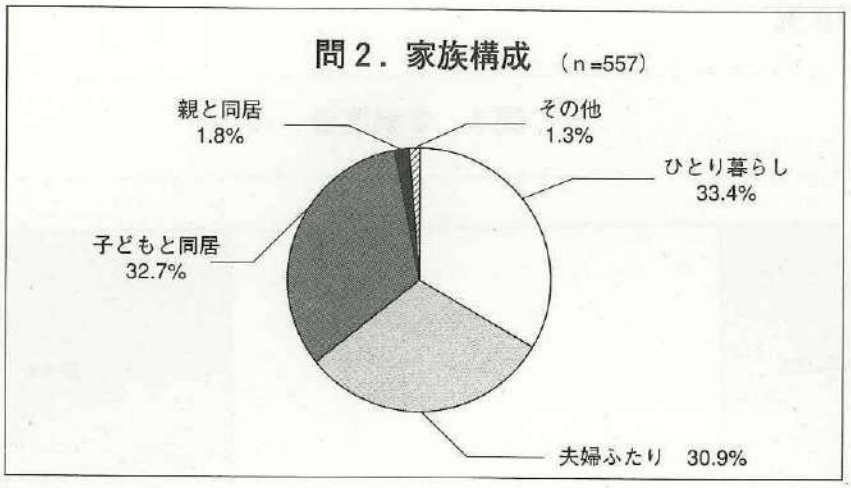
① 参加者の状況



「参加者の年齢区分」についてお示ししているが、平均年齢は、７５．６歳となっており、７０歳以上が約８割を占めている。

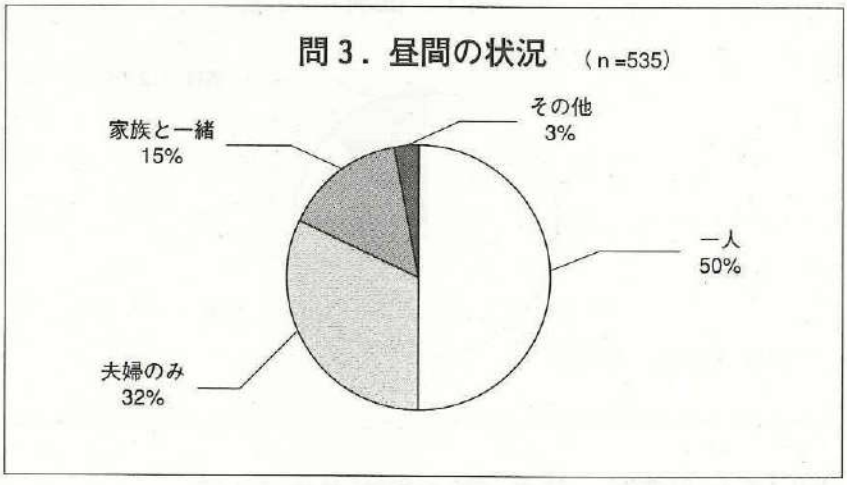


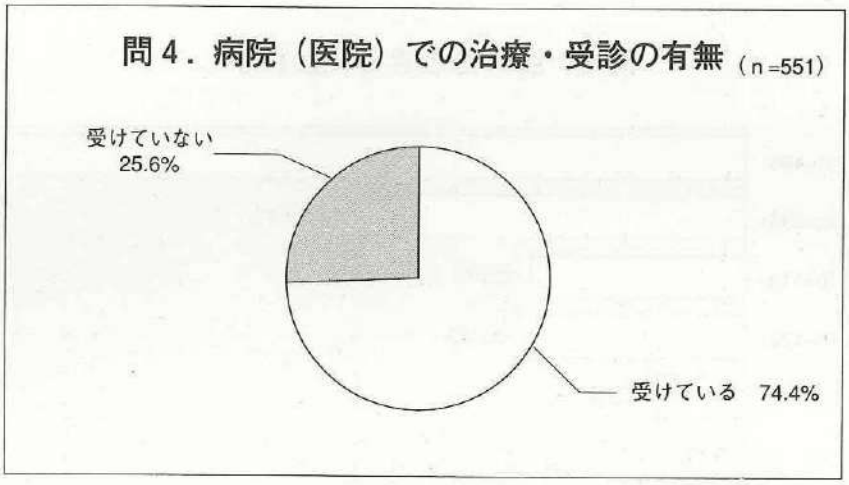
性別構成は、担い手と同様に、女性が約９割を占めている。



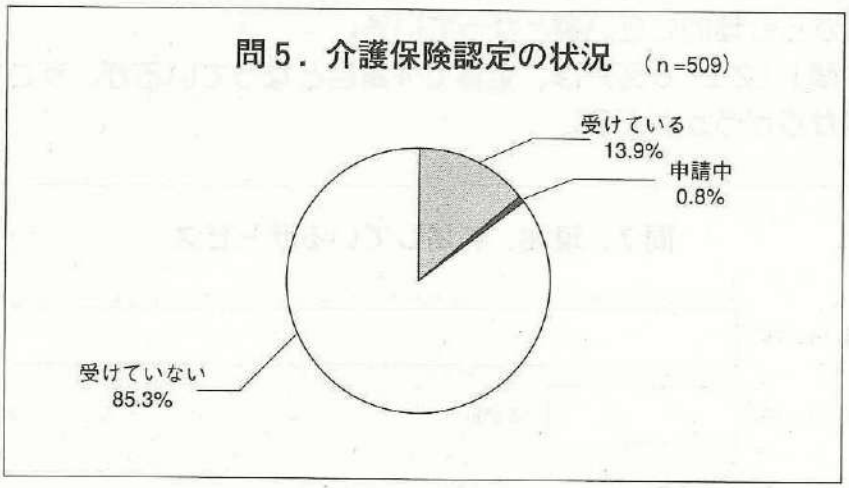
「家族（世帯）構成」については、「ひとり暮らし」（33.4%）、「夫婦ふたり暮らし」（30.9%）、「子どもと同居」（32.7%）がそれぞれ拮抗している。

次のグラフ「日中の家族交流の状況」を見ても分かるように、「ひとり暮らし」「夫婦ふたり暮らし」を合わせると８割を超えており、「子どもと同居」といえども、日中は、一人、もしくは、夫婦のみという状況がうかがえる。



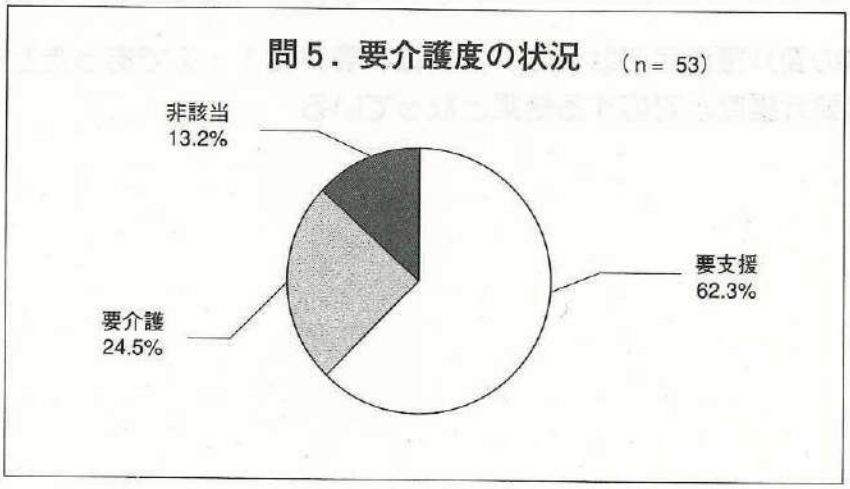


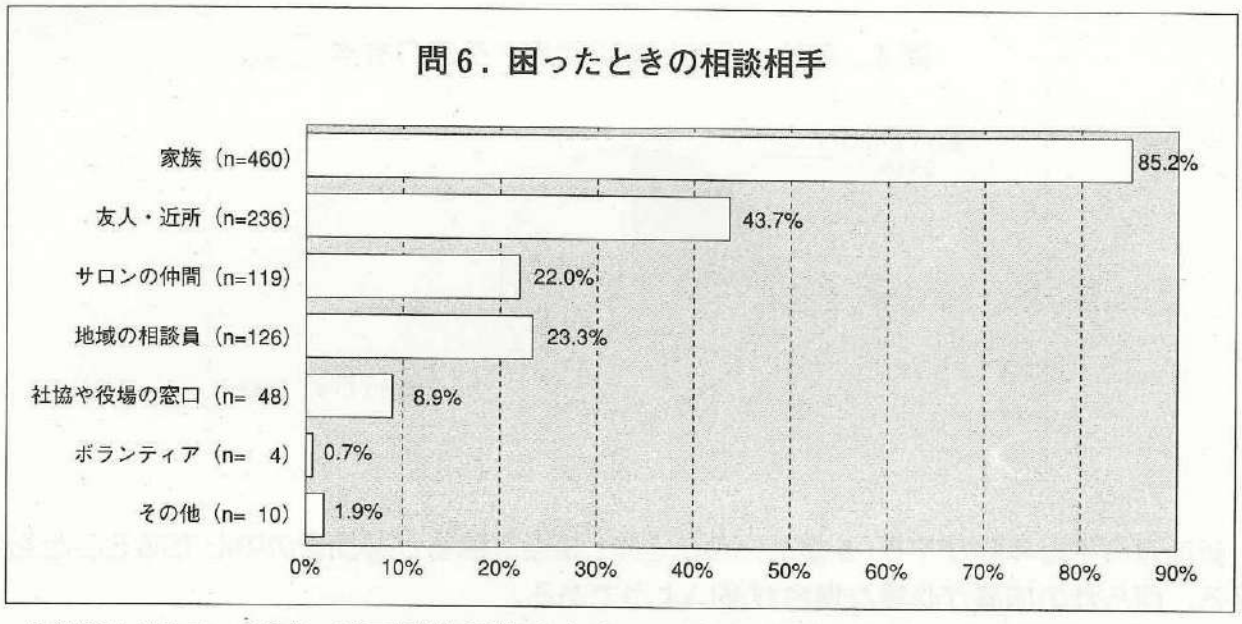
参加者の平均年齢が７５．６歳ということで、後期高齢者が参加者の中心であることを考える、何らかの加療が必要な場合が多いようである。



サロンに参加できる身体状況であるので、「受けていない」（８５．３％）が大半を占めている。

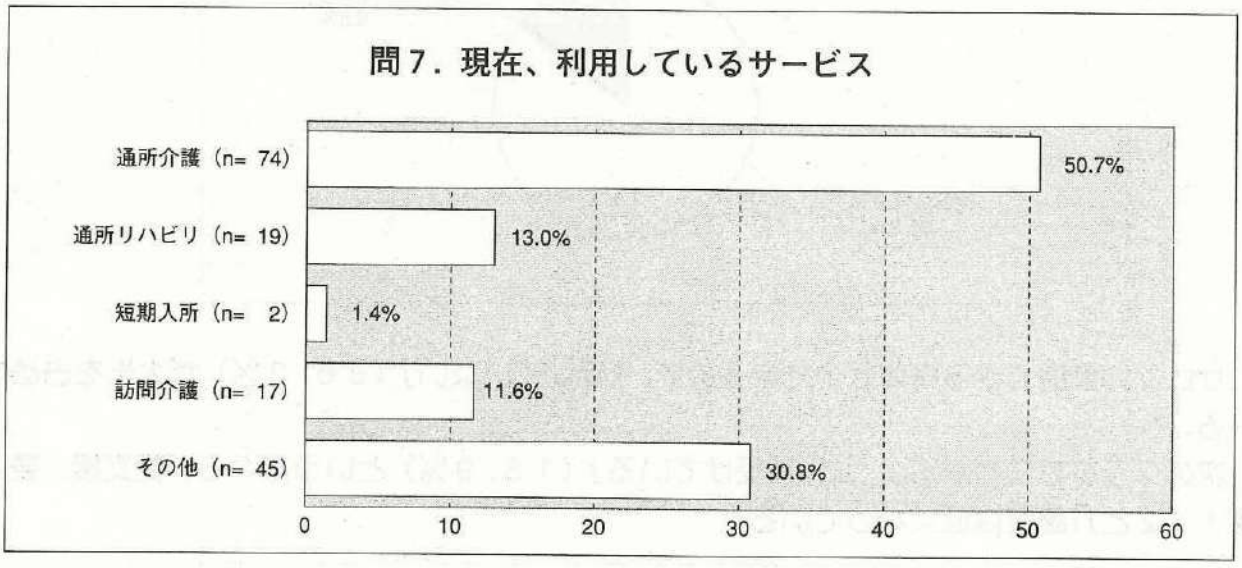
次のグラフでもわかるように、「受けている」（１３．９％）という方々も、要支援、要介護１・２と介護度は低くなっている。



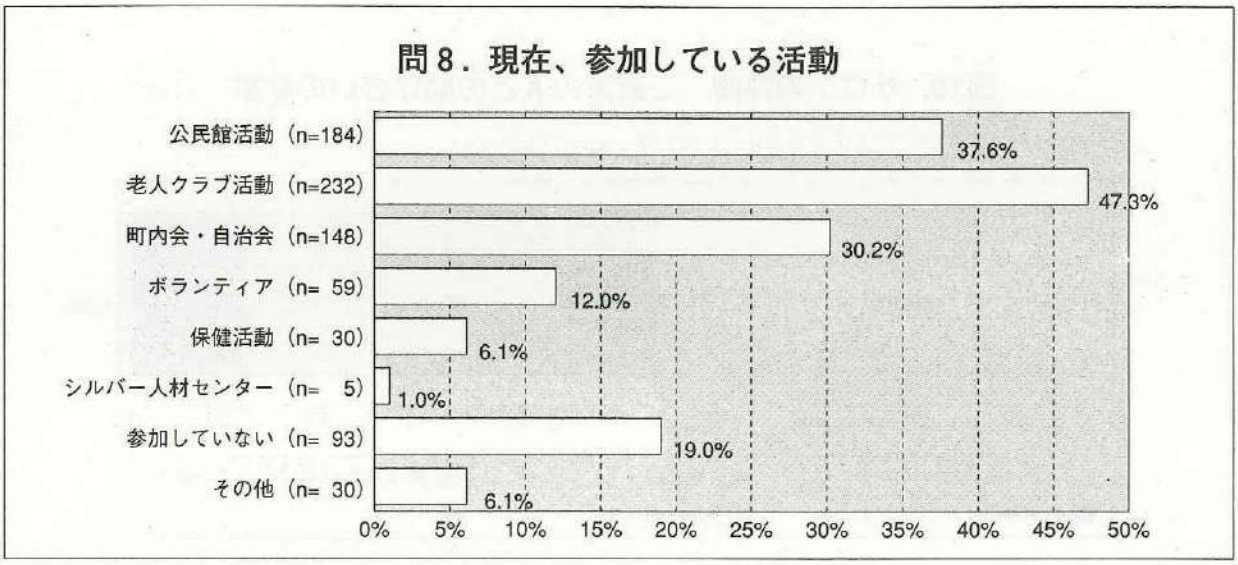


「家族」（８５．２％）が圧倒的多数を占めている。つづいて「友人・近所の人」（４３．７％）と参加者から心理的に近い順となっている。

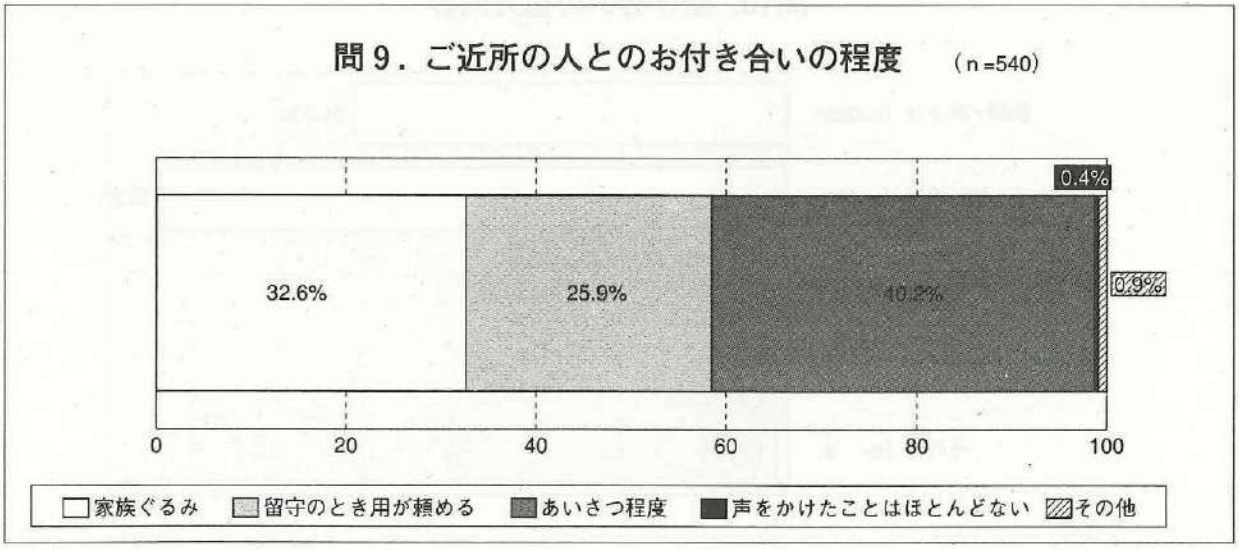
「サロンの仲間」（２２．０％）は、全体で４番目となっているが、サロン参加を通じての人間関係の広がりがうかがえる。



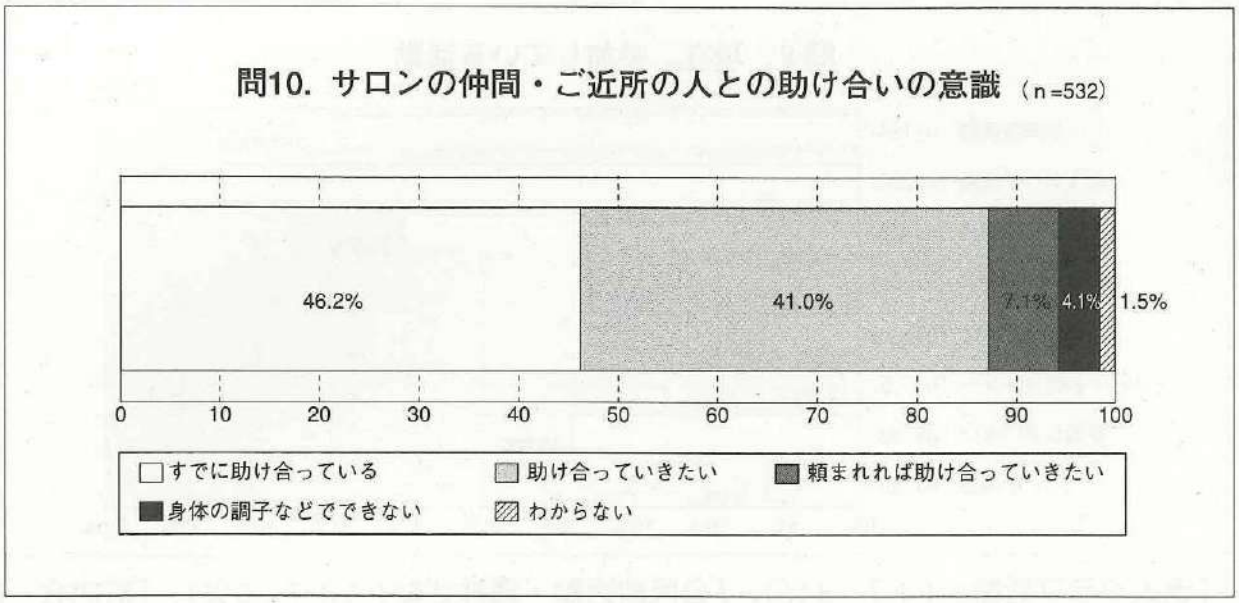
サロン参加者の要介護認定の状況が、要支援、要介護１・２であったとおり、利用しているサービスも要介護度と対応する結果となっている。

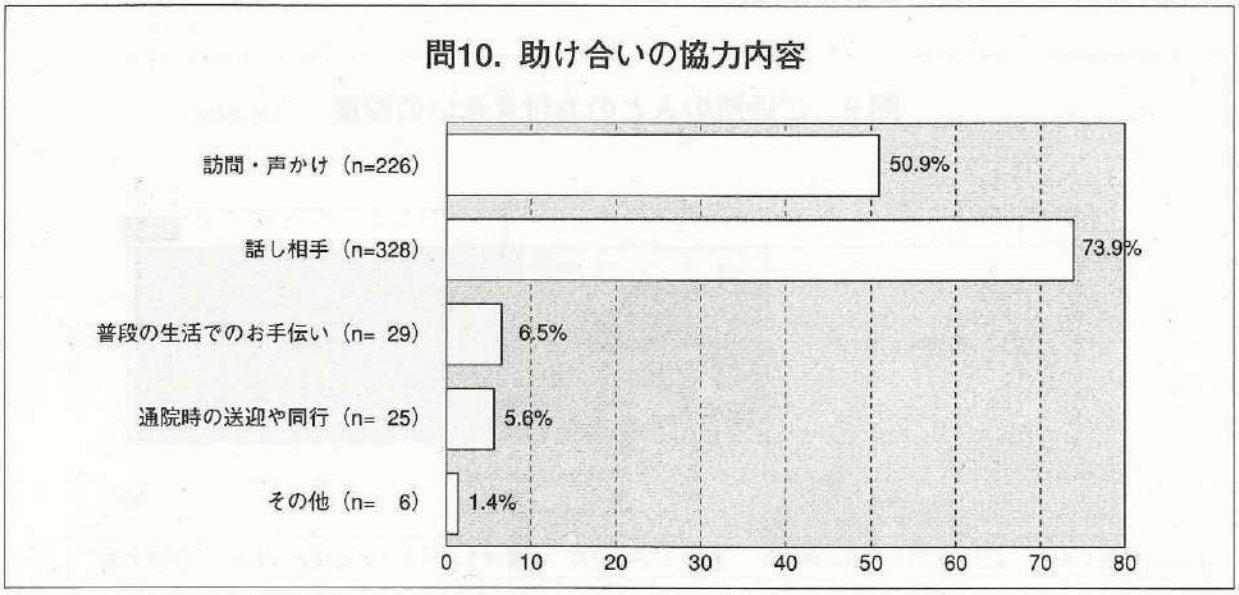


「老人クラブ活動」（４７．３％）、「公民館活動・趣味活動」（３７．６％）、「町内会・自治会活動」（３０．２％）が多くなっている。サロン参加者の多くは、サロン以外にも何らかの社会参加を行っていることがうかがえる。

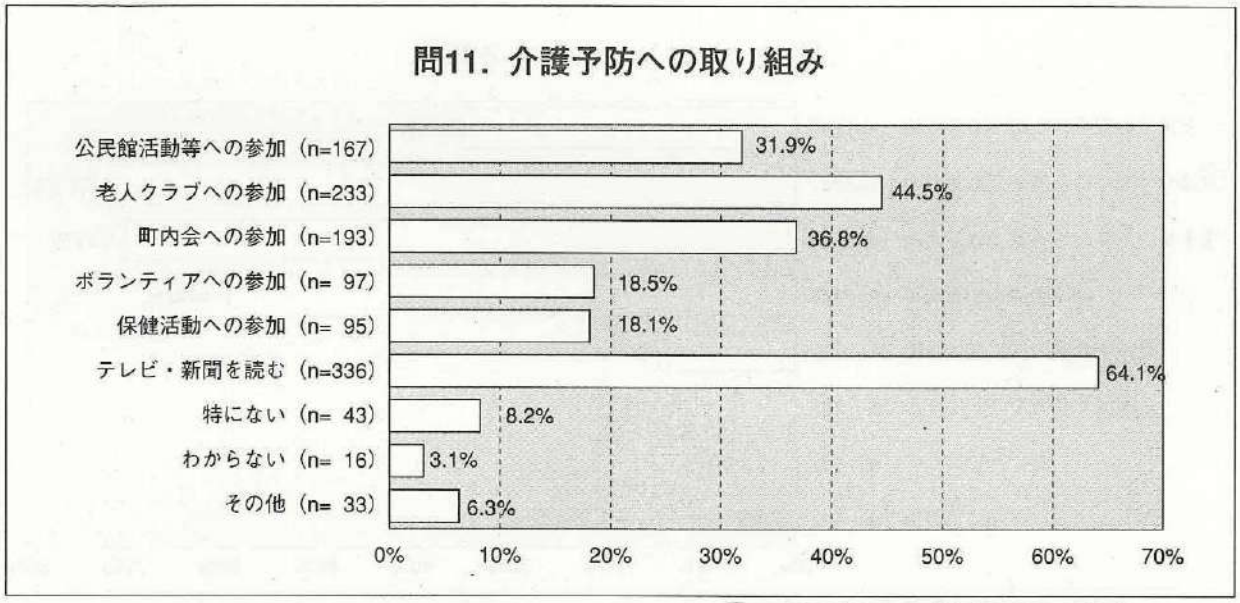


「家族ぐるみで付き合いがある」（３２．６％）、「留守にするときには、用が頼める」（２５．９％）を合わせると約６割となり、一定の近所づきあいの深さがうかがえるものの、「あいさつ程度」（４０．２％）が４割あることが注目される。



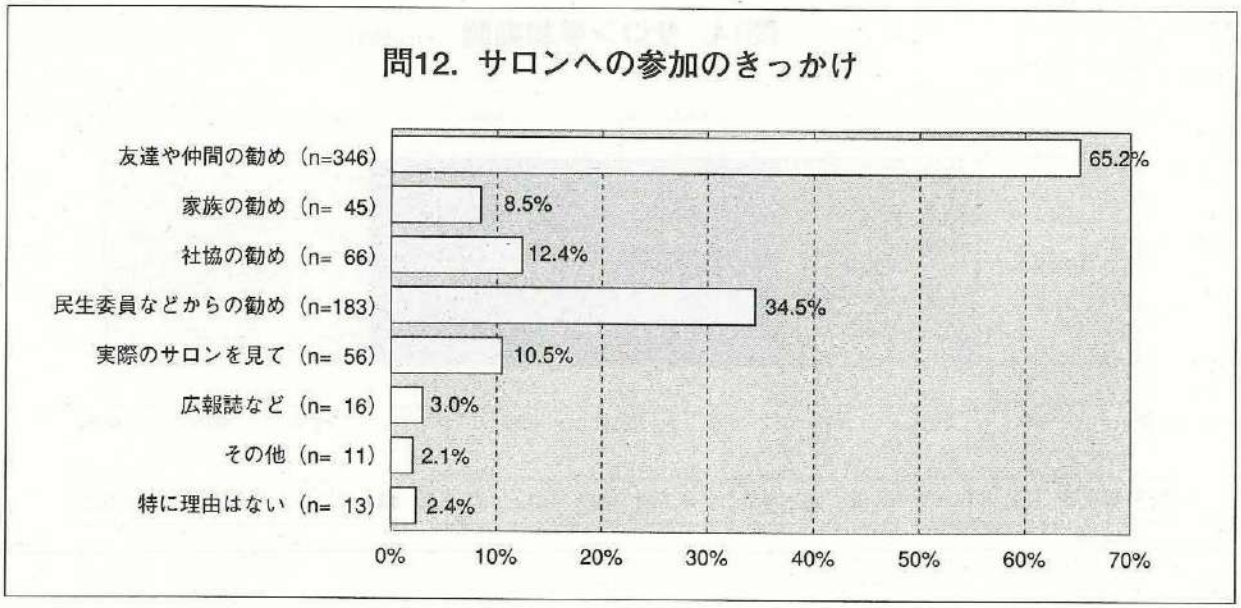


生活の中で無理のない範囲での助け合い活動である、「話し相手」（７３．９％）、「訪問・声かけ」（５０．９％）が高い割合となっている。



「テレビ・新聞・雑誌を読むように心がける」（６４．１％）が最も高くなっており、「老人クラブへの参加」（４４．５％）、「町内会・自治会活動」（３６．８％）、「公民館・趣味活動への参加」（３１．９％）の順でつづいており、問８の現在参加している活動の結果とほぼ重なっている。

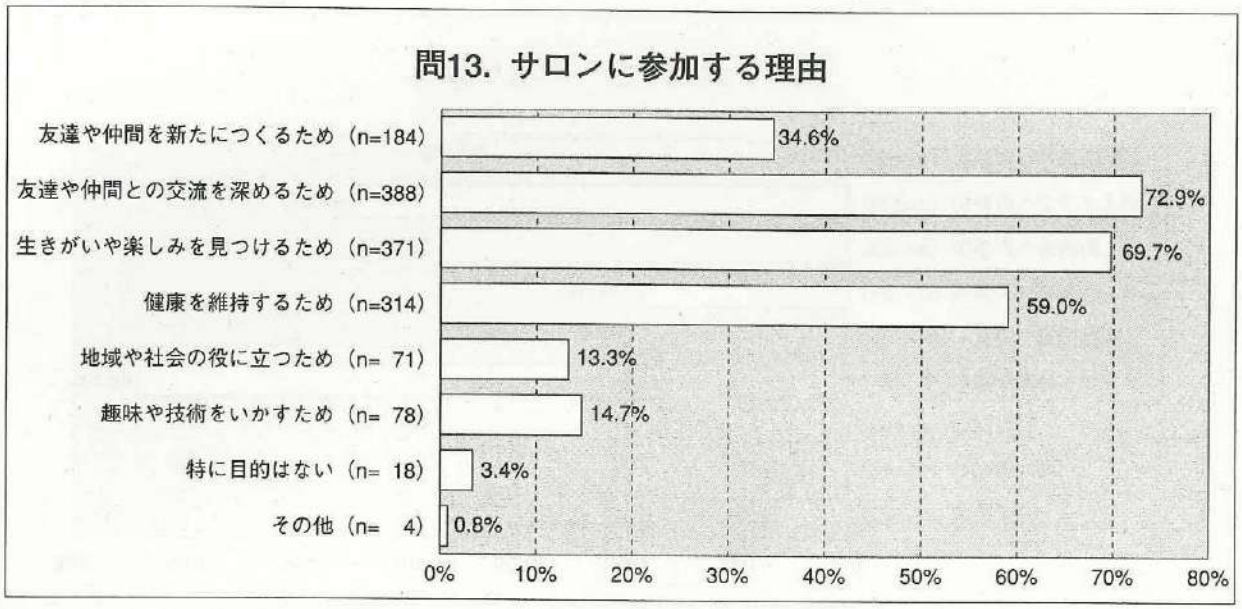
介護予防への関心の高さがうかがえるとともに、サロンをはじめとした地域での活動への参加が介護予防への取り組みと考えられている。



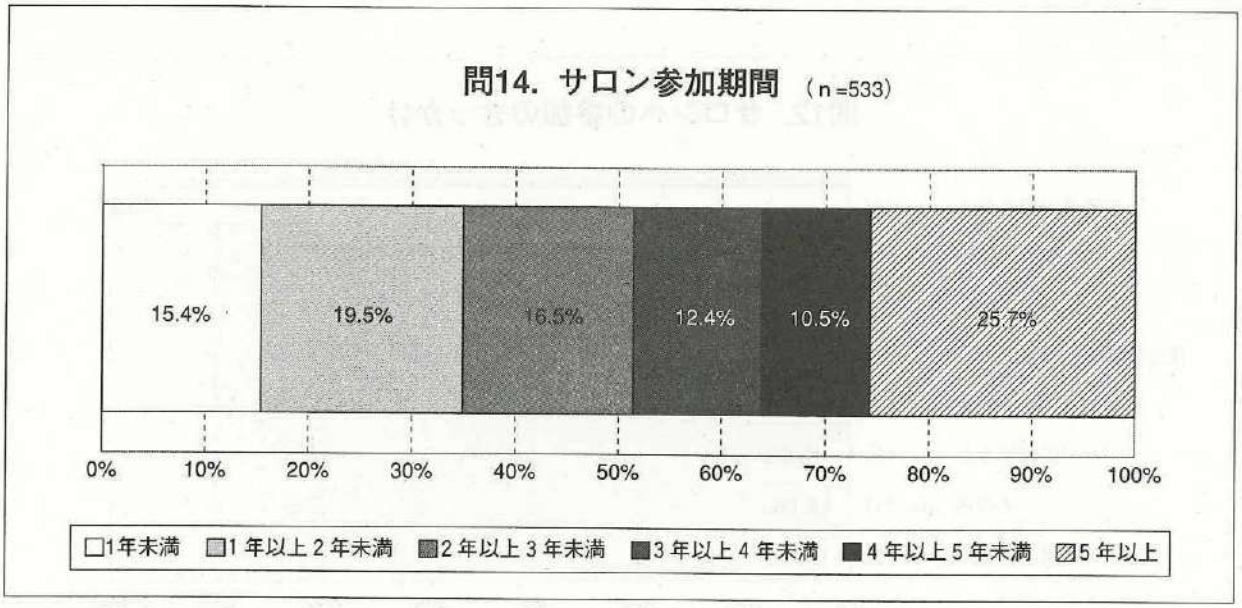
「友達や仲間の勧め」（65.2%）がもっとも多くなっており、サロン発足以前より地域でのつながり、交流があったことが考えられる。

次に多いのは、「民生委員や福祉員などからの勧め」（34.5%）となっている。

この結果は、新規参加者の掘り起こしは、参加者の口コミや民生委員、福祉員、老人クラブ会員等の地域福祉活動における声かけが効果的であることがうかがえる。

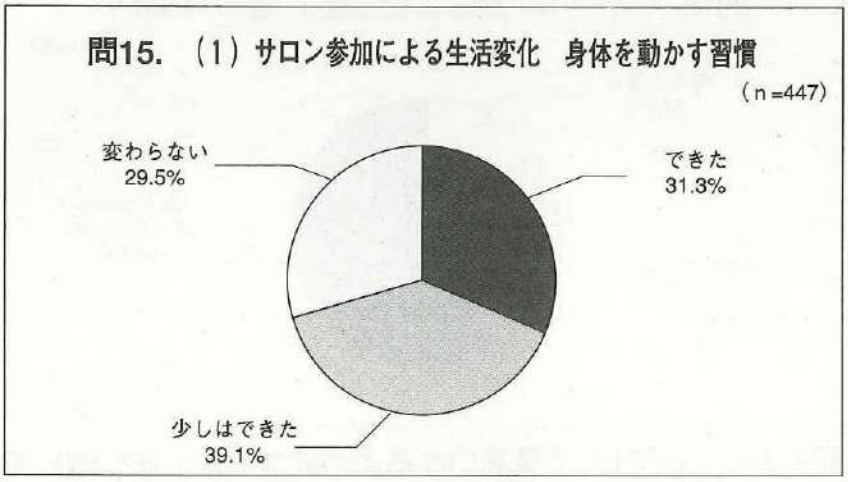


「友達や仲間との交流を深めるため」（72.9%）、「いきがいや楽しみを見つけるため」（69.7%）、「健康を維持するため」(59.0%)、「友達や仲間を新たにつくるため」（34.6%）が主な理由（目的）となっている。参加者は、文字どおり「交流（ふれあい、知り合い）」、「楽しみ・生きがいづくり」、「出かけることでの健康維持」をサロンに求めていることがよくわかる。

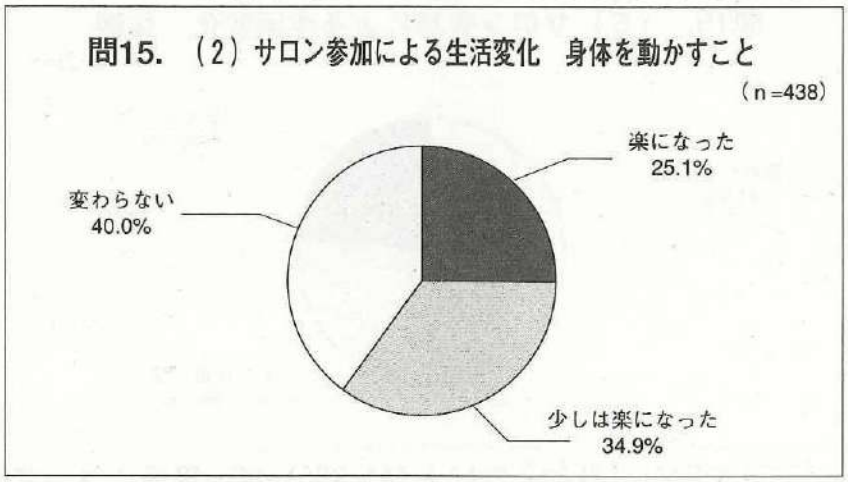


「５年以上」（２５．７％）が最も多くなっており、健康で長く参加されている様子がうかがえる。それ以外の項目も１０～１５％で推移しており、サロンの参加者の入れ替わりが行われていることがわかる。

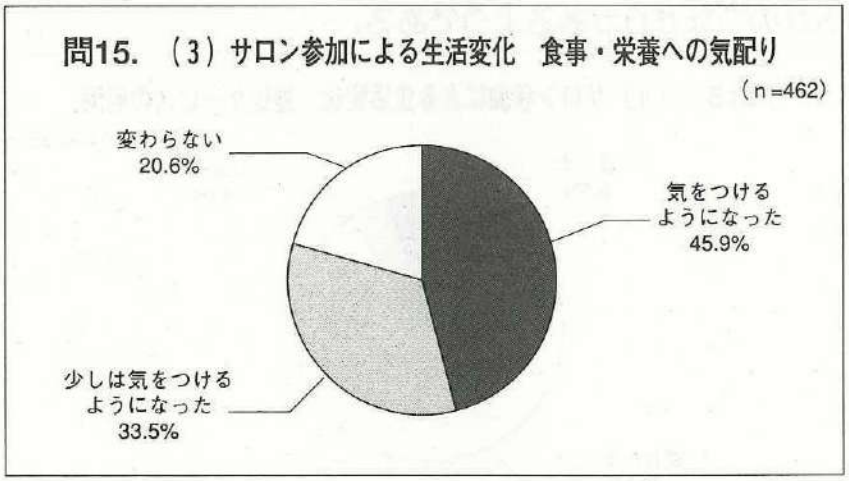
② サロン参加による身体的効果



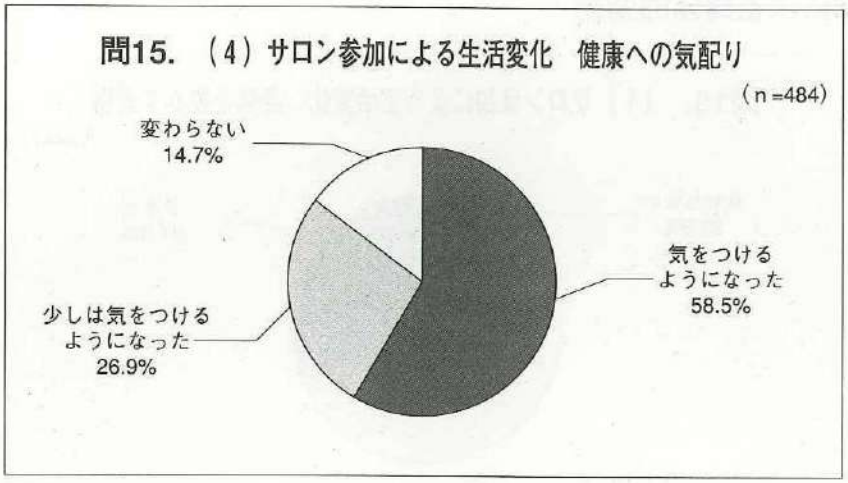
「身体を動かす習慣」は、「できた」（31.3%）、「少しはできた」（39.1%）をあわせると約7割となっている。サロンが身体を動かすきっかけとなっているようである。



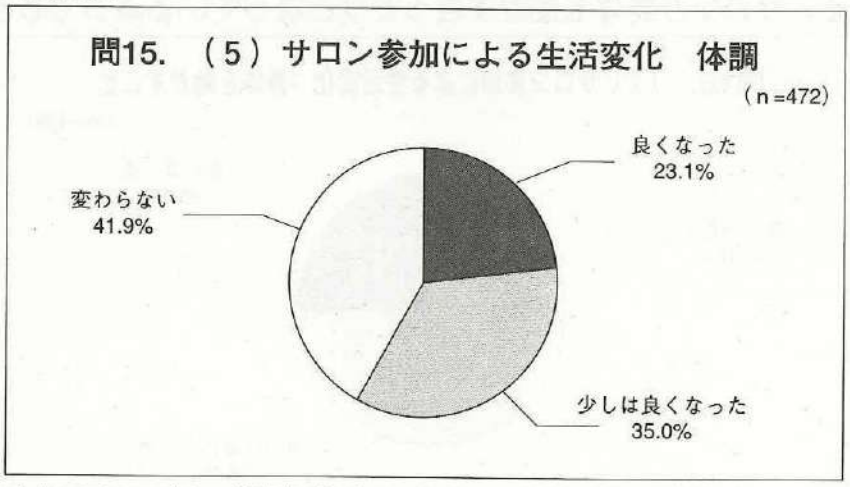
「身体を動かすこと（身体機能の向上）」については、「楽になった」（25.1%）、「少しは楽になった」（34.9%）をあわせると約6割となっている。



「食事・栄養への気配り」については、「気をつけるようになった」（45.9%）、「少しは気をつけるようになった」（33.5%）を合わせると約8割となり、サロンが食事・栄養への気配りにつながっているようである。

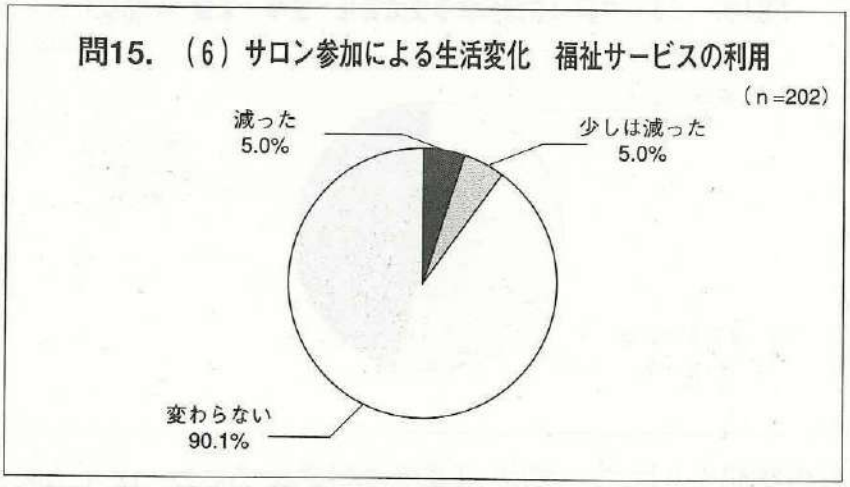


「健康への気配り」については、「気をつけるようになった」（58.5%）、「少しは気をつけるようになった」（26.9%）を合わせると約８５%となり、サロンが健康への気配りにつながっているようである。

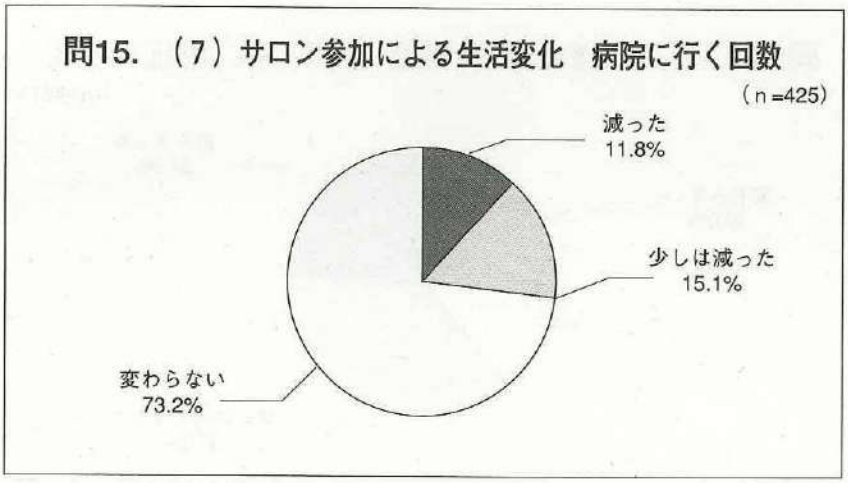


「体調の変化」については、「変わらない」（41.9%）が一番多くなっているが、このことは、体調に変化なくサロンに参加できている様子が伺える。

「良くなった」（23.1%）、「少しはよくなった」（35.0%）をあわせると約７割となり、体調の向上との何らかのつながりがあるようである。

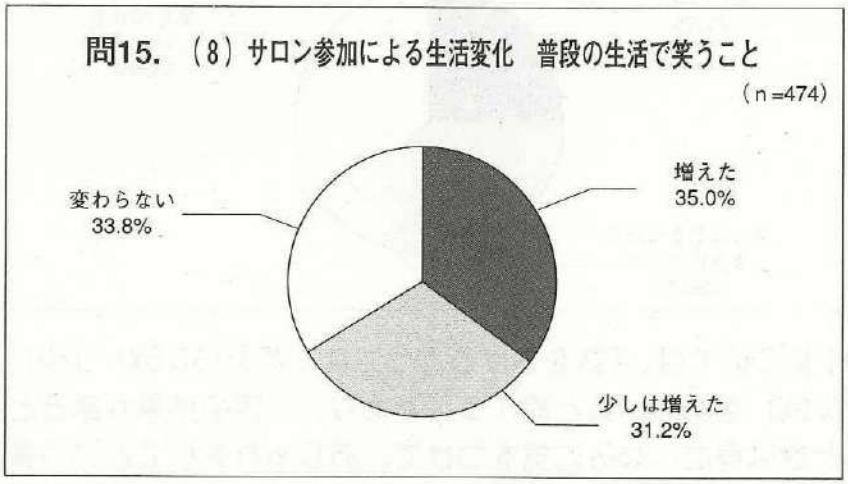


「変わらない」（90.1%）が最も多くなっている。サロン参加による効果は見えないものの、参加者の身体状況は、サービスを利用していない、もしくは、利用していても利用状況が増加していない程度に保たれていることがうかがえる。

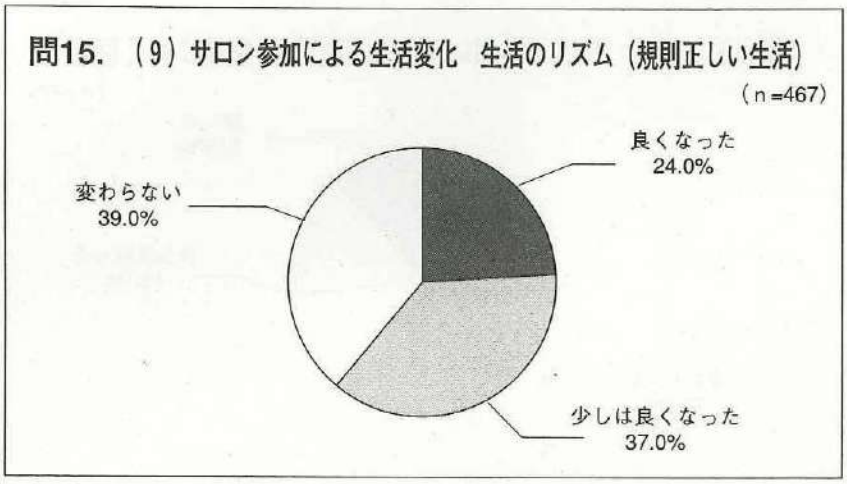


「減った」（11.8%）、「少しは減った」（15.1%）を合わせると約 25%になるものの、「変わらない」（73.2%）が最も多くなっている。サロン参加による効果は見えないが、参加者の身体状況は、病院に行く回数が増加していない程度に保たれていることがうかがえる。

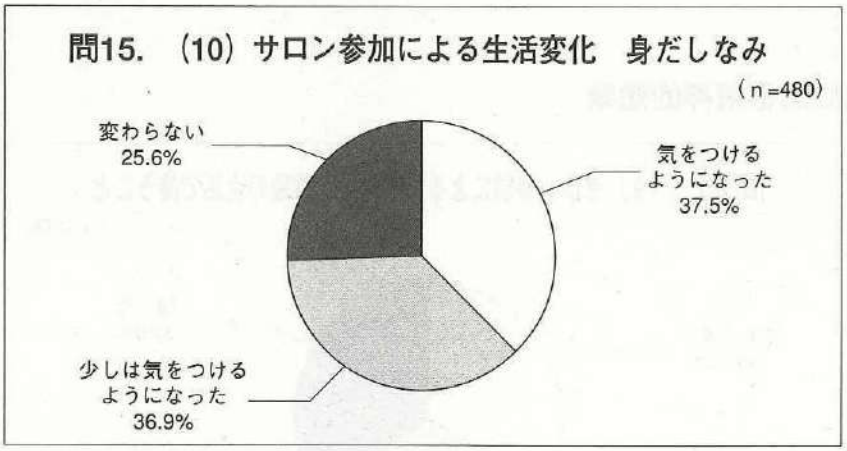
③ サロン参加による精神的効果



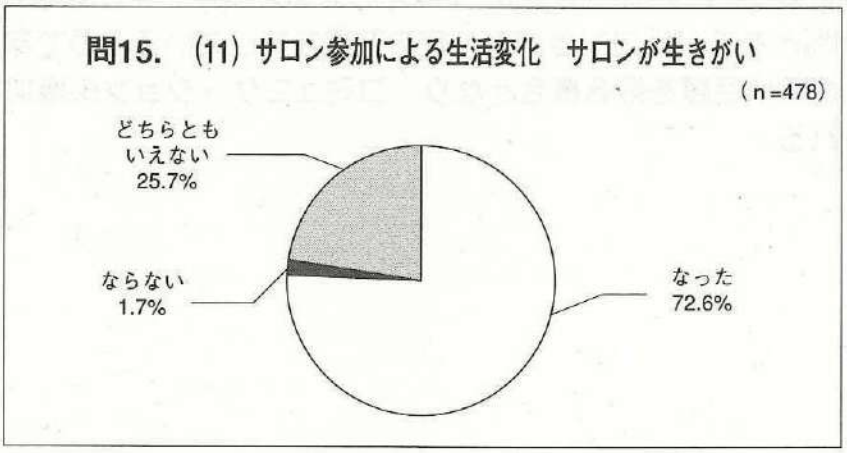
「普段の生活で笑うこと」については、「増えた」（35.0%）、「少しは増えた」（31.2%）をあわせると約 66%となり、サロン参加が一定の効果を持っているようである。これは、サロンの参加が、情報や話題を得る機会となり、コミュニケーションの増加を後押ししていることが想像される。



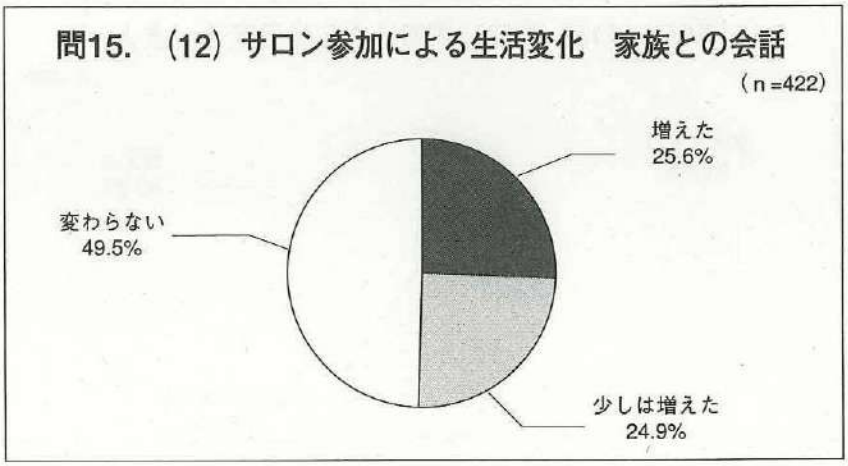
「生活のリズム（規則正しい生活)」については、「良くなった」(24.0%)、「少しは良くなった」(37.0%) をあわせると約６割であり、サロンの参加を意識が生活のメリハリにつながっているようである。



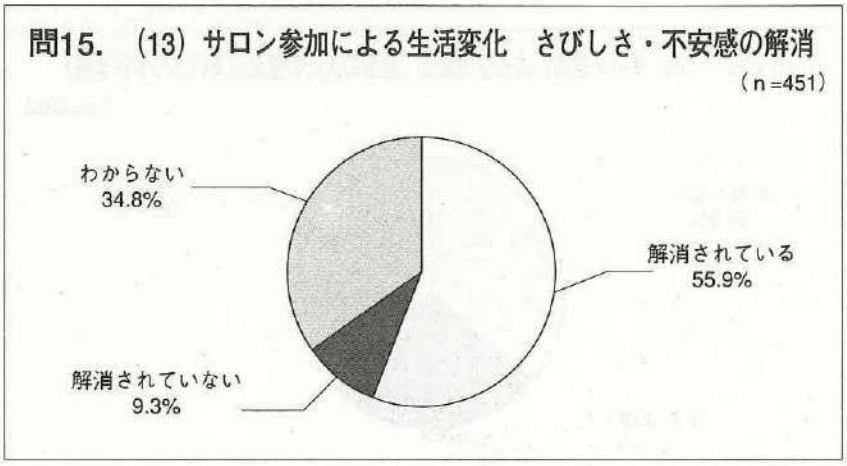
「身だしなみ」については、「気をつけるようになった」(37.5%)、「少しは気をつけるようになった」(36.9%) をあわせると約７５%であり、一定の効果があると考えられる。やはり、出かけるときは身だしなみに気をつけて、おしゃれをしてという参加者の様子がうかがえる。



「サロンが生きがいとなっているか」については、「なった」(72.6%) であり、サロンへの参加が生きがいの機会となっていることを示している。

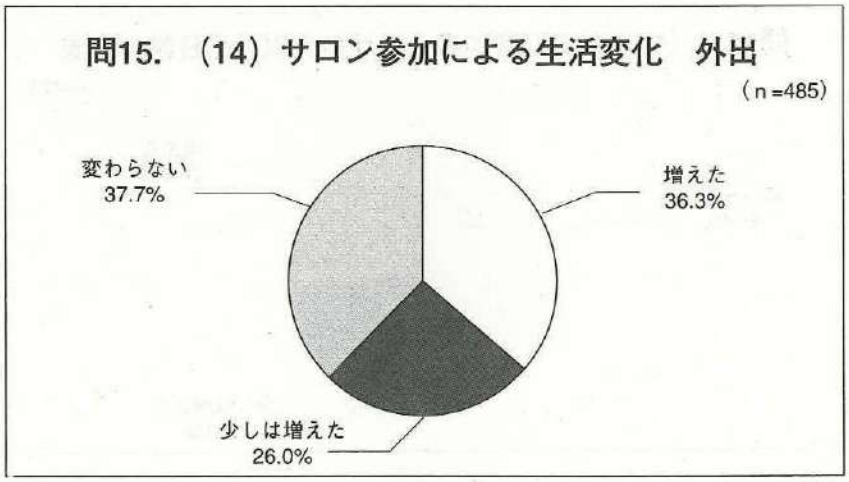


「家族との会話」については、「増えた」(25.6%)、「少しは増えた」(24.9%) をあわせて約5割ということで、効果の有無は参加者の間でほぼ拮抗している。

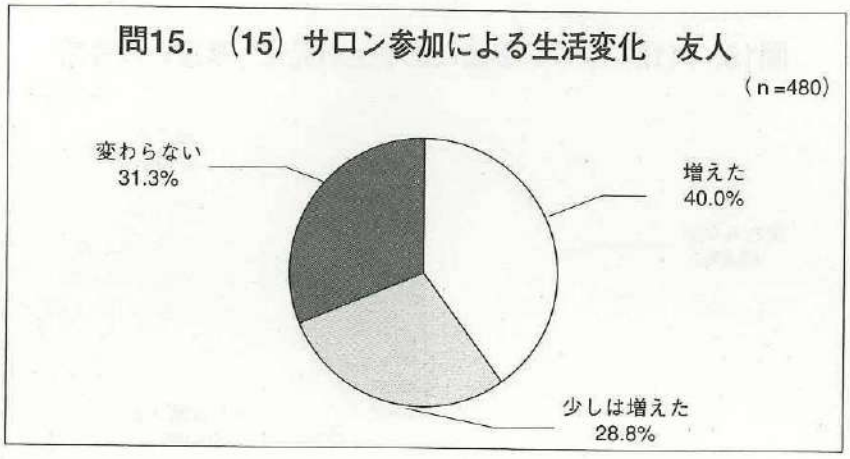


「さびしさ・不安感の解消」については、「解消されている」(55.9%) となっており、サロンの参加が一定の効果をあげている。

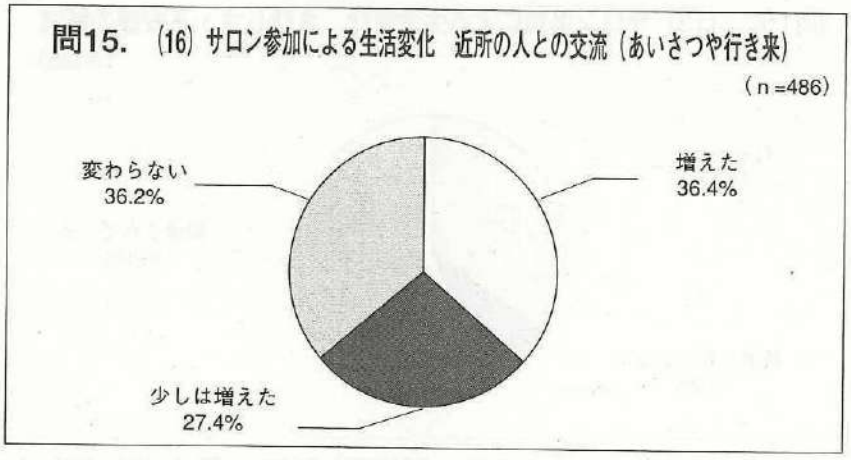
④ サロン参加による社会的効果



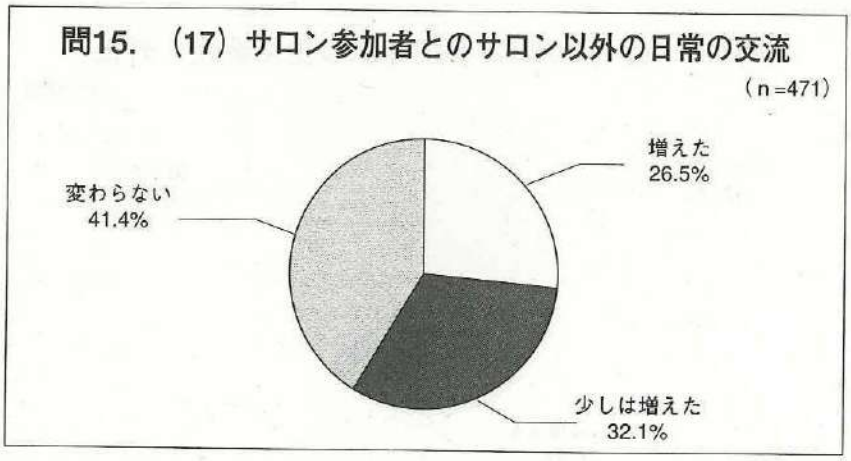
「外出機会」については、「増えた」(36.3%)、「少しは増えた」(26.0%) をあわせると6割を超えており、サロンへの参加を契機として参加者の外出への意識高揚が考えられる。



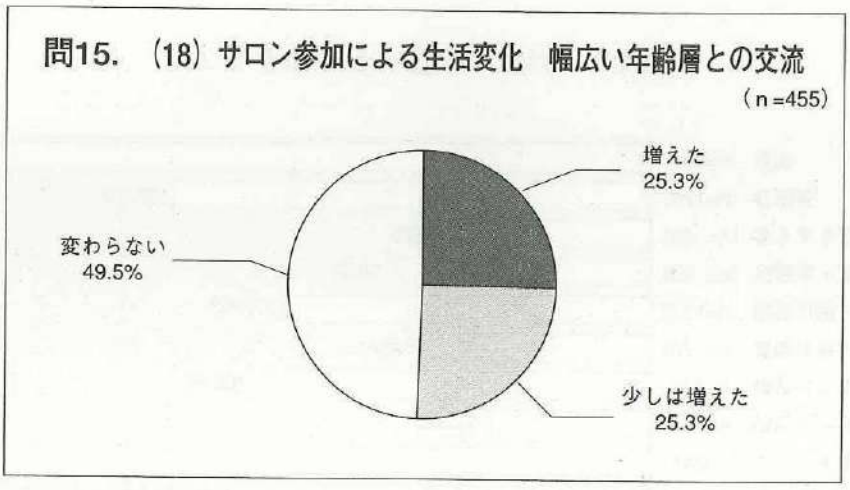
「友人数の変化」については、「増えた」(40.0%)、「少しは増えた」(28.8%) をあわせると7割にせまっており、サロンの参加が参加者の新たな出会い、友人を増やす（友人との交流を深める）機会となっていることがうかがえる。



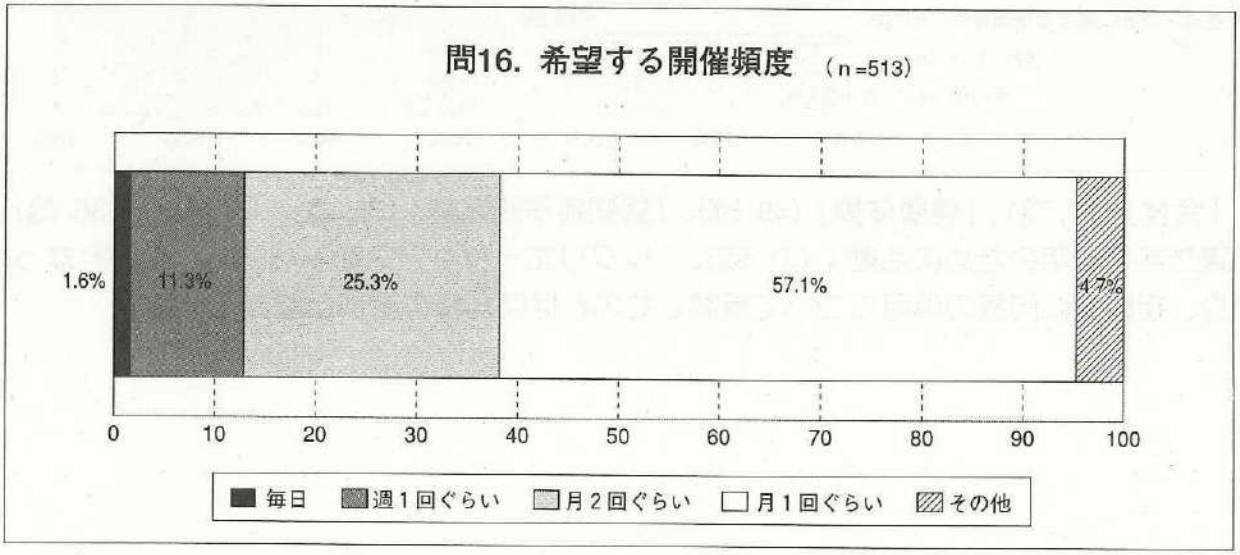
「近所の人との交流（あいさつや行き来）」については、「増えた」(36.4%)、「少しは増えた」(27.4%) をあわせると6割を超えており、サロンへの参加、あるいは、サロン活動が地域に知られることにより近所の人の協力等により、参加者との交流が増えている様子がうかがえる。



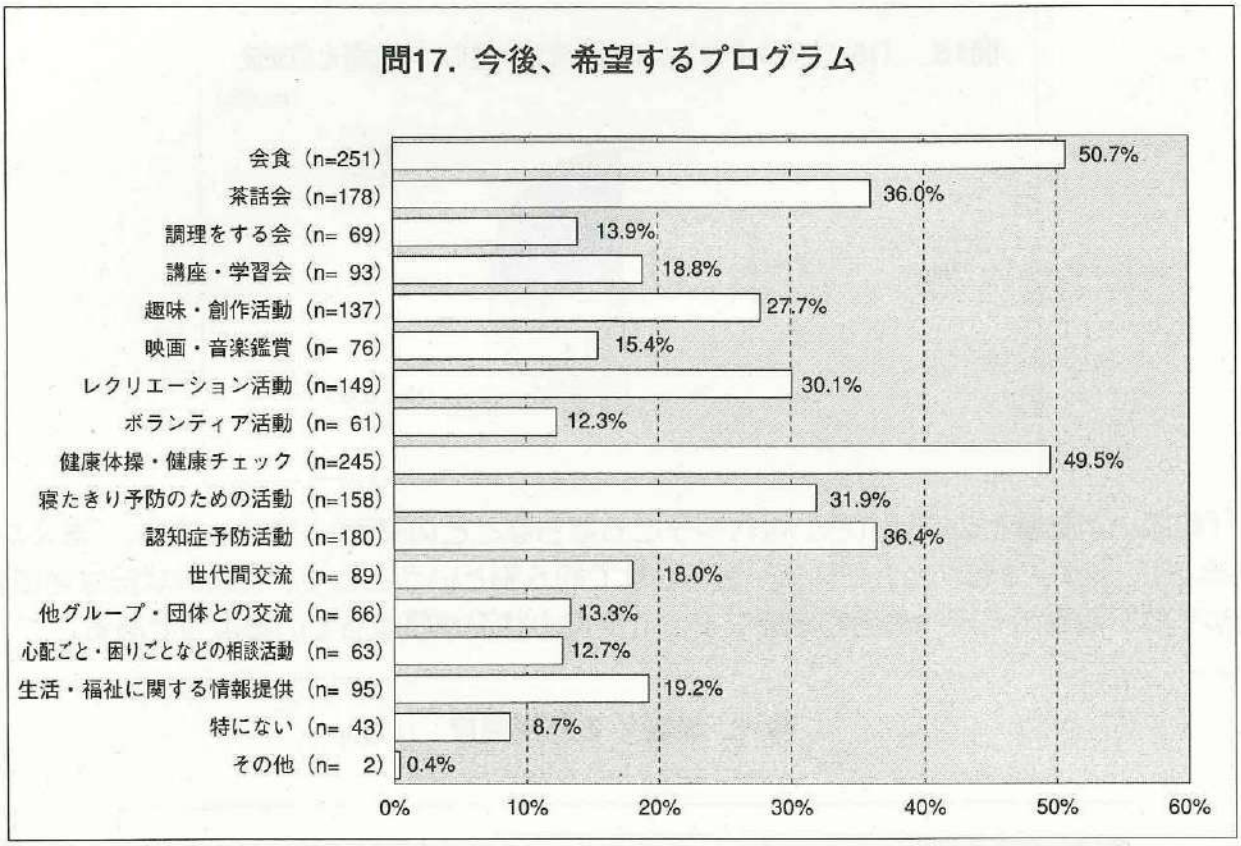
「サロン参加者同士のサロン以外での日常の交流」については、「増えた」(26.5%)、「少しは増えた」(32.1%) をあわせると、約6割であり、サロンを通じて参加者同士の日常的な交流が広がっていっていることがうかがえる。



「幅広い年齢層との交流（若い世代や子どもたちなどとの交流）」については、「増えた」（25.3%）、「少しは増えた」（25.3%）をあわせて約５割ということで、交流の状況は地域状況やサロン活動の交流への目的意識によって交流の状況が異なっているようである。



「月１回ぐらい」（58.1%）が一番多くなっており、実際の開催頻度とも結果がほぼ重なっている。



「会食」(50.7%)、「健康体操」(49.5%)、「認知症予防活動」(36.4%)、「茶話会」(36.0%)、「寝たきり予防のための活動」(31.9%)、「レクリエーション活動」(30.1%) の順となっており、担い手に同様の項目について質問したのとほぼ同様の結果となっている。

4.自由回答結果

（1）代表者用

問1　サロンの開催頻度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
3	毎日
109	年5～6回
226	暖かい4～10月末まで
399	年間9回
401	年4回
411	年4回

問2　サロンの活動日について当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
1	主に平日。内容によっては土・日・祝
110	第三水曜日の独居の方の給食日
227	毎月第二木曜日。但し、8月、12月期は除く
405	毎月20日
408	第1、3木曜日
413	毎月1日

問3　サロンの活動時間帯について当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
108	何か作るときは午前～
112	午後1時～4時
116	新年会、花見等の時は午前より午後にかけて行う
399	年に1回は午前から午後まで
402	内容によるが一般的に午前だけである
408	13～16時
413	年2回昼食会持つ

問4　サロンの主な活動場所について当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
2	温泉
3	空家を改造、使用
7	すこやかハウス
8	日野温泉(町)
112	新市老人いこいの家
230	公民館と旧校舎交互に
411	老人憩いの家

問10　サロンの活動資金になっている番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
1	自己負担
3	自動販売機売上げ手数料
116	お菓子など持ち寄り
227	代表者の自己資金が主軸
399	スーパー地域振興資金(申請必要)
406	米は会長が提供
408	日帰り旅行時は参加者から特別徴収≒3000円/人
409	担い手が野菜、調味料等持ち寄り
411	寿会からの助成
414	地区老人会

問11　平成15年度の活動資金として主な番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
108	会費と福祉協議会からの補助
225	寄付金等
227	代表者の自己資金
399	社協立ち上げ助成金2万円、ボランティア有志寄付は地域振興資金
414	地区社協と老人会、会費

問13(1)　サロンの所属者(登録者)数(担い手も含む)について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
2	高齢のため死亡により減少
7	(2. やや増えた理由)口伝えに広がり楽しいから参加しようという気持ち
108	ご主人の病気。会員の方が亡くなった
109	転出、死亡
222	高齢化。もう4か月で発会して8年になります。発会の頃からのサロンファンも入院、けがなど体調不良の方が多くなりました
226	登録者制度を採用せず「来る者はこばまず、去る人は追わず」
228	死亡1人、転居2人
231	身体の不調。足、腰のおとろえ
403	(1. 増えた理由)入院された時もあった
407	男性の減(話しの中に入りにくい)
410	・他地区の方も参加しておられたがその地区でもサロンが行われるようになった ・参加者の死亡、または子どもさんの所へ行かれたなど ・高齢となられ歩いてこられなくなった
416	(1. 増えた)高齢化と共に構成人数は増えた。構成年齢が若返った

問13(2)　実際にサロンに参加している参加者数について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
1	参加しなくなった人の出番を考える必要あり
2	高齢のため死亡により減少
116	子供さんの所へ転居
226	1. 定着しつつある　2. 台風通過で1回休会　3. 長寿会の旅行　4. 猛暑
228	死亡1人、転居2人
230	高齢化していくことと、病気や施設入所等による
410	・他地区の方も参加しておられたがその地区でもサロンが行われるようになった ・参加者の死亡、または子どもさんの所へ行かれたなど ・高齢となられ歩いてこられなくなった ・新規参加者が少ない為

問13(3)　実際にサロンに参加している担い手数について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
226	(3. 変わらない理由)私が1人である
228	(1. 増えた理由)楽しいので手伝わせて欲しいと言われた
230	特に担い手については、家族の会の会員(3名)で行っていたが、家庭の事情(1名)や地域の人間関係(1名)等で参加できなくなった

問13(4)　グループの性別構成について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
228	(1. 女性が多い理由)最初から女性のしゃべり場として発足

問13(5)　参加者の年齢構成について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
228	(1. 年齢が高くなった理由)70歳以上で始めたが、共に年を重ね地区に予備軍がいないため
230	老人クラブを母体にしているので、70歳になったらサロンに参加出来るので楽しみにしている方が多い
401	参加募集をお願いしても参加希望者が少ないため
414	参加者が楽しいといわれる様子で、参加してみたいとの声がある
416	高齢のためサロン参加ができなくなった(なくなられた方もある)。定年後地域の人の中にとけこみたいとサロンに参加される方が増えた

問13(6)　開催頻度について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
2	高齢化のため
226	(3. 変わらない理由)ex. 毎週火曜は必ず開催する
228	現状から考えて月1回くらいで丁度良いと思う

問13(7)　サロン開始当時と比べて、現在の活動資金の状況について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
226	(3. 変わらない理由)ex. 社協からの補助のみで開くことが原則であり十分である
228	(1. 増えた理由)1回100円で始めたが、米の値上がりで現在は200円にした
230	合併により平成17年度から減ります
399	(1. 増えた)発足時2か月間は活動資金ゼロ、有志による寄付

問13(8)　他のグループ・団体との交流や連携について当てはまる番号1つに○をつけてください。
4. やや減った 5. 減ったと考えられる理由を御記入ください。

No.	内　　容
226	(2. やや多くなった理由)他のサロンへ招かれ当方の活動について発表した
228	(3. 変わらない理由)地区の人達だけで気がよく合い話がはずむ

問14　サロンを運営して良かったなと思うことを以下に御記入ください。

No.	内　　容
1	・やっぱり出てこんといけませんね。今は楽しかったと言われるとき。 ・日頃からサロンに関係づけて話しかけができること
2	・会場まで歩いて参加(遠い人3km)のため、足の運動になる ・温泉に入るため健康に良い
3	毎日の雑談会で参加者の健康の管理状況がチェクできる様に思われる
4	地域の人とふれあうことが多くなったこと
5	地域の方達と親睦がはかられてよいことだと思う。出かける楽しみができるということは生活にはりあいが出てよい。協議会の方のサポートがとても心強くありがたく思っています。
6	・リーダー的存在の方の気配りで参加者同士の交流が充実したこと ・情報交換等で社会や地域の事が良く把握できるようになった
7	・近所の人だけでなく、少し離れた人とも親しく話をしたりして仲良くできるようになった ・道端やスーパーに買物に行った時など出会ったらあいさつしたり親しく話しができる
8	人の交流。情報がたくさん入る

No.	内　　容
107	みんなにこにことほがらかに活動している姿を見ること。高齢で平素参加出来ない方を参加して貰って一緒になって交流して、昔自分も活動していたことや、みんなと談話できたことを喜んで貰ったとき
108	みなさんがのびのびと楽しくおしゃべりが出来、色々と勉強出来、話合える。月1回を2回にと1人では出来ないが、皆ですれば色々な事が出来てストレス解消
109	お互いの親睦に役立っているように思う。長年続けることは大変で、今後の進め方を考える時期となっている。
110	・会員相互間の和がとれている(高齢者、独居の方に親切) ・月1回集まるだけでも健康状態がおおむね読める ・環境が美化された(花壇作りなど) ・情報交換が出来る(世間の動向を自己流で話合える) ・会の存在が必然的になった、と感じております
111	・定期的に集まることでコミュニケーションがとれる ・日常生活において早く様々な情報が耳に入ること ・お互い、介護、健康面など話し合う
112	・ボケ防止 ・みんなとの会話をすることによりいろいろ情報がきけるし、楽しい1日が過ごせる ・下手でも歌う楽しみ
113	皆さんの気持ちが解り横のつながりが出来た
114	集会所が歩いて行ける所ですので、高齢の方がとても喜んでおられます。一人暮らしの方は雨の降る日等、誰とも話が出来ず淋しい思いをしておられるようです。毎月の出席される日を待っておられるようです。この上は花見の日だけでも車の手配をしていただけたらと思っております。
116	5名中4名が未亡人で何かと話し合い助け合ってよい
222	発会の目的が、認知症の人も虚弱、独居の人も誰もが住み慣れた自分の家で地域で暮らすための支援活動でした。身体が不自由でも、もの忘れが激しい人も、健康な人も一緒にひとときを過ごすことにより、思いやりの心が生まれ、やさしい対応がごく自然に見られます。もの忘れに対して、どうしてあげたら喜ばれるのか等、健康な人がそうでない人を支え思いやる、そんな光景がサロンの会場で見うけられ、スタッフを喜ばせています。 また、元気な方は会場の準備や片付けなどを手伝ってくださり、お客さんの立場でなく、みんなのサロンになりました。
223	友人同士の親密度が高くなった
224	だんだん多くの者が参加して、楽しい事が多くなってきた
225	老人の笑顔が多くなり、次回のサロンが待ち遠しい様です
226	2003年12月に”生涯現役”シンポを受講し、紀南地域のパネラーの発表で一念発起した。生涯現役とは”健康で長寿”ではあり、その目的を達成する為に地域の高齢者と共に健康に役立つ「腹式呼吸」とからだをゆるめる「ゆる体操」を実践することだと考えた。 1. 熱心に実践する人は(1)ひざ痛がなおった(2)目まいがしなくなった(3)便秘がなおったなどの元気にもどることが出来ることが実証された。2. 結果的に医療予防、介護予防に成果がでている3. 老いた人が知識の吸収や開発にも積極的になっている4. お茶を呑み、菓子を食べながら井戸端会議は皆楽しそうである
227	明るく、前向きにをモットーに心がけています。友達の輪が広がり、情報交換をして楽しんで、更に行政の指導をいただきながら全力投球をしています。皆さんにとても喜んでもらっていること

No.	内　　容
229	1. 私より20歳年上の方たちですので自分の将来の姿の学びになるので良かった 2. 参加者の方で独居の方が2名おられますが、平生は淋しいとの事。皆でにぎやかに遊んでもらえて嬉しいとの事、私も一緒に遊べて楽しくサロンをさせていただいて本当に良かったと思います 3. 私は3年前に帰省した者です。そして他部落より嫁いだ者で、この土地の事が解らない事が多々ありますが、皆様のお話の中から地域の事が学べて良かったです
230	このサロンはいきいきサロンと違って、動機もお楽しみや趣味等で集まるのではなく、痴呆予防のモデル事業から始まったもので、最初は難産でしたが、老人クラブを母体にして運営をはじめてからは、各々の役員さんがとても気持ちよく協力して下さり、お年寄りの方々にも大変喜んでもらえるようになり、島の東西の地域をまとめる輪づくりのきっかけにもなったと思っています。お年寄りの方々から、知恵とパワーをいただくことも多く、8年目になるといろいろなことが見えてきて人生勉強にもなっています。
231	皆がお互いにゆっくりとくつろいでお話しがはずむ、トランプ等に興じて笑いが出る。帰る時は顔が明るくなっている
399	1. 独居、高齢者の方々が楽しみにして頂いていること 2. ボランティア同士との交流 3. 行政との連携が図れたこと
400	・参加者の連帯感が増してきた ・色々な共働作業に挑戦される様になった ・最初は近所の子ども達とのソーメン流しだったのが、翌年は地域の子ども会と行い、その翌年は行政とタイアップして仲良し農園(未就学児の親子と一緒に野菜作り)の運営まで発展して行った
401	高齢者時代が到来し、お互い助け合う精神が必要な時代に、世の中段々と殺伐として隣は何をする人ぞ的になってきていますが、自治会サロンでふれ合い場所が提供された事で、おしゃべりをして色々な遊びをしながら、数時間、人と人との輪が出来る、これを実感して、この輪が広がって隣の人の顔が見えてくると思う
402	参加者が楽しそうに意欲的に活動している
404	会員の皆さんが毎月出席して下さり、いろんな手作りをしてすこしでも「元気のもと」になっていることに喜びを感じます
405	・地域の人が気軽に出会い、ふれあえる場所 ・話すことが多くなり、皆に会えてうれしかった、と言われる人が多い
406	当地区は自治会が山間の事とて離れていて、一ヶ所に集まる事は無理と考え、米光は憩いの家、大谷は公会堂を借りて交互に開催している。足の弱い方は自動車で送迎し、それも無理な方は一方のみにしているが、西部落の老人が顔を合わす事が出来て大変喜んで頂いて居る。運営資金が枯渇して中断のやむなきに至っている
407	・参加者はもちろんであるが、福祉員、民生委員との交流も増え、相談事が気軽に出来るようになった ・良い事とはわかっていても、一人ではなかなかやらない健康体操等をやるようになった ・園児との交流(2回/年)、児童との交流(1回/年)が出来、楽しい時間がすごせた

No.	内　　容
408	1. 町内の人の顔と名前、人となりがわかるようになった 2. 顔を合わすとお互いが挨拶するようになった(一言が出る) 3. 食事を作ったり、バスで出掛けたりで親密度が増加した 4. お互いに何かあると(冠婚葬祭等)情報交換がはかれる。助け合い気運が生まれてきた 5. 自治会運営にも大きな力になっている 6. 地区担当のソーシャルワーカー、ケアマネの参加で盛り上がる (お互いを知ることで次へのステップがある)
409	月1回のサロンを楽しみにしておられ、オシャレをし、仲間を思う気持ちが話しの中で伺う事が出来る。帰りには楽しい1日でした、感謝の気持ちがうれしいです
410	・地域の情報が良く分かる ・道で出会っても親近感がある ・自分自身も色んな面で勉強になる ・人の輪が広がった ・生きがいにもなっている
411	サロンでお互いの安否確認、知人、友人の情報を把握できること。サロンを通じて交友が深まってきた
412	地区の人たちとの会話が増えた。近所の安否確認ができるようになった
413	・ご近所誘い合っての集いとなってきた ・山手地区の安否確認、情報が入るようになった ・月の1日が楽しみのようで都合つけてなかよし山手の参加される方が多くなってきた ・月1回会っておしゃべりできることを喜んで下さる
414	参加者からサロンができて、近所の方といろんな話しが出来、仲良く交流が出来、また、その家に出入りできたといって、いつも笑顔が出る。気軽に声かけが出来る事
415	1. 月2回のサロンを楽しみにしていると声を聞く時 2. 健康体操を続けたこと 3. 季節行事としての食事会、レクリエーション等、皆さんの希望を取り入れたこと 4. お話し、カラオケ、健康体操、何をやっても笑って楽しいこと 5. 仲間意識も広まり、助け合って行っている
416	・人の口から口へと話しがつたわり、若い方が入って来られ、ともかく若さが元気が伝わり笑いが絶えないので互いに元気をもらうことが出来た ・協力体制がよく互いに助け合うことの出来るグループとなった ・一声かけると何人かの方が集まって作業の手際がよくてほほえましい ・仲間づくりがうまくいった ・作品ができたときのみんなの喜びの顔は忘れられない ・自分の作ったものを孫が持ち帰ったといわれるうれしそうな顔や、○○年の前の作品をケースの中に飾っていると言われる顔をみてよかったなと思う

問15　サロンを運営していての悩み・困っていることを以下に御記入ください。

No.	内　　容
1	活動計画に多数の人たちの意見をもらって集約したいが、なかなか意見をいただけない
3	活動するだけ経費が多くなるので適当な活動しかない
4	いきいきとした活動について何をしていけばいいか活動内容の計画？
6	・施設が老朽化している為に高齢者の方には負担がある ・参加者からの負担金をあまり多くとれないので、これからの社協等の助成金が心配です(合併を含めて)
7	・サロンの参加者に年間計画を立てる時の参考にしたいと、内容について意見を聞くようにしているけど、意見がなく担い手におまかせになりやすい ・男性が少し仲間に入ってもらえるとサロンの雰囲気も少し変わり、もっと良くなるのではないかと思う ・折り紙や本を音読するなどは、あまり好きではない
8	福寿草の会員は、温泉好きなので風呂に入りながらの会なので、別に困っている事はありません。皆さん楽しく過ごされます
107	世話人(代表者)の後継者が居ないこと
110	社協より月1回の独居の方への昼食と参加された皆さんへ、茶菓代1人当り50円と、会場費250円いただいて楽しい語らいの一時を過ごす事が出来、感謝いたしております。平成15年に自治会にふれあいセンターが出来ましたので、花壇を作り「平生町花いっぱい運動」に参加いたしました。この様な活動資金として資材費(種子代、肥料代)等助成があればと願っている次第です。
112	新規加入者がなかなかいない
222	担い手不足です。スタッフの中で都合で休むと、あと、1人か2人で高齢参加者の見守りをすることになり、負担が大きいと思うこともあります
223	年をとるたびに趣味、創作活動がおっくうになった
226	・今年も4月から10月末まで、暖かい時期に開催予定 ・1人でも多くの人が参加して頂き、元気で生活して欲しい (子どもに絶対迷惑をかけず、毎日楽しく生活することが目標)
228	宮下サロンは70～95歳までの年齢層ですが、独居老人が多く、足の不自由な方が多いので老人車を引いて集会場まで出てこられるのがやっとという高齢ですので、開設以来1人死亡され、2人は子どもに引き取られて転居され淋しくなりました。なるべく全員が顔を揃えられる日を選んで開催する様にしていますので、元気な顔が揃うとうれしくなります。 私も体調を崩し、2、3か月サロンを休みましたら、皆さんとてもさみしく今度の開催日は何時か？と首を長くして待っていて下さり、とても楽しみにしていてくださる言葉に励まされ、頑張ろうと思っております。お手伝いして下さる方もすごい楽しいとおっしゃって下さるので、本当に助かっています。手伝って下さる方は朝8時頃から昼食を作り、他の方は11時頃から集合し昼食後は皆で昔の話に花を咲かせ、夕飯におかゆと残り物のおかずで早目の夕飯を済ませ、後片付けして別れます。時には歌を唄ったり、ゲームをしたりして楽しい1日をすごしております。私も健康の許す限り続けて行きたいと祈っております。
229	現在2週間に1度ですが、これから先は1週間に1度にした方が参加者の方にもっと喜んでいただけるのでは、と考え中です

No.	内　　容
230	・月に1回の貴重なサロンなので、サロンの内容をマンネリ化しないように、メニューを考えるのが楽しみでもあり悩みでもある。担い手の仲間2名が参加出来なくなって、1人で考える、1人で旗振りをするのはしんどい時があります ・今、試しにおやつを福祉員さんに好意で作ってもらっています ・島の中でも東西でやりたいことや考え方の違いもあり、東と西で各々やって欲しいとの声もあり、担い手の件についても意見があり思案しています。原点に返って考えていこうと思っています
399	1. 講座の講師 2. 自治会とは別途組織なので資金繰り
401	自治会の高齢者の人数に対して参加者が少ないのでどんな趣向を凝らしたら等に苦慮している
402	1. 運営費の自己負担を最小にして効果ある活動内容 2. 担い手さんや講師への謝礼はどうするか 3. 事故が発生したときの対応とその責任 4. 活動がマンネリ化にならないか 5. その他
404	毎月何をしてあげようかと手作り作業を決めるのに苦労しています。が、どうにもならなくはありません
405	担い手の人数と高齢化。補助金の増額
406	各戸を巡回して目と目を合わせて挨拶して誘う事が一番参加者が多い。人づてでは参加者減となる事が一番の悩み。お年寄り相手故、気軽に参会出来る事が大切と考え、足を運ぶ事が第一と心得ている。いづれは行く道と思って今日のつとめと有難く感じ励んでいる次第です。食事の世話は老人中元気な方がやって下さるので、別に福祉員さんのみに頼む事はしていない
407	大多数の方が70歳以上であり、急病やケガ(集会所入り口に1階分の階段あり)に気をつけている→在宅保健師2名に常時きてもらっている(担い手数に加算)
408	・コミュニティ、自治会、民生委員、福祉委員、婦人会、子供会、いきいきサロン等の活動がバラバラであり、各々のまとめ役によって地域に差が出る ・周南市になったことでもあり、組織的に活動することが肝要 ・助成金、補助金も限界があると思うが、上記を系統づけてやれば無駄も省け、効率的な活動が出来ると思う ・いきいきサロンへの助成が平成18年度以降白紙と聞いているが、会費のみの運営は困難。上記を踏まえ何らかの助成を継続してお願いする ・年に数回広報配布に合わせ、いきいきサロン情報を作成し配布しては？
409	担い手用にも書きましたが、対象者のケガ等を心配しています。80歳以上が5、6人。高齢者86歳。後は75歳前後
410	・男性参加者が少ないこと。また、新規参加者が少ないことがこれからの課題です ・それと調理場が狭い為、食事を作るのに苦労しています ・トイレを洋式にしたいのですが、市の補助が出なくて2～3年はがまんしなくてはいけません
411	実際に出て欲しい、いわゆる閉じこもり老人をいかにして出席させるかと悩んでいる。毎回の内容設定がムツカシイ
412	活動内容がマンネリ化している。参加者が受身である。担い手に負担がかかりすぎる

No.	内　　容
413	・担い手(自治会、婦人会、老人クラブ、子供会)に声かけ運営してますので、どなたかのアイディアを頂いて手芸、遊び等行っているが、いつまで続けられるか心配 ・担い手が同年会になってきて担い手というよりは一緒に助け合って楽しく過ごす状態となる。若い人の担い手をさがしている
414	年2回程度、男性に呼びかけ参加してもらっていますが、これが毎月の参加になると良いと思っています
415	マンネリ化防止のため新しいことを考えること。そのためにも社協で体操、遊び等指導してほしい。一つでも違ったことを心掛けている
416	・活動内容の充実を図ること ・指導者をさがすこと(「アイ」を育てたが、アイ染めの指導者がみつからなかった) ・簡単な小物づくりから出発したサロンですが年々要求度が高くなり経済的にいきづまりそうになること ・小旅行でもしたい希望があるが、市の社会福祉センターの車を年に一度でいいから使わしていただきたいが、どのようにお願いしたらよいかわからないので、日帰り旅行が実現しない ・サロンの担い手の交流会で研修をする機会があるといいと思います

（2）担い手用

問2　地域での活動について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
12	地区内の小学校に時々行き子供と遊ぶ
25	ハートポート豊菊の会
122	警察署(いけ花奉仕10年)
232	痴呆の家族会員
235	以前4(自治会役員)、6(婦人会)、9(食生活改善推進員)
236	以前、婦人会支部長
237	以前9(食生活改善推進員)
263	大島郡痴呆性老人を支える家族の会東和支部
418	ボランティアの方のサポーター
431	防長の吉野をつくる会役員
447	在宅保健師
448	在宅保健師
453	クリンリーダー
466	仏教婦人会役員
471	農林業団体職員

問3　サロンを発足したいきさつについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
12	ふれあいの町づくりに関わっていたのでサロンとしてたちあげたかった
18	社協からのすすめもあって
123	前福祉会長のすすめ
250	夫がサロンを発足するということで手伝い始めた
257	以前からサロンを作りたいと思っていた
263	県のモデル事業への協力
417	自治会に福祉部会もなくボランィテア有志を募って立ち上げ
418	団地住民の高齢化を心配して発足
419	お誘いがあって何かお手伝いが出来る事なら
421	民生委員が発足するという事で何か出来る事を手伝いたかった
425	福祉員の活動の一環として
426	顔の見える町を目指して
435	市の福祉からのすすめで発足
438	心のふれあいの場となる
447	地域の民生委員さんからの依頼
448	地域民生委員さんからの誘い
459	民生委員の方から頼まれた
460	市社協のモデル地区となった
461	以前福祉員をしていたので
462	自治会役員になり、サロンに興味を持って

問6　これまでのサロンを振り返り、担い手の立場から満足している点、評価できる点について当てはまる番号すべてに○を御記入ください。

No.	内　　容
122	20年続いているが一切不満はない
123	発足時より思うように発展しない
462	活動場所は近くて広い設備がよくない(トイレ、台所等使いづらい)

問6(付問)　特に満足している点、評価している点がありましたら、以下に御記入ください。

No.	内　　容
9	福祉部の部長さんのリードで会の運営も良くいっていると思う
12	必要があれば手伝おうとする気もちがだんだんと出てきていることがわかり嬉しく思う
13	楽しく帰っていく姿を見かける
18	毎月、金子みすずの詩を朗読すること(3年前から)
19	会員皆が喜んで下さっているので、頑張って心配りしようと思っています
20	参加者が喜んで来れれている事
21	割合多数の人が参加している点
23	軽い運動を取り入れているところがよいと思う
24	・担い手が各々担当をきめていること ・毎回の参加人数が多いこと
25	活動内容がいろいろあって良いと思う。諸先輩の協力が大きい
26	みんな生き生きしてきている
27	参加者の誰とも親しくお話が出来る
119	サロンに来るのが楽しみと病気でない以上、休まないで集まる。1時間でも来たい、とみなさんの声
120	料理内容について、食生活推進員の立場から指導をしている。どこの家庭でも沢山の野菜を作っているので毎食野菜を食べるように話しをすると、今までより野菜料理の献立が増えたと好評です。又、町の保健師さんによる健康についての話も大変喜ばれています(血圧測定、健康相談等)
121	声を掛ければ皆さん喜んで出ていただける。花壇作りも定着し、小郡ふれあいセンター(自治会)周辺の美化につながっている
122	吟詠のあと体中がもえて心地よくなり、思っている事や社会情勢と諸々話し、明日への活力を養う。この会が元気の源になっている。お互いを思いやる気持ちが強くなり感謝でいっぱいである
124	・会員の健康状態、家族関係、地域の人達の様子が良くわかる ・病気や災害時、初期の時点で援助が出来る。ケアマネジャーと連絡も密に出来た
126	特別ではないけれど、みなさん喜んで集まって来られることがうれしい。次には何をするか相談して決めること
232	サロンの会場はもともと地域の人々の集会所のような建物で、今ではサロンとカラオケグループが使用するのみです。会場が他の人々とつどって使用できないということがなく、心配がありません。プログラムも週1回開催ということで、マンネリにならないよう考えているつもりです。発会時から週1回開催していることが、もう定着しているようで満足しています
233	年1回の町交流会や月1回の健康相談日は特に満足しています

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計（担い手用：自由記述）

No.	内　　容
235	上記(問6)に○印をしたことには満足している
239	96歳の男性から55歳くらいの女性の仲間であるのに、みんな楽しいわが出来ることが大変よいと思う
241	当番でサロンの世話係をしているのでみんなが本気になって出席してくる
248	楽しい気分になり、今の生活の中で自分を元気づけていくよう心がけていくこと
249	協力して戴ける人が多いので助かる
251	参加者が私たちの手作りをおいしいと言いながら、食べてくれる。和気あいあいと仲むつましい仲間となっている
252	活動回数は月1回の頻度で行っていますが、担い手全員が心を一つにして和気あいあいと楽しくやっています。参加者も殆ど高齢で会食をしながらコミュニケーションを図り、喜んで頂いている
256	皆さんが喜んで楽しみに集って下さる事をうれしく思っている
257	1月20日のサロンは、小学校6年生との交流会が2時からあり、戦時中、終戦後の食事はどんな物を食べていたか、又衣類はとか、私たち全員参加生徒の方も何組かに別れ、お互いに話し合いました。生徒も私たちも一生懸命でした。最後に生徒の皆さんが楽器ラバースコンチェルトを吹き、私たちを楽しませて下さいました。どんな小さい事でも人の役に立つ事ができ、嬉しく思いました
258	活動場所が近くて便利な点。担い手数。活動時間帯
259	月1回のサロンを心待ちにしています。皆さんと一緒に料理を作っていただき、共に語り合い笑ったり、歌ったり一日を過ごすことができ幸せを感じています
260	活動場所
263	平均して皆さんから楽しみに待っているとの声を聞くこと。いつも同じぐらいの人数が集まってこられうので予定通りに考えたことができる。島の自治会行事にサロンのメンバーが積極的に参加する
266	友達の輪が広がること
417	ボランティア有志と相談し、決定。参加ysあの意見聴集参考
418	担い手数の多いこと
419	担い手が多く楽しんで出来ている
420	担い手がたのしんで満足している
421	担い手がみんな仲良く又生き生きと世話をしている
422	自治会の福祉部会での活動の中に福祉委員も加わっての自治会活動であるが、とっても福祉委員の方々の積極的協力を評価したい
423	参加者が喜んで帰宅されることが嬉しく思います。たったの2時間程度ですが、その間参加者同士笑顔を見せて下さることも喜びと感じています
424	団地内の自治会組織と福祉委員・民生委員が一緒になって総合的な活動が出来たこと
425	参加者の方々がお互いに助け合い、安否の確認をされている事
427	出席率が比較的高く、皆さんが楽しく協力的に活動している
431	活動日をみなさんが楽しみに待っておられる
432	主任民生委員が熱心にご指導くださるので安心して会の運営にたずさわることができます
433	会員の中で特技のある方に教えて頂ける機会をもつことが出来た(陶芸、草履づくり等)

No.	内　　容
434	ボランティアをして下さるので協議会、目的地への交渉等をして頂き地域のお世話をしていませんが会員の皆様方に助けられ、月1回の集合が待ち遠しいらしく会員の方から次の会はどうかと催促して下さいます。名前だけの私ですが感謝しています
435	活動日の1週間前に活動内容と忘れずに出席下さるように御案内を配布していることです
436	皆様が喜んで出席して下さる事と会員の方々から積極的にアイディアが出される事
438	皆さんと共にコミュニケーションが出来ていると思う
439	活動回数と時間帯が自分に負担にならない事
440	1ヵ月1回(毎月20日)に活動日をきめているのが良い
442	月1回活動(清掃)の日がきめているのが良い
446	・在宅保健師(2名)さんの協力を得て、血圧測定等の健康チェック、健康体操を毎回行っている ・町内にある保育園との交流(年長・年中組と遊ぶ)町内の児童との交流(夏休みビーズ作りを行う)
447	毎回体操や歌、又手作り作品を作ったりして楽しく過ごしています
448	1月に保育園児との交流で広場でのタコあげ、マリなげをやった。保育園にとっても多くのみまもりの人が得られ、高齢者も共に体を動かしてとてもよい企画だったと思う
449	地域の方々、保育園など連携が良くなりつつあると思う
451	いつも20名位は楽しく参加していること
455	担い手が共に相手の気持ちを尊重し協力出来る事。物・心共にボランティアできることに感謝しています
456	リーダー(民生委員)の熱心な取り組みで毎回変化に富んだ企画で参加者に喜ばれています
458	参加者の方が楽しみにしてこられること
460	担い手が増えた事(自分から希望して参加下さった事)
462	・リーダーの気配り、又行動力等とてもすばらしくて頭がさがります ・少ない参加費で工夫されています
465	寿会役員のサロンに対する理解が大変あり、活動プログラム作りの指導、助言がある
466	健康体操をする
467	会長さんか一生懸命この会の為にお世話して下さいますので皆も大変喜んで協力し、自分たちの存在を認められた喜びを感じました。今後共この会が長くつづく様皆さんで協力し、楽しんでいきたいと思います
468	毎月行っているが、平均15名以上は必ず来ている
470	特に独居の方の参加は、参加者の方のいろいろな話を聞いたり、お話もでき、少しは気分も違うのではないかと思う。また、食事などはいつも1人なので集まって皆で食事をする事はおいしくいただけるのではないかと思います
471	担い手の柱となる民生委員の企画やサロンの内容を充実させる努力に共感し、よりサロンの発展に協力したい
473	担い手一人ひとりが生き生きしていること。担い手の人数は現在位がよい(多人数いることがよりよいものができるとはかぎらない)
476	高齢者の方から、笑顔が多くなった。お世話する事に感謝していただいていること
477	会毎のリーダー企画等に満足し、かつ楽しい1日が過ごせる事
478	会ごとのプログラム内容、企画等に満足

No.	内　　容
481	年間行事として、春・花見、夏・バーベキュー、冬・忘年会、皆で時々ドライブ、温泉などで、仲間意識が強くなり仲良くなりました
482	年間行事として、春は花見を兼ねて会食。夏はバーベキュー。時々皆でドライブ旅行(?)で、仲間意識が強くなり、仲良くなります
483	健康体操、カラオケ等毎回行っている事。季節行事を皆で決めて行っている事。サロンには笑いがいつもある
484	何をするにも皆で楽しく協力する活動場所が近い
489	・参加者の笑顔・友が友を呼び、参加者が増加しつつある。平均年齢が若返っている

問7　サロンのプログラム・内容で工夫していることがありましたら御記入ください。

No.	内　　容
9	1年の計画を4月に皆の声をききながら作成している
12	・昼食づくりについて、できるだけうす味にしようとすること ・参加している人が気持ちよく、仲よくできるように声かけのしかたに気をつけている
13	多くの人に参加していただける様にするため
18	・連絡網を作って会員に責任を持たせる ・会員さんの提案を取り入れて実行する ・四季の行事をしたり外出する
19	プログラムは皆でくんでいるので心配ない
23	血圧測定
24	毎年度初めにその年の計画を皆で話し合って無理のない計画を立てている
25	年間計画を立てている
26	みんなですすめる。気がねをしない
120	料理献立に工夫しています。出来るだけ旬の野菜を使った新しい食べ方等いろいろ工夫します。野菜は全部持ち寄りでまかないます
121	・一応は第三水曜日と決めているが、特に雨降り、寒い冬期などは日延べして無理のない様、後日集まっていただく(当日独居の方の昼食は各戸に届けていただく) ・当日は元気な方はふれあいセンターの外回り作業(草取り、花壇の手入れなど)。高齢、体の不自由な方は出来る範囲で室内の清掃などをしていただき、終わって皆さんでお茶タイムで楽しんでいただく
122	・低年齢化する非行などにつき、どうしたら明るい世の中になるか皆で話し合う ・ふれあうことが脳を活性化する ・本命詩吟練習だけでなく、他にしたい事がある時は、その時社協の方へ相談し適切な応対をしていただける事が大変うれしく皆さん共に感謝している
124	・会員が全員(80歳以上最高齢者93歳)介護認定者の為、近所の留守宅の管理も兼ね、除草作業をし、ヘルパー車を駐車させてもらっている ・「いきいきサロン」へ数年保健師を招き、健康面の指導を受けた。以後高齢にもかかわらず、保健センターへ入会。熱心に取り組んでいる ・会員の中に認知症と思われる症状が現れだした人があり。生活上の着衣の気配り(季節はずれ)老人クラブ、出欠席に対し、送迎等細部にわたり見守りをしている ・談話が噂話にならないよう、ゲーム、トランプをして頭の体操をしている

No.	内　　容
126	私が生涯学習に参加して習ったことなどを皆さんに伝えている。回を重ねるごとに、何をするか、会話だけでも楽しい雰囲気になります
232	・地域に子どもが少なくなり、子どもとの交流ができたらと思い、小学校との交流会を年に6回ぐらい開いています。運動会、学習発表会、秋まつりには、学校へ、そして社会探訪や昔の暮らしを聞きに、また、器楽の生演奏や子どもたちの手品などで参加者を喜ばせてくれています ・折り紙やちぎり絵、クリスマスツリーなどの手作りの作品を郵便局に展示しています。地域の皆さんにサロンのP.R.とともに局に来る人々に喜ばれています
240	高齢者を中心に考え、みんなが元気で生活するためにいろいろな内容を当番で考えて活動している
248	みんなのアイディアを取り入れてやっている。いつもサロンでやろうとする内容を考えたり、テレビからも応用したりしてみんなで考えてくること
249	みんなが楽しくつどえる用具、カセットテープ等を準備するようにしている
251	様々な催しの中で参加者がうち興じ、リフレッシュされ満足されて帰られています
252	食のたのしみを味わい、できるだけ季節の素材を取り入れ、トランプ遊び、各自の得意のだしもの等、「また、このサロンに参加したい」という意欲をかきたてる様、常になごやかにすごせる会に…と工夫している
256	会食は季節の野菜を取り入れる様工夫している
258	小学生との交流を密にしたいと考えている
263	マンネリ化しないように工夫している
417	年度計画作成し、半期毎見直し改善(ボランティア全員) 高齢者食生活について啓発 健康と検診の大切さ レクリエーション(頭の体操や手足の運動、健康維持)
422	「ミニサロンひまわり」が発足して二年が経つ。今までは手探りだったがこれからは年間計画を持って活動をして行く時が来ていると思う。年間計画の中で内容を話し合って活動を深めていきたい。今までのプログラム、内容もその時々の参加者の反応を見ながら次回への工夫としており評価出来る
423	福祉員になって一年足らずで、先輩の後をついているだけ。まだまだ自分では勉強のつもりです
424	独居者を優先的に呼びかけており、声を出すことでストレス解消を図る。その方法として皆で昔なつかしい歌を唄ったり、カラオケを盛り込んでいる
425	担い手自身が一生懸命で余裕がない。継続する事が現在の私達の目標です。私自身の向上を目指し参加者と共に楽しみたい
427	他地域のサロンとの交流をする。見学研修もする
431	地域の歴史等を分かりやすく話し合い、後世に残したい。他団体の交流を積極的に行いたい
433	何かの機会でサロンに活用できるものに注目することがあります。これは廃校になった学校からサロンで活用しようと、楽器類、たいこ、木琴などを頂いて皆で合奏しようと企画しています(若返りになるかもしれませんね!!)
434	会費で月目標した事は必ず実行できる様努力し、日割は都合の一番いい日に話し合っています。戸数10戸で12名で頑張っています。年2回位は地域外の方と交流を希望します。年齢は共に上りますが笑顔で前向きに行きたいと思います

No.	内　　容
435	あまりむつかしいものは作らないようにしている
436	季節が感じられる会にしてある事
440	地域の人だけでなく、時々保健師に来てもらってお話しをして頂くのも良いと思います
446	おでかけ以外の月は毎回何かを制作(手芸)している
448	手作り品は1回で完成できるものを考えている
449	みなさんの意見、希望を聞きながら行事をすすめている
451	会への加入、脱退が自由で束縛のない会にすること
455	高齢者が多く又足の悪い方が2、3人おられるので健康に関すること、又転倒予防や交通安全など取り入れています。四季折々の草花を生けてやさしい雰囲気づくりをしています
456	対象者老人の実生活に役立つ転倒防止に関する指導、健康体操等をプログラムに組み込んでいます
460	体操と歌は出来るだけ毎回行っている。参加された方には全員に声を掛けるように心がけている。男性、女性どちらにも出来るような内容に気をつける
462	私はお手伝いを始めてまだ間がないので。問7, 8, 9, 11, 12についてよくわからない
465	前述の寿会役員の助言による
468	基本的に行政頼りだが、毎月色々な情報を伝えられるよう努めている
469	季節に合わせた行事をしている
473	日常の行動の中で、みつけたプログラムを担い手仲間で活動までの準備にとりくめること
476	・年齢差がある為、作品を制作する時は助け合って必ず作成を完成させる手立てをする ・全員が喜んで参加できるよろこびがあじわえる事に工夫をこらす
477	参加者が楽しく集って良かったと思われるような内容
478	参加者の皆さんが一日楽しい日が過ごせるようなサポート
483	一つでも新しいものを取り入れたい。話しから遊びの内容まで
484	皆で話し合っている
489	活動内容の充実(食べること、小物作り、遊びとバラエティにとんだものにする)

問8　今後どのようなサロンのプログラム・内容があれば良いと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
117	現状維持
121	会員の方が大体70歳以上ですから会食は独居の方のみでなく、会員の方全員にあると又楽しみもふくらむと思う
123	カラオケ、輪投げ等
475	男性の参加をどのようにするか

問9　今後、参加者といっしょに取り組みたい内容はありますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
117	現在ほとんど実行しています
121	現況のまま永く続く事を願っております
123	町のふれあい大会には多数参加する
455	対象者の方からお菓子等いただき、みんなでありがたくお茶を入れます
482	(選択した○印は)皆ですでにやっています

問10　サロンが地域にあって良かったなと思うことを以下に御記入ください。

No.	内　　容
9	日頃おしゃべり出来ない人とおしゃべりが出来る。日頃の皆様の様子がわかる
10	皆にあってお話しが出来る事
11	みなさんと会える事が良いと思います
12	協力体制が少しずつ高まっているように思う
13	ふれあいの大切さを感じました
18	・高齢者の方々との交流が出来たこと ・参加者同士の健康チェックが出来たこと ・地域の中でサロンの存在が少しずつ意識づいていること
19	お年寄りの世話をし、皆が喜んでいるのでよかったと思っております
20	地域の方との交流が出来る事が一番よかった
21	顔は知っていたが、話しをした事もなかった人と気軽にしゃべれる事
23	お年寄りがサロンに参加されていきいきしているのを見てよかったなぁと思いました
25	皆さんの笑顔がたくさんみられる事
26	色々なお話が出来る
27	色々な情報が入ること
118	自分の好きなことが出来て楽しみが出来ました
119	会話がはずむ。1人では出来ない事が出来る楽しさ
120	今までにないお互いも親しくなり、一年に1回位日帰り旅行等に参加出来るようになって大変よかったと思います
121	サロン仲間が(自治会)むつまじく、交流し助け合っている
122	ふれあいをもつことで喜びも悲しみも分かち合え、お互い思いやりをもち行動する
124	福祉弁当を一緒に食べながら、皆で話し合いながらの食事は食欲が増し、楽しいそうです。社協よりいただく茶菓子代で花見をし、外食が出来ると喜んでいる。会員一人ひとりの自立心を養うのに良かった。皆の力がすぐかりられる
126	地域のみんなの元気な顔に会えること。家族に介護の負担をかけないようにと、みなさんで考え元気でいるようにとがんばる気持ち

No.	内　　容
232	認知症の高齢者がいます。いつも家の近くの道路に出て腰かけています。ほとんど会話はないのですが、ニコニコと笑顔で道行く人を見ています。その人の隣に腰かけて話をしている人はサロンに参加している人たちです。サロンの中でこの人たちにどう接したらよいのかを学び、側に座ってコミュニケーションをとっているのだと思います。身体の不自由な人や認知症にやさしい地域はきっと住みやすい地域になると思います。町の保健師さんが地域に健康チェックに来られる事です
234	・皆さんが楽しいと言って喜んで来てくださること ・皆さんの思いやりの心が強くなった事
235	友人が親密になった
236	一人暮らしになると家では会話がなくなるが、地域にサロンが出来て色々と広がりがあって自分の趣味でない物も行う事が出来て大変良かったと思う
237	サロンを20年つづけていますが、本当に友情が深まり年を取ると共に心強いと思います
238	友達同士が会う事
239	日常話し合う場のない事が多いが、サロンによって、いろいろふれあいが広がる
240	生きがいと生活にはりが出来る
241	仲間どうしの助け合いが深まる
243	地域の活性化になった
245	参加者の笑い
246	次の集会が楽しみ
248	仲間が声をかけあって日常生活でも助けあえるようになったこと
249	参加する事によりとても楽しい
251	参加者がこのサロンに来る時が一番楽しい日ですと言われる時
252	とかく家にこもりがちな方々を声かけあって、一人でも多くの人が情報を交換しあうことができる
256	月1回の会合が大変たのしみで、色々な話が出て勉強になる。元気が確認出来てうれしい。他界地の人から、羨ましがられ私たちサロンの者は自慢に思っている。代表者の方が全部企画して下さりありがたく思う。大変だと思うが、何時までも続く様お願いします
257	地域の皆さんと話し合いが出来る。今までは何人かの人しか話が出来なかった
258	元気な顔に会えて話しがはずむ。毎回たのしみになる
259	場所的にも近いところにありますので、参加者も集いよいと思います。これからも長く続けていけるようお互いが助け合って行きたいと思います。代表者の方は大変苦労をされていると思います。一人でも多く参加させようとみなさんに合わせて日取りをきめたり、季節の献立等目に見えない心くばりをされています。感謝の気もちで一杯です
260	近い所でみんなと会うのがたのしみになります
261	独居老人の方や高齢者の方達が一時でも楽しい時が過ごせる時間がもてて良かったと思います
263	一人暮らしの方が多い地域なので、月に1回サロンに集って顔を合わせておしゃべりしたり、遊んだり、楽しんだり、学んだり、食べたりして充実した一日を過ごすことができ、そのことが生きていくバネにもなっているような感想を聞きますので、続けてきて良かったなぁと思います
264	近所の人もみんな若人になり、お茶飲まないと声をかける人もいない。サロンに行けば、同年の人がいる。食べる事とみんなで話す事しか楽しみがない。サロンのおかげです
265	世間のことがよく分かる。皆と話し合いが出来る

No.	内　　容
266	情報交換の場所でもある
267	色々とみんなで話しをしたり昔の話をきいて、楽しい日をすごしました
268	いつも見ない方がサロンで顔を見ることで、閉じこもりでもない事に気づき、安心と食事をしている時の皆様は本当にリラックスしているのか、とても良い笑顔です。サロンがあって良かったなと思う
417	高齢者独居の方々が楽しみにして頂いている事
418	近くで身近な人と心安まる話しが出来る
419	活動がはじまってまだ数ヶ月。ここの地域としては参加者が少ないのですが、よろこんでもらえているようで嬉しい
420	サロンのあつまりを楽しみにしておられるのを聞いてうれしく思った
421	ご近所でも家を訪ねて話し機会はなく、サロンに出掛けるといろいろな方と出会え、話しができて喜ばれている
422	足の悪い閉じこもり気味の方を参加者同士で支えあって参加して下さった姿には感激した。こうして、お互い支えあって参加して下さる姿を見て、ミニサロンの意義を深く感じた
424	住民同士が顔見知りになる事。効果として道で出会っても声を掛け合える関係が出来る事
426	当該地区では「顔の見える町」をテーマにしており、その意味では多くの人が集まり、歌を唄いあるいは話し合うということは、その意に沿っており、担い手としてもいろいろな課題を共有することで連帯感が生まれてくる
427	同じ地域に住んでいても余り交流がなかったが…
428	他の方々との交流の場になる
430	参加された方がみんないきいきされている
432	地域のことをよく把握することができ皆で協力するようになってきた
433	サロンがあることによって顔を合わすことが出来るという点はとても良い点だと思う。又、次の回はこの様なことがやれたらと話し合うことによって楽しみが増える点も良いと思う
434	出来るか、出来ないかを一度判断してみてどうしようかと迷わず「やってみる」ことが必要だと思う。ご指導ある事を本当に感謝しています
435	個人ではなかなか出来ないけれども、サロンがあることによって自分の地域の高齢者の方のお世話が出来ることがとても良いことだと思っております
436	年代の違う方達との交流で教えられる事が多いです
437	地域の人々と話す機会が増え楽しいひとときをすごせた事
438	交流の場が出来た事です
439	・地域の方との交流が出来、学ぶ事が多々あります ・趣味の世界に入れる機会を与えて頂き感謝しています ・高齢者の方々の礼儀正しさと意欲を感じ、これからの人生の道標が出来た事です
443	地域の交流
444	他の人と交流が出来てうれしいです
446	・挨拶程度の交わりが、立ち話や寄って話しが出来るようになり、近所付きあいがよくなった ・町内にある保育園との交流(2回/年)
447	1月に公園での保育園児との交流会で、寒い中タコ揚げ大会を開催し、とても楽しい時間を過ごす事が出来た事は、とても良かったと思います

No.	内　　容
449	知り合いが多くなって参加者が皆友達になって、日頃も交流があちらこちらと始まっています。イキイキサロンを始めて本当によかったと思います
451	お互いに顔見知りになり、なごやかな自治会ができる
455	前日の買物、当日は早朝より忙しいおもいもしますが、お元気な皆さんとゆっくりお話しが出来、健康状態等把握できて嬉しく思います。私のお姉さん又お母さんと思って教えて頂く事もたくさんあり家族とおもって1日楽しく過ごしています
456	私事ですが夫の病気入院、自身の体調不良で参加もままならない時もありますが、参加する事により皆さんに教えて頂く事も多く、和気あいあいの楽しいひとときを過ごせ充実感を覚えます
458	1ヵ月一度みなさんと会って会話できる
459	参加を重ねていくにつれ、参加者の笑顔が多くなって自分としてもとても楽しくなってお手伝いさせて頂いて良かったと思っている。みなさんとても楽しそうで回数も1回でも多く出来るようにと思っています
460	毎月サロンに来られる事を楽しみにしておられること。デイサービスもサロンの日は避けてると言われ、やりがいを感じる。自治会の方も積極的に備品購入とかに協力的になった
461	地域のお年寄りのお顔を覚え、交流が出来る。お年寄りからいろいろなことを教えてもらえる
462	町内に住んでいるののい、会う事がなかった方々と知り合え、お話しも出来てうれしい
463	地域の人と会って親しみを感じる
468	・独居老人が多いので安否確認になっている ・日頃の会話のネタになる
469	近所の人々が声をかけ合うようになった。周辺整備が皆でできるようになり、空き地もきれいになった
470	参加者はいつもだいたい決まっている人だが、顔が見えない時は様子も聞けるし、楽しみにしておられる方も多く、笑って帰られるのがなによりだと思う
471	サロンの参加者はほぼ定着し、参加する人は月に一回の集いを楽しみにしているようである。良かったなと感じる
472	顔見かけると声をかけやすくなった事
473	・会話ができる ・笑える ・何か得るものがある
474	特に一人暮らしの方々が月一度でも同年代の方々と語り合う事が出来て、楽しそうに、又、楽しみでもあり非常に喜ばれています
475	地区の情報が耳に入る
476	・いろんな状態(地域)を互いに理解することが出来るようになった事 ・いろんな行事にもさそいあって参加するようになった ・今までより気楽にかたりあえるようになった
477	皆様との関係がとても親しくなって良かったと思う
478	会に参加し始めて日が浅いのですが、今までお話をしたことのない人とも、仲良くなれ、楽しいふれあいができて嬉しく思います
479	食事をしたり物を作ることなど楽しく笑い合えることが沢山あり嬉しく思っている
480	人と話す機会が多くなった。食事会が楽しい
483	仲間が出来た。サロンのある日が待ち遠しい

No.	内　　容
484	皆と楽しく集えるから
485	友達と交流が出来てよかったと思います
487	2月は可愛いおひなさま作り、毎日楽しんでおります
489	・ストレス発散の場 ・小物を作って楽しめる ・仲間が増えた。若い方の元気をいただいた ・参加者の喜びの声が聞かれた

問11　サロンを行う上での悩み・困っていることはありますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
12	男性の参加者が少ないので、もう少し参加して欲しい
18	施設の不便さ(台所、玄関)
123	高齢者が目にみえて増し継続が困難
124	高齢の上、認知症の人を世話をしてもらっているが、体力的にも迷惑をかけているのではないかと懸念している
421	参加される方が決まっているので参加していない方を参加させたい
432	飲料水が不足しているから集会ごとに家庭より持参
449	男性の参加者が少ない事
455	参加者が増加
456	参加者が増加の傾向にあり今後問題
484	みんなで話し合っているから

問11(付問)　特に課題となっていることがありましたら、以下に御記入ください。

No.	内　　容
9	家に居て参加してない人を、いかに参加していただくか
12	一度も出てきていない人に参加してもらうこと
13	どんなことを活動していったらよいか？
18	・台所設備が悪い為、参加者と一緒に調理をする事ができない ・参加者の声かけをするけれどなかなか人間関係がむずかしい(会員の増加がむずかしい)
19	参加してない人に声かけをして上げて1人でも参加者をふやす様にしていければと思います
20	集まってちょっとした調理を一緒にしたいが台所の設備が悪い
21	女性ばかり集まる事のむつかしさが裏側としてあるようです
23	一度もサロンに参加していない人を出来るだけ参加してもらえるように声かけたり、お願いしたりしたい
117	この会が持続出来ているのは代表者ご夫妻の献身的なお心遣いがあるからです。それにお答えするよう努めなければならないのですが、思うように頭も体も動きません。ご迷惑ばかりかけていて申し訳なく思っています
120	担い手も年を取ります。参加者も高齢で足が悪く、歩いて出るのも困難な方が多くなりました。継続は大変むつかしいです
121	・活動資金がない為、今の活動以外は考えられない ・会員の方のほとんどの方が農業現役ですから、負担に思われる活動は今後もやらない方針です
123	後継者の育成が難しい。昔のようにボランティアで人の世話をする人がいなくなった。悪い世間の流れになったような気がする。国全体の流れ。
124	会場が個人のご好意に甘え、長時間の滞在になっている。冬は暖房、夏は冷房、高齢者の為、トイレは近い(頻尿)状態。会場費用を少し増額していただけたらと思います
232	「地域住民との連携・協力体制づくり」の中で、地域の自治会、民生委員、福祉会、老人クラブなどの協力があればもっと活性化するのではないかと考えています 私たち担い手も参加を募っていますが、参加者の方々が積極的に新規の方を誘って下さるのが最善と思い、声かけをしています
235	年齢を重ねていく度に活動内容、プログラムの充実が困難になる
236	年齢を重ねるにつれ広範囲の趣味が出来なくなって淋しくなりました
240	寒い季節がややサロンをひらくことに問題がある
241	参加者が出席しやすい回数等、日時が決めがたい時がある
248	いつも同じではあまり楽しくないので、色々と工夫し、その時期に合わせて内容を考えなければならないこと
249	笑いの中をどの様に魅力ある会にすべきか。そのアイディアに苦労する
256	老齢化が進むこと
258	あまり人の輪に入りたくない人が一人居て、あまりすすめてもいけないのでそっとしている。毎月声かけはしている
263	特に月1回なので「何をするか」がとても気になります。老人クラブの役員代表者の方が時々の様子や要望を言って下さる時は、とても助かります。ただ、東と西でやりたいことの内容が違う時などプログラムの内容について大変気を使います。趣味やお楽しみグループのように気心が一つでないので悩むことがあります

No.	内　　容
267	サロンに来る方の希望で会食より茶話会の方が良いのではないかといっておられました。その方が気をつかわずに出てこられる様でした
268	サロンに来る時、帰る時、特に楽しんだ後、家路に帰る時、無事着いたかどうか安否確認が出来ないのが心配
417	当地域ではサロン発足しているのは、現時点では4～5箇所程度でサロン交流等不足している事
421	会を重ねるうちに、プログラム内容を考えるのが困難になるのではないか
424	活動内容で参加者に興味を持たせて自主的に参集してもらうために、ボランティアで色々なグループリストが有ればいいなと思う。集まってもらうために何か目玉が欲しい時に活用したい
425	自治会に福祉部を発足したが、自治会役員の福祉に対する認識の違い(経験がない。基本的に男社会である)
426	1. 参加者募集に際して対象者の年齢線引き 2. 参加者募集案内 参加申込書を添付した回覧のみでは申込者が少ない。どうしても福祉員・民生委員が声かけ勧誘する必要がある 3. サロンの内容 できるだけ参加者の希望に添った内容とすること
427	参加費をいくらにするか、講師や指導者への謝礼予算が乏しい
432	他サロンとの交流の時、車問題で苦労しています。例えば社協の車？支所のマイクロバス？自家用車？保険の問題等
451	平成18年度から補助金が無くなるが少しでも補助金を出して、行政が協力してやっているふんいきを作ってほしい
455	参加者が増えるなか、高齢者、足の悪い方等は主人が送迎してくれるが転倒等の事故が起きた時の心配があります
456	活動が広がっていくに従って、資金の問題は見逃せないと思います
468	活動資金の確保
471	参加してほしい人の参加率の良くないこと
472	地区の手伝いの人が増えてほしい事。参加する人が決まり、活動に参加しない人達に興味をもってもらい参加してほしい
473	課題ではないが、参加して「おもしろかったね」「楽しかったね」だけで次回の期待となりがちだが、与えられたことをこなすことで終わらず自主的にとりくむ気持ちがほしい
476	参加者のニーズに合わせてプログラムの作成に気をくばっている。男性の方の参加のよびかけです
489	活動内容の充実のため、他のサロンとの交流の場をどのようにもったらよいか

問12　関係機関に対する要望がありましたら、以下に御記入ください。

No.	要望先	要望事項
12	町社協	よく相談にのってもらい大変助かっている
13	地区社協	活動の内容について
18	町役場	集会所が老朽化の為、玄関及び台所等施設自体が不便です(高齢者の憩いの場としてはあまり適していない！)
23	地区社協	サロンへの助成金を増やしてほしい
117		踊り等の衣装代の支援
121	町福祉課 町社協	「花いっぱい運動」に参加しております。育苗土、種子代、肥料代の助成金があると助かります
126	町社協	自主活動はしていますが今後指導者のお願いをすることもあるかと思いますがよろしくお願いします
234	町社協	今までは町社協より茶菓子代と1年の事業の活動費として援助して戴いていたのですが、今年度からも戴けるのでしょうか。よろしくお願い致します
240	町社協	合併後も今まで同様に支援お願い
263	地区社協	ミニイベントをする時の協力と支援。痴呆予防活動への協力(チラシ作成、配布)
417	自治会	福祉部会設立趣意書提出(総会等)
417	地区社協	同地域また他の地域との連携と交流調整
418	自治会	支援を希望する
419	自治会	活動費の支援
420	自治会	活動費の支援
421	地区社協	ボランティアでできる講師の名簿
421	地区社協	サロン間交流ができるようにサロンの登録簿
421	自治会	活動費の支援
422	市社協	サロン活動の充実への資金援助の継続
424	社協	支援して頂ける団体のリストが欲しい
424	社協	活動するための備品、資料、情報を充実して欲しい
425	地区社協	福祉員の勉強会と交流会
427	地区自治会	サロン活動への理解・広報
427	民生委員	全面的な協力と一緒に考える
432	地区社協	研修会等の送迎に試用する車の件で何時も困っている
433	地区社協	交通の便の悪い地域なので配車の便の協力支援
445	地区社協	活動資金確保
446	市	平成17年度で効力が切れる「介護予防教室事業実施要綱」の継続を望む
448	市	今後も介護予防事業として発展していくよう
449	社協	活動資金を平成18年度もつづけてほしい(平成17年度で終わると聞いているので)
460	市社協	体操指導者、栄養指導者等の派遣。ゲーム道具等の貸し出し。助成金(年末に400円)。サロン交流会
460	地区社協	地区内サロンリーダーの交流(年4回)。助成金3000円(1人80円×回数)

No.	要望先	要望事項
465	地区社協	活動費の増額
468	市社協	活動補助金の復活。講師派遣のより多くの情報と援助→当地区は子供が殆どいないので、子育てサロンはできません
469	市社協	講師の派遣
469	市	利用していない、公共施設を開放してほしい。移動する場合に市のバス等を利用させてほしい
471	市社協	市内のサロンの活動実体の情報誌、季刊でもよい。市内のサロン活動の交流組織
476	地区社協	役員さんがどんな活動しているか把握して欲しい。少しでも補助金が出ると高齢者が助かります
484	市社協	サロンでの体操遊び等の指導
489	地区社協	講師の紹介派遣。財政的な支援協力をして欲しい
489	市社協	バスが借りられるように、その手配の仕方を押してほしい

（3）参加者用

問2　家族構成について当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
67	親と子供、孫
272	ひとり暮らし、そばに長男家族がおる
333	孫一人
340	一人暮らし
540	夫婦子ども
585	夫婦、娘、義弟
605	孫と同居

問3　昼間はどのような状況ですか？当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
67	勤めに出ています
70	親と
71	親と二人
79	週3回透析
132	昼夜一人
134	パート
142	自営業仕事中
180	むすめと一緒
189	仕事
312	自営
314	昼間も二人
320	昼夜ひとり
322	満年一人暮らし
332	野菜作りなど畑に行く
337	テレビ
338	畑
341	一人ぐらし。目が悪いので寝ることが多い
344	農業
371	夫婦ふたり
518	３日毎に勤務
543	時々１人になる
603	自営業しているので来客がある
624	勤務しています
662	ゲートボール、グランドゴルフに、なるだけ行くようにしています
668	夫婦と嫁

問6　何か困ったことがあった時には誰に相談しますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
179	娘
194	「サスケ」緊急通報
196	緊急通報「サスケ」
197	緊急通報サスケ
198	緊急通報サスケ
199	サスケ（電話）
220	嫁いでいる娘夫婦
338	(ふれあいいききサロンは)会長が休んでもしてくれる
518	自分の事は自分で解決。行政上のことは市会議員。
624	サービスは利用していません
655	困ったことは誰に相談してもどうにもならないことだと思っています。自分でなやんで考えて解決するしかないと覚悟しています
664	電話で娘に
667	遠くにいるが(家族)
716	困ったことの内容により異なる

問7　現在、利用しているサービスについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
152	家族
320	タクシーの割引券
322	民間施設でリハビリを受けている
344	サロンに来るだけ
345	サロンに来るだけ
355	ベッド等生活用具
490	今は自分の事は一人でしています
524	利用していない。
525	なにも受けていない
563	現在何にも利用していない
578	今の所利用しなくて良い
642	押し車をかりています
655	サービスを受けないで1人でしずかにたびだちたい気持ちで日々がんばっています
666	受けていない

問8　現在、参加している活動について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
31	老人ホームの草取り
32	ほたるホーム草取り
52	サロン
53	大正琴、高齢者学級
54	いきいきサロン
55	いきいきサロン
56	高齢者学級
58	サロン
60	琴、高齢者活動
60	いきいきサロン
61	いきいきサロン
62	いきいきサロン
63	高齢者学級
63	いきいきサロン
67	さわやかサロン
79	和紙ちぎり絵
93	お茶、詩吟
98	カラオケ、銭太鼓、フォークダンス
128	詩吟、踊
132	カラオケ、銭太鼓
142	カラオケ
144	カラオケ同好会
145	いきいきサロン
146	いきいきサロン
155	カラオケ
155	弁当作り
164	楽器演奏
165	短歌
178	独居老人の給食作り
183	給食ボランティア
186	ふれあい祭り、大掃除
187	カラオケ、生花
187	いきいきサロン
195	農協地区推進員
197	自宅で茶道教室？弟子が訪問
206	詩吟のグループ６名
207	カラオケ、手芸
221	カラオケ、パッチワーク
304	料理教室
308	パッチワーク

No.	内　　容
324	サロンに参加して居る
328	福祉員の仲間に入れてもらい、近所に気をつけている
347	サロン
354	寺や宮の手伝い
368	カラオケ会
375	大正琴
381	コト
383	大正琴
394	元気の会
398	ふれあいサロン
490	週１回踊りを教えている
491	若草会に入会しています。
492	給食配送
493	勝間ふれあいセンター学級
493	ひまわりの会
493	若草会
495	かつまひまわりの会
497	若草会
502	若草会
507	社交ダンス、木工、体操
508	レザークラフト、大正琴
511	レザークラフト、サワヤカミセス
511	交通立哨（月１回）
512	コーラス
512	交通立哨
518	地域周辺の空き缶、ゴミ拾い
518	中国語講習（ふれあいセンター月２回）
523	邦楽
529	グランドゴルフ、マージャン、囲碁等
530	なかよしコーラス毎月１回
532	女性学級
532	社会福祉協議会のデイサービス給食づくり
537	写真同好会、月１回（これをすることで外出する機会が多くなるので楽しい）
542	青少年健全育成三出クラブ他
543	尺八
543	朝、夕立章
549	フォークダンス　健康体操　コーラス
560	コーラス
572	古典を読む会
578	すずめの会
586	歌

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計（参加者用：自由記述）

No.	内　　容
588	俳句
604	ちぎりえ教室
605	つくろいの会
610	いきいき水曜サロン
611	おどり
615	いきいきサロン
617	ダンス
619	体操
622	俳句
624	福祉員
626	いきいきサロン
627	民踊、民謡同好会
632	ちぎりえ、大正琴、グランドゴルフ
637	グリーン・リーダー
642	歩行無理なので家でレース編みして楽しんでいる
645	習字
646	大正琴、カラオケ
655	民謡、陶芸、ヨガ、ゲートボール
658	生花
659	主に体を動かすようにフォークダンス、カラオケ。年に1回市民館にてあざみの会のチャリティ(カラオケ)
663	囲碁クラブ
692	月１回の花だんの草取り、手入れ等
692	足の健気な間はお宮の掃除又はいも植え、草取りをしていた
696	洋裁クラブ
702	茶道
704	草取、公園トイレ清掃
709	公園草取り
715	カラオケ
716	体操
718	茶道、３B体操
719	憩いの駅えんがわ
720	３B体操
723	歴史研究
724	手作りサロン、料理教室、健康体操
724	公民館掃除
724	福祉員
726	手あみ、習字
728	色紙で箱おり交通安全の帽子他。巾でおひなさま作りその他。
731	生花、パッチワーク
734	パッチワーク、手作りサロン

No.	内　　容
737	大正琴、健康体操
737	やすらぎ苑で喫茶の手伝い
738	手作り教室、パッチワーク
740	編物、カラオケ
743	月1回サロンで色々なものを作っています。
744	お花
747	書道、生花、レクリエーションクラブ、フォークダンス
747	やすらぎ苑にふれあい喫茶、おむつたたみ（月1回）
748	老人会の昼食作り

問9　あなたは、ご近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。ここでいうご近所とは、もっとも広くて小学校区くらいを範囲としてお考えください。

No.	内　　容
160	婦人同志のおつき合いが楽しい
341	紙を貼って留守を知らせる
344	お茶のみ友達
371	家族ぐるみで付き合っていたが年と共に体が思う様にならないので付き合いにくい
392	用があれば近所の人に声をかける
518	特に近所の人とは親しい付合い
523	近所の方はたまに話をしている
651	必要な事項等ある時にはお願い出来る
661	ご近所の方とは大変よくして頂き、お話やお世話になっています

問10-1　サロンの仲間や近所の人とは、お互いに助け合っていきたいですか？で「1. すでに助け合っている」「2. 助け合っていきたい」「3. 頼まれれば助け合っていきたい」とお答えの方は、どういった協力をしていますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
148	ナシ
537	女性（自分）が１人になった時に病気で頭が上がらない時など助けが必要かもしれない
604	家の近くのごみひろい

問11　将来、できるだけ要介護状態にならないようにするために、これから取り組みたいことはありますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
48	サロン、デイサービス
49	デイサービス、サロン
51	デイサービス
52	サロン
62	いきいきサロン
76	サロン
77	サロン
78	サロンに参加
79	サロン
80	サロンへの出かけ
83	サロンへ参加
84	サロン
85	サロンへ参加。生きがいデイ
98	今までの習い事を続けたい
99	サロン
101	サロン
102	温泉行
103	サロン
104	歩く
105	サロン
106	サロン
135	花、カラオケ
160	健康によい番組はつとめてみるように心掛けている。にぎやかなテレビより静かに新聞を読んだり本を読む方が好きです。最近は１人の時は声を出して読んでいます。新聞を読むのが好きでよい記事や参考になる事は切り抜いています。整理は不十分ですが時々声に出して読みかえしてみたりしています。
187	現在のまま継続したい
219	自分の趣味をいかす
328	現在短歌教室に入っている
361	体を鍛えるウォーキング、体操等
371	健康について二ヶ月に一回位でも医者の話が聞きたい
375	大正琴
392	自分で出来るだけのことはする
490	皆さんで体を動かす事をして行きたいです
517	週１回フォークダンス
517	施設慰問。おむつたたみ。
518	毎日６km歩く。17年目。
537	この年齢になると病院へ通院もあり自由に過ごしたい。
542	スポーツに参加
555	コーラス

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計（参加者用：自由記述）

No.	内　　容
561	遠距離のタメ
567	お習字教室に、月３回位出席します。
570	いきいきサロン
578	料理、歌、ダンス
586	歌を歌って楽しむ
605	手作り品等
636	運動、食教育
642	足腰悪いため参加出来ない
655	民謡、陶芸、ヨガ、ゲートボール。(保健活動は)自分でやっている
659	ダンス、書道
663	囲碁、なつかしい歌を唄う
729	手作りサロン、栄養教室
747	書道、生花

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計（参加者用：自由記述）

問12　サロンに参加したきっかけは次のどれですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
195	何年間も老人給食を会食され、楽しそうなグループだったから勧めた。
340	会長にすすめられた
341	会長に言われて喜んで入った
371	(友達や仲間から)教えられた
490	町内の方がいつも家でボーっとしていると聞きそれではと思い自分から入った。
492	ボランティア募集の呼掛け
518	時間が許す時は参加するようにしている
563	近所の人の話しを聞いて
661	大変ありがたく感謝しています
745	医師

問13　サロンに参加する理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
48	温泉会食
49	温泉
51	温泉

問15　サロンに参加しはじめて生活に変化がありましたか？次の(1)～(18)の各項目について当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	項　　目	内　　容
341	(3)食事・栄養への気配り	弁当
160	(5)体調	良いほうなので変わらない
531	(5)体調	以前から健康
341	(6)福祉サービスの利用	多くなった
361	(6)福祉サービスの利用	まだデイサービスをうける年ではない
531	(6)福祉サービスの利用	以前からデイサービスを
606	(6)福祉サービスの利用	受けていない
740	(6)福祉サービスの利用	なし
187	(7)病院に行く回数	昔から病院にはあまり行かない
344	(7)病院に行く回数	行かない
398	(7)病院に行く回数	月1回病院薬をもらいに行く
570	(7)病院に行く回数	増えた
341	(8)普段の生活で笑うこと	トランプをする時は良く笑う
531	(8)普段の生活で笑うこと	いつも笑っている
537	(8)普段の生活で笑うこと	今のところ二人だから会話があるので
578	(8)普段の生活で笑うこと	いつも笑っている
531	(11)サロンが生きがいとなりましたか？	出来るだけ出席して楽しみたい
563	(11)サロンが生きがいとなりましたか？	生きがいとまでは行かない（そこまでは）
343	(12)家族との会話	一人くらし
344	(12)家族との会話	一人くらし
341	(13)さびしさ・不安感	ない
155	(14)外出	時々、月２回ぐらい
180	(14)外出	１人では出かけられない
160	(17)サロン参加者とのサロン以外の日常の交流	増えるよう努力している
537	(18)幅広い年齢層との交流	自分から小・中生に話しかけるのが楽しい
328		毎日元気でいて農業をやっており、家内と共々の生活なので別段変わったということはない

問16　これからどのくらいの開催頻度でサロンがあれば良いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

No.	内　　容
69	2ヶ月に1回
75	2ヶ月に1回
304	年3回
365	二ヶ月に一回
492	花見や紅葉見学の実行
531	2～3ヶ月に1回
537	多数の人員のお世話になるので恐縮しています。
541	3ヶ月位に1回ぐらい
596	ひまのとき
655	スタッフの皆様のご苦労を思えば、月1回くらいかなぁと思います

問17　今後どのようなサロンのプログラム・内容があれば良いと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

No.	内　　容
91	新たに友達が出来た
99	お出かけ
659	皆さんと一緒に(食事を)いただくことは、楽しいですが、作る方々が大変と思います。心配ごと、困りごとなどはサロンの中では出来ない。個人的に信頼出来る人をさがして相談する

問18　サロンに参加してみてよかったと思うこと、サロンが地域にあって良かったなと思うことを以下に御記入ください

No.	内　　容
28	会食会で楽しい事
29	笑う事があるので。みんなと会食。唄ったり出来て楽しい。
31	皆さんとのお話や会食の出来たこと等大変嬉しく思いました。
32	昔のあそび、ワラ仕事など思い出して出来る事、会食が楽しく出来る事などよかった。
33	楽しくすごせる
34	楽しく話せる。じょうだん等言いあえる。
35	皆様とお話が出来て良い。
38	皆で楽しく1日良く笑ってすごせる
39	皆さんと一緒に会食をしてお話が出来る事が何より楽しく思います。
46	毎日みんなに会えて楽しい
47	気がねなく、色々な情報が入り良い。
48	会話、温泉、会食、足の運動
49	会話、温泉、会食で楽しくできる。会場まで歩く（足の運動になる）
50	友達との会話
53	時々皆に会えて話したり笑ったりする事がよいと思います。
54	良かった（会場が近いから）
56	楽しくて明るくなって笑うことも多くてよかった。集合場所の近いのもよい。
57	近くにあるので集り易い
58	笑う事
59	生甲斐を感じ生きる喜びを感じた大変有意義で有難う御座いました
60	会場が近いから良い。いろいろな情報が聞ける。
61	お友達と良く話し合える事
63	会場が近いので参加しやすい。
69	お互いの交流が深まったこと。グランドゴルフ等は体を動かす活動で、良い試みと思った。
76	気分転換。歩いていける所で参加しやすい。笑うことが多くなった。お世話を良くしていただける。
77	現在は月1回だが友達も増え集った時は会話も沢山でき本当に良かった。いつまでも出席できるよう健康に留意していきたい。
78	皆さんと交流の場が出来た事です
79	・世代間の交流が出来、知らない情報等も知ることができる ・一人では行けない観光地にも連れて行ってもらうことができてうれしく思う
80	気分がはれる
81	会場を炊事の出来る様改良してほしい
82	会話が自由にできてとても楽しい一日がすごせること。社会のいろいろな情報がきかれること。自宅から近くで友達に会われる楽しみです
83	高年齢の人との交流。自分の生活態度の反省。参加への健康管理
85	色々会食メニューが多く楽しみがある。歩いていける所で参加しやすい

No.	内　　容
86	訪問や声かけするようになり毎日はりきって皆さんに会える事がたのしくがんばっています
87	日頃会わない人に会える喜び
88	地域にあって良かったです
89	楽しみが出来てよかった
90	普段会える人(知らない人)と顔見知りになれた事
92	友達が出来て良かった
93	役員の御方がなみなみのご苦労なさってご指導なさって下さるので、月1回来るのが楽しみです
94	皆さんと会える事が楽しい
95	友だちが出来てよかった
96	大変楽しく思います。役員様がとてもよいです
98	自分より年上の人との交流が出来たこと
99	・みんなと会えることが楽しみ ・笑うことが多くなった ・出かけることが楽しみになった
100	笑うことが多くなった
102	人とお話をする事が一番楽しみです
104	楽しいです
106	楽しい
128	今までお付き合いの無かった方々と一緒に語り笑って思うように動かない手足を上げて踊りの真似事が出来ることが本当に楽しみです
132	お友達が多く出来ました。笑うことが多くなりました。人との会話が多くなりました。
137	色々な人と出会いが出来て良かったです。発表会の後皆さんと会食する事が大変嬉しく思います。
139	色々な方に出会ってお話出来て良いです。発表会の後皆さんと食事をすることが大変たのしいです。
144	良かったと思います
154	会話がはずむのでよい
157	みんなの顔が見られ会話がたのしい
160	働いていたのでご近所の方との交流がうすかったのですがサロンが出来交流していると次第に絆が深まり、楽しく語り合ったり悩みを聞いてもらったり、教えていただいたりして、とてもよい雰囲気の中でサロン活動をしています。何よりもリーダーの方があたたかい気持ちで献身的にお世話して下さり本当によいサロンです。
165	話し合いが出来た。色々な事を教えてもらった。
178	月1回の交流が持たれていますが、みな様の出合い、お話が出来ます事が何よりたのしみで良い事と思っております
180	楽しみがふえた
185	皆それぞれ年をとる事平等であるが心の持ち次第で老いの身を日々感謝の心で送れば少しでも長寿の山を登って行けると思う

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計（参加者用：自由記述）

No.	内　　容
186	長年サロンに参加できるのは、家の近くにあり、又会員が心を一つにして大声で詩吟を吟ずることがとても楽しい、それから難しい漢字が出てくるのでそれを皆で話し合い頭の体操にとても役立つのが良いと思います。
187	週1回のサロン参加を楽しみにしています。近くて気楽に行けるし場所を提供して下さる方には感謝してます。
188	毎週楽しく勉強や茶話会が出来、場所を提供して頂いて気楽に参加させてもらって大変感謝して居ます。自己管理に気をつけこの先も元気で持続が出来ます様皆様に元気を頂いて居ます。
189	1週間に1日ふだん着で参加できる事
191	サロンに参加してとてもおしゃべりを良くする様になり一緒に日帰りで出掛ける事がたくさんあります。とても楽しみな会です。
192	「日々是好日」です。ありがとうございます。
193	仲間と一緒にウォーキングも楽しく続ける事が出来ている。カラオケも唄っておしゃべりもして楽しいひとときも過ごす事が出来るの嬉しい。
206	地域の情報がよく解ってためになります
208	人との会話が出来る事
210	地域の皆さまとお出逢いできてとても楽しくすごしております
211	近くに出来て本当に喜んで居ります。次の予定日が待遠しい位です。元気で少しでも長く此のサロンに参加していきたいと思って居ります。
217	ストレスかいしょう。
218	楽しみが出来た。
219	ストレス解消
220	２０年近く独り暮らしの生活をして居りましたが、現在月1回での気の合う者同志が集い語り合い、折り紙など手先を使い製品の仕上がった喜びを感じ、製品を施設で使って下さるを励みに集まる日を楽しみにして居ります。
269	皆とお会い出来て楽しみにしています
272	皆様と会うのが楽しい。気が晴れます
273	楽しいです
274	皆様と話し合ったり、色々の事をして笑う事がたくさんあったら良いと思います
275	楽しい
277	友だちが沢山出来た。健康体操、健康チェックの活動が為になった
278	皆に会えて楽しい。友だちが出来てよい
279	サロンに参加してとてもよかったです。色々の考慮が出来てよいです
280	近くにサロンがあってとてもよかったと思います
281	皆で集まって話し合う事がたのしい
282	今は送り迎えをしてもらえ助かります。これからも続いてほしい…
283	いつも一人暮らしですので此の機会が楽しみです
285	皆さんと一緒になり、楽しいです。友達が多く出来てとてもうれしいです。週一回が楽しみです
286	顔見知りの方が話し相手に来てくれること
288	地域の人たちと仲間意識が生まれた
289	話し相手ができる。笑ったり、歌ったりできる

No.	内　　容
291	・年齢差のある友達が出来て色々な話し合いが出来て、楽しい時間を過ごすことが出来てよい ・趣味の範囲が広がった
292	何でも話せる友達になれて心強い。心配事や病気をした時みんな心配してくれてとてもうれしい。皆と逢って話しをすると外の事もわかるし楽しい
293	友人や仲間がふえ生きがいが出来楽しく成った
294	皆さんとふれ合う事が何よりの楽しみです
295	月2回の集会がありますが、笑いがふえ友達同士がより仲良くなったこと
296	友達や仲間と交流が深まってとても良かったと思います
297	友達や仲間と交流が深まってとても良かったと思います
298	趣味がふかまって良いとおもいます
299	仲間と趣味技術をふかめとても生きがいを感じる様になりました
301	・友達や仲間との交流が深まった ・生きがいや楽しみが多くなった
302	みんなと会話をよくするようになった
303	笑う事が出来、仕事にはりが出る
304	自治会内での交流ができる
305	楽しい事が多く、気軽にみんなとふれあうことが出来るようになった
306	いろいろな話しが聞けて、みんなの様子がよくわかる
307	一人ぐらしなので大変助けられる
309	外出の楽しみがふえた事
310	一人暮らしなのでサロンでワイワイ言って、会食したりレクリエーションをしたりするので楽しい
311	一人暮らしなので皆とワイワイはない合いが出来て良い
313	友達がふえ毎日が楽しい
314	友達との交流が多くなった事
315	楽しみがふえた
319	同じ自治会の方でもふれあいがなければ顔を合わす事があまりないのでサロンがあれば話しが出来る
320	笑いが多くなり毎日にはりが出てきた
322	皆と交流が出来はげみになる
323	色々の話しが出来て良い
324	色々話しが出来、気晴らしになる
326	・家にこもらないで皆で集うこと ・普段とちがう動きで「体を動かす」ということがとてもいいと思う
327	健康体操をすることにより、自分の体は自分で健康管理しなくてはならないと考えるようになった。近所の人々が寄り合って、話し合えること、警察の方も、保健婦さんも参加していただくことがとてもよいことと喜んでいます
328	・めったに会えない人と会える ・いろいろな会話ができる ・視野が広まる ・体操を毎日やるようになった

No.	内　　容
331	サロン参加して健康度上がり、とてもよかったと思います。これからもつづけてほしいと思います
332	・かんたんでやりよい健康ができる ・みんなと色々と話しができる
333	健康体操非常に良いと思います。引き続き出席したいと思います
336	楽しみに居る
339	サロンが地域にあってよいと思う
340	よくねむれる
341	楽しみでその日はよく寝られる
342	楽しい気持ちになります
344	サロンに来るのが楽しいです
345	良くねむれるようになった。この地区は人のいい人が多くて住みよい
346	友達が増えて楽しみです
347	たのしみにしています
348	毎回楽しみにして待っている。全員元気で集まる事
349	サロンが楽しみです。二人共が年をとり心細い
350	笑う事も楽しむ事も全体で行えて、視野が広がり一人ぼっちな考え方が恥ずかしい様です
351	サロンに参加することが楽しく、これからも続けて欲しいと思います
352	月1回の集会が待ち遠しい。若返った感じがする
353	元気で行かれることが幸せです
354	人と話し合う事が大変楽しみです
355	楽しみになります
356	皆様のお話を色々と聞かせてもらい勉強になります。毎回楽しみにしています
357	すごく生きがいです
358	毎月のサロンがたのしみです。お世話して下さる方々にいつも感謝して居ります。おいしいお昼ごはんをいただき、みなさんと世間話しや色々と雑談が出来、楽しいーコマ何より嬉しくたのしみにしています
359	茶話会やトランプ遊びをして遊んでくれる人や仲間があって楽しい一時が過ごせて嬉しく思う
360	サロンの日が来るのを楽しみに出来る
361	笑うことが多くなった。気分転換に有効
363	笑顔が出るようになった。みんなの顔が見えること。外出できること
365	友達と久しぶりに話し合える事
366	健康、娯楽の為楽しみに皆さんと会えて嬉しいです。感謝して居ります
367	サロンに来て色々な事があわかり、楽しい事が多く良かったと思います
370	楽しみがふえた事
371	先生のご指導と優しいお話を聞くのが楽しみです。今後共、先生自身の体験談などを皆に話して下さい、お願いします。日頃あまり逢うことが少ない友人にあえるので楽しいです
372	皆さんの顔が見られお話が出来て楽しいです
373	みんなと色々お話出来て楽しみにして居ります
374	友人にあえてたのしい

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計（参加者用：自由記述）

No.	内　　容
375	皆さんとの話し合い、楽しい、笑いが多い
377	御無沙汰している友達と会える事。共に動き笑える事
378	皆さんと顔を合わせるのが楽しみです
382	サロンに参加して楽しいです
385	身体を動かす事。ひきこもらない事等を心がける様になった
386	皆さんと会える事
388	近所の人だから顔を見てあいさつぐらいはしますが、サロンに集合して隣あってお話をしたり食事したりすると、何となく皆さんが笑顔になって来ます。そうすると皆さんなごんで来て楽しい気分になります
393	皆さんとお話したり、お食事したり楽しい時を過ごしたりする事で長生きするような気がします
394	皆元気で集合する事。笑ってたのしく過ごす事
396	皆様との交流がふえた事。色々お話を聞いて勉強になります
397	サロンで会食をし、話し合いをしたり、ゲーム等をして楽しい。お世話をする役員の方には感謝しています。忙しい月は休んでも良いと思います
398	家の中にいるばかりより、いろいろの人と話し合う事が痴呆の予防となりますので
490	話が出来てとても楽しいです
491	今日も皆さんの笑い顔を見てお話を聞いたりした事がとても嬉しく思っております。一回でもたくさん参加させて頂きます。
492	サロンの中で困った事等相談すること。務めて毎回参加したい。
502	自分もみなさんとの会話が楽しい。
503	色々な方のお話を聞いたり、会話も出来て楽しいです。
507	食生活について興味がわいた
510	無理なく気軽に参加が出来、賑やかな雰囲気の中での調理実習、おしゃべりしながらの会食、心温まるふれあいが出来るのもお世話される方のお蔭と感謝しつつこれからも地域の方と交流を深めて行けたらと思っています。
511	参加者の方々を知ることが出来た。お互いが助け合う気持ちが出てきた。地域の動きが分かるようになった。
512	交流によって知識が広まったこと
513	会社勤めの間は地域との交流も少なく退職後のことも色々思案していたが、いきいきサロンに参加することで、近隣の人たちとの交流も深まり地域行事にも色々参加出来、有意義で健康的な日常生活が送れ良かった。
517	各人が隣近所の方に気くばりがもっと有るとよいのでは。あまりしつこくても反対にいやがられます。ほどほどに昔の人はよい言葉をたくさん残して居られます。その中より「ひごろおうじょう」。日頃からの心掛けが自分にないとうまくいきません。年輩の方は色々御存知ですが心から打ちとけて頂く迄には何年も時間がかかります。
518	高齢化社会では特に人間疎外となり勝ち。昔のような隣組が仲良くする世の中にしたい。
519	知人に会える事。歌う機会にめぐまれた事。
523	地域の方達1人でも多く知り合いになりたいので良かったと思います。
524	日頃御無沙汰していた方々に出会えて触合ができたこと。年寄りの増える今日、住み慣れた地域で元気に生きていくための重要な学びの場であると実感しました。
526	参加された皆様と楽しく過ごすことが出来てたのしかった。

No.	内　　容
527	一時のやすらぎが得られること。知らぬ人との出会いでストレス解消が少しであるが出来ること。
530	皆様と会話が出来、町内の方々と身近になり本当に楽しい時間を作って下さった事に感謝しています。お手伝いの方たち、大変でしょうが、これからも宜しくお願いします。体調の良い時は、なるべく参加するように心がけております。
531	友人が増えてよかった。昔話が聞かれてよかった。明るく楽しい会合で気が晴れた。次が待たれます。地域がなごやかになってよかったと喜んでいます。今後とも宜しくお願いします。有難うございました。
532	少し身だしなみして出かけられるのでたのしいです。色々な人に出会えて自分をかえりみたり見習うことがあります。沢山の人に出会えるのがうれしいです。近い場所でサロンが開催されるので出かけるのが苦になりません。
533	友人が出来た。
534	近所に人の顔が分かるようになった
538	自身今のところ健康面も良好で、友人達との交流も出来ていますが、このような状態でいつまでもこの地域で生活したいものです。そのためにも、身近でサロンが実施されることによって久しく会っていない方、初めての方の出会いがあり、またお世話してくださる方々の工夫で楽しいひとときをすごすことができます。家事用が重ならない限りこれからも参加しようと思います。
541	童謡、日本の名歌等歌うのも童心にかえって楽しい一時でした。
545	健康チェック
548	楽しい時間がすごせること
551	時々集会で皆さんの顔を見ていろいろお話が出来る事がたのしみです。他のサロンの方々との集まりで、また話の
555	友達との交わりが深くなった
557	毎月会員の方に会えることが楽しみです
558	毎月変化のある行事なので楽しみにしている
561	皆様の笑顔が何より
562	地域の方々の温かみを更に感じて参加させて頂いている私です。
563	毎月1回のサロンに参加する様になってから日頃逢わない人達にも逢えて話を聞くのが楽しみだし顔を合わせるの
564	地域の方又地域以外の方とも交流が出来て良かったと思います
566	今迄のサロンの行事、みんな良かったと思います。これからも宜しくお願いします。
567	親しく話し合いが出来て、こんな嬉しいことはありません。続けて行きたいと思います。よろしくお願いします。
570	近くで良かった。
571	サロンの皆さんと、いろいろな会話が出来たり会食したり、色々な手芸品を作るのが、とてもたのしくて、1日あっと言う間に時間が、過ぎます
572	日常のうさを忘れて、一心ふらんになれること
573	手芸を習ったり、皆さんとおしゃべりする事
578	多くの人とのふれあいが出来ること。自分のこれ迄知らなかった色々な知識が身につく事
579	日常逢わない人達とも交流が出来た
580	日常会えない人と会話が出来る。

No.	内　　容
581	外に出掛けると、皆さんとのお話が出来る
584	連れて行ってもらわなくても自分で行けるのが良い。行くと自分の知らなかった事を1つでも身につけて来る。
585	近くで良かった
588	サロンに参加して良かったと思います。サロンが地域にあって良かったと思います。車に乗せて行って頂いて助かって居ります。
590	地域にサロンがあって参加出来るのでよかったなと思います
593	地域の情報交換。日常生活における様々な体験、その他の収得。
596	人との話し合い
598	会食での色々とかわった事がよいと思う
599	集まって話合など出来て楽しい
600	毎日がいきいきはつらつうれしいです。たいくつでない事。
601	近所の人との交流
603	顔は知っていても言葉を交わした事もない人と交流出来る
605	年をとって引越しをして来て地域の方とも交流がんくて淋しかった所で友達からサロンにさそわれて入会し、とても良かった。友達も沢山できて楽しい日々です。
606	参加することによって今迄以上に交流が深まった。
607	旅行に行ける
609	手芸が楽しみ
610	サロンが有って良かったが、体調不良の為不参加が多かった
613	作るのが楽しみ
615	いろいろな物がつくれてうれしい。
616	料理実習も楽しかった。
618	健康体操、健康チェックが出来、参考になること。月1度でもサロンの人と出会えること。
621	保育園児との交流が楽しい
622	気安い友達の出会いの出来た事本当によかったと想います。ボケ防止になるかな？
623	毎回楽しいもようしものがあり楽しみ
624	月1回サロンがありますが、日頃出会っても日常の挨拶程度しか話をしたことのない人々とより一層の親しく世間話が出来るようになりとても良い事だと思います。
626	友達がふえた
628	健康
636	地域の人と仲良しになれる
642	茶話会が楽しみです
643	みんなに会った時は心がやすらぎます。サロンに参加する事をとても楽しみにしています。サロンが無かったらみんなに会う事もなく淋しいでしょう。お世話される方々にとても有り難く感謝しています
644	とても楽しみにしています
645	生活福祉その他の情報提供が出来て大変よいと思います
646	お友達が沢山できて楽しく暮らしています
647	良かったと思います

No.	内　　容
648	おいしいご馳走をいただきながら楽しい語らいのひとときをすごさせていただき有り難うございます
649	お話をしたり笑う事でよかったと思いました
651	地域の方々とのふれあいで情報提供(一般社会)等で改めて考えさせられることや、豊かな心でたのしく過ごす時間が持てることは一人暮らしの者には特に有り難いと思います
652	世間の様子がきかれて良い
653	病気をしてから家から余り出なくなったが、サロンに参加する様になって出かけられる様になった
654	月1回でも皆様と顔を会わすことが出来ることが楽しみ
655	家では笑う事もしゃべることもないのでサロンがあって良かったと思います
656	友達が出来た事。あいさつだけの人との会話が出来るようになった
658	沢山の方との交流が有り、楽しい1日を過ごすことが出来満足しています。体を動かすこともその都度教わり体操等思い出して実行していることもあります。デイサービスでリハビリをしていることもあり、自分の体調を安定させているような気もします
659	サロンに参加してご近所の人々とよくお話が出来るようになり、又、自分が今まで知らなかった人も双方から声を掛け合う様になって地域にサロンが有って、老人が趣味や健康チェックが出来て良いと思う
660	ご近所の方々と月に1回でもお会いできてお話できること
661	大変お世話になっています。ありがとうございます
662	皆さんと集まってお話したりすることを聞いて、役に立つときが多々あります。次の会が楽しみです
663	皆さんと月に1回でも、お出会い出来てお話が出来ること
665	お話する相手がたくさん出来まして、たのしいです。お食事がおいしくたのしいです。お世話して下さる方々が親切で、よくして下さいますことが有り難いです
666	大変良かったと思う。知人、友人が多くなった
668	地域の情報が良くわかる
680	知らない方まで知ってよかった
681	皆さんとお顔を合わせてお話したりするのがとても楽しくうれしく思います。色々為になる事もありますので喜んで参加させて頂いております
682	地区の人と道で出会ってもお話が出来る様になった事と、編み物やカゴ作りを教えてもらった事
685	友人や近所の人のお元気な顔を見て私も元気付けられる
686	友達や仲間との交流が深まった事が良かったと思います(健康体操・手芸等)
688	退職後、地域の人とのおつきあいが出来て本当に良かったと思います
689	出会えばあいさつをする程度の人達でも、サロンに参加すれば親しみが湧き、交流の出来る事が大変心を豊かに出来ます。その都度の行事もご心配して頂き、感謝申し上げます
690	いくら知人があっても、家から一歩出て地域の人（自治会）とのふれあいはまとまった会がないと交流は生まれにくい。身近にこんな方がいられたのだと知ることができサロンに参加してよかったなと感じた。方言まるだしで楽しめる。
691	人に合える。話が出来る。体の悪いところを聞いてもらえる。
692	毎月1回ですが皆さんに出会って色々話合える事です
694	いろんな話が出来るのでたのしみにしています

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート集計（参加者用：自由記述）

No.	内　　容
696	いろいろ世間話が出来ること
697	サロンに出席して知らない人と話合が出来て色々な事が身について良いと思う
698	久しぶりに合って皆さんと出合える事
701	たのしい
703	皆さんと親しくお話出来るようになってうれしく思います。世話人さんがとてもよくお世話して下さるので楽しくおもしろく過せるので有難く思い月1回の集りを楽しみにしています
708	いろんな知識を教わって日常生活がほがらになった
709	友達が多く出来てうれしい
713	たのしい毎日です
714	お友達ふえた
716	色々な人と接する事で、自分の能力、知力を測り得る事が出来てよかったと思う。
718	２０年間他県で暮らし、以前住んでいた処へ帰ったのですが、長い年月のブランクは想像以上でした。サロンに参加して徐々に地元の方と顔見知りになり、今ではすっかり地域に溶け込んで楽しく暮らしています。
720	多くの友人、知人が出来話題も多くなった
723	余暇の有効利用ができた（教養活動）。楽しい仲間が多くできた（地域活動）。時間の有効活用ができます（交流活動）。
724	活動をするたびに、人とふれあい交流が出来、とても良かったと思う。自分より年上の人が多いので人生の勉強になる事もある。
728	友人とあって会話ができる事
729	友達ができ気がはれた
730	友人との交流が出来る様になり、楽しい日々です。
732	地域の事が良く分かって良かった。友達が出来て良かった。
734	顔は知っていても口をきいたことがない人と交流が出来てとても良かったと思います。サロンに行くのはとても楽しみです。
737	知り人が多く出来た事。近くでボランティア活動が出来ること
738	家の回りの人だけでなく、遠くの部落の人達とも知り合え話す事が出来てうれしい。
740	サロンに参加して知らないことを色々教われてとても良い
743	若い世代間の交流が嬉しく思います。人の中に出ることが勉強になります。これからも続けたいと思って居ります。
744	日がたって良かった
745	気がはれてよかった
746	年を取ってもわしでも出来れば楽しみです。其れと若い方々にとても親切にして頂くのが何より嬉しいです。
748	気がまぎれた事、楽しみがある事
	はずむ事も有り勉強になります。サロンが有る事で、健康に気を付ける様になったのが一番です。
	も楽しいし今度は何にが有るのか又楽しみにして家路に帰る

問19　サロンで心配なこと、困っていることがありましたら、以下に御記入ください。
今一番、心配なこと、困っていることがありましたら御記入ください。

No.	内　　容
34	区の戸数が減っていくこと
76	会場が不便
77	台所の整備をよくしてほしい。全く調理ができない。
79	会場がもう少し使いやすくなれば良い(台所・玄関)
82	身体が次第に弱りいつまで参加出来るかと心配です
132	今は車で公民館に行っていますが年と共にいつ迄行けるか分かりません
137	世話人様に送り迎えして頂く事が大変心苦しく思います。心安くして頂きますが申し訳ないと思っています。
139	車がないので送迎して頂くことを心くるしく思います
160	超高齢者の方の参加が次第に少なくなったこと
165	段々年を取って体の不調な方が多くなった
185	今はいいがおいおい年をとって来る何時迄も夫婦元気で毎日を送られたらこれ以上の幸せはない
191	特にありません。毎日元気で参加出来る事です。
206	高齢化が進んで病人等が多くなり人数が減ることが心配です
280	年金がすくなくならない様に願っています
291	サロンを始めた時には、年が若かったので色々な趣味が出来たが、年齢を重ねる毎に眼が見えなくなり、思うように計画が実行出来なくなるのが残念です
294	サロンは楽しみなのですが、所から外にでるのは車がないので出られないのが残念です
296	現在のサロンでは困った事はありません
297	現在のサロンに困った事はありません。会合の時は送迎バスを考えていただくと仕合わせます
301	高齢になるに従って、計画通り実行できなくなるのがさびしいです
328	お世話下さる人が大変だろうなぁと常々思っている。感謝!
334	足が痛くて困る
339	色々な書類が来ますが見落とす事が多いので迷惑をかける事が多い
350	老化がすすまない事を願っております
354	サロンは楽しみの一つですが、物忘れが多く慌てます
363	これからもずっと参加したいがいつまで可能か
392	今は行って居ません。足が痛いので、行く事も座る事も出来ません。皆にめいわくをかけるので行って居ません
511	誰でも自由に気軽に参加していただくようにしているがなかなかむつかしい。自分自身が勉強不足であり何をどうすればよいかよく分からない。
517	前日から企画、会場作り等々準備が大変です。お疲れ様です。ますます発展し長く続く事を願っています。
542	声がはっきり聞きとれない時がある。
558	楽しいので困ることなし
561	耳つんぼ
563	いつも集っている人で顔を見ないと淋しい
578	他の行事と曜日が重なる事が多くて参加を考えることが多い

No.	内　　容
585	今はべつにございません
659	自治会がちがってもよいのでしょうか
661	今一番は健康であること
691	歩いて自治会館へ行けなくなること
720	だんだん年齢が高くなり若い人の入会が少ない事
723	現状は大変よいのですが何年か経過して人数が減少してしまうこと。若い人の育成です。
745	足が良くなればよいと思う
746	若い頃に出来たことが、手がうごかないため思う様に物事が出来ないのが一番残念です

問19　サロンで心配なこと、困っていることがありましたら、以下に御記入ください。
その他、心配なこと、困っていることがありましたら御記入ください。

No.	内　　容
82	歩行困難によって友達に迷惑をかけることです
96	何も有りません。大変楽しくていいです
280	医療費が上がらないようにお願い致します
363	耳が遠くて補聴器や杖が欲しいこと。以上代筆
511	参加者を増やすために何をすれば良いか思いつかない。活動目的を決めれば現在の参加者が減る。
561	別にありません
563	今の所困っていることはないです。後１人になった時の事を感えると便利が悪い所だから今から心配する事もあります
655	命あるかぎりは他人様になるだけご迷惑をかけないで、しずかに旅立ちたいとそれのみ頭にとめて頑張っています
659	個人的な悪いうわさ話はあの中ではしないように心掛けたい(人のことあまりいわない)
691	足が悪い
694	足が悪いのであまり外に出たくありませんのでこまっています
723	現在は好リーダーで進行していますが高齢化してくれば困ります。
	自然災害が若し夜中に遭遇した時電灯も電話も切れた時、地震・台風・豪雨があったらいつ何時起るか分からない

資料編

＊「ふれあい・いきいきサロン」について
のアンケート 調査票

＊ 平成１７年度「ふれあい・いきいきサロン」
活動実態調査結果

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート

～サロン代表者用～

市町村名（　　）サロン名（　　）

【記入上のお願い】
1．この調査票は、サロン代表者御本人が御記入ください。
2．この調査票では、当てはまる番号に○を付けてもらう質問と、空欄に必要事項を記入する質問があります。
3．「その他」の欄は、御自由に御記入ください。

【まず、あなたのサロンについてお聞きします】

問1．　サロンの開催頻度について当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．月１回ぐらい　　2．月２回ぐらい　　3．週１回ぐらい
4．２か月に１回ぐらい　　5．その他（　　）

問2．　サロンの活動日について当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．平日（月曜日～金曜日）　　2．土曜日
3．日曜日　　4．その他（　　）

問3．　サロンの活動時間帯について当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．午前だけ　　2．午後だけ（１２時～１７時頃）
3．午前から午後にかけて　　4．夜（１８時以降）
5．特に決まっていない　　6．その他（　　）

問４．　サロンの主な活動場所について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．地区の公民館	２．町内会や自治会の公会堂・集会所
３．自宅を開放して	４．その他（　　）

問５．　サロンの活動年数について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．１年未満	２．１年～２年の間
３．２年～３年の間	４．３年～４年の間
５．４年～５年の間	６．５年以上

問６．　サロンに所属している人数（登録者）について、参加者数、担い手数をそれぞれ御記入ください。

参加者（　　）名　　担い手（　　）名

問７．　サロンに所属している人数について、毎回、参加されている平均的な参加者数、担い手数をそれぞれ御記入ください。

参加者（　　）名　　担い手（　　）名

問８．　サロンの所属者の性別構成について一番近い番号１つに○をつけてください。

１．女性のみ	２．女性が多い	３．男性・女性ほぼ同数
４．男性が多い	５．男性のみ	

問９．　参加費について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．定期的に集めている ―→ 一人あたりの金額を御記入ください
　① １回ごとに集めている
　　１回（　　）円
　② １か月ごとに集めている
　　１回（　　）円
　③ 年会費として集めている
　　年（　　）円

２．必要に応じて集めている

３．集めていない

質問１０．　サロンの活動資金になっている番号すべてに○をつけてください。

１．会費
２．行政からの公的補助
３．社会福祉協議会からの補助
４．社会福祉協議会以外の民間助成金
５．バザーなどの資金収集活動による収益金
６．寄付金
７．その他（　　）

質問１１．　平成１５年度の活動資金として主な番号１つに○をつけてください。

１．会費、資金収集活動などの自主的な財源が中心
２．社協、行政などの補助金や助成金が中心
３．自主的な財源と補助金や助成金が同じくらい

【サロンの内容についてお聞きします】

問１２．　平成１５年度のサロンの活動内容について御記入ください。

月	活動内容（簡単で結構です）	参加人数	
		参加者	担い手
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
１０月			
１１月			
１２月			
1月			
2月			
3月			

【サロンの変化についてお聞きします】

問１３．　サロン発足時と現在のサロンの状況の変化について、以下の（１）～（８）の各項目について当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）サロンの所属者（登録者）数（担い手も含む）について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．増えた　　２．やや増えた　　３．変わらない

４．やや減った　　５．減った

考えられる理由を御記入ください。

（２）実際にサロンに参加している参加者数について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．増えた　　２．やや増えた　　３．変わらない

４．やや減った　　５．減った

考えられる理由を御記入ください。

（３）実際にサロンに参加している担い手数について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．増えた　　２．やや増えた　　３．変わらない

４．やや減った　　５．減った

考えられる理由を御記入ください。

（4）グループの性別構成について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．女性が増えた　　２．やや女性が増えた　　３．変わらない

４．やや男性が増えた　　５．男性が増えた

考えられる理由を御記入ください。

（5）参加者の年齢構成について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．年齢が高くなった　　２．やや年齢が高くなった　　３．変わらない

４．やや年齢が低くなった　　５．年齢が低くなった

考えられる理由を御記入ください。

（6）開催頻度について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．増えた　　２．やや増えた　　３．変わらない

４．やや減った　　５．減った

考えられる理由を御記入ください。

（7）活動費について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．豊かになった　　２．やや豊かになった　　３．変わらない

４．やや不安定になった　　５．不安定になった

考えられる理由を御記入ください。

（8）他のグループ・団体との交流や連携について当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．活発化した　　２．やや活発化した　　３．変わらない

４．やや少なくなった　　５．少なくなった　　６．していない

考えられる理由を御記入ください。

問１４．　サロンを運営していて良かったなと思うことを以下に御記入ください。

問１５．　サロンを運営していての悩み・困っていることを以下に御記入ください。

以上です。ご協力どうもありがとうございました。

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート
～担い手用～

市町村名（　　）サロン名（　　）

【記入上のお願い】
1．この調査票は、サロン担い手御本人が御記入ください。
2．この調査票では、当てはまる番号に○を付けてもらう質問と、空欄に必要事項を記入する質問があります。
3．「その他」の欄は、ご自由に御記入ください。

【まず現在のあなた御自身のことについてお聞きします】

問1．　年齢と性別についてお答えください。

年齢：満　　歳　　性別：　1．男性　・　2．女性

問2．　地域での活動について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．民生委員・児童委員	2．主任児童委員	3．福祉員
4．自治会役員	5．老人クラブ会員	6．婦人会
7．地区社協役職員	8．母子保健推進員	9．食生活改善推進員
10．ボランティア	11．その他（　　）	

【サロンへの参加と思いについてお聞きします】

問3．　サロンを発足したいきさつについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．以前から集まっていた仲間で発足した
2．社協だより等で知ってから自分たちもやってみたいと思った
3．介護予防になると思ったから
4．地域の交流の場がなかったから
5．生きがいとなる活動がしたかった
6．自分や他の人の閉じこもり・孤立の防止になると思ったから
7．人と話す機会があまりなかったから
8．その他（　　）

問4.　サロンにかかわってみて、あなた自身どんな思いをもっておられますか？
それぞれについて、「そう思う」「まあそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち当てはまるものの番号1つに○をつけてお答えください。

	そう思う	まあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
サロンにかかわれて楽しい	1	2	3	4	5
地域や社会の役に立ててうれしい	1	2	3	4	5
やらなければいけないという義務感	1	2	3	4	5

問5.　全体的にサロンの様子見て、参加者への効果としてどんなことを感じておられますか？
それぞれについて、「そう思う」「まあそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち当てはまるものの番号1つに○をつけてお答えください。

	そう思う	まあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
閉じこもり・孤立の防止になっている	1	2	3	4	5
人と話す機会が増えている	1	2	3	4	5
新しい友達ができている	1	2	3	4	5
生きがい活動となっている	1	2	3	4	5
自立心が出てきている	1	2	3	4	5
周囲への気遣い、配慮ができている	1	2	3	4	5
介護予防に役立っている	1	2	3	4	5
安否確認ができている	1	2	3	4	5
心配ごとや困りごとの発見につながっている	1	2	3	4	5
サロンが地域活動の拠点となっている	1	2	3	4	5

問6.　これまでのサロンを振り返り、担い手の立場から満足している点、評価できる点について当てはまる番号すべてに○を御記入ください。

1. 活動内容・プログラム	2. 活動回数（頻度）
3. 活動場所	4. 参加者数
5. 担い手数	6. 活動日
7. 活動時間帯	8. 参加費
9. 他のグループ・団体との連携・交流	
10. 参加者への活動のお知らせの方法	
11. 活動の方針づくりの方法	
12. その他（　　）	
13. 特にない	

特に満足している点、評価している点がありましたら、以下に御記入ください。

問7.　サロンのプログラム・内容で工夫していることがありましたら御記入ください。

問8.　今後どのようなサロンのプログラム・内容があれば良いと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 会食	2. 茶話会
3. 調理をする会	4. 講座・学習会
5. 趣味・創作活動	6. 映画・音楽鑑賞
7. レクリエーション活動	8. ボランティア活動
9. 健康体操・健康チェック	10. 寝たきり予防のための活動
11. 痴呆予防のための活動	12. 若い世代などとの世代間交流
13. 他のグループ・団体との交流	14. 心配ごと・困りごとなどの相談活動
15. 生活・福祉に関する情報提供	16. 特にない
17. その他（　　）	

問9.　今後、参加者といっしょに取り組みたい内容はありますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 会場の準備
2. 会場の後かたづけ
3. 参加者の勧誘や参加者同士の声かけ
4. 活動に必要な物品の持ち寄り
5. チラシや広報紙の作成
6. サロン活動の企画・運営の補助
7. サロン活動の企画・運営への直接参加
8. その他（　　）

問１０．　サロンが地域にあって良かったなと思うことを以下に御記入ください。

問１１．　サロンを行う上での悩み・困っていることはありますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．活動内容・プログラムの充実　　２．参加者の発掘
３．担い手の発掘と確保　　４．参加者の継続的な参加
５．活動場所の確保　　６．活動に必要な機器の確保
７．活動資金の確保　　８．他サロンとの交流
９．活動のお知らせの方法の充実　　１０．活動の運営方法
１１．活動の方針づくりの充実　　１２．地域住民との連携・協力体制づくり
１３．関係機関・団体との連携・協力づくり
１４．他のボランティア活動・福祉活動との連携・協力づくり
１５．その他（　　）
１６．特にない

特に課題となっていることがありましたら、以下に御記入ください。

問１２．　関係機関に対する要望がありましたら、以下に御記入ください。

要望先	要望事項（連携・協力・支援して欲しい内容など）
（例）地区社協	サロンの広報活動への協力（チラシの作成や配布の支援）

以上です。ご協力どうもありがとうございました。

「ふれあい・いきいきサロン」についてのアンケート

～参加者用～

市町村名（　　）サロン名（　　）

【記入上のお願い】
1．この調査票は、サロン参加者御本人が御記入ください。
2．この調査票では、当てはまる番号に○を付けてもらう質問と、空欄に必要事項を記入する質問があります。
3．「その他」の欄は、ご自由に御記入ください。
4．わからない質問や答えられない質問がありましたら、サロンの担い手・世話人などの方に相談してください。

【まず現在のあなたの御自身のことについてお聞きします】

問1．　年齢と性別についてお答えください。

年齢：満　　歳　　性別：　1．　男性　・　2．　女性

問2．　家族構成について当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．ひとり暮らし　　2．夫婦ふたり　　3．子どもと同居
4．親と同居　　5．その他（　　）

問3．　昼間はどのような状況ですか？当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．昼間は1人になる　　2．昼間は夫婦のみとなる
3．昼間も家族と一緒　　4．その他（　　）

問4．　現在、病院（医院）で治療を受けていますか？当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．受けている　　2．受けていない

問5.　介護保険の認定を受けられていますか？当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．受けている
　① 要支援
　② 要介護（　　度）
　③ 申請したが非該当

2．申請中

3．受けていない

問6.　何か困ったことがあった時には誰に相談しますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．家族（親族）
2．友人・近所の人
3．「ふれあい・いきいきサロン」の仲間
4．地域の相談員（民生委員・児童委員、福祉員、自治会長等）
5．社協や役場の相談窓口
6．ボランティア
7．その他（　　）

問7.　現在、利用しているサービスについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．デイサービス
（例：デイサービスセンターなどの施設にみんなで集まって食事や入浴を行うサービス）

2．通所リハビリ
（例：老人保健施設や病院に通って機能回復訓練を行うサービス）

3．ショートステイ
（例：特別養護老人ホームなどの施設に短期間は入り、介護などを受けるサービス）

4．訪問介護
（例：ホームヘルパーが家庭を訪問して家事や介護の援助をするサービス）

5．その他（　　）

問8.　現在、参加している活動について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 公民館活動・趣味活動（どのような？　　）
2. 老人クラブ活動
3. 町内会・自治会活動
4. ボランティア活動
5. 保健活動（健康体操、機能訓練教室等）
6. シルバー人材センター
7. いずれの活動にも参加していない。
8. その他（　　）

問9.　あなたは、ご近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。ここでいうご近所とは、もっとも広くて小学校区くらいを範囲としてお考えください。

1. 家を行き来する
2. あいさつを交わす程度
3. つきあいはない
4. 顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない
5. ほとんど顔も知らない
6. その他（　　）

問１０．　サロンの仲間や近所の人とは、お互いに助け合っていきたいですか？今のお気持ちに一番近い番号１つに○をつけてください。

1．すでに助け合っている　　2．助け合っていきたい
3．頼まれれば助け合っていきたい　　4．身体の調子などでできない
5．助け合いたくない　　6．わからない

問１０－１．　「1．すでに助け合っている」「2．助け合っていきたい」「3．頼まれれば助け合っていきたい」とお答えの方は、どういった協力をしていますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．訪問・声かけ等の見守り活動
2．話し相手
3．普段の生活でのお手伝い（掃除・洗濯・食事・買い物など）
4．通院時の送迎や同行
5．その他（　　）

問１１．　将来、できるだけ要介護状態にならないようにするために、これから取り組みたいことはありますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．公民館活動・趣味活動への参加（どのような？　　）
2．老人クラブ活動への参加
3．町内会・自治会活動への参加
4．ボランティア活動への参加
5．保健活動（健康体操、機能訓練教室等）への参加
6．テレビ・新聞・雑誌等を読むように心がける
7．特にない
8．わからない
9．その他（　　）

【サロンへの参加と思いについてお聞きします】

問１２．　サロンに参加したきっかけは次のどれですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．友達や仲間から勧められた
2．家族に勧められた
3．社協や民生委員・児童委員から勧められた
4．実際にサロンが行われているのを見かけて
5．広報誌などで知って
6．その他（　　）
7．特に理由はない

問１３．　サロンに参加した目的は次のどれですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．友達や仲間を新たにつくるため
2．友達や仲間との交流を深めるため
3．生きがいや楽しみをつくるため
4．健康を維持するため
5．地域や社会の役に立ちたかったため
6．趣味や技術をいかすため
7．特に目的はない
8．その他（　　）

問１４．　サロンに参加してどのくらいの期間になりますか？当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．１年未満　　2．１年～２年の間　　3．２年～３年の間
4．３年～４年の間　　5．４年～５年の間　　6．５年以上

問１５．　サロンへの参加回数は、どのくらいですか？当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．月１回ぐらい　　２．月２回ぐらい　　３．週１回ぐらい
４．２か月に１回ぐらい　　５．その他（　　）

問１６．　サロンに参加しはじめて生活に変化がありましたか？次の（１）～（１８）の各項目について当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）身体を動かす習慣　　例）サロンでの体操を家でも行うようになった。

１．できた　　２．少しはできた　　３．変わらない

（２）身体を動かすこと　例）以前に比べて肩があがるようになった。

１．楽になった　　２．少しは楽になった　　３．変わらない

（３）食事・栄養への気配り　例）３食きちんとたべるようになった。多品目を食べるようになった。

１．気をつけるようになった　　２．少しは気をつけるようになった　　３．変わらない

（４）健康への気配り　例）健康診断を受診するようになった。

１．気をつけるようになった　　２．少しは気をつけるようになった
３．変わらない

（５）体調

１．良くなった　　２．少しは良くなった　　３．変わらない

（６）福祉サービスの利用　例）デイサービスや訪問介護サービスなど問７．に示したサービス内容

１．減った　　２．少しは減った　　３．変わらない

（７）病院に行く回数

１．減った　　２．少しは減った　　３．変わらない

（８）普段の生活で笑うこと

１．増えた　　２．少しは増えた　　３．変わらない

（9）生活のリズム（規則正しい生活）

1．良くなった　2．少しは良くなった　3．変わらない

（10）身だしなみ

1．気をつけるようになった　2．少しは気をつけるようになった　3．変わらない

（11）サロンが生きがいとなりましたか？

1．なった　2．ならない　3．どちらとも言えない

（12）家族との会話

1．増えた　2．少しは増えた　3．変わらない

（13）さびしさ・不安感の解消

1．解消されている　2．解消されていない　3．わからない

（14）外出

1．増えた　2．少しは増えた　3．変わらない

（15）友人

1．増えた　2．少しは増えた　3．変わらない

（16）近所の人との交流（あいさつや行き来）

1．増えた　2．少しは増えた　3．変わらない

（17）サロン参加者とのサロン以外の日常の交流

1．増えた　2．少しは増えた　3．変わらない

（18）幅広い年齢層との交流（若い世代や子どもたちなどとの交流）

1．増えた　2．少しは増えた　3．変わらない

問１７．　今後どのようなサロンのプログラム・内容があれば良いと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．　会食	２．　茶話会
３．　調理をする会	４．　講座・学習会
５．　趣味・創作活動	６．　映画・音楽鑑賞
７．　レクリエーション活動	８．　ボランティア活動
９．　健康体操・健康チェック	１０．　寝たきり予防のための活動
１１．　痴呆予防のための活動	１２．　若い世代などとの世代間交流
１３．　他のグループ・団体との交流	１４．　心配ごと・困りごとなどの相談活動
１５．　生活・福祉に関する情報提供	１６．　特にない
１７．　その他（　　）	

問１８．　サロンに参加してみてよかったと思うこと、サロンが地域にあって良かったなと思うことを以下に御記入ください。

問１９．　サロンで心配なこと、困っていることがありましたら、以下に御記入ください。

今一番、心配なこと、困っていることがありましたら御記入ください。

その他、心配なこと、困っていることがありましたら御記入ください。

以上です。ご協力どうもありがとうございました。

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

項目 / 市町村名	「ふれあい・いきいきサロン」の実施と設置数、分野別設置数など										
	サロンの実施	①高齢者サロン	①のうち認知症高齢者も参加するサロン	②子育てサロン	③障害者が参加するサロン	③のうち精神障害者が参加するサロン	④様々な人たちが参加するサロン	合計 (H16実績)	H15実績	H14実績	H13実績
下関市		102	1	26	9	1	36	173	148	122	113
旧下関市	○	15	1	22	7		1	45	21	9	13
菊川支所	○	21			1	1		22	20	21	18
豊田支所	○	19		2	1		35	57	55	47	42
豊浦支所	○	11		2				13	15	13	14
豊北支所	○	36						36	37	32	26
宇部市		16	0	0	0	0	2	18	23	11	11
旧宇部市	○	15					2	17	23	11	11
楠支所	○	1						1	0	0	0
山口市	○	67	3	2				69	56	47	35
萩市		57	12	1	1	0	15	74	72	57	53
旧萩市	○	20		1				21	18	15	14
川上支所	○	5					1	6	5	1	1
田万川支所	○	12	12					12	15	10	10
むつみ支所								0	0	0	0
須佐支所	○	6			1		3	10	9	7	6
旭支所	○						11	11	11	10	10
福栄支所	○	14						14	14	14	12
防府市	○	30					1	31	30	15	14
下松市	○	10						10	3	2	3
岩国市	○	103		2				105	86	76	44
山陽小野田市		97	0	0	0	0	0	97	108	114	114
旧小野田市	○	58						58	71	82	81
山陽支所	○	39						39	37	32	33
光市		48	3	2	0	0	3	53	43	36	26
旧光市	○	48	3	2			3	53	42	35	22
大和支所								0	1	1	4
長門市		33	3	2	1	0	2	38	30	20	17
旧長門市	○	6						6	3	0	0
三隅支部	○	6			1		2	9	9	8	6
日置支部	○	10		1				11	9	5	3
油谷支部	○	11	3	1				12	9	7	8
柳井市		14	0	0	0	0	0	14	13	10	7
旧柳井市	○	8						8	7	5	3
大畠センター	○	6						6	6	5	4
美祢市	○	22		1			5	28	23	19	12
周南市		156	4	12	2	0	2	172	158	138	132
徳山支部	○	116		12			2	130	124	117	113
新南陽支部	○	29			1			30	28	19	17
熊毛支部	○	4	4					4	0	0	0
鹿野支部	○	7			1			8	6	2	2
周防大島町		77	20	0	0	0	1	78	65	59	52
久賀センター	○	16	16					16	16	15	15
大島センター	○	1						1	1	1	1
東和センター	○	38	4					38	28	22	22
橘センター	○	22					1	23	20	21	14
和木町	○	15		1				16	16	11	11
由宇町	○	4	1					4	4	4	7
玖珂町	○	17						17	15	15	14
本郷村								0	0	0	0
周東町	○	20		1				21	21	19	6
錦町	○	5	5					5	5	3	0
美川町	○	3						3	0	0	0
美和町	○	16			1			17	14	13	11
上関町	○	5	1				1	6	6	5	5
田布施町	○	21						21	16	12	8
平生町	○						30	30	30	26	24
徳地町	○	7					6	13	13	12	9
秋穂町	○	8			1	1	1	10	11	10	9
小郡町	○	17					4	21	18	19	17
阿知須町	○	13					2	15	15	14	13
美東町	○	22	22	3	1	1		26	25	24	25
秋芳町	○	15						15	12	8	7
阿武町	○	7						7	4	1	2
阿東町	○	16					15	31	24	21	17
合計	53	1,043	75	53	16	3	126	1,238	1,107	943	818
割合		84.25%	6.06%	4.28%	1.29%	0.24%	10.18%				

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名 ＼ 項目		サロン研修会・情報交換の開催、開催回数、主な内容		
		研修会情報交換会の開催	開催回数	主な内容
下関市	旧下関市	○	1	平成16年度ボランティア交流集会
	菊川支所	○	1	グループワーク、活動発表、保健師指導
	豊田支所	○	2	レクリエーション講座、実践事例及び情報提供のための講座
	豊浦支所	○	2	サロン会代表者連絡会議にて補助金申請、年度計画・報告、情報交換等を行う
	豊北支所	○	2	リーダー研修会、大交流会
宇部市	旧宇部市			
	楠支所			
山口市		○	1	・サロン代表者から事例発表（ビデオを見ながら） ・市社協からサロンへの支援内容について説明 ・レクリエーション講習（4コースに分かれて）
萩市	旧萩市	○	1	情報交換、レクリエーション研修
	川上支所			
	田万川支所	○	2	スタッフ会議（情報交換）、ボランティアリーダー研修（レクリエーション）
	むつみ支所			
	須佐支所			
	旭支所			
	福栄支所			
防府市		○	1	講演、活動紹介、レクリエーション指導
下松市		○	1	
岩国市		○	3	レクリエーション講座、各地区での情報交換等
小野田市山陽	旧小野田市			
	山陽支所	○	1	サロン相互間の情報交換
光市	旧光市			
	大和支所			
長門市	旧長門市	○	1	各サロンの担い手が集まり、情報交換を行う。主にレクリエーションに関すること。
	三隅支部	○	1	○各サロンの活動内容の報告 ○ビニール荷造りひもを使ったクラフト
	日置支部	○	1	サロンについての研修、各サロンでの情報交換、クラフト
	油谷支部	○	2	
柳井市	旧柳井市			
	大畠センター			
美祢市		○	1	情報提供・情報交換・他のサロン活動体験参加など
周南市	徳山支部	○	5	(1)ふれあい・いきいきサロン担い手交流会　年1回　情報交換・講演 (2)ふれあい・こそだてサロン親子体操教室　年1回　実施指導
	新南陽支部	○	1	代表者相互の情報交換等を目的に年1回開催
	熊毛支部			
	鹿野支部	○	1	活動紹介、ふれあい交流、昼食、音楽で回想法
周防大島町	久賀センター	○	1	
	大島センター			
	東和センター			
	橘センター	○	1	
和木町				
由宇町		○	1	サロン各代表者や保健センター、給食ボランティアの方々が出席し、サロンの年間行事その他の内容やサロンに出すお弁当の日程調整を検討したり、またその他の事項の情報交換をしていただく。
玖珂町		○	1	
本郷村				
周東町				
錦町		○	1	情報交換、町外サロン関係者交流会
美川町				
美和町		○	1	・各サロンの取り組み状況や情報の交換　・サロン実施希望者への説明等
上関町				
田布施町		○	1	
平生町		○	1	代表者・世話人による情報交換
徳地町				
秋穂町		○	2	献立、活動内容についての検討会
小郡町		○	1～2	○情報交換会、レクリエーション講習など ○平成16年度末には、災害をテーマに情報交流会を実施
阿知須町		○	3	・各サロンの情報交換　・先進地視察研修
美東町		○	3	サロンリーダー会議・研修会、視察研修、子育て支援ネットワーク会議
秋芳町				
阿武町				
阿東町		○	2	
合計		33		
割合		58.93%		

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名 ＼ 項目		サロンへの助成金の実施、助成額、助成期限、助成の財源								
		助成金の実施	助成額（円/サロン）	備考	助成期限（年）	備考	助成金の財源			
							自主財源	行政補助	共同募金配分金	その他
下関市	旧下関市	○	上限50,000	他団体からの助成情報や参加費有無等を考慮し、検討する。	1年	ただし、申請により3年継続して事業を行うことができる。	○			ふれまち事業費
	菊川支所	○		場所代1,000円、おやつ代100円×人数					○	
	豊田支所	○	1,000	1回開催につき1,000円（月1回が上限）			○			
	豊浦支所	○		高齢者：1,500円/回、参加者200円/人、Vo50円/人 子育て：1,500円/回				○		
	豊北支所	○		1回の開催につき500円（会場代として） （基本的に年12回以上のこと）					○	
宇部市	旧宇部市	○	20,000	①会費・参加費を徴収していること ②月1回以上定期的に行っていること ③広報活動を行っていること				○	○	
	楠支所	○	10,000	設立年度1年目に限り、20,000円の助成					○	
山口市		○	74,000	開設費60,000円、運営費12,000円×2年間	2年		○		○	
萩市	旧萩市	○	平均22,000	開催回数及び参加人数によって異なる		平成16年度で終了。平成17年度より新規立ち上げ時のみ助成。	○			
	川上支所									
	田万川支所	○		1人1回につき@50			○	○		参加者負担一部有り
	むつみ支所									
	須佐支所	○		立ち上げ時に活動費補助、参加者全員ボランティア保険をかける	1年			○		
	旭支所	○	10,000	活動内容、収支報告によって違う 10,000円＋手芸材料代等					○	
	福栄支所	○	5,000	講師謝金について助成している					○	
防府市										
下松市		○	30,000	立ち上げ資金として	1年		○			
岩国市		○	30,000	年4回以上開催	3年	平成14年以前に登録したサロンは5年	○		○	
小野田市山陽	旧小野田市	○	14,850	一人あたり300円	1年ごと			○		
	山陽支所	○	30,000	サロン発会時のみ			○（会費）			自治会からの補助
光市	旧光市	○	上限20,000	立ち上がり年度は、初回参加人数×100円、 2回目以降の年度参加人数×50円 2年目から：参加人数×50円				○		
	大和支所									
長門市	旧長門市	○	年間30,000		3年		○		○	
	三隅支部	○	20,000	年度末に実績報告書を提出のもと算出し、全サロンに助成			○			
	日置支部	○	30,000	サロン立ち上げ時に基盤整備費ということで助成（立ち上げ時1回のみ）	立ち上げ時1年				○	
	油谷支部	○		大字単位30,000円/年、自治会単位12,000円/年	1年				○	
柳井市	旧柳井市	○	36,000		1年		○	○		
	大畠センター		30,000		1年		○			
美祢市		○	年額10,000	新規サロンの場合　年額20,000円	1年				○	地区社協独自の助成金
周南市	徳山支部	○		(1)1地区社協に50,000円助成。 現在は子育てサロンのみ。 (2)12月に実施のサロンに関しては、1人当たり	2年		○		○	
	新南陽支部	○		サロン1回の開催で参加者10人までは3,000円/人。以下5名増すごとに500円増	5年	平成13年度から5ヶ年の補助期限付きの市よりの助成で平成17年度末で補助終了		○		
	熊毛支部	○	50,000	事業開始時20,000円、年間助成30,000円				○		
	鹿野支部	○	30,000		1年				○	
周防大島町	久賀センター	○	約20,000	会場費…500円×回数。茶菓子代…50円×人数	1年	前年度の実績にもとづいて新年度助成金として申請			○	
	大島センター									
	東和センター	○		会場費1回500円、参加費1回50円を年度末に助成。			○			
	橘センター	○	20,000		1年				○	
和木町		○	60,000	子育てサロンには、助成金の実施はありません。	6年	子育てサロンには、助成金の実施はありません	○		○	
由宇町		○	30,000		1年				○	
玖珂町		○	10,000		○		○		○	
本郷村										
周東町		○		実施1回@1,000、参加人数@400まで			○			
錦町		○		新規50,000円/年、継続20,000円/年	1年		○		○	
美川町		○	10,000						○	
美和町		○		・初年度整備費10,000円 ・参加者1人100円　・会場代1回500円	1年				○	
上関町		○	50,000				○		○	
田布施町		○		・70歳以上参加者1名につき1回100円 （昼食有の時は300円） ・1回開催ごとに運営費1,000円				○	○	
平生町		○		会場代として1回250円。65歳以上、または、身障手帳をお持ちの参加者1人に対し、1回50円			○			
徳地町		○	5,000	設立初年度のみ助成する。					○	
秋穂町		○	参加差者1人に対し100	・対象者として高齢者（80歳以上）、 一人暮らし（65歳以上）とする ・請求書の提出					○	
小郡町		○	30,000～48,000	参加人数や開催頻度により異なる			○	○		
阿知須町		○	上限50,000	20,000円（基本料金）＋参加人数×50円 開催回数×300円				○		
美東町		○	30,000	モデルサロン50,000円		モデルサロンのみ2年	○	○	○	
秋芳町		○	30,000				○		○	
阿武町		○		現金ではなく、消耗品等の現物支給。必要に応じて					○	
阿東町		○		立ち上げ時20,000円、開催回数×3,000円			○	○		
合計		49					24	14	29	4
割合		87.50%					42.86%	25.00%	51.79%	7.14%

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名 ＼ 項目		サロンへの社協の支援内容				
		企画・運営に関する助言	職員の派遣	機器材の貸し出し	会場の貸し出し	その他
下関市	旧下関市	○	○	○	○	
	菊川支所	○	○	○	○	
	豊田支所	○	○	○		車両の貸し出し、サロン傷害補償への加入
	豊浦支所	○	○	○	○	
	豊北支所	○	○	○	○	研修会の開催
宇部市	旧宇部市	○				
	楠支所	○		○		構成員にかかるサロン保険加入
山口市		○	○	○		マイクロバスの貸し出し、情報紙の発行、レクリエーション講習会（月1回）
萩市	旧萩市	○	○			サロン保険加入、マイクロバス貸出、チラシの作成
	川上支所		○	○		
	田万川支所	○		○		参加者の送迎、給食サービスを併設
	むつみ支所					
	須佐支所	○	○	○		希望地区のみ月1回社協給食サービス
	旭支所	○	○	○		
	福栄支所	○	○	○		
防府市		○	○	○	○	
下松市			○	○		
岩国市		○	○	○		
小野田市	旧小野田市	○		○		
	山陽支所	○	○	○	○	社協、サロン保険のあっせん、掛け金の補助
光市	旧光市	○	○	○		
	大和支所					
長門市	旧長門市		○	○	○	車の貸出し ※花見等で
	三隅支部	○	○	○		チラシ作成・印刷
	日置支部	○	○	○		
	油谷支部	○	○	○		各サロン年1回ずつ、市外への研修にワゴン車の貸出を行う。
柳井市	旧柳井市	○	○	○		
	大畠センター	○			○	
美祢市		○	○	○	○	関係機関・団体との連絡調整など
周南市	徳山支部	○	○			健康体操指導員の派遣
	新南陽支部	○	○			
	熊毛支部	○		○		
	鹿野支部	○	○	○		講師派遣連絡紹介
周防大島町	久賀センター		○	○	○	
	大島センター	○		○		
	東和センター	○	○	○		
	橘センター	○	○	○		
和木町				○	○	
由宇町			○	○		保育園、幼稚園、学校等との連絡、調整
玖珂町		○	○	○		
本郷村						
周東町			○			行政保健師の派遣
錦町		○	○	○		他機関への連絡調整
美川町		○	○			地域機関との連携
美和町		○	○	○		
上関町		○	○	○		
田布施町		○	○	○		
平生町		○	○	○	○	保険加入
徳地町		○	○	○	○	
秋穂町		○	○	○		
小郡町		○	○	○		年2回程度、マイクロバスによる外出を許可している。
阿知須町		○		○		
美東町		○	○	○	○	
秋芳町		○		○	○	
阿武町		○	○	○		
阿東町		○	○	○		
合計		46	42	45	15	20
割合		80.36%	75.00%	80.36%	26.79%	35.71%

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名＼項目		サロン普及のための啓発活動				
		住民座談会などで普及啓発	役員研修などで普及啓発	モデル指定	広報誌などで紹介	その他
下関市	旧下関市		○		○	
	菊川支所	○	○		○	
	豊田支所	○			○	
	豊浦支所	○	○		○	
	豊北支所	○	○		○	地区社協への働きかけ
宇部市	旧宇部市	○			○	
	楠支所	○			○	
山口市			○		○	
萩市	旧萩市	○			○	
	川上支所				○	
	田万川支所	○			○	
	むつみ支所					
	須佐支所					民生委員会、福祉員会
	旭支所		○		○	ケーブルテレビ活用
	福栄支所		○		○	
防府市		○	○		○	
下松市		○	○	○		
岩国市		○		○	○	
小野田市	旧小野田市	○			○	
	山陽支所	○			○	
光市	旧光市	○			○	
	大和支所					
長門市	旧長門市				○	
	三隅支部		○		○	地域のキーパーソンに個別にアプローチ
	日置支部		○		○	民児協との連携
	油谷支部	○			○	
柳井市	旧柳井市	○	○		○	
	大畠センター				○	
美祢市		○	○		○	
周南市	徳山支部			○	○	
	新南陽支部				○	
	熊毛支部					民生委員協議会
	鹿野支部	○			○	
周防大島町	久賀センター		○		○	
	大島センター					
	東和センター	○	○			老人クラブへの普及啓発
	橘センター				○	
和木町						
由宇町			○		○	民生委員会等で広報。
玖珂町		○			○	
本郷村						
周東町			○			
錦町		○			○	関係者団体会議等でのＰＲ
美川町				○	○	
美和町			○		○	
上関町					○	
田布施町					○	福祉員集会などで普及啓発
平生町					○	チラシの配布
徳地町		○				
秋穂町					○	
小郡町					○	○民生委員児童委員協議会などでＰＲ ○ふれあいのまちづくり部会によるＰＲ
阿知須町		○			○	
美東町		○	○		○	
秋芳町					○	
阿武町		○	○			
阿東町			○		○	
合計		25	20	4	43	12
割合		44.64%	35.71%	7.14%	76.79%	21.43%

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名＼項目		サロンの実施場所（複数回答あり）											
		個人の自宅開放	公民館	公会堂自治会館	空き家	空き店舗	学校の余裕教室	お寺・お宮	社会福祉施設	その他①		その他②	
下関市	旧下関市	4	15	12		1	3	1		下関市社会福祉センター	1	屋外	1
	菊川支所		1	20						元会社事務所	1		
	豊田支所	5	1	37	1			2	7	温泉施設	1	倉庫・花壇	2
	豊浦支所		5	7			1						
	豊北支所	5	1	27						公園	1	JA	1
宇部市	旧宇部市		8	8						内容により違う	1		
	楠支所			1									
山口市		3	4	51				4		高齢者生きがいセンター	5	病院・駅構内の地域交流場	2
萩市	旧萩市		2	16					1	福祉センター	1	漁協	1
	川上支所			6									
	田万川支所		1	10						保健センター	1		
	むつみ支所												
	須佐支所		10										
	旭支所			11									
	福栄支所			14									
防府市		12	7	10				1	1				
下松市		1		7					2				
岩国市		5		→99				1					
小野田市山陽	旧小野田市	10	7	58			2	4	14	公園	14		
	山陽支所	5	34										
光市	旧光市	4	5	42					1	保健センター	1		
	大和支所												
長門市	旧長門市		1	4				1					
	三隅支部			6						老人福祉センター	1	漁村センター	2
	日置支部	1		8						ふれあい野菜市特設会場	2		
	油谷支部	1		10				1					
柳井市	旧柳井市	1	4	2						農業担い手センター	1		
	大畠センター			5					1				
美祢市		1	5	17		1		1	2	公共の自然体験施設	1		
周南市	徳山支部	14	55	52				5	3	貸室	1		
	新南陽支部	1	8	18	2					保健センター	1		
	熊毛支部			4									
	鹿野支部	1	2	5									
周防大島町	久賀センター	1	1	11					4				
	大島センター			1									
	東和センター	8	14	9			3	2	2				
	橘センター	4	5	13					1				
和木町				16									
由宇町				2						町の管理している施設	2		
玖珂町				17									
本郷村													
周東町		1		19									
錦町							3			町保健センターの一角	1	元法務局跡地	1
美川町				3									
美和町		1	1	15									
上関町				2	4								
田布施町			1	20									
平生町		7	2	19				1			1		
徳地町		1		12									
秋穂町				7						作業所	1	小学校体育館作業所前庭	2
小郡町		1	20										
阿知須町				15									
美東町			2	23							1		
秋芳町				14					1				
阿武町		1		4						民間施設	1	公共施設	1
阿東町		8		22				1					
合計		107	222	811	7	2	12	25	40		41		13
割合		8.64%	17.93%	65.51%	0.57%	0.16%	0.97%	2.02%	3.23%	その他全体の合計→	54	その他全体の割合→	4.36%

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名 ＼ 項目		サロンの実施頻度について									
		毎日	週1回	月1回	月2回	その他①		その他②		その他③	
下関市	旧下関市		3	35	6	夏休み等	1				
	菊川支所		1	14	2	2ヶ月に1回	5				
	豊田支所	1	1	47	3	週2回	1	年4～6回	4		
	豊浦支所				2	年間3回	2	年間7～11回	9		
	豊北支所		3	23	10						
宇部市	旧宇部市			11	4	年4回	1	年2回	1		
	楠支所			1							
山口市			6	52	8	2ヶ月に1回	3				
萩市	旧萩市			20	1						
	川上支所			5		月3回	1				
	田万川支所			12							
	むつみ支所										
	須佐支所			6		週2回	2	年5回以上	2		
	旭支所			1		年1回	1	年2回	6	年3回	1
	福栄支所					随時	14				
防府市			1	17	2	年4～6回	9	年8～10回	2		
下松市				10							
岩国市			11	13	7	年4～10回	74				
小野田市山陽	旧小野田市			58							
	山陽支所			32	5	2ヶ月に1回	2				
光市	旧光市		3	23	2	決まっていない	19	年1～2回	6		
	大和支所										
長門市	旧長門市			5		月3～4回	1				
	三隅支部			6		年3～6回	3				
	日置支部		3	8							
	油谷支部			11	1						
柳井市	旧柳井市			7	1						
	大畠センター			4	1	2ヶ月に1回	1				
美祢市			1	22	2	年6回	2	年4回	1		
周南市	徳山支部	1	3	67	4	年4回	30	年6回	25		
	新南陽支部		2	21	5	月8～10回	2				
	熊毛支部			3		年4回	1				
	鹿野支部			8							
周防大島町	久賀センター			11	1	不定期	4	2ヶ月に1回	1		
	大島センター			1							
	東和センター		6	25	4	隔週	1	月3回	1		
	橘センター		2	16	4	年6回	1				
和木町			3	3	9	月3回	1				
由宇町				4							
玖珂町				16	1						
本郷村											
周東町				4		年1～5回	16				
錦町			2	3							
美川町				2	1						
美和町				6		隔週	1	年5～10回	10		
上関町				6							
田布施町				12	1	年4回	2	年1回	6		
平生町		1	3	20	5	数ヶ月に1回	1				
徳地町		1		5		年6回程度	7				
秋穂町			1	2		不定期	7				
小郡町				15	4	週1回以上	1	隔月開催	1		
阿知須町			4	7	1	隔月1回	2	年4回	1		
美東町				25		2ヶ月に1回	1				
秋芳町				15							
阿武町				5		2ヶ月に1回	2				
阿東町				9		2ヶ月に1回	13	3ヶ月に1回	9		
合計		4	59	754	97		235		85		1
割合		0.32%	4.77%	60.90%	7.84%	その他全体の合計→	321	その他全体の割合→	25.93%		

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名＼項目		サロンの参加費について											
		無料	100円	150円	200円	250円	300円	500円	実費徴収	その他①		その他②	
下関市	旧下関市	30	4		2		2	3		年会費1,000円	2	年会費1,500円	2
	菊川支所	9			1		1	4	6	年2,000円	1		
	豊田支所								57				
	豊浦支所	3	1		2		1	1		400円	5		
	豊北支所	7	3		3			4	9	月200円①、300円② 月500円②	5	年200円①、500円① 年1,000円① 1回1,000円②	5
宇部市	旧宇部市		2				3	3	3	年間1,000円 1,200円	2	1,500円、2,000円 3,500円	3
	楠支所		1										
山口市		4	5		10		12	15	3	不明確	20		
萩市	旧萩市	1							20				
	川上支所		5						1				
	田万川支所									400円	12		
	むつみ支所												
	須佐支所								10				
	旭支所									700円	11		
	福栄支所								14				
防府市		13	10		4		2	1		年1,000円			
下松市					10								
岩国市		23	14	1	2		12	6	1	月100円～3,000円	14	年500円～2,000円	8
小野田市山陽	旧小野田市	58											
	山陽支所	21	6			7					5		
光市	旧光市	4	9		1				2	不明	37		
	大和支所												
長門市	旧長門市		1					1	1	年1,500円	2	年500円	1
	三隅支部	6			3								
	日置支部	1					1			年会費3,000円 年会費1,000円	2	ふれあい野菜市 出資金	1
	油谷支部						2	8	2				
柳井市	旧柳井市				1		2		3	700円	1	400円	1
	大畠センター	1	2		1			1	1				
美祢市		4	1		5			1	17	年会費1,000円	1		
周南市	徳山支部	19	21		59	1	18	5	5	50円	1	400円	1
	新南陽支部	3	1	1	7	1	3	6	2	400円	2	350円	1
	熊毛支部						1		3				
	鹿野支部				4				4				
周防大島町	久賀センター	5	2		5		3	1					
	大島センター								1				
	東和センター	6	1		3			2	1	1,000円～3,000円	4		
	橘センター	9	1		2		6	3	2				
和木町		1	2		1					100円～500円	12		
由宇町			2			2							
玖珂町		12			1				5				
本郷村													
周東町													
錦町		1	4										
美川町		1	1		1								
美和町		10	3		1				2	年会費1,000円	1		
上関町					5								
田布施町		5	7			2				毎回異なる	7		
平生町													
徳地町									13				
秋穂町		3	1		4		2						
小郡町			1				15	4	1				
阿知須町							2	1	12				
美東町		3					10	12		1,000円	1		
秋芳町							15						
阿武町			6							100円～200円	1		
阿東町							25	6					
合計		263	117	2	138	13	138	88	201		149		23
割合		21.24%	9.45%	0.16%	11.15%	1.05%	11.15%	7.11%	16.24%	その他全体の合計→	172	その他全体の割合→	13.89%

平成17年度 「ふれあい・いきいきサロン」活動実態調査 調査結果～平成17年4月1日現在～

市町村名 ＼ 項目		サロン運営上の課題、効果や特徴的な取り組みなど
下関市	旧下関市	各地域でのサロンが広がっているが、まだまだサロン同士、サロンと地域のつながりが少ないのが現状である。今年度は、サロン交流会を開催する予定で、サロンの問題や課題、内容等自由に情報交換、話し合いのできる場の設定を増やし、ネットワークが広げられたらと思う。
	豊田支所	＊参加者がお客様的なところは、担い手に大きな負担がかかりサロン定着を阻む原因に。 ＊福祉部の活動として、サロンを行っているところに格差がある。 ＊福祉部はサロンを活動・交流の場として幅広い年齢を対象に行っている。 ＊有志で行っているサロンは生きがいとして行っている。 ＊サロンの捉え方に違いがあることと人数に格差があるため、一律で出す助成金に対して不満の声もある。 ＊地区社協によっては、助成金を上乗せして交付するところもある。
	豊浦支所	内容のマンネリ化などの課題を抱えるサロン会がある。定期的な情報提供や研修会等で支援していきたい。また、合併に伴い、補助金の見直し（削減）をし、各地でサロンを普及していくための支援をしていきたい。
	豊北支所	○町内7地区の内、サロングループが全く無い地域があるが、日常的に井戸端会議的なことが行われている。社協に登録すると報告や行事参加等、煩わしいとの事。 ○その他、社協に登録しないでサロン活動に近いことを行っているグループがいくつかあると聞いている。
山口市		課題　・男性の参加者が少ない ・適当な会場がなく取り組めないところがある ・サロン担い手の高齢化、後継者がいない 効果　・軽い認知症の方の症状が改善した ・高齢者の自然な見守りができる
萩市	旧萩市	地域福祉権利擁護事業利用者のサロン“ほっとする和”の実施（月1回）。 利用者個人の有する能力を活用することで、一人ひとりに役割・役目と地域社会での一つの居場所となっている。
	田万川支所	高齢化、過疎化に伴うサロンスタッフの確保
防府市		ふれあい・いきいきサロン活動を自治会福祉部活動の一環として位置づけ、市社協はサロン運営主体に「サロンのぼり旗」を提供して開催日に会場の外へ掲出してもらうことにより、対象者がいつでも気軽に参加できるよう支援するとともに地域住民へ「ふれあい・いきいきサロン」の周知を図る。
岩国市		課題としては、担い手だけでは主体的な活動が難しく、活動内容がマンネリ化してきているサロンもある。 新しく遊具を購入したり、特技を生かして指導してくださるふれあいサポート推進員が12人いらっしゃるので、その方にお願いをして、サロンを盛り上げていただいている。
長門市	旧長門市	現在ある6ヶ所のサロンは全て、ある程度健康な高齢者を対象としたサロンなので、将来的には各関係機関と連携を取りながら認知症の高齢者や障害者を対象としたサロンも立ち上げていきたい。
	三隅支部	○地区によっては、サロン担い手が1年ごとに交替する所があり、継続が難しい所もある。担い手の負担が大きくなるという現状もあり、どのように担い手を含めてサロンを盛り上げていくかが課題である。 ○高齢者サロンでは、七夕飾りやしめ縄づくりなど、子どもたちと共同の行事を楽しみにされている方が多い。
	日置支部	ふれあい野菜市（2サロン週1回開催） 会員（高齢者）のいきがいづくり溜まり場づくり、生産者と消費者との交流の場として野菜市を開催している。
	油谷支部	社協合併により、合併社協間のサロン助成形態が異なっているため、これから調整が必要となる。
美祢市		【課題】○助成金等の確保 ○啓発や広報活動の工夫 ○対象範囲が広いサロンは、開催頻度が少なく（または不定期開催）行事的な活動となっている傾向がある。 →脱行事化、さらに小地域単位での活動展開を図る。 【効果】○自治会の福祉活動の一環として活動するサロンが増えつつある。（座談会効果か？）
周南市	新南陽支部	○市からの補助金が今年度末で終了するので、それ以降の金銭的問題と意欲低下が懸念される。 ○他サロンとの交流を希望する声があるので、調整していきたい。 ○絵手紙を作成するサロン等、様々な内容での取り組みが見られる。
	熊毛支部	昨年度は、民生委員の協力を得て新規に4か所のサロンを設置し、今年度も設置予定である。 閉じこもりがちな高齢者がいきいきサロンに参加することにより、より生きがいのある生活を送ることができ、介護予防の効果も期待できる。
	鹿野支部	課題：地域が広範囲なため、会場への移動手段 効果：地域が元々もっていた絆や思いやりの気持ちで見守りや健康意識が充実した。 特徴的：長年培った知識・経験を生かし、講師となって活躍する場所ができた。
周防大島町	久賀センター	民生委員・児童委員、福祉員など地域福祉の担い手の理解を得て、スムーズな運営が行われている。 どのサロンもメニューには、苦慮している様子である。
	橘センター	今年度サロン実施の条件、として最低でも月1回の実施をとなれば、現在あるサロンの中でも該当しなくなるサロンが2～3件ある。 そういったサロンに対してどう指導していくか。 さらに、今あるサロンの充実を図るにはどうしたらよいか、自主運営が楽しく出来るようどのようにサポートしていけがよいか。 最近新しく加入のオレンジの里は、大変ユニークで活発なサロンです。
由宇町		○運営しているサロンによっては、同じメンバーになりがりである。 ○男性参加者が少ない傾向。
玖珂町		自主財源を廃品回収等で
周東町		開催日が待ちどおしい人も年々増加し、家に閉じこもりの人外出されるようになった。
秋穂町		自治区ごとにサロンの開催を行う。その運営をコミュニティボランティアグループがすべて行っている。
阿知須町		・サロンのあり方から少しずれて生涯学習的な活動に混同される傾向がでてきた。
秋芳町		これほど地域に密着した活動は他になく、高齢者の暮らしぶりなど知るにはこれ以上の場所はないと思っています。 民生児童委員、福祉員さんにもどんどん足を運んでもらって情報収集の場にして欲しいと話をしているところです。

「人と人との豊かなつながり」を育む
「ふれあい・いきいきサロン」

―「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する調査検討委員会 報告書 ―

平成１８年３月
社会福祉法人　山口県社会福祉協議会
〒753-0072　山口市大手町 9-6
ゆ～あいプラザ　山口県社会福祉会館 内
TEL (083) 924-2828　FAX (083) 922-1295
e-mail：chiiki@yg-you-i-net.or.jp
URL：http://www.yamaguchikensyakyo.jp/
印刷：株式会社 コア

「人と人との豊かなつながり」を育む
「ふれあい・いきいきサロン」

～「ふれあい・いきいきサロン」活動の効果に関する検討委員会 報告書～

愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

この報告書は、共同募金の配分金により
作成したものです。